

シラバス

看護学科

2024 年度

埼玉医科大学短期大学

学籍番号	
氏 名	

はじめに

1. シラバスとは？

シラバスは、各授業科目の詳細な授業計画です。科目の概要・目的・到達目標、各回の授業内容、成績評価方法・基準、履修条件、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献等が記されており、各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるものです。また、記載されている内容は、担当教員と学生との契約事項になります。担当教員は記載されたとおりに授業を実施することを学生に対して約束し、学生は記載された事項を遵守することで相互に良好な学習環境がつくられます。

2. カリキュラム

カリキュラムは、教育の目的を達成するために、教育内容と学習支援を体系的に編成した教育計画です。看護学科のカリキュラムは、次頁掲載の「看護学科の教育理念、教育目的・目標、三つの方針/学修成果」を基に編成されています。シラバスとカリキュラムマップ（3年次生は科目構造図と科目進度表）を見て、順序性（いつどんな科目を学習するか）や、関連性（どの科目を土台にして学修を発展されるか）＝履修する科目の位置づけを確認することは、学習効果を高めることにつながります。

3. 学習方法

大学で学ぶということは、高校までに身につけた学力を土台に、新しく学習する知識や技術を自分なりに振り返り、次の学習につなげるといった主体的な学習が必要です。今、学習している内容は、他の科目の学習内容とどのように関連しているのかを意識し、身につけた知識を活用して、新たな課題を見出しながら学習に取り組んでいただきたいと思います。演習や実習では、学んだ知識に基づいて、自分の考えや判断したことを相手に伝え、意見交換をしながら学習します。このように他者との関わりの中で学ぶ方法は、保健医療福祉チームの一員として協働する意義や方法の学習につながります。体験的な学習により、場面や状況に応じて様々な課題や問題に気づき、その課題を追求したり問題を解決したりできるように学びを深める方法も身につけていきます。

4. 卒業までの道標

「3年間で卒業要件の単位を修得する」、その道のりは非常に険しく、時には、単位が取ればいい、という気持ちになることもあるかもしれません。そんな時こそ、今、自分は何のために何を学習しているのかを考え、自分が進むべき道を見失わないように、道標としてシラバスを活用していただきたいと思います。

看護学科（教育理念、教育目的・目標、三つの方針、学修成果）

(1)教育理念

看護学科の教育は、優れた看護専門職業人の育成を目指している。看護専門職には、生命に対する深い畏敬の念とそれに基づく確かな看護観、教養ある社会人として豊かな人間性と良識を持って積極的に社会に貢献する姿勢が望まれる。また、科学技術や医療の著しい進展に対応しうる絶え間ない努力が求められている。すなわち、看護の学問的研究を推進する能力、新しい知識と技術に裏づけられた看護実践能力が求められる。

さらに本学は、高度医療機関であり、地域医療の中核的役割を担っている埼玉医科大学病院に併設しているため、学んだ成果を地域に還元することを自らの社会的役割として自覚できる人材を育成しなければならない。

以上の観点から、教育目的・目標を以下のように設定している。

(2)教育目的

看護専門職として、看護に関する専門的知識と技術の教育研究活動を通じ、生命に対する深い畏敬の念とそれに基づく確かな看護観を持ち、また、教養ある社会人として、豊かな人間性と良識をもって積極的に社会に貢献できる看護師を養成する。

(3)教育目標

①幅広く豊かな教養を身につけた社会人になる。

豊かな感受性と幅広い教養を身につけるだけでなく、科学的に問題を解決する能力を持つことや、倫理的判断能力があること、自らの社会的役割を認識して自主的に行動し、社会的責任を担う能力を持つことが含まれる。

②社会の変化に対応しつつ、生涯に亘って社会に貢献できる看護の専門職業人になる。

看護を実践するための専門的な知識や技術を修得することはもちろんのこと、社会における医療や看護の役割を認識し、その責任を果たす能力を身につけることが含まれる。また看護の専門職業人として研究的態度を培い、看護の発展に寄与するため生涯に亘って学習を継続していく姿勢を身につけることを意味する。

③看護の専門家として地域の医療水準の向上に貢献できる人となる。

本学の社会的役割は優秀な人材の育成によって、地域の医療水準の向上に貢献することである。この理念に沿って、地域の医療に関心と情熱を持って対処する姿勢と実践能力を身につけることを意味する。

(4)三つの方針

【ディプロマポリシー】

看護学科の課程を修め、授業科目区分ごとの所定の単位 105 単位以上の単位を修得したうえで、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」を身につけた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

〔学修成果〕

知識・技能	(1) 人間を総合的に理解できる。
	(2) 科学的な思考ができる。
思考力・判断力・表現力	(3) 専門的な知識・技術・態度を統合して看護実践できる。
主体性・協働性	(4) 高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる。
	(5) 看護者として自己成長できる。
	(6) 社会の変化に対応できる。
	(7) 保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる。

【カリキュラムポリシー】

学生が学修成果を修得できるように以下の教育内容と教育方法を取り入れた授業を実施し、学修成果の評価を行う。教育内容についてはカリキュラムマップに示し、順次性に配慮し体系的かつ効果的に教育課程を編成する。

①教育内容

- 3 年間で 105 単位以上を履修する。
- 学修成果を修得するための教育内容は、カリキュラムマップの通りである。
- 看護専門職の責任を自覚し、自ら学ぶ力を高めるために早期から臨地実習を設定する。

②教育方法

- 講義・演習は、学生の主体的な学びを促進するために、双方向型教育を実践する。
- 参加型授業形態の工夫として、グループワーク、プレゼンテーションを取り入れる。
- 臨地実習は、実践の機会を多く持てるように、指導教員および臨地実習指導者が連携する。
- シラバスに、卒業認定・学位授与の方針に基づく学習の到達目標、授業内容、評価方法、予習・復習の内容と学習時間の目安を具体的に記載する。
- 授業評価アンケートを実施し、授業内容や教授方法の改善、組織全体として授業が円滑に運営されているかを検証する。

③学修成果の評価

- 授業科目の到達目標に応じて到達基準を明確化し、その到達状況を適切に評価する。
- 授業科目の学修成果は、授業内容に応じて筆記試験、レポート、実技試験、学習態度などを総合して評価する。
- 学修成果はフィードバックを行い、学生が自身の学修成果と課題を把握できるようにする。
- GPA を用いてフィードバックを行い、学生が自身の学修成果を把握できるようにする。
- 毎年、アセスメントテスト、学修成果ルーブリック評価表（表 2）を用いた自己評価を実施し、学生・教員の双方が学修成果を確認する。

表2 看護学科 ディプロマポリシーに示す学修成果のルーブリック評価表

評価 観点	看護学科 学修成果	評価基準		
		Level I	Level II	Level III
知識・技能	1. 人間を総合的に理解できる	☐ 人間は身体的・精神的・社会的側面を統合した生活者であることを理解している	☐ 対象のさまざまな側面を統合し、生活者としてとらえている	☐ さまざまな立場から総合的に対象をとらえ、生活者を理解している
	2. 科学的な思考ができる	☐ 科学的根拠の基盤となる専門的な知識・技術の活用方法を理解している	☐ 科学的根拠の基盤となる専門的な知識・技術を活用し課題を見出している	☐ 科学的根拠の基盤となる専門的な知識・技術を活用し課題を解決している
思考力・判断力・表現力	3. 専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる	☐ 専門的知識・技術・態度を統合し対象の健康レベルに応じた看護を実践する方法を理解している	☐ 専門的知識・技術・態度を統合し対象の健康レベルに応じた看護を実践している	☐ 専門的知識・技術・態度を統合し対象の健康レベルと個別性に応じた看護を実践している
主体性・協働性	4. 高い倫理観をもち他者の尊厳と権利を擁護できる	☐ 看護者として倫理観をもって行動しようと努めている	☐ 看護者として倫理観をもって行動している	☐ あらゆる場面において常に倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護している
	5. 看護者として自己成長できる	☐ 自分の立場や役割を自覚し計画的に学習している	☐ 自分の課題を見出し成長する努力をしている	☐ 探求心をもって継続的に学習している
	6. 社会の変化に対応できる	☐ 社会の出来事に関心をもっている	☐ 社会の変化に関心をもち、看護師の役割を提案している	☐ 社会の変化を的確にとらえ、行動している
	7. 保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる	☐ 地域に貢献する必要性を理解している	☐ 保健医療福祉チームの一員として自分の役割を自覚し、行動している	☐ 保健医療福祉チームの一員として多職種（他者）と協働している

利用にあたって

- (1) 各科目の記載は、埼玉医科大学短期大学学則に準拠して

「科学的思考の基盤，人間と生活・社会の理解」「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復の促進」「健康支援と社会保障制度」「ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法」「看護の統合」の順序とした。

- (2) 記載内容は次のとおりである。単位認定に関わる事項も掲載されているので、学生便覧とあわせて熟読すること。

- ①授業科目区分・授業科目名
- ②担当教員名（担当教員が複数の場合は、科目責任者にアンダーライン）
- ③コースナンバー
- ④内訳（授業科目の種類によって、定期試験の受験資格が得られる出席時間が異なる）
- ⑤開講時期
- ⑥必修・選択の区分
- ⑦単位数・時間数
- ⑧概要・目的・到達目標
- ⑨卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）に示す学修成果との関連
- ⑩成績評価方法と成績評価基準
- ⑪日時・授業項目・内容
- ⑫履修者へのコメント（履修条件・履修に当たっての心構えと要望・出席確認など）
- ⑬準備学習の内容及び必要時間
- ⑭課題に対するフィードバック
- ⑮オフィスアワー
- ⑯教科書・参考書

- (3) シラバスの記載事項に関して、不明な点があれば科目責任者（担当教員）または学務課に問い合わせる。

目 次

1年次履修科目

No	科目名	科目責任者	実務経験	コースナンバー	該当頁
1	生涯発達論	大角地 久美子	○	1106	3
2	社会学	牧野 修也		1107	6
3	法学	植田 俊太郎		1108	10
4	教育学	矢島 伸男		1109	13
5	物理学の基礎	山本 雅義		1111	15
6	化学の基礎	土田 敦子		1112	18
7	ヒトの生物学	山崎 芳仁		1113	20
8	情報科学	有田 彰		1114	22
9	コミュニケーション英語Ⅰ	林 禪之		1115	25
10	社会人基礎Ⅰ（野外活動）	瀧山 文恵		1118	30
11	社会人基礎Ⅱ（ボランティア活動）	霜田 敏子	○	1119	33
12	人体の構造と機能Ⅰ	有田 彰		2101	36
13	人体の構造と機能Ⅱ	小島 龍平		2102	39
14	生化学	仁科 正実		2103	42
15	微生物学	町田 早苗		2104	44
16	栄養学	堀口 さやか		2105	47
17	薬理学	周防 諭		3101	49
18	病理学	安田 政実		3102	51
19	疾病治療論Ⅰ	脇本 直樹	○	3103	53
20	疾病治療論Ⅱ	脇本 直樹	○	3104	55
21	疾病治療論Ⅲ	脇本 直樹	○	3105	57
22	社会福祉	小林 明弘		4102	59
23	関係法規	小野寺 亘		4103	61
24	健康と運動	浅見 真一		4104	63
25	看護概論	蒲生 澄美子	○	5101	65
26	看護倫理	今野 葉月	○	5102	68
27	看護の方法Ⅰ（看護実践の基盤となる技術）	宮崎 素子	○	5103	70
28	看護の方法Ⅱ（日常生活行動への援助技術）	宮崎 素子	○	5104	75
29	看護の方法Ⅲ（看護過程の活用方法）	今野 葉月	○	5105	81
30	看護の方法Ⅳ（病理的状态に応じた日常生活行動への援助技術①）	榎本 佑美	○	5106	84
31	基礎看護実習Ⅰ（看護師の役割の理解）	今野 葉月	○	5109	88
32	地域・在宅看護概論	益田 育子	○	5111	90
33	地域・在宅看護Ⅰ（地域で暮らす生活者の看護）	海野 文子	○	5112	92
34	地域・在宅看護実習Ⅰ（地域で暮らす生活者の理解）	海野 文子	○	5115	94
35	成人看護概論	久保 かほる	○	5117	96
36	成人看護Ⅰ（慢性期看護）	久保 かほる	○	5118	98
37	老年看護概論	瀧山 文恵	○	5124	101
38	小児看護概論	霜田 敏子	○	5129	104
39	母性看護概論	大角地 久美子	○	5134	106
40	精神看護概論	勝久 淳	○	5138	109

2年次履修科目

No	科目名	科目責任者	実務経験	コースナンバー	該当頁
1	哲学	柳田 詩織		1101	113
2	心理学入門	佐藤 礼子		1102	115
3	現代社会と心理学	佐藤 礼子		1103	117
4	論理学の基礎	小沢 恵美子		1104	119
5	文学	芳賀 祥子		1105	121
6	統計学入門	山本 雅義		1110	123
7	コミュニケーション英語Ⅱ	林 禪之		1116	125
8	ドイツ語の基礎	マルクス フォン フライベルク		1117	129
9	健康スポーツ	森 史枝		1120	131
10	疾病治療論Ⅳ	脇本 直樹	○	3106	134
11	疾病治療論Ⅴ	脇本 直樹	○	3107	136
12	疾病治療論Ⅵ	秋岡 祐子	○	3108	138
13	疾病治療論Ⅶ	梅村 智樹	○	3109	140
14	公衆衛生学	高橋 美保子		4101	143

15	看護の方法Ⅴ(病理的状态に応じた日常生活行動への援助技術②)	清水 百子	○	5107	145
16	看護の方法Ⅵ(看護過程を活用した日常生活行動への援助の方法)	今野 葉月	○	5108	149
17	基礎看護実習Ⅱ(基本的欲求の状態に応じた日常生活行動への援助)	蒲生 澄美子	○	5110	152
18	地域・在宅看護Ⅱ(地域で生活する療養者と家族への看護)	益田 育子	○	5113	154
19	地域・在宅看護技術	海野 文子	○	5114	157
20	成人看護Ⅱ(周手術期看護)	秋山 千恵子	○	5119	160
21	成人看護Ⅲ(がん看護)	浅見 多紀子	○	5120	164
22	成人看護技術	鈴木 夕岐子	○	5121	167
23	老年看護(高齢者の心身機能の変化と生活機能を支える看護)	荒川 みひろ	○	5125	170
24	老年看護技術	瀧山 文恵	○	5126	174
25	小児看護(発達段階と健康レベルに応じた子どもと家族の看護)	霜田 敏子	○	5130	179
26	小児看護技術	北田 良子	○	5131	182
27	母性看護(周産期にある対象とその家族への看護)	大角地 久美子	○	5135	185
28	母性看護技術	石川 裕貴	○	5136	188
29	精神看護Ⅰ(精神症状に応じた看護)	渡邊 あゆみ	○	5139	191
30	精神看護Ⅱ(精神障害をもつ対象への看護)	勝久 淳	○	5140	193
31	看護管理	久保 かほる	○	6101	196
32	災害・救急看護	浅見 多紀子	○	6102	198
33	国際医療福祉事情	鈴木 夕岐子	○	6103	201
34	看護学セミナー [基礎看護]	蒲生 澄美子	○	6104	204
35	看護学セミナー [成人看護]	浅見 多紀子	○	6104	207
36	看護学セミナー [老年看護] [地域・在宅看護]	瀧山 文恵	○	6104	210
37	看護学セミナー [小児看護]	霜田 敏子	○	6104	214
38	看護学セミナー [母性看護]	大角地 久美子	○	6104	217
39	看護学セミナー [精神看護]	勝久 淳	○	6104	220

3年次履修科目

No	科目名	科目責任者	実務経験	コースナンバー	該当頁
1	地域・在宅看護実習Ⅱ(在宅療養者の看護)	海野 文子	○	5116	225
2	成人・老年看護実習Ⅰ(急性期看護)	秋山 千恵子	○	5122	227
3	成人・老年看護実習Ⅱ(慢性期もしくは終末期看護)	鈴木 夕岐子	○	5123	229
4	老年看護実習Ⅰ(入院を必要とする高齢者の看護)	荒川 みひろ	○	5127	232
5	老年看護実習Ⅱ(多様な場で生活する高齢者の看護)	瀧山 文恵	○	5128	234
6	小児看護実習Ⅰ(入院を必要とする子どもの看護)	北田 良子	○	5132	236
7	小児看護実習Ⅱ(地域で生活する子どもの看護)	北田 良子	○	5133	238
8	母性看護実習	石川 裕貴	○	5137	240
9	精神看護実習	渡邊 あゆみ	○	5141	242
10	看護技術の統合	蒲生 澄美子	○	6105	244
11	看護研究	浅見 多紀子	○	6106	246
12	統合実習	秋山 千恵子	○	6107	248

2024 年度
1 年 次 履 修 科 目

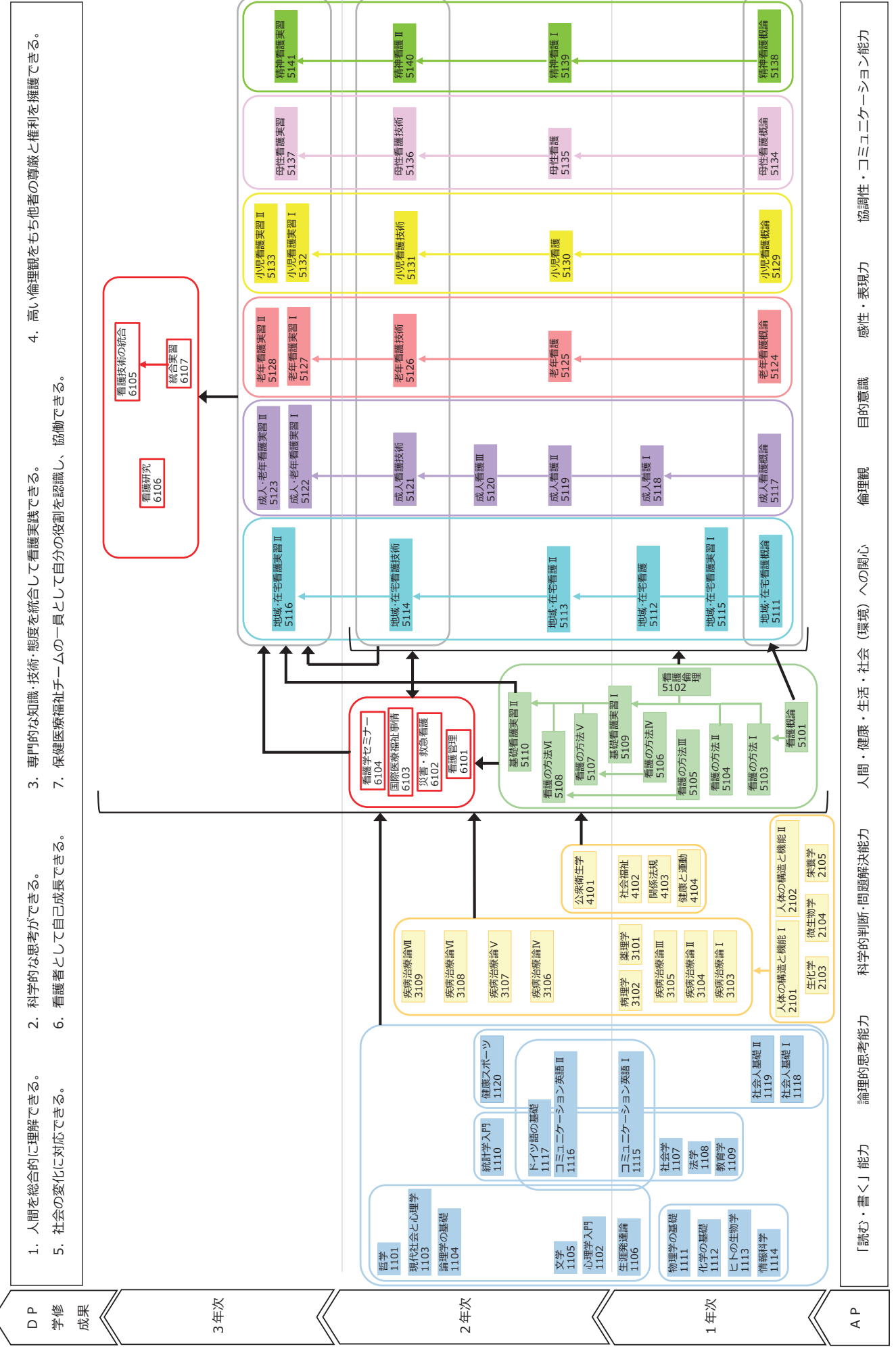
履修にあたっての一般事項

- (1) 本学で履修する科目は、科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解、人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法、看護の統合に大別されます。
また、科目は必修科目および選択科目の二つのカテゴリーがあります。科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解は、人間の理解、生活・社会の理解、自然科学の理解、国際交流の基礎、感性と創造の5分野に分けられます。
- (2) 学生は、科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解、人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法、看護の統合の規定の単位を修得しなければなりません。
- (3) 学生は学期初めに行われるオリエンテーションを確認し、その上で所定の履修科目について履修届（履修登録カード）を提出しなければなりません。
- (4) このカリキュラムは令和4年度入学生より適用します。

表2. 卒業要件及び国家試験受験資格

授 業 科 目 の 区 分		履修単位	
科学的思考の基盤、 人間と生活・社会の理解	人間の理解	3 単位	16単位以上
	生活・社会の理解	2 単位	
	自然科学の理解	2 単位	
	国際交流の基礎	4 単位	
	感性と創造	2 単位	
	人間の理解、生活・社会の理解、自然科学の理解、国際交流の基礎、感性と創造の中から選択	3 単位以上	
小 計		16単位以上	
人体の構造と機能		7単位	
疾病の成り立ちと回復の促進		9単位	
健康支援と社会保障制度		6単位	
小 計		22単位	
ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法	基礎看護学	14単位 (3)	67単位以上
	地域・在宅看護学	9単位 (3)	
	成人看護学	12単位 (6)	
	老年看護学	7単位 (3)	
	小児看護学	6単位 (2)	
	母性看護学	6単位 (2)	
	精神看護学	6単位 (2)	
看護の統合		7 単位以上 (2)	
小 計		67単位以上(23)	
合 計		105単位以上	

カリキュラムマップ



授業科目の区分		人間の理解				R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	
生涯発達論	1106	講義	1 年前期	必修	1／15	
概要：主な発達理論を活用し,ライフサイクルにおける胎児期、乳幼児期、学童期、思春期、青年期、成人期、老年期の特徴と人間は身体的・心理的・社会的側面からなる統合体であり、一生発達し続ける存在であることを学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認してください。					担当教員	
					大角地 久美子	
目的：人間を身体的・心理的・社会的側面からなる統合体（全体）として捉え、一生発達し続ける存在として理解する。						
到達目標：1. 発達理論（エリクソン・ハヴィガースト・ピアジェ・ボウルビイ）を生涯発達の観点から説明できる。 2. 人間のライフサイクル（胎児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期、青年期、成人期、老年期）における各期の形態・機能的側面、心理・社会的側面の発達について説明できる。						
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連						
☒ ①人間を総合的に理解できる ☐ ②科学的な思考ができる ☐ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						
成績評価方法：1. レポート（10%） 2. 小テスト（10%） 3. 学習態度（30%） 4. 定期試験（筆記試験）（50%） 成績評価基準：レポート、学習態度は別紙評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、小テスト、定期試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者	
1	4/9（火） 1 限	合同	人間の発達	1. 人間の発達 2. 生涯発達論の意義 3. 人間の発達における共通性 4. 発達に影響を及ぼす因子 教科書(1) p 4～19	大角地	
2	4/16（火） 1 限	合同	発達理論①	1. エリクソンの自我発達理論の特徴 2. ハヴィガーストの発達理論の特徴 3. ピアジェの認知理論の特徴 4. ボウルビイの愛着理論の特徴 ○ディスカッション 教科書(1) p 30～43, p 49～57	大角地	
3	4/23（火） 1 限	合同	発達理論②	1. エリクソンの自我発達理論の特徴 2. ハヴィガーストの発達理論の特徴 3. ピアジェの認知理論の特徴 4. ボウルビイの愛着理論の特徴 ○ディスカッション ●レポート（提出期限 5/7（火）9：00） 教科書(1) p 30～43, p 49～57	大角地	
4	4/30（火） 1 限	合同	人間のライフサイクル① 胎児期 新生児期	●小テスト（第1～3回の内容） 1. 人間のライフサイクルにおける特徴 1) 胎児期の形態・機能的側面、心理的側面の発達 2) 新生児期の形態・機能的側面、心理的側面の発達 ●学習態度（WebClass 事前事後学習） 教科書(1) p 62～79	大角地	

5	5/7 (火) 1 限	合同	人間のライフ サイクル② 乳児期 幼児期	1. 人間のライフサイクルにおける特徴 1) 乳児期の形態・機能的側面、心理・社会的側面の発達 2) 幼児期の形態・機能的側面、心理・社会的側面の発達 ●学習態度 (WebClass 事前事後学習) 教科書(1) p 82～114	大角地
6	5/14 (火) 1 限	合同	人間のライフ サイクル③ 学童期 思春期	1. 人間のライフサイクルにおける特徴 1) 学童期の形態・機能的側面、心理・社会的側面の発達 2) 学童期の発達課題 3) 思春期の形態的・機能的側面、心理・社会的側面の発達 4) 思春期の発達課題 ●学習態度 (WebClass 事前事後学習) 教科書(1) p 116～139, p 142～170	大角地
7	5/21 (火) 1 限	合同	人間のライフ サイクル④ 青年期 成人期	1. 人間のライフサイクルにおける特徴 1) 青年期の形態・機能的側面、心理・社会的側面の発達 2) 青年期の発達課題 3) 成人期の形態・機能的側面、心理・社会的側面の発達 4) 成人期の発達課題 ●学習態度 (WebClass 事前事後学習) 教科書(1) p 172～197, p 200～225	大角地
8	5/28 (火) 1 限	合同	人間のライフ サイクル⑤ 老年期	1. 人間のライフサイクルにおける特徴 1) 老年期の形態・機能的側面、心理・社会的側面の発達 2) 老年期の発達課題 ●学習態度 (WebClass 事前事後学習) 教科書(1) p 228～266	大角地
履修者へのコメント 1. 履修条件：特になし 2. 履修にあたっての心構えと要望（第1回授業時に詳細を追加説明します） 1) 人間を理解するための視点として、人間のライフサイクルの各期の特徴を学ぶ科目です。同年代だけではなく、乳幼児（子ども）から高齢者（お年寄り）まで幅広い年齢の方とのかかわりを持つようにしてください。 2) 講義に関する連絡は、Web Class または掲示をもって行うため、必ず確認してください。 3) 講義に関する質問は、授業時間内に積極的にしてください。 3. 出席確認：リフレクションシートで行います。 4. その他 1) WebClass 操作時に通信トラブル等が発生した場合は、学務課もしくは科目担当者へWebClass メッセージで連絡してください。 2) 実務経験（看護師）のある教員による授業科目です。					
準備学習の内容及び必要時間 Web Class に毎回、単元の資料PowerPoint をアップしますので、活用してください。 予習 30 分以上：WebClass 事前学習を実施し、授業の内容を踏まえて教科書からポイントを整理して下さい。 復習 30 分以上：WebClass 事後学習を実施し、授業内容を振り返り、学習の要点をまとめて下さい。					
課題に対するフィードバック 1. 授業内の小テストの解説は授業内で行います。 2. 定期試験は、試験終了後に期間を設けて個別に実施します。					
オフィスアワー：授業時間以外の質問は、月曜日から金曜日 9 時～17 時の間に研究室 15 大角地が対応します。					

教科書

(1) 舟島なをみ・望月美知代著『看護のための人間発達学 第5版』（医学書院）2020.

参考書

(1) 服部祥子『生涯人間発達論 第2版』（医学書院）2010.

(2) 上田礼子『生涯人間発達学 改訂第2増補版』（三輪書店）2012.

その他、自主的に求める。

授業科目の区分	生活・社会の理解				R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
社会学	1107	講義	1年後期	選択	1／30
概 要：人間が社会的な存在であること、そして、人と人の関係は相互作用的であり、その結果、人との関係は「意図せざる結果」を生み出すことが少ないことを理解する。そのことは、個人と個人の関係、個人と集団との関係、集団と集団との関係によって規定される側面、地域性や時代によって規定されることを、理論と事例から把握し、看護実践を行う上で、社会や他者を理解することの意味と重要性を考えていく。また、そのことを通じて、文化の多様性と創造性を把握できるようにする。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
					<u>牧野修也</u>
目 的：現代社会において、「生きづらさ」が、多くの人びとが生活実感として抱いている。この「生きづらさ」は個人的問題であると同時に、社会的問題でもある。本来、社会とは、人と人の信頼をベースとする「繋がり」＝社会的連帯によって作り上げていくものである。しかしながら、現代社会においては「繋がり」や「絆」が注目され求められているにも関わらず、人々の間には不信と不審が生じ、社会的連帯とは正反対の社会的断絶が生じていると見ることができる。しかも、それらは、社会の各層で人と人の間に亀裂と分断を生み出している状況である。 本講義では、こうした認識に基づいて、日常生活が時代や地域性によって規定されたものであると同時に変わりうるものであるという矛盾する2つの性格を持つものであることと時代や地域などの多様性を有すものであることを理解する。また、そのことが、社会的苦悩を個々人に与えていることを理解する。それに加えて、個々の優れた実践事例が成功する社会的要因を理解する。 また、グローバリゼーションやネット社会化、科学技術の革新が進んでいく中で、これまでとは異なる社会的状況も生じていることは否定できない。そのことも含めて考えていきたい。					
到達目標： 1. 人間が社会的な存在であることを理解する。 2. 家族と地域社会の変容過程とその将来像を理解する。 3. 家族と地域社会の中に働くメカニズムを理解する。 4. 自らの社会観を問い直し、新しい社会関係を作ることとは何かを理解する。 5. 信頼・安全・安心を社会的に構築するために必要なことを、自身の言葉で表現できる。 6. 集団と組織の社会的意義と現代的課題を理解する。 7. グローバリゼーションやネット社会化によるライフスタイルの変化を説明することができる。 8. バイオテクノロジーを始めとする科学技術の進歩が、我々の生活にいかなる影響を与えたのかを、科学的かつ論理的に説明できる。					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☒③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☒⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法： 1. コメントシート40％（4回×10点） 講義の区切りが良いところで実施します。 2. 定期試験60％（筆記記述試験）					
成績評価基準： 1. コメントシート ① 講義内容をふまえて記述している。					

2. 定期試験 ① 講義およびテキストや資料で提示した知識を正確に記述している ② 知識を自分の言葉で表現している。(テキストや資料の丸写しおよびそれに類するものの評価は低い) ③ 自身で見つけた事例に引きつけて記述している。 ④ 論理的な文章で記述している。 ⑤ 正確な表記で記述している。 上記評価基準に基づいて評価し、コメントシートと定期試験の総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/24(火) 1 限目	合同	社会とは何か 社会学の対象	① 社会という概念の成立 ② 社会学の有する視点 予習：テキスト序論を読む	牧野
2	10/1(火) 1 限目	合同	権利と社会秩序	① 人権とは何か？ ② 社会の秩序とは、どのように成り立っているのか？ 予習：人権とはどのような概念であるかを、歴史的に調べる	牧野
3	10/8(火) 1 限目	合同	自我形成とアイデンティティ	①身体性と社会性 ②自我形成 ③アイデンティティ形成 予習：「社会化」に関するテキスト7章の記述をまとめる	牧野
4	10/15(火) 1 限目	合同	インターネット 社会とアイデンティティ	①現代人のアイデンティティの特徴 ②インターネット空間の特質 予習：テキスト3章のネット社会の特徴をまとめる	牧野
5	10/22(火) 1 限目	合同	社会的排除	①社会的排除とは何か ②古典的排除と現代的排除 ③「数量化」思考の光と影 予習：テキスト2章の「数量化」に関する議論、テキスト6章の社会的排除の議論をまとめる	牧野
6	10/29(火) 1 限目	合同	集団と組織	①集団とは何か ②組織とは何か ③権力と支配 予習：テキスト3章・4章の集団に関する議論をまとめる	牧野
7	11/5(火) 1 限目	合同	官僚制	①官僚制原理 ②マクドナルド化 ③感情労働 予習：日常生活におけるマニュアル化がどのようにあるかを考える。	牧野
8	11/12(火) 1 限目	合同	感情労働とメンタルヘルス	①感情労働 ②自己実現と摩耗 予習：マクドナルド化と感情労働が、個人のメンタルに与える影響を実例を通じて考える。	牧野
9	11/19(火) 1 限目	合同	家族の定義と機能	①家族定義 ②多様な家族モデル ③家族機能 予習：テキスト6章と7章の家族に関する議論をまとめる	牧野
10	11/26(火) 1 限目	合同	科学技術の発展と家族	①バイオテクノロジーの発達 ②優生学 ③死とは何か？ 予習：1章と7章の関連事項をまとめる	牧野

11	12/3(火) 1 限目	合同	家と近代家族	①家制度 ②近代家族 ③動物と人間の関係 予習：家、近代家族、ペットについて、テキストを読みまとめる	牧野
12	12/10(火) 1 限目	合同	グローバリゼーション	①グローバリゼーションとは何か? ②国境を越える生き方 ③日本における多文化化 予習：日本社会における日本以外にルーツを持つ人の生き方を調べる	牧野
13	1/7(火) 1 限目	合同	都市と農村	①農村社会と都市社会の原型 ②向都離村現象 ③過疎化と地域社会の限界化 予習：テキスト4章を読みまとめる	牧野
14	1/14(火) 1 限目	合同	都市社会の変動	①都市社会の変化 ②都市社会の現代的状況 予習：都市社会の現代的問題を調べる	牧野
15	1/21(火) 1 限目	合同	社会的不平等	①社会的不平等 ②文化資本・経済資本・社会関係資本 ③恋愛と結婚 予習：少子化の要因を調べる。	牧野

履修者へのコメント：

1. 履修条件：履修条件はありません

2. 履修にあたっての心構えと要望

- 1) 日常生活の中で、新聞・雑誌などの印刷媒体およびニュース・ドキュメンタリー・映画などの映像媒体を通じて、家族や地域社会のリアルタイムな話題に関心を持って欲しい。また、テーマに関連する文献も積極的に目を通してほしい。
- 2) 講義で指示された教科書の該当箇所は、必ず読んで下さい。また、それぞれの回の講義は相互に繋がっているものであるから、全体の論理的連関を総合的に考えて試験に臨んで欲しい。
- 3) 自分が親しい馴染んだ人びとや空間だけではなく、さまざまな人や場所の息づかいを、日常生活の中で観察して欲しい。

3. 出席確認：出席カード、コメントシートとは別です。

4. その他

- 1) 試験はプリントやテキストを丸写しもしくはそれに類すると判断できるものは評価対象としない。自分で考えたことを、自分の言葉で書いたものだけを評価対象とする。
- 2) 解答は1つとは限らず、社会が多層的かつ多層的であるとともに、「正しさ」そのものが相対的なものであることを理解してほしい。

準備学習の内容及び必要時間：

予習 30 分以上：シラバスに従い、次回授業までに該当部分についてテキスト、インターネット等で記事などを読み資料の下調べをして整理しておく。

復習 30 分以上：各回の授業で配付する資料、テキストを整理すること。コメントシートを記入し、指定された方法で提出すること

課題に対するフィードバック：

コメントシートについては、全体の理解に資するものについては、授業時間内に匿名の形でコメントする。

オフィスアワー：

講義の前後の教室にて、もしくは、メールにて、ただし、メールの場合、則時の反応は難しいので、時間に余裕を持って下さい。メールアドレス：shuya.makino@gmail.com

教科書：春日・楠・牧野編『<社会のセキュリティ>を生きる―「安全」「安心」と「幸福」との関係』学文社 2017

参考書：菅野仁『友だち幻想―人と人の“つながり”を考える』ちくまプリマー新書 2008

土井隆義『友だち地獄―「空気を読む」世代のサバイバル』ちくま新書 2008

筒井・前田『社会学入門―社会とのかかわり方』有斐閣 2017

西野・米村編著『よくわかる家族社会学』ミネルヴァ書房 2019

宇都宮・西澤編著『よくわかる社会学第3版』ミネルヴァ書房 2020

授業科目の区分		生活・社会の理解			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
法学	1108	講義	1年後期	選択	2/30
概 要： はじめに、法学に共通する基本的な考え方を概説した上で、日本国憲法、民法、刑法の主要三法を中心に、関連する身近な時事的トピックも紹介しつつ、それぞれの法が私たちの日常生活にどのように関係しているのかという視点で解説を行います。あわせて、終盤には、それまでに学んだ主要三法の知識を活用し、「医療と法」という重要なテーマにも取り組むことになります。 また、講義では、ひとつの問題について「通説的な見解」のみならず、その他の多様な考え方も紹介することで、受講生がより深く多面的な理解・考察方法に親しみ、自らもものごとを批判的に考えられるよう工夫します。 なお、シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員 植田 俊太郎
目 的： 法学に関する基本的な考え方と知識を一通り身につけるとともに、「法の世界」の「身近さ」、「面白さ」、そして「奥深さ」を感じ取れるようになる。					
到達目標： 1. 法の基本的なしくみと考え方を理解し説明できる。 2. 主要三法の基本的事項を理解し説明できる。 3. 医療と法に関する諸問題について関心を持ち、考察できる。 4. 日ごろのニュース（特に法律、政治、社会問題について）を積極的に把握し、それらを法的な視点で考察できる。 5. 「法の世界」について興味・関心を持ち、さらに自分で何らかのテーマを見つけ調べてみようとする意欲を持つことができる。					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☐②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法： 定期試験（筆記試験）（85％） 学習態度（15％） 成績評価基準： 学習態度は学生に明示した評価基準に基づいて行い、筆記試験との総合点を GPA 実施規則に則り算定、評価します。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/30(月) 2時限目	合同	ガイダンス・法とは何か	1. 半期間の講義の進め方、評価方法、試験について 2. 法律の学び方、基本的な考え方	植田
2	10/7(月) 2時限目	合同	法のしくみ①	1. 法と道徳、成文法と不文法、法の体系、公法と私法等	植田
3	10/21(月) 2時限目	合同	法のしくみ②	1. 法の機能、法の解釈、法の効力関係等	植田
4	10/28(月) 2時限目	合同	日本国憲法の基礎知識①	1. 近現代立憲主義の誕生と展開、日本国憲法制定史、日本国憲法の基本原則 2. 自由権（精神的自由、経済的自由、人身の自由）	植田

5	11/11(月) 2時限目	合同	日本国憲法の基礎知識②	1. 社会権（生存権、労働基本権等）、参政権、新しい人権等	植田
6	11/18(月) 2時限目	合同	日本国憲法の基礎知識③	1. 日本国憲法と平和主義等	植田
7	11/25(月) 2時限目	合同	民法の基礎知識①	1. 民法の構成と基本的な考え方	植田
8	12/2(月) 2時限目	合同	民法の基礎知識②	1. 日常生活における契約と法に関する基本的な考え方 2. 制限行為能力者制度	植田
9	12/9(月) 2時限目	合同	民法の基礎知識③	1. 家族と法に関する基本的な考え方	植田
10	12/23(月) 2時限目	合同	民法の基礎知識④	1. 民法以外で、日常生活において必要な、労働と法、企業と法等に関する基本的な考え方	植田
11	1/6(月) 2時限目	合同	刑法の基礎知識①	1. 刑事法の基本的な考え方、犯罪とは何か、犯罪の成立プロセス、犯罪の種類等	植田
12	1/20(月) 2時限目	合同	刑法の基礎知識②	1. 裁判のシステムとルール 2. 裁判員制度の特色・概要	植田
13	1/27(月) 2時限目	合同	刑法の基礎知識③	1. 少年犯罪と法	植田
14	1/28(火) 2時限目	合同	医療と法①	1. 医療事故と法的責任 2. 終末期医療と法	植田
15	1/29(水) 2時限目	合同	医療と法②	1. 臓器移植法 2. 法律における「死」の概念と脳死判定等	植田

履修者へのコメント：

1. 履修条件

「法の世界」に関心を持つ初学者を対象とします。

2. 履修にあたっての心構えと要望

①講義で使用した資料以外にも、図書館等を活用するなど、主体的に学習内容の理解を深めてください。

②日ごろのニュース（特に法律、政治、社会問題に関する報道）は積極的に把握するよう心掛けてください。

③各回講義後には、リアクションペーパーを回収します。講義で学んだことや感想・疑問点などを記載して提出してください。次回講義冒頭で氏名等の個人情報を伏せたうえでコメントします。

3. 出席確認方法

出席確認は各回出席カードで確認します。

4. その他

講義に関する連絡は、講義内及び掲示によって行います。

準備学習の内容及び必要時間：

予習 30 分以上：次回授業までに配布した資料等を読み、わからない言葉を調べておくこと。

復習 30 分以上：配付した資料をもとに、授業で扱った内容を確認しておくこと。

課題に対するフィードバック：

各回の授業で提出するリアクションペーパーは授業内でフィードバックします。

定期試験の結果は、採点後にフィードバックを行います。

オフィスアワー：

講義の内容に関する質問は、毎回、講義終了後に受け付けるので、遠慮なく質問してください。

教科書：
教科書は指定しない。
資料等を配布する。
参考書：
金津 謙 他著『法律学への案内』第2版（八千代出版、2021年）
ハンス・ケルゼン（長尾龍一、植田俊太郎訳）『民主主義の本質と価値 他一篇』（岩波文庫、2015年）

授業科目の区分		生活・社会の理解			R6（2024）年度				
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間				
教育学	1109	講義	1年前期	選択	2／30				
概要： ①学校教育および家庭教育におけるコミュニケーションと笑いの関係性を理解する。 ②コミュニケーションにおける笑いの効果と危険性の両面を検討する。 ③笑いの手法を取り入れつつ、心理的安全性の醸成を目的とした、人を笑顔にするコミュニケーション・表現方法を実践し、振り返る。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的：日本および西洋の教育思想史を概観し、それらが人の笑い（笑わせ方・笑い方）にどのような影響を与えたかを理解する。その知見を活かして、笑いの仕組みや分類を学び、看護現場で応用できるような「自分らしい笑い表現」を考察する。 到達目標：①教育学における笑いの効果と危険性を理解できる。 ②看護実践の場で活用できそうな笑い表現や人を笑顔にする工夫などを考案できる。 ③日本の家庭および医療現場での笑いの現状と課題について説明できる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☐②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☒⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：1. コメントシート（15%） 2. 授業内演習の評価（15%） 3. 定期試験（筆記試験）（70%） 成績評価基準：1. 2. は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、定期試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					担当教員				
					矢島 伸男				
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者				
1	4/10（水） 2 限	合同	教育とは何か 教育における笑いの意義	1. 「教育」という言葉の意味 2. 教えること、学ぶことの本質	矢島				
2	4/17（水） 2 限	合同	教育と笑い(1) 教育哲学・思想	1. 笑いと言語の関わり 2. その捉え方の変遷	矢島				
3	4/24（水） 2 限	合同	教育と笑い(2) 文化比較	1. 教育および社会の文化比較 2. 日本とその他の国々の笑いの共通点・相違点	矢島				
4	5/1（水） 2 限	合同	発達と笑い	1. 人間の発達段階や加齢に応じた笑いの捉え方（志向性）	矢島				
5	5/8（水） 2 限	合同	学校教育と笑い 家庭教育と笑い	1. 学校教育・家庭教育における笑い、その可能性と課題	矢島				
6	5/15（水） 2 限	合同	笑いと言語 笑いと言語	1. 笑いと言語の関わり、 2. 人間の心のケアと言語の関わり	矢島				
7	5/22（水） 2 限	合同	ユーモア・スキル(1)	1. 「ユーモア・スキル」の位置づけと概要 ワークショップ形式 「ユーモア・スキル」第1領域の「表現力」	矢島				
8	5/29（水） 2 限	合同	ユーモア・スキル(2)	1. 「ユーモア・スキル」の概要 ワークショップ形式 「ユーモア・スキル」第2領域の「創造的思考力」	矢島				

9	6/5 (水) 2 限	合同	ユーモア・スキル(3)	1. 「ユーモア・スキル」の概要 ワークショップ形式 「ユーモア・スキル」第3領域の「コーピング力」	矢島
10	6/12 (水) 2 限	合同	ユーモア・スキル(4)	1. 「ユーモア・スキル」の概要 ワークショップ形式 「ユーモア・スキル」第4領域の「論理構成力」	矢島
11	6/19 (水) 2 限	合同	ユーモア・スキル(5)	演習準備(1)	矢島
12	7/3 (水) 2 限	合同	ユーモア・スキル(6)	演習準備(2)	矢島
13	7/10 (水) 2 限	合同	ユーモア・スキル(7)	総合演習(1)	矢島
14	7/17 (水) 2 限	合同	ユーモア・スキル(8)	総合演習(2)	矢島
15	7/24 (水) 2 限	合同	ユーモア・スキル(9)	総合演習(3)	矢島
履修者へのコメント： - 履修条件はありません。 - 履修にあたっての心構えと要望（第1回授業時に詳細を追加説明する） - 看護の現場でも実践可能な笑いあるコミュニケーション方法を、教育学の観点から学んでいきたいと思います。 - 学生の皆様が、普段取られているコミュニケーションについて授業内で共有しつつ、ディスカッション、グループワーク、グループ発表などを行う予定です。 - 出席確認:出席確認は各回出席カードで確認します。 - その他 - 講義に関する連絡は、掲示にて行います。 - グループワークで使用しますので、個人のニックネーム（呼ばれたい愛称）を考えておいてください。 - 評価の詳細およびフィードバック方法は、第1回授業時に説明します。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：毎回の授業時に、次回の授業範囲（テキストのページ）と配布プリントを提示しますので、事前に目を通しておいてください。 復習 30 分以上：授業内容やグループワークを振り返り、演習のメンバーと意見交換を行ってください。					
課題に対するフィードバック： 提出された演習は、採点・添削後、授業内外において返却・解説を行います。					
オフィスアワー： 授業終了後、教室にて質問を受け付けます。授業内で記入するコメントシートもご活用ください。					
教科書： 矢島伸男 著「イラスト版 子どものユーモア・スキル」（合同出版）					
参考書： 適宜、授業内で紹介します。					

授業科目の区分		自然科学の理解			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
物理学の基礎	1111	講義	1年後期	選択	2／30
概要：物理学は原子よりはるかに小さな世界から宇宙のように大きな世界までの広範囲の現象をできるだけ統一的に理解しようとする基礎的な学問である。例えば、物が下に落ちるといふ現象と惑星の運動はどちらも、ニュートンの発見した万有引力の法則によって説明できる。さらに、物理法則は物だけでなく、人間の身体の理解にも役立つ。例えば、てこの原理は関節や筋肉の働きや、体位変換などの看護技術にも応用されている。その他、検査でよく用いられる超音波や放射線など、看護・医療に物理学を応用できる例はたくさんある。そして、看護・医療の背後にある物理法則を理解し、論理的思考能力を身につけることは、自ら技術を向上させるのに役立つはずである。本講義では物理学の基礎および看護・医療への応用について学ぶ。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的：物理学の考え方を理解する。基礎的な物理法則を簡単な計算などにより理解し、それらが実際に看護や医療においてどのように応用されるかを、様々な例から学ぶ。 到達目標： 1. 代表的な物理量と単位について理解する。 2. 代表的な物理法則を理解し、それらを用いた計算ができる。 3. 物理学がどのように看護・医療に応用されているかを理解する。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☐⑤看護者として自己成長できる ☐⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：1. 期末課題レポート 60%、2. 中間課題レポート 40% 成績評価基準：レポートは答えを導き出す過程も重視して採点し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					担当教員
					山本 雅義
回	月/日 (曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/24(火) 3時限目	合同	力	1. ボディメカニクス 2. 力の合成と分解（教科書第1章） 3. 力のつりあい（第1章）	山本
2	10/1(火) 3時限目	合同	看護における力	1. 力の合成・分解の看護への応用（第1章） 2. 力のつりあいの看護への応用（第1章）	山本
3	10/8(火) 3時限目	合同	質量と重さ	1. 速度と加速度 2. ニュートンの運動の法則（第2章） 3. 万有引力の法則 4. 重力（重さ）（第2章）	山本
4	10/15(火) 3時限目	合同	トルク（力のモーメント）	1. 物体の回転とトルク（第3章） 2. トルクのつりあいとてこの原理（第3章） 3. 身体におけるてこの原理（第3章） 4. てこの原理の看護への応用（第3章）	山本

5	10/22(火) 3時限目	合同	仕事とエネルギー 安定と不安定	1. 仕事と仕事率 (第4章) 2. 運動エネルギーと位置エネルギー 3. 力学的エネルギー保存の法則 4. 重心 (第5章) 5. 重心線・支持基底面と安定の条件 (第5章)	山本
6	10/29(火) 3時限目	合同	撃力 摩擦	1. 運動量と撃力 (第6章) 2. 作用・反作用の法則 (第8章) 3. 摩擦力と摩擦係数 (第10章)	山本
7	11/5(火) 3時限目	合同	力学の人体への応用	1. 体位変換 (第9章) 2. 脊柱に作用する力 (第9章) 3. 脚に作用する力 (第9章) 中間課題レポート	山本
8	11/12(火) 3時限目	合同	熱と温度	1. 温度 (第11章) 2. 熱、比熱 (第11章) 3. 融解熱と気化熱 (第12章)	山本
9	11/19(火) 3時限目	合同	熱発生と熱喪失	1. エネルギー代謝 (第13章) 2. 熱伝導、対流、放射 (第13章) 3. 身体が失う熱の計算 (第13章)	山本
10	11/26(火) 3時限目	合同	圧力	1. 圧力の単位 (第16、17、18章) 2. 静水圧 (第16、17、18章) 3. 浮力 (第25章)	山本
11	12/3(火) 3時限目	合同	流体の運動	1. 連続の方程式 (第19章) 2. ベルヌーイの定理の応用 (第19章)	山本
12	12/10(火) 3時限目	合同	看護における流体	1. 血圧 (第20章) 2. サイフォン (第15章) 3. 低圧持続吸引装置 (第21章) 4. 粘性流体 (第24章) 5. 気体に関する法則 (第22章)	山本
13	1/7(火) 3時限目	合同	音波	1. 波の性質 (第35章) 2. 固有振動と共鳴 (第35章) 3. ドップラー効果 (第36章) 4. 超音波の医療への応用 (第36章)	山本
14	1/14(火) 3時限目	合同	電気と磁気	1. 電場、電位、電流 (第14章) 2. 電力と電力量 (第14章) 3. 磁場、電磁誘導 4. 電磁波	山本
15	1/21(火) 3時限目	合同	放射線	1. 原子核 (第34章) 2. 放射線の種類・性質・作用 (第34章) 3. 放射性崩壊 (第34章) 4. 放射線量の単位 (第34章) 期末課題レポート	山本

履修者へのコメント

- 履修条件はありません。
- 履修にあたっての心構えと要望：
 - (1) 毎回、演習問題を出します。
 - (2) 計算問題は必ず自分で計算してみてください。
 - (3) 演習問題の解答は授業内で解説します。
- 毎回授業開始時に出席確認を行います。
- その他：
 - (1) 講義に関する連絡は掲示にて行います。
 - (2) 質問は講義中に遠慮せずに行ってください。講義後の質問も歓迎します。
 - (3) 評価の詳細およびフィードバック方法は、第1回授業時に説明します。

準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：教科書の該当部分を読んでおいてください。 復習 30 分以上：教科書、ノートや配布資料を復習し、疑問点を整理して質問してください。
課題に対するフィードバック： 試験・レポート結果については採点・添削後、フィードバックを行います。
オフィスアワー： 授業終了後の教室で質問を受け付けます。
教科書：平田雅子 著『ベッドサイドを科学する－看護に生かす物理学－』（学研）2009 年
参考書：原康夫 著『増補版 物理学入門』（学術図書出版社）2015 年

授業科目の区分		自然科学の理解			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
化学の基礎	1112	講義	1年後期	選択	2/30
概 要：化学が関与する領域は幅広い。身の回りの事象を科学的根拠に基づいて判断するためには化学の基礎知識が重要である。看護に関わりの深い分野を中心に，高校において化学を未履修の者でも理解できるよう定性的に化学を学ぶ。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し，当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的：医療に関する専門知識を学ぶための基礎となる化学の知識を修得する。 到達目標：1. 自然界に存在する物質に対する基本的な知識を身につける。 2. 物質の濃度に関する基本的な計算手法を身につける。 3. 生体を構成する物質を理解し，性質に関する基礎知識を身につける。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☐⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：定期試験（筆記）70 %， 課題（毎回）30 % 成績評価基準：課題は課題毎に評価基準を明示し，その評価基準に基づいて評価し，定期試験との総合点をGPA 実施規則に則り評価する。					担当教員
					土田 敦子
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/24 (火) 3時限目	合同	原子のすがた	1. オリエンテーション（なぜ化学を学ぶのか・有効数字の取り扱い） 2. 原子の構造 3. 原子核と同位体	土田
2	10/1 (火) 3時限目	合同	原子の電子構造	1. 電子配置と配置の規則 2. 原子の安定性と価電子	土田
3	10/8 (火) 3時限目	合同	放射線と放射能	1. 原子核の反応 2. 放射線の性質 3. 放射線の人体への影響	土田
4	10/15 (火) 3時限目	合同	周期表と元素	1. 周期表の構成 2. イオン化エネルギー 3. 電子親和力 4. 電気陰性度	土田
5	10/22 (火) 3時限目	合同	化学結合 1	1. イオン結合の定義と特徴 2. 共有結合の定義と特徴 3. 結合の極性	土田
6	10/29 (火) 3時限目	合同	化学結合 2	1. 水素結合の定義と特徴 2. ファンデルワールス力の定義と特徴	土田

7	11/5 (火) 3時限目	合同	物質の量 1	1. 原子量、分子量、式量 2. 物質量 (モル)	土田
8	11/12 (火) 3時限目	合同	物質の量 2	1. モル濃度 2. オスモル濃度	土田
9	11/19 (火) 3時限目	合同	物質の量 3	1. パーセント濃度 2. 百万分率 3. 溶液の調整 (希釈の式)	土田
10	11/26 (火) 3時限目	合同	溶液の化学	1. 電解質と非電解質の溶解 2. 浸透圧	土田
11	12/3 (火) 3時限目	合同	酸と塩基	1. 化学反応と反応式 2. 酸と塩基の定義 3. 水素イオン濃度 (pH) 4. 人体の pH 調節	土田
12	12/10 (火) 3時限目	合同	酸化と還元	1. 酸化・還元 の定義 2. 酸化数の決定	土田
13	1/7 (火) 3時限目	合同	生命の化学 1	1. 有機化合物の結合 2. 炭化水素の種類	土田
14	1/14 (火) 3時限目	合同	生命の化学 2	1. 置換基の種類 2. 有機化合物の種類と性質	土田
15	1/21 (火) 3時限目	合同	生命の化学 3	1. タンパク質とアミノ酸 2. 糖類 3. 脂質	土田

履修者へのコメント：

1. 履修条件：化学的知識の有無は問わない。

2. 履修にあたっての心構えと要望

講義ないで生じた疑問は放置せずに、授業時に配布する質問表を活用するなどして早めに解消すること。質問はメールで随時受け付けています。

3. 出席確認：各回配布の出席カードで確認します。

4. その他：評価の詳細は、第1回授業のオリエンテーションで説明する。

準備学習の内容及び必要時間：

・予習 (30 分以上)：WebClass に事前にアップロードする教材に目をとおしておくこと。

・復習 (30 分以上)：WebClass にアップロードする授業課題を実施すること。

課題に対するフィードバック：

提出された課題は採点の上、WebClass より返却する。

オフィスアワー：電子メール (n_tsuchi@saitama-med.ac.jp) , WebClass または講義終了後の教室内で受け付ける。

教科書：毎時間配布する資料をテキストとして利用する。

参考書：高校で使用した化学基礎および化学の教科書

授業科目の区分		自然科学の理解			R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
ヒトの生物学	1113	講義	1 年前期	選択	2／30
概 要：生物学は様々な生物を対象とする学問であるが、本講義ではヒトを主な対象とする。専門科目を学ぶための基礎を講義する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
					山崎 芳仁
目 的：ヒトの構造と機能、およびそれらの基盤を成す発生と遺伝の仕組みを学ぶ。					
到達目標：1. ヒトの構造と機能を説明できるようになる。 2. ヒトの発生と遺伝を説明できるようになる。 3. 分子生物学の基礎を説明できるようになる。					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる ☑②科学的な思考ができる □③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる □④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる □⑤看護者として自己成長できる □⑥社会の変化に対応できる □⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：定期試験（筆記試験）：95% 毎回の授業後の「ふり返り」提出：5%					
成績評価基準：「ふり返り」は提出回数に基づいて評価し、定期試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/8(月) 2時限目	合同	性	1. 男性と女性の違いを説明できる。 2. 初期発生の過程を説明できる。	山崎
2	4/26(金) 5時限目	合同	発生	1. 外胚葉、中胚葉、内胚葉と体のつくりの関係を説明できる。 2. 胎児の発生過程を説明できる。	山崎
3	5/17(金) 5時限目	合同	出産	1. 胎盤の構造と機能を説明できる。 2. 出産の過程を説明できる。	山崎
4	5/20(月) 2時限目	合同	循環	1. 体内での血管の走行経路を説明できる。 2. 肺呼吸の仕組みを説明できる。 3. 肺と組織での酸素の移動の仕組みを説明できる。	山崎
5	5/27(月) 2時限目	合同	呼吸	1. 胎盤での酸素の移動の仕組みを説明できる。 2. 最高血圧と最低血圧について説明できる。 3. 細胞の呼吸について説明できる。	山崎
6	6/3(月) 2時限目	合同	尿	1. 尿が形成される過程を説明できる。	山崎
7	6/10(月) 2時限目	合同	内分泌	1. 内分泌と外分泌の違いを説明できる。 2. 体液の調節におけるホルモンの機能を説明できる。 3. インスリンによる血糖量の調節機構を説明できる。	山崎

8	6/17(月) 2時限目	合同	免疫	1. 真核生物と細菌の違いを説明できる。 2. 免疫の仕組みを説明できる。	山崎
9	7/1(月) 2時限目	合同	細胞分裂	1. 体細胞分裂の過程を説明できる。 2. 減数分裂の過程を説明できる。 3. 配偶子での染色体の組み合わせを説明できる。	山崎
10	7/8(月) 2時限目	合同	メンデルの法則 (1)	1. 一遺伝子雑種の交雑を説明できる。	山崎
11	7/22(月) 2時限目	合同	メンデルの法則 (2)	1. 二遺伝子雑種の交雑を説明できる。 2. 遺伝子の連鎖について説明できる。	山崎
12	7/29(月) 2時限目	合同	分子生物学(1)	1. 遺伝子が細胞の機能に影響をおよぼす過程を説明できる。 2. DNA の複製過程、転写および翻訳の過程を説明できる。	山崎
13	7/30(火) 2時限目	合同	分子生物学(2)	1. ヌクレオチド鎖の極性を説明できる。 2. 転写調節と選択的スプライシングを説明できる。	山崎
14	8/5(月) 2時限目	合同	分子生物学(3)	1. ウイルスの性質を説明できる。 2. PCR の仕組みを説明できる。	山崎
15	8/6(火) 2時限目	合同	分子生物学(4)	1. 突然変異の原因と結果を説明できる。 2. 遺伝性疾患の治療方法の例を説明できる。 3. 遺伝子ワクチンの仕組みを説明できる。	山崎
履修者へのコメント： 1. 履修条件：履修条件はありません。 2. 履修に当たっての心構えと要望 高等学校で生物学を履修しなかった学生でも理解できるように基本的な内容とします。毎回授業に出て、講義を良く聞くことが必須です。わからないことは授業中でも質問してください。授業後にはメモした事項について、教科書も読みながら復習してください。前の時間の内容を良く理解して次の授業に臨むことが予習にもなります。 3. 出席確認：出席確認は各回出席カードで確認します。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 10 分以上：教科書の該当部分を眺めておく。 復習 30 分以上：教科書を読みながら、配付された資料を読み直して整理する。					
課題に対するフィードバック： 「ふり返し」については次の授業でフィードバックを行う。					
オフィスアワー：授業終了後に講義室で質問を受け付けます。「ふり返し」やWeb Class からの質問も受け付けます。					
教科書： (1) 嶋田正和監修 『新課程 フォトサイエンス生物図録』 数研出版 2024 (2) 坂井建雄他著 『系統看護学講座 専門基礎1 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学』 医学書院 2024					
参考書：参考文献がある場合は授業中に示します。					

授業科目の区分		自然科学の理解			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
情報科学	1114	講義	1年後期	選択	2／30
概要：医療技術は、近年、生物工学と情報処理技術の進歩とともにめざましく発展している。それと相俟って医療関連情報は多種・多様となり、このコンピュータ処理(文書処理、情報の分類、画像処理、通信、計算、予測、意志決定など)は不可欠なものとなってきた。授業では、情報処理関連用語の理解とコンピュータ操作に慣れることを目的として、演習形式で学習する。 授業は履修者数の関係で、2クラス(AとB)で実施する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員 有田 彰 荻原 利彦
目的：コンピュータの基本的なソフトウェア(メール、ワード、エクセル、パワーポイント、フォトショップ・エレメント)の操作の演習を介して、看護業務に使われる情報処理技術を身につける。					
到達目標：コンピュータを使って看護業務に必要な情報処理技術を実施できる。					
卒業認定・学位授与方針(ディプロマポリシー)／学修成果との関連 ☐①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：授業中に出される課題(100%) 成績評価基準：課題は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/30(月) 3時限目	B	ガイダンス コンピュータの 基本操作	1. 選択履修の説明 2. コンピュータ実習室の使い方 3. ネットワークの使い方 4. セキュリティとモラル	有田 荻原
	9/30(月) 4時限目	A			
2	10/7(月) 3時限目	B	文書処理 1	1. タッチタイピングの練習 2. ワードプロセッサ(ワード)の基本的操作	有田 荻原
	10/7(月) 4時限目	A			
3	10/21(月) 3時限目	B	文書作成 2	ワードプロセッサ(ワード)の基本的操作	有田 荻原
	10/21(月) 4時限目	A			
4	10/28(月) 3時限目	B	文書作成 3	ワードプロセッサ(ワード)の基本的操作	有田 荻原
	10/28(月) 4時限目	A			

5	11/11(月) 3時限目	B	画像処理 1	画像処理(フォトショップ)の基本的な操作(画像編集)	有田 荻原
	11/11(月) 4時限目	A			
6	11/18(月) 3時限目	B	画像処理 2	画像処理(フォトショップ)の基本的な操作(画像合成)	有田 荻原
	11/18(月) 4時限目	A			
7	11/25(月) 3時限目	B	画像処理 3	画像処理(フォトショップ)で作品の作成	有田 荻原
	11/25(月) 4時限目	A			
8	12/2(月) 3時限目	B	表計算 1	表計算ソフト(エクセル)の基本操作(表の作成、計算式)	荻原 有田
	12/2(月) 4時限目	A			
9	12/9(月) 3時限目	B	表計算 2	表計算ソフト(エクセル)の基本操作(グラフの作成)	荻原 有田
	12/9(月) 4時限目	A			
10	12/23(月) 3時限目	B	表計算 3	表計算ソフト(エクセル)の基本操作(ピボットテーブルによるデータ集計)	荻原 有田
	12/23(月) 4時限目	A			
11	1/6(月) 3時限目	B	表計算 4	表計算ソフト(エクセル)を使った統計処理	荻原 有田
	1/6(月) 4時限目	A			
12	1/20(月) 3時限目	B	表計算 5	表計算ソフト(エクセル)を使ったデータベース処理(データベース関数)	荻原 有田
	1/20(月) 4時限目	A			
13	1/27(月) 3時限目	B	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションソフト(パワーポイント)の基本的操作(文字・図形の入力)	荻原 有田
	1/27(月) 4時限目	A			
14	1/28(火) 3時限目	B	プレゼンテーション 2	プレゼンテーションソフト(パワーポイント)の基本的操作(図形合成)	荻原 有田
	1/28(火) 4時限目	A			
15	1/29(水) 3時限目	B	プレゼンテーション 3	プレゼンテーションソフト(パワーポイント)の基本的操作(アニメーション、スライドショー)	荻原 有田
	1/29(水) 4時限目	A			

履修者へのコメント： 1. 履修条件：履修条件はありません。 2. 履修にあたっての心構えと要望 1) 授業ではソフトウェアの基本的な使用法を演習します。対象とするソフトウェアを使いこなせない方を対象としています。ソフトウェアを十分使える方には不向きな内容です。 2) コンピュータが使えるようになるには、ハードウェアの特徴とOS・アプリケーションソフトの操作法を、繰り返し練習することによって達成されます。日ごろからコンピュータを使うように心がけてください。 3) 授業では、テーマに合わせた課題が出されます。課題を完成させることによってソフトウェアの使い方を学習します。 4) ほかの授業や生活の中でコンピュータを利用できる場面を見つけて使用することを考えてみてください。より速くコンピュータを扱うことができるようになります。 5) タッチタイピングの練習は、1回30分以内としてください。 3. 出席確認：コンピュータの使用履歴によって出席を確認する。 4. その他 行状況によってクラスの授業スケジュールが変わることもありますが、その場合は授業中およびWebClassで通知します。
準備学習の内容及び必要時間 1) 予習は特に必要ありません。課題を先行して進めておくのもよいでしょう。 2) 復習30分：課題を授業時間中に消化できなかったときには、復習として課題を完成させてください。
課題に対するフィードバック 課題の評価結果はWebClassで通知します。評価の詳細およびフィードバック方法は、第1回授業時に説明します。
オフィスアワー：質問は授業中および授業終了時に教室で受け付けます。また、WebClassのメッセージを使って担当教員宛に質問してください。
教科書：資料やデータを配布する。
参考書：：レベルアップしたい学生は、市販のテキストが数多く出版されているので、図書館で閲覧するか各自購入するとよい。また、ソフトウェアの使用法についての疑問は、インターネット検索で解決されることが多い。

授業科目の区分		国際交流の基礎			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
コミュニケーション 英語 I	1115	演習	1 年 前期・後期	必修	2/60
概 要： 他者とコミュニケーションを図りながら、英語での簡単なやり取りを、演習（オーラルコミュニケーション）を通して学習する。併せて医療・看護に関する基礎的な英語表現を身につけ、医療に関わる個人の生活と社会の問題について思考を深める。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的： 医療現場における基本的な英語表現を学びながら、英語のオーラルコミュニケーション技能の向上を目指す。 到達目標： 看護・医療に関する基本的な英語表現がわかり、英語で簡単なやり取りができるようになる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☐②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					担当教員 種田 佳紀 林 禅之 Stephen O' Toole Riu Santos
成績評価方法： 1. 平常点（リアクションペーパーによる）（10%）、2. 中間課題（レポート）2回（30%）、3. 期末試験（筆記試験）2回（60%） 成績評価基準： 平常点については、リアクションペーパーでのコメント等を評価する。中間課題および期末試験に関しては、ネイティブ教員が採点を行う。中間課題については、語数等、指示された条件に沿っているか、また内容の良さという観点から評価する。それらを合計した総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/8(月) 3時限目	A1, A2	Unit 1: Power of Language (pp. 10-13)	Orientation Vocabulary building	O' Toole Santos
	4/8(月) 4時限目	B1, B2		Oral communication activities ※グループワークを行う。	
2	4/15(月) 3時限目	A1, A2	Unit 2: Don't worry. (pp. 14-21)	Vocabulary building	O' Toole Santos
	4/15(月) 4時限目	B1, B2		Oral communication activities ※グループワークを行う。	
3	4/22(月) 3時限目	A1, A2	Unit 2: Don't worry. (pp. 14-21)	Vocabulary building	O' Toole Santos
	4/22(月) 4時限目	B1, B2		Oral communication activities ※グループワークを行う。	

4	5/20(月) 3時限目	A1, A2	Unit 3: How are you feeling? (pp. 23-29)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	5/20(月) 4時限目	B1, B2			
5	5/27(月) 3時限目	A1, A2	Unit 3: How are you feeling? (pp. 23-29)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	5/27(月) 4時限目	B1, B2			
6	6/3(月) 3時限目	A1, A2	Unit 4: Take the elevator, please. (pp. 30-37)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	6/3(月) 4時限目	B1, B2			
7	6/10(月) 3時限目	A1, A2	Unit 4: Take the elevator, please. (pp. 30-37)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	6/10(月) 4時限目	B1, B2			
8	6/17(月) 3時限目	A1, A2	Unit 5: What are your symptoms? (pp. 38-45)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。 ※中間レポートを課す予定である。	O' Toole Santos
	6/17(月) 4時限目	B1, B2			
9	7/1(月) 3時限目	A1, A2	Unit 5: What are your symptoms? (pp. 38-45)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	7/1(月) 4時限目	B1, B2			
10	7/8(月) 3時限目	A1, A2	Unit 6: Where does it hurt? (pp. 46-53)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	7/8(月) 4時限目	B1, B2			
11	7/22(月) 3時限目	A1, A2	Unit 6: Where does it hurt? (pp. 46-53)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	7/22(月) 4時限目	B1, B2			
12	7/29(月) 3時限目	A1, A2	Unit 7: How long have you had these symptoms? (pp. 54-61)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	7/29(月) 4時限目	B1, B2			
13	7/30(火) 3時限目	A1, A2	Unit 7: How long have you had these symptoms? (pp. 54-61)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	7/30(火) 4時限目	B1, B2			
14	8/5(月) 3時限目	A1, A2	Unit 8: Have you ever had	Vocabulary building Oral communication activities	O' Toole Santos

	8/5(月) 4時限目	B1, B2	any serious illnesses? (pp. 62-69)	※グループワークを行う。	
15	8/6(火) 3時限目	A1, A2	Unit 8: Have you ever had any serious illnesses? (pp. 62-69)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O'Toole Santos
	8/6(火) 4時限目	B1, B2			
16	9/30(月) 3時限目	A1, A2	Unit 9: I'm going to take a blood sample. (pp. 70-77)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O'Toole Santos
	9/30(月) 4時限目	B1, B2			
17	10/7(月) 3時限目	A1, A2	Unit 9: I'm going to take a blood sample. (pp. 70-77)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O'Toole Santos
	10/7(月) 4時限目	B1, B2			
18	10/21(月) 3時限目	A1, A2	Unit 10: You need to have an X-ray. (pp. 78-85)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O'Toole Santos
	10/21(月) 4時限目	B1, B2			
19	10/28(月) 3時限目	A1, A2	Unit 10: You need to have an X-ray. (pp. 78-85)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O'Toole Santos
	10/28(月) 4時限目	B1, B2			
20	11/11(月) 3時限目	A1, A2	Unit 11: Let me take your vital signs. (pp. 86-93)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O'Toole Santos
	11/11(月) 4時限目	B1, B2			
21	11/18(月) 3時限目	A1, A2	Unit 11: Let me take your vital signs. (pp. 86-93)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O'Toole Santos
	11/18(月) 4時限目	B1, B2			
22	11/25(月) 3時限目	A1, A2	Unit 12: Your surgery will be tomorrow. (pp. 94-101)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O'Toole Santos
	11/25(月) 4時限目	B1, B2			
23	12/2(月) 3時限目	A1, A2	Unit 12: Your surgery will be tomorrow. (pp. 94-101)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。 ※中間レポートを実施する予定である。	O'Toole Santos
	12/2(月) 4時限目	B1, B2			
24	12/9(月) 3時限目	A1, A2	Unit 13: There are three kinds of medicine.	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O'Toole Santos
	12/9(月) 4時限目	B1, B2			

			(pp. 102-109)		
25	12/23(月) 3時限目	A1, A2	Unit 13: There are three kinds of medicine. (pp. 102-109)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	12/23(月) 4時限目	B1, B2			
26	1/6(月) 3時限目	A1, A2	Unit 14: Are you worried about anything? (pp. 110-117)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	1/6(月) 4時限目	B1, B2			
27	1/20(月) 3時限目	A1, A2	Unit 14: Are you worried about anything? (pp. 110-117)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	1/20(月) 4時限目	B1, B2			
28	1/27(月) 3時限目	A1, A2	Unit 15: It's time to be discharged. (pp. 118-125)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	1/27(月) 4時限目	B1, B2			
29	1/28(火) 3時限目	A1, A2	Unit 15: It's time to be discharged. (pp. 118-125)	Vocabulary building Oral communication activities ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	1/28(火) 4時限目	B1, B2			
30	1/29(水) 3時限目	A1, A2	Review and consolidation	Activities for review and consolidation 1年間の総復習を行う。 ※グループワークを行う。	O' Toole Santos
	1/29(水) 4時限目	B1, B2			
履修者へのコメント： 1. 履修条件：なし 2. 履修にあたっての心構えと要望 授業には積極的に参加してください。 3. 出席確認方法 授業中の点呼、リアクションペーパーによって出席を確認します。初回のオリエンテーションでの指示に従ってください。 4. その他 評価の詳細は、第1回授業時に説明します。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：次回授業までに該当部分のテキストに目を通し、わからない単語を調べておく。 復習 30 分以上：授業で配布された資料、テキストにもう一度目を通す。					
課題に対するフィードバック： 掲示等にてフィードバックを行う。					
オフィスアワー： 疑問点や質問事項があれば、WebClass のメッセージ機能、あるいはメールを使って林まで随時連絡してください。					

メールアドレス : yhaya[at]saitama-med. ac. jp、[at]の部分は@に置き換えてください。

※メールで質問する際には、次の情報を必ず入れるようにしてください。

- ・メールのタイトル（「短大英語 I についての質問」 など）
- ・氏名と学籍番号
- ・用件

教科書 :

Maki Inoue・Toshiya Sato（共著）『LIFESAVER: Basic English in Medical Situations』（MACMILLAN LANGUAGEHOUSE）2005.

参考書 :

なし

[illegible]

				<事前学習> ①名札作成 ②事前学習・演習準備に提示されている(2)①②を実施	
3	4/26(金) 2限	合同	野外活動の準備 ③	1. 野外活動のオリエンテーション(栞に沿って) 2. ASE(Action Socialization Experience)とは (*グループワーク)	担当者 全員
4 5 6 7	5/10(金)	合同	野外活動①	【1日目】 ・開講式 ・アイスブレイク ・野外炊事 ・班別の振り返り(焚火を囲んで)、日誌の記載 (*体験学習) (宿泊：国立赤城青少年交流の家)	担当者 全員
8 9 10 11	5/11(土)	合同	野外活動②	【2日目】 ・朝のつどい、野外炊事 ・ASE(仲間づくり野外活動ゲーム) ・キャンプファイヤー ・班別の振り返り、日誌の記載 (*体験学習、問題解決学習) (宿泊：国立赤城青少年交流の家)	担当者 全員
12 13 14	5/12(日)	合同	野外活動③	【3日目】 ・朝のつどい ・清掃 ・閉講式 ・短期大学へ帰校・解散 ※レポート課題提出：5月17日(金)17:00 まで 提出先：担当教員メールボックス	担当者 全員
15	7/26(金) 2限	合同	まとめ -野外活動の振り返りと自己の課題-	1. 野外活動のまとめ 2. 野外活動をとらえて学んだこと 1) 野外活動体験の振り返り 2) 学習到達目標の評価と今後の課題 (*グループワーク、プレゼンテーション) 2. 野外活動に関する全体フィードバック <事前学習> ① 野外活動振り返りシートの作成 ② 課題提出のための準備 ※課題提出：授業終了時	担当者 全員

履修者へのコメント：

- 履修条件：特になし
- 履修にあたっての心構えと要望（第1回授業時に詳細を説明する）
 - 本科目は、2泊3日の野外活動の参加が必須です。
 - 野外活動の食費・シーツ洗濯料金は、事前に集金させていただきます。
 - 野外活動で個人が用いる日用品等は個別に準備をしてください。事前に提示しますので、当日忘れ物のないように準備をお願いします。
 - 事前に持病や食物アレルギーについて調査します。
- 出席確認
 第1・2・3・15回はWebClass上の出席確認アンケートにて実施します。出席者は期限内に実施してください。
 その他の回は、授業時間内に行います。
- その他

1) 本科目は、野外活動の参加が成績評価に直結します。十分に体調管理をおこなったうえで参加してください。 2) 病気やその他やむを得ないと認められた場合(出席停止措置を含む)、野外活動①②③の追演習を受けることが可能です。追演習を受ける場合は、追試験と同様の手続きを踏んでください(学生便覧Ⅳ履修・試験, 5, 5)参照)。 3) 不合格後の再演習は実施しません。 4) 当科目は、野外活動に関する資格を有する教員が担当します。
準備学習の内容及び必要時間： 1) 事前学習・演習準備(各回1時間以上) (1) 授業を円滑に進めるために YouTube 動画や資料を事前に提示します。内容を理解したうえで授業に参加してください。 (2) 本科目を受講するにあたって、以下の事前学習を実施し、野外活動の葉や課題レポートの作成等に活用しましょう。 ① 目標に関連する以下の用語の意味を調べ葉に記載する(※調べた書籍の出典も記載する)。 A. 畏敬 B. 涵養 C. 感性 D. 主体性 E. 創造性 F. 協働性 G. 自己省察 ② 宿泊地の地理、気候等の特徴を調べ、自分の生活地と比較することで野外活動の準備に活かす。 (3) 野外活動の準備はグループメンバーや役割メンバーごとに協力して行ってください。(授業時に説明します) 2) 復習 野外活動の体験をとおして学んだこと(主体性、創造性、協調性、協働性、スケジュール管理、健康管理、内省など)を振り返り、その後の学生生活全般に継続的に活かしてください。
課題に対するフィードバック： 1. 野外活動中および第15回授業時にグループまたは個別にフィードバックをおこないます。 2. レポート等の課題は採点后、コメントを記載し返却します。
オフィスアワー： 授業時間外の質問は、月曜日から金曜日 8:30～17:00 に瀧山の研究室、またはグループの担当教員に直接おこなってください。不在時は WebClass のメッセージでも可能です。
教科書：なし
参考書：適宜、授業内で紹介します。

授業科目の区分		感性と創造			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
社会人基礎Ⅱ (ボランティア活動)	1119	演習	1 年前期	選択	1/30
概要：本科目は、カリキュラム区分「科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解」の〈感性と創造〉の選択科目という位置付けである。社会貢献活動およびボランティア活動の意義、活動準備や心得等を学び、ボランティア活動の企画や実施を通して、社会人基礎力を磨く機会とする。必修科目「社会人基礎Ⅰ」での野外活動での学びも関連させながら学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的：社会の一員である学生として、SDGs の理念に基づく社会貢献活動の企画・評価、実際のボランティア活動への参加により、社会や身近な環境に対する視野を広げる。本学の建学の精神の一つ「自ら学び、努め、以て病める者への労りと奉仕心の育成」をめざすと共に、新・社会人基礎力の 3 つの能力(考え抜く力・チームで働く力・前に踏み出す力)を磨く機会とする。 到達目標：1. 社会貢献やボランティア活動の概念・意義・活動分野を説明できる。 2. ボランティア活動に必要な準備(安全・事故防止、倫理的行動、コミュニケーション)とボランティア活動の実際を説明できる。 3. 活動の趣旨・内容・役割を理解し、実際にボランティア活動を行う。 4. 各自が体験したボランティア活動の概要や学びを報告・発表し、共有する。 5. SDGs の理念に基づいた社会貢献活動を企画し、評価できる。 6. 新・社会人基礎力を磨くための視点や行動および自己の課題を説明できる。 卒業認定・学位授与方針(ディプロマポリシー)／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☐②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					担当教員 霜田 敏子 宮崎 素子 清水 百子 榎本 佑美 非常勤講師
成績評価方法：1. 個人課題1：ボランティア活動の事前準備、実施(1人1回以上、計6時間以上)報告、活動のまとめポスター (40%) 2. 個人課題2：新・社会人基礎力3つの能力(12の能力要素)と自己の課題 (10%) 3. グループ課題：社会貢献活動の企画・発表・評価 (30%) 4. WebClass 課題や学び・感想の実施、グループワークや意見交換時の取り組み (20%) 成績評価基準：上記1～4は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/10(水) 1 限	合同	社会貢献とボランティア SDGs に基づく社会貢献①	1. 履修者選抜方法、学習内容、課題、評価方法 2. 社会貢献、ボランティア活動の概念・意義、活動分野 3. 新・社会人基礎力 4. 埼玉医科大学およびキャンパスの歴史と概要 5. SDGs の理念、国や企業・学校または個人の取り組み 教科書 p. 1-12	霜田 宮崎 榎本
2	4/17(水) 1 限	合同	SDGs に基づく社会貢献②	1. 身近な課題の発見と分析 2. 身近な課題と SDGs との関連 ＜屋外活動、発見学習、グループワーク＞	担当教員 全員

3	4/24(水) 1 限	合同	SDGs に基づく 社会貢献③	1. SDGs の理念に基づいた社会貢献活動の企画 〈 調査学習, グループワーク 〉 ★グループ課題提示: 中間提出①5/1(水)8:50 中間提出②5/22(水)8:50 最終提出③6/12(水)8:50	宮崎
4	5/1(水) 1 限	合同	ボランティア活 動に必要な準備 ①	1. ボランティア活動の過程 (準備・実施・振り返り) 2. 活動内容の理解 (理念, 企画, 対象, スタッフ等) 3. 発達段階別のコミュニケーション 〈グループワーク, プレゼンテーション, ディスカッション〉 教科書 p. 13-18 p. 76-82 ★個人課題 1 提示: 中間提出 7/17(水)個別面接時持参 最終提出 8/30(金)17:00 or 9/20(金)	霜田
5	5/8(水) 1 限	合同	ボランティア活 動に必要な準備 ②	1. 発達段階別の安全・事故防止 2. 活動分野に応じた準備 (服装・装備・知識・技術・態度) 3. 活動における倫理的行動 〈グループワーク, プレゼンテーション, ディスカッション〉	清水
6	5/15(水) 1 限	合同	ボランティア活 動の実際①	1. ボランティア企画および参加経験者からの学び 2. 公益財団法人そらぶちキッズキャンプの概要 〈グループワーク, プレゼンテーション, ディスカッション〉	清水 非常勤講 師
7	5/22(水) 1 限	合同	ボランティア活 動の実際②	1. そらぶちキッズキャンプのスタッフとして必要な知 識・技術・態度 2. そらぶちキッズキャンプの内容に応じた事前準備と留 意点 〈プレゼンテーション, ディスカッション〉	担当教員 全員, 非常勤講 師
8	5/29(水) 1 限	合同	SDGs に基づく 社会貢献④	1. 企画した社会貢献活動の発表・評価 〈プレゼンテーション, ディスカッション〉	担当教員 全員
9	6/5(水) 1 限	合同	SDGs に基づく 社会貢献⑤	1. 企画した社会貢献活動の発表・評価 〈プレゼンテーション, ディスカッション〉	担当教員 全員
10	6/12(水) 1 限	合同	社会人基礎力①	1. 新・社会人基礎力 3 つの能力(12 の能力要素) 2. 新・社会人基礎力と自己の課題 〈プレゼンテーション, ディスカッション〉 ★個人課題 2 の提示 提出期限: 7/24(水) 17:00	榎本
11	6/19(水) 1 限	合同	ボランティア活 動の準備または 実践	第 11 回～第 13 回は、個人課題 1 ボランティア活動の事前 準備や実際の活動 〈自己学習〉	担当教員 全員
12	7/3(水) 1 限	合同	ボランティア活 動の準備または 実践		担当教員 全員
13	7/10(水) 1 限	合同	ボランティア活 動の準備または 実践		担当教員 全員
14	7/17(水) 1 限	合同	ボランティア活 動の準備	1. ボランティア活動の事前準備の確認 〈個別面接またはグループ発表〉	担当教員 全員
15	7/24(水) 1 限	合同	社会人基礎力② まとめ	1. 新・社会人基礎力と自己の課題 2. 個人課題 2 のまとめと提出	担当教員 全員

履修者へのコメント： 1. 履修条件 1) 最大履修人数は50名の予定ですので、次の(1)(2)の両条件を満たした学生の履修を優先します。 (1) 第1回目の授業に出席しオリエンテーションを聞いた学生 (2) 第1回目の授業後のWebClass課題を指定通りに実施した学生 ただし、体調不良等で自宅待機等のやむを得ない欠席の場合は配慮します。 2) 過去のボランティア経験の有無は問いません。 2. 履修にあたっての心構えと要望（1回目に詳細を説明する） 1) 本科目は演習科目であり、グループワークや個人の活動に主体的に取り組むことを学習方法の基本とします。グループワークではメンバー間の協調性を発揮しながら実施してください。 2) 社会の一員としての自己の存在を自覚し、さらに社会人としての自己の能力を見つめながら取り組みましょう。 3. 出席確認 1) 対面授業での出席は、呼名(挙手)で確認する。遅刻の取扱いその他については、授業の最初に伝達します。 2) 自己学習時は、WebClassで出席確認を提出する。 4. その他 1) 授業についての連絡は、WebClassや1F掲示板で行います。 2) 質問は授業内やオフィスアワーに積極的にしてください。 3) 実務経験（看護師）のある教員による授業科目です。
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30分以上：次回授業までに該当部分についてテキスト、インターネット等で記事などを読み資料の下調べをして整理しておく。 復習 30分以上：①各回のWebClassの課題や学び・感想を実施する。 ②各回の授業で配付する資料、テキストを整理すること。
課題に対するフィードバック：個人課題とグループ課題については採点・添削後、フィードバックを行います。
オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。
教科書：横山誠・古田雄一 編著，ボランティアをはじめる人のためのサービスラーニング入門-ボランティアを通した学び，あさひ高速印刷株式会社出版部，2021年
参考書：上記の教科書以外は、各自の興味・関心により自由に参考図書を探してください。下記の1, 2は、皆さんが既に持っている教科書や冊子です。 1. 「生涯発達論」で使用するテキスト 2. 大明出版企画・編集，新入生へのメッセージ2024年度版

授業科目の区分		人体の構造と機能			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
人体の構造と機能 I	2101	講義	1 年前期	必修	2/60
概 要：人体の構造では器官相互の位置関係の概略、人体の機能では細胞の機能や遺伝子情報、臓器や器官レベルでの働きとそれらを調節するシステム等、生命を維持する活動について、講義・演習を通して学習する。I では、循環器、呼吸器、消化器、腎・泌尿器、生殖器系、代謝・体温について構造と機能を学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的：基礎となる物理学、化学、生物学の考え方に立って、人体の正常な構造と機能を学び、疾患の病態生理を理解できるようになることを目的とする。そのため、それぞれの器官系の構造と機能の関係を知り、各器官系の生理機能を独立した存在と考えるのではなく、全体を体系的にとらえ論理的に解釈することが求められる。 到達目標： 1. 生命が維持されるには、生体にはどのような働きが必要で、それを実現する構造がどのようなになっているかを説明できる。 2. 各器官系の構造と機能の関係を説明できる。 3. 生体の生命維持のために、各器官系の機能がどのように統合され、調節されているかを説明できる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☒③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☐⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：定期試験（筆記試験）90%（学習態度）10%、必要に応じて、小テスト、レポートを課す。 成績評価基準：定期試験・小テストなどの総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					担当教員 有田 彰 小島 龍平 内田 康子
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/9(火) 4 時限目	合同	人体の構造総論 (1)	1. 解剖学の対象・領域 2. 器官および組織の概念 教科書：序章、第 1 章	小島
2	4/12(金) 1 時限目	合同	人体の機能総論 (1)	1. 生命の基本機能（エネルギー、輸送、代謝、情報授受、種の保存） 2. 多細胞生物の生きる仕組み（内部環境） 3. 人体の構造と生きる仕組みの関係 教科書：序章、第 1 章	有田
3	4/16(火) 4 時限目	合同	人体の構造総論 (2)	1. 人体の基本的なつくり 2. 人体の方向や位置 教科書：第 1 章	小島
4	4/19(金) 1 時限目	合同	人体の機能総論 (2)	1. 量と単位 2. 原子と分子、生体高分子、電解質の関係 3. 酸と塩基、pH、拡散、浸透 教科書：巻末資料、第1章	有田
5	4/23(火) 4 時限目	合同	細胞の機能(1)	1. 身体を構成する細胞 2. 身体を構成する組織と器官 教科書：第1章	小島
6	4/26(金) 1 時限目	合同	細胞の機能(2)	1. 細胞小器官の働き 2. エネルギー産生の仕組み 3. 遺伝子から構成物質、酵素、情報伝達物質などを作り出す仕組み 4. 細胞分裂の過程 教科書：第1章	有田

7	4/30(火) 4時限目	合同	細胞の機能(3)	1. 細胞膜の構造 2. 物質を輸送する仕組み 3. 情報授受の仕組み 4. 運動の仕組み 教科書：第1章	有田
8	5/7(火) 4時限目	合同	循環器系(1)	1. 脈管系の構成と血管の構造 2. 心臓の形態および構造 教科書：第4章	小島
9	5/14(火) 4時限目	合同	循環器系(2)	1. 肺循環および体循環の主要な経路 教科書：第4章	小島
10	5/17(金) 1時限目	合同	循環器系(3)	1. 循環系の生命維持に果たす役割 2. 心臓と体循環と肺循環の役割 3. 心臓と血管各部の構造と役割 教科書：第4章	有田
11	5/21(火) 4時限目	合同	循環器系(4)	1. リンパ系の構成 2. 出生前後の血流動態の変化 教科書：第4章	小島
12	5/24(金) 1時限目	合同	循環器系(5)	1. 心機能と心臓の構造と興奮伝導の関係 2. 心周期に伴う圧の変化と心拍出の関係 3. 心電図から得られる情報 教科書：第4章	有田
13	5/28(火) 4時限目	合同	呼吸器系(1)	1. 呼吸器系の構成および主要な各部の構造 教科書：第3章	小島
14	5/31(金) 1時限目	合同	循環器系(6)	1. 特殊な循環系とその特徴 2. 血圧調節の仕組み 教科書：第4章	有田
15	6/4(火) 4時限目	合同	呼吸器系(2)	1. 呼吸中枢の存在部位と調節機構 2. 胸郭系の換気運動 教科書：第3章	小島
16	6/7(金) 1時限目	合同	呼吸器系(3)	1. 換気およびガス交換のしくみ 2. 肺気量の測定の仕方と肺気量分画 教科書：第3章	有田
17	6/11(火) 4時限目	合同	消化器系(1)	1. 消化器系の構成と機能の概略 2. 口から肛門に至る消化管の構成と構造 教科書：第2章	小島
18	6/14(金) 1時限目	合同	呼吸器系(4)	1. 呼吸の気流速度、肺内でのガス分布 2. 血液中のガス運搬機構 3. 呼吸による血液の酸塩基平衡 教科書：第3章	有田
19	6/18(火) 4時限目	合同	消化器系(2)	1. 消化管に付属する器官の構成と基本構造 2. 機能との関係 教科書：第2章	小島
20	6/21(金) 1時限目	合同	消化器系(3)	1. 消化器官とその役割 2. 三大栄養素の消化・吸収過程 3. ミネラルやビタミンの消化吸收 教科書：第2章	有田
21	7/2(火) 4時限目	合同	腎・泌尿器系(1)	1. 腎・泌尿器系の構成と主要な器官の構造の概略 教科書：第5章	小島
22	7/5(金) 1時限目	合同	消化器系(4)	1. 消化管の神経性および内分泌性調節の仕組み 2. 肝臓と胆嚢の機能 教科書：第2章	有田
23	7/9(火) 4時限目	合同	生殖器系(1)	1. 女性生殖器系の構成と主要な器官の構造 教科書：第10章	小島
24	7/12(金) 1時限目	合同	腎・泌尿器系(2)	1. 腎臓の構造と機能、ネフロン構造と各部位の働き 2. 尿生成の過程（濾過、再吸収、分泌）、クリアランス 3. 尿の排泄（排尿の機序、排尿反射） 教科書：第5章	内田

25	7/16(火) 4時限目	合同	生殖器系(2)	1. 男性生殖器系の構成と主要な器官の構造 教科書：第10章	小島
26	7/19(金) 1時限目	合同	腎・泌尿器系(3) 体液の調節	1. 腎臓による浸透圧と細胞外液量の調節 2. 体液の区分と電解質組成 3. ホメオスタシスとその維持機構 4. 体液の酸塩基平衡 (pH) とその調節、体液平衡の障害 教科書：第5章	内田
27	7/23(火) 4時限目	合同	まとめ	1. 頸部～骨盤部における各器官の位置関係 (体腔や体腔膜との関連) 2. 循環器、呼吸器、消化器、腎・泌尿器、生殖器系の構造	小島
28	7/26(金) 1時限目	合同	生殖器系(3)	1. 発生時の男性・女性への分化 2. 卵巣周期、子宮周期 3. 受精から発生、成長にいたる過程 4. 老化の特徴 教科書：第10章	内田
29	7/31(水) 1時限目	合同	代謝と運動 体温とその調節	1. 代謝：分類、エネルギー代謝、運動とエネルギー 2. 体温：熱産生と熱放散、測定と変動、体温調節と異常 教科書：第7章、第9章	内田
30	8/2(金) 1時限目	合同	まとめ	1. 生命、細胞の機能 2. 循環器、呼吸器、消化器、腎・泌尿器、生殖器系、代謝・体温	有田

履修者へのコメント：

1. 履修条件：履修条件はありません

2. 履修にあたっての心構えと要望

人体はきわめて多数の要素から構成され、それらの構成要素は互いに種々に関係しあっており、構造・機能は複雑である。学習に困難さを感じるかもしれないが、理解がすすめば興味深く感じるであろう。できるだけ理解がすすむよう授業の工夫と努力をするつもりであるが、同時に受講者には、受講の際に復習のためのノート記録のほか、十分な予習と復習を要求する。

3. 出席確認

対面授業では出席カードにより出席確認を行う。

4. その他

- 1) 講義に関する連絡は掲示およびWebClassで行う。
- 2) 講義に関する質問は、授業時間内に積極的に行う。
- 3) 定期試験は「解剖学系」「生理学系」の試験を別々に行う。
- 4) 評価の詳細は、第1回授業時に説明します。

準備学習の内容及び必要時間

- 1) 予習 30 分以上：次回授業までに該当部分について、教科書、参考書、インターネット等で下調べをして整理しておく。
- 2) 復習 30 分以上：授業で配付する資料、テキストを整理すること。練習問題や課題を使って習熟度を高める。

課題に対するフィードバック

試験結果については採点后、フィードバックを行います。

オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。また WebClass のメッセージで質問をしてください。

教科書：坂井建雄・岡田隆夫著、『系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学』、医学書院、最新版

必要に応じて資料を配布する。

参考書：島田達生ほか 監訳『ロス&ウィルソン 健康と病気のしくみがわかる解剖生理学』西村書店

藤田恒夫 著『入門人体解剖学』南江堂

牛木辰男 著『入門組織学』南江堂

藤田恒太郎 著『人体解剖学』南江堂

本間研一 監、大森治紀、大橋俊夫 総編集『標準生理学 第9版』医学書院

坂井建雄、石崎泰樹 編、『人体の細胞生物学』、日本医事新報社

坂井建雄、河原克雄 編、『人体の正常構造と機能、総集編 第4版』、日本医事新報社

授業科目の区分		人体の構造と機能				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	
人体の構造と機能Ⅱ	2102	講義	1年後期	必修	2／60	
概要：人体の構造では身体の構成や器官相互の位置関係、各器官の形態や構造を、人体の機能では細胞の機能や遺伝子情報、臓器や器官レベルでの働きとそれらを調節するシステム等、生命を維持する活動について、講義・演習を通して学習する。Ⅱでは、内分泌系、運動器（骨格系と骨格筋）、神経系（中枢神経系と末梢神経系）、感覚器系、血液および生体防御系の構造と機能を学習する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的：基礎となる物理学、化学、生物学の考え方に立って、人体の正常な構造と機能を学び、疾患の病態生理を理解できるようになることを目的とする。そのため、それぞれの器官系の構造と機能の関係を知り、各器官系の生理機能を独立した存在と考えるのではなく、全体を体系的にとらえ論理的に解釈することが求められる。 到達目標： 1. 生命が維持されるには、生体にはどのような働きが必要で、それを実現する構造がどのようになっているかを説明できる。 2. 各器官系の構造と機能の関係を説明できる。 3. 生体の生命維持のために、各器官系の機能がどのように統合され、調節されているかを説明できる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☒③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☐⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：定期試験（筆記試験）90%（学習態度）10%、必要に応じて、小テスト、レポートを課す。 成績評価基準：定期試験・小テストなどの総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						担当教員 小島 龍平 有田 彰 内田 康子
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容		担当者
1	9/27(金) 2時限目	合同	内分泌系(1)	1. 内分泌腺の概要 2. ホルモン調節機構 3. ホルモンの化学的分類、作用を発現する機序 教科書：第6章		有田
2	9/30(月) 1時限目	合同	内分泌系(2)	1. 人体の内分泌線 2. 下垂体、甲状腺、副甲状腺の構造 教科書：第6章		小島
3	10/4(金) 2時限目	合同	内分泌系(3)	1. 視床下部ホルモンの作用 2. 下垂体ホルモンの作用 3. 副腎皮質ホルモンの作用 教科書：第6章		有田
4	10/7(月) 1時限目	合同	内分泌系(4)	1. 膵臓、副腎、性腺の構造 教科書：第6章		小島
5	10/11(金) 2時限目	合同	内分泌系(5)	1. 副腎髄質、甲状腺、膵島、性腺のホルモンの作用 2. 電解質や血糖値を調節するホルモン 教科書：第6章		有田
6	10/21(月) 1時限目	合同	運動器系(1)	1. 骨と関節の基本的構造 2. 主要な関節の構造と運動、筋の構成と配置、作用 教科書：第6章		小島

7	10/25(金) 2時限目	合同	運動器系(2)	1. 運動調節に関わる中枢とその役割 2. 筋収縮の反射性調節の概要 3. 姿勢維持の概要 4. 骨の代謝 教科書：第7章	有田
8	10/28(月) 1時限目	合同	運動器系(3)	1. 頭部および体幹の骨格の構成と特徴 2. 頭部および体幹の筋の構成 教科書：第7章	小島
9	11/1(金) 2時限目	合同	脳・神経系(1)	1. 自律神経系の特徴と働き 2. 体性神経系の働き 教科書：第8章	有田
10	11/8(金) 2時限目	合同	脳・神経系(2)	1. 脊髄の働き 2. 脊髄と脊髄反射、支配部位の特徴 教科書：第8章	有田
11	11/11(月) 1時限目	合同	運動器系(4)	1. 上肢および下肢の骨格の構成と特徴 2. 上肢および下肢の筋の構成 教科書：第7章	小島
12	11/15(金) 2時限目	合同	脳・神経系(3)	1. 脳の機能 2. 本能行動における脳の働き 教科書：第8章	有田
13	11/18(月) 1時限目	合同	脳・神経系(4)	1. 中枢神経系の基本的な構成と構造 2. 脊髄、脳幹、小脳、間脳、終脳の形態と構成および構造 教科書：第8章	小島
14	11/22(金) 2時限目	合同	脳・神経系(5)	1. 脳波検査の概要 2. 睡眠と覚醒、学習と記憶、情動と動機 3. 生体リズム 教科書：第8章	有田
15	11/25(月) 1時限目	合同	脳・神経系(6)	1. 脊髄神経の構成と主要な部位の形態学的特徴 2. 脳神経・自律神経の構成と主要な部位の形態学的特徴 教科書：第8章	小島
16	11/29(金) 2時限目	合同	感覚器系(1)	1. 感覚の特徴 2. 覚刺激と受容器との関係 3. 体性感覚、内臓感覚 4. 疼痛の分類と発生機序 教科書：第8章	有田
17	12/2(月) 1時限目	合同	脳・神経系(7)	1. 伝導路の構成と機能 2. 脳の血管支配 教科書：第8章	小島
18	12/6(金) 2時限目	合同	感覚器系(2)	1. 視覚の特徴 2. 聴覚の特徴 教科書：第8章	有田
19	12/9(月) 1時限目	合同	感覚器系(3)	1. 感覚器の構成 2. 視覚器、味覚器、嗅覚器の構造 教科書：第8章	小島
20	12/13(金) 2時限目	合同	感覚器系(4)	2. 平衡覚の機能 3. 化学感覚(味覚、嗅覚) 教科書：第8章	有田
21	12/23(月) 1時限目	合同	感覚器系(5)	1. 平衡聴覚器の構造 2. 皮膚の組織構造と付属器および皮膚の血管と神経 教科書：第8章	小島
22	1/6(月) 1時限目	合同	血液系(1)	1. 造血器官の構造 教科書：第8章	小島
23	1/10(金) 2時限目	合同	血液系(2)	1. 血液の組成と機能 2. 血球の産生と分化・成熟 3. 血液細胞(赤血球、白血球、血小板)の形態と役割 教科書：第3章	内田
24	1/17(金) 2時限目	合同	血液系(3)	1. 貧血、赤血球沈降速度 2. 血液の凝固と線維素溶解 3. 血液型の種類(ABO式、Rh型)と輸血の問題点 教科書：第3章	内田

25	1/20(月) 1 時限目	合同	生体防御機構 (1)	1. 生体防御の関連臓器 教科書：第9章	小島
26	1/24(金) 2 時限目	合同	生体防御機構 (2)	1. 皮膚・粘膜における防御 2. 食食作用・細胞傷害物質による防御 3. T細胞、B細胞、免疫グロブリンによる防御 教科書：第9章	有田
27	1/27(月) 1 時限目	合同	まとめ	1. 内分泌、運動器、脳・神経、感覚器、血液系の構造	小島
28	1/28(火) 1 時限目	合同	まとめ	1. 全身の主な骨格・筋・血管・神経と、各臓器の位置関係	小島
29	1/29(水) 1 時限目	合同	まとめ	1. 人体の構造と機能のまとめ	小島
30	1/31(金) 2 時限目	合同	まとめ	1. 内分泌、運動器、脳・神経、感覚器、血液系の機能	有田
履修者へのコメント： 1.履修条件：履修条件はありません 2.履修にあたっての心構えと要望 人体はきわめて多数の要素から構成され、それらの構成要素は互いに種々に関係しあっており、構造・機能は複雑である。学習に困難さを感じるかもしれないが、理解がすすめば興味深く感じるであろう。できるだけ理解がすすむよう授業の工夫と努力をするつもりであるが、同時に受講者には、受講の際には復習のためのノート記録のほか、十分な予習と復習を要求する。 3.出席確認 対面授業では出席カードにより出席確認を行う。 4.その他 1) 講義に関する連絡は掲示およびWebClassで行う。 2) 講義に関する質問は、授業時間内に積極的に行う。 3) 定期試験は「解剖学系」「生理学系」の試験を別々に行う。 4) 評価の詳細は、第1回授業時に説明します。					
準備学習の内容及び必要時間 1) 予習 30 分以上：次回授業までに該当部分について、教科書、インターネット等で下調べをして整理しておく。 2) 復習 30 分以上：授業で配付する資料、テキストを整理すること。練習問題や課題を使って習熟度を高める。					
課題に対するフィードバック 試験結果については採点后、フィードバックを行います。					
オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。また WebClass のメッセージで質問をしてください。					
教科書：坂井建雄・岡田隆夫著、『系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学』、医学書院、最新版 必要に応じて資料を配布する。					
参考書： 藤田恒夫 著『入門人体解剖学』南江堂 牛木辰男 著『入門組織学』南江堂 藤田恒太郎 著『人体解剖学』南江堂 William F. Ganong 岡田泰伸他 訳『ギヤノン生理学 原書 25 版』丸善 本間研一 監、大森治紀、大橋俊夫 総編集『標準生理学 第9版』医学書院 坂井建雄、河原克雄 編、『人体の正常構造と機能、総集編 第4版』、日本医事新報社					

授業科目の区分		人体の構造と機能			R6（2024）年度
授業科目名	ナンバリング	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
生化学	2103	講義	1 年前期	必修	1／30
概要：人体の構造と機能との関連で疾病の要因と回復に関与する生体内での化学反応を学ぶ。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的：生体を構成する物質の化学反応により、生命の維持また健康体でいられるための恒常性が保たれている。このメカニズムを物質（分子）レベルで解明する学問が生化学である。それを理解するために、生体を構成している物質を知り、その役割を大局的に理解する。 到達目標：1. 生体を構成する物質（アミノ酸、糖質、脂質、核酸など）を説明できる。 2. 恒常性を維持するための生体物質の化学反応メカニズムを説明できる。 3. 恒常性のメカニズムの破綻により引き起こされる疾病を説明できる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☐ ⑤看護者として自己成長できる ☐ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：1. 学習態度 20％, 2. 定期試験（筆記試験） 80％ 成績評価基準：学習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、定期試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					担当教員
					仁科 正実

回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/17（水） 3時限目	合同	生化学を学ぶ前の基礎知識 生体の成り立ちと生体分子	1. 生体構成の階層性 2. 細胞の構造と小器官の働き 3. 生体内の代謝と同化・異化	仁科
2	4/17（水） 4時限目	合同	タンパク質の性質	1. アミノ酸の種類 2. タンパク質の分類 3. タンパク質の高次構造 4. 血漿タンパク質の機能	仁科
3	4/24（水） 3時限目	合同	酵素の性質と働き	1. 酵素の特性が 2. 酵素の分類と機能 3. 酵素反応速度論	仁科
4	5/1（水） 3時限目	合同	生体内における糖質の代謝	1. 糖の定義 2. 糖の分類 3. 解糖系とクエン酸回路と電子伝達系 4. グリコーゲン合成	仁科
5	5/8（水） 3時限目	合同	生体内における脂質の代謝	1. 脂質の種類と構造 2. 脂質の代謝が理解 3. 血清脂質の役割	仁科
6	5/15（水） 3時限目	合同	生体内におけるアミノ酸およびタンパク質の代謝	1. アミノ酸の代謝 2. 尿素回路 3. 糖新生	仁科

7	5/22 (水) 3時限目	合同	生体内における 核酸の役割	1. DNA と RNA の構造 2. DNA の性質と複製 3. DNA からタンパク質が合成	仁科
8	5/29 (水) 3時限目	合同	体液	1. 生体内の水の動的役割と分布 2. 体液の組成と機能 3. 無機物質と微量元素の機能	仁科
9	6/5 (水) 3時限目	合同	ホルモン	1. 内分泌器官 2. ホルモンの種類と機能	仁科
10	6/12 (水) 3時限目	合同	ビタミン	1. ビタミンの種類と機能	仁科
11	6/19 (水) 3時限目	合同	内部環境の恒常 性	1. 恒常性維持の仕組みと種類	仁科
12	7/3 (水) 3時限目	合同	血液と尿	1. 血液成分 2. ヘモグロビンの分解 3. 血液凝固の仕組み 4. 尿の成分と生成と排泄	仁科
13	7/10 (水) 3時限目	合同	生体防御	1. 生体防御にかかわるタンパク質 2. 免疫応答の分子レベルの仕組み	仁科
14	7/17 (水) 3時限目	合同	各臓器の役割	1. 筋肉のエネルギー代謝 2. 肝臓の解毒反応 3. 小腸からの糖・アミノ酸・脂質の吸収の仕組み	仁科
15	7/31 (水) 2時限目	合同	まとめ	生体の代謝系と疾病との関連	仁科

履修者へのコメント：

- 履修条件はありません。
- 履修にあたっての心構えと要望
 - 健康でいられる仕組みを生体の構成成分により理解し、さらに病気とはその仕組みの破綻が原因であることを理解すれば、栄養学や薬理学、病気の治療法の理解への礎となります。物質の構造式や複雑な反応式、計算式などを理解することも重要ですが、本科目では必要最低限の物質の名前は覚えていただき、その物質の機能と役割から生体の恒常性維持を大局的に理解していただきたい。
- 出席確認
原則として出席確認は各回出席カードで確認します。
- その他
授業中に講義内容の理解の為に重要まとめ問題を実施し、その回答は授業内で解説する。

準備学習の内容及び必要時間

授業前に一度教科書の内容を 30 分以上予習し、理解してない専門用語等の意味を事前に調べておくこと。
復習は 30 分以上、授業中に実施した重要まとめ問題の内容を整理し理解すること。

課題に対するフィードバック

試験結果については採点后フィードバックを行います。

オフィスアワー：相談・質問等は授業終了後に教室で受け付けます。またメールによる質問も随時受け付けます。
(mail: masaminishina7@gmail.com)

教科書：

監修：石黒伊三 編集：篠原力雄・饒村 譲『わかりやすい生化学』第5版 ニューベル ヒロカワ

参考書：

特になし

授業科目の区分		人体の構造と機能			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
微生物学	2104	講義	1 年前期	必修	1／30
概 要：新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）を例にして呼吸器感染症は眼に見えない微生物感染で起こります。眼に見えない微生物はウイルスだけでなく、細菌、真菌、原虫、異常プリオンがあります。それぞれの微生物の性状を理解すること、また、微生物感染様式には、空気感染、飛沫感染、エアロゾル感染、経口感染、接触感染、母児感染および動物（昆虫）媒介感染があるので感染様式別に起因微生物と予防法を身につけます。感染予防にはワクチンで予防できることも理解し接種することが望まれます。微生物感染により体で起こる免疫反応や獲得する免疫、およびワクチンの効果を理解してもらいます。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておいてください。 目 的：看護師となる皆さんには、微生物の基本を理解して学生のうちから確実な感染予防対策を施行できるようにしてもらいます。SARS-CoV-2 感染様式は、飛沫、エアロゾル感染が主で接触感染でも起こります。インフルエンザと同等になることで病院内ではマスクを外せるのでしょうか？どうすべきか！考えましょう。飛沫感染を起こす病原体は他にも多数存在します。他の感染様式として空気、エアロゾル、飛沫、経口、接触感染、母子、動物(昆虫)由来感染があります。感染様式別に病原体を列記でき、その病原体の特徴をふまえ、必要な予防対策や消毒法、滅菌法について習得します。 到達目標：看護師として患者さんと接する皆さんには、感染予防策をきちんと身に付けてもらい、自分自身も感染しない！こと、そして免疫能が低く、感染しやすく、かつ感染したら重症化してしまう患者さんに絶対感染させない！ことを目標に空気（飛沫核）、エアロゾル、飛沫、経口、接触感染、母子、動物(昆虫)由来感染を起こす病原体について理解し、それぞれの予防対策を習得します。感染予防には入念な石鹸を用いた手洗いが基本です。また、医療に基本である滅菌法や消毒法についても習得します。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☒③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☐⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☒⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					担当教員 <u>町 田 早 苗</u>
成績評価方法：筆記試験 85%、小テスト 3 回 15%の総合点 成績評価基準：総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/9(火) 3時限目	合同	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) とインフルエンザウイルスの違い	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 感染とインフルエンザウイルスの違い、予防対策、マスクの種類とその予防効果、ウイルスとは？微生物に対する我々に備わっている免疫機構	町田
2	4/16(火) 3時限目	合同	ウイルス総論	ウイルスの大きさ、形、DNA ウイルスと RNA ウイルス、ウイルスの構造、エンベロープ、ウイルス増殖、抗ウイルス薬	町田

3	4/23(火) 3時限目	合同	飛沫感染起因ウイルス	飛沫核(空気)・飛沫感染を起こすウイルス、インフルエンザウイルス、ムンプスウイルス、風邪起因ウイルス等	町田
4	4/30(火) 3時限目	合同	細菌総論、 抗菌薬、	細菌の大きさ、形、構造、増殖、増殖に必要な条件等 抗菌薬の効果とその作用	町田
5	5/7(火) 3時限目	合同	飛沫感染起因細菌、マイコプラズマ、クラミジア、飛沫感染予防法	飛沫感染を起こす細菌、百日咳菌、肺炎球菌、A 群溶血性レンサ球菌等、肺炎マイコプラズマ、肺炎クラミジアと飛沫感染予防対策	町田
6	5/14(火) 3時限目	合同	経口感染起因微生物(細菌)	経口感染(食中毒、感染型)起因細菌、カンピロバクター属菌、病原性大腸菌、サルモネラ属菌、ウエルシュ菌、チフス菌、腸炎ビブリオ等	町田
7	5/21(火) 3時限目	合同	経口感染起因微生物(細菌、寄生虫)	経口感染(食中毒、感染型)起因細菌つづき、 経口感染(毒素性の食中毒)起因細菌、ボツリヌス菌、黄色ブドウ球菌、セレウス菌、アニサキスなどの寄生虫	町田
8	5/28(火) 3時限目	合同	経口感染起因ウイルスと経口感染予防法	ノロウイルス、ロタウイルス、A 型肝炎ウイルス、E 型肝炎ウイルス、経口感染の予防対策	町田
9	6/4(火) 3時限目	合同	真菌総論・各論	真菌(カビ)の生物学位置、構造、増殖条件、抗真菌薬 真菌起因感染症	町田
10	6/11(火) 3時限目	合同	接触感染を起こす病原体(ウイルス)	キスでうつる病原体、性感染症起因微生物、HIV、HPV、HSV、他	町田
11	6/18(火) 3時限目	合同	接触感染を起こす病原体(細菌と原虫)と予防策	性感染症起因細菌、梅毒トレポネーマ、淋菌、トラコーマ クラミジア、トリコモナス原虫	町田
12	7/2(火) 3時限目	合同	がんに関連のある病原体、原虫総論	HPV、HBV、HCV、HTLV-1、ヘリコバクター・ピロリ菌 原虫の特徴、構造、原虫起因感染症(マラリア原虫、クリプトスポロジウム、大腸アメーバ、トキソプラズマ・ゴンディ他)	町田
13	7/9(火) 3時限目	合同	母子感染を起こす病原体と予防策	HPV、HBV、HCV、HTLV-1、ヘリコバクター・ピロリ菌 原虫の特徴、構造、原虫起因感染症(マラリア原虫、クリプトスポロジウム、大腸アメーバ、トキソプラズマ・ゴンディ他)	町田
14	7/16(火) 3時限目	合同	昆虫媒介感染起因微生物と予防策、リケッチア	蚊に刺されることで起こる感染症：黄熱、日本脳炎、デング熱、他 マダニに刺されることで起こる：SFTS、日本紅斑熱、ツツガムシ病、ライム病、ダニ脳炎他	町田
15	7/23(火) 3時限目	合同	感染症法、標準予防策、ワクチン接種、滅菌と消毒法	感染症法、標準予防策、バイオハザード、医療性廃棄物の捨て方、滅菌と消毒法、ワクチンの効果	町田

履修者へのコメント： 1. 履修条件はありません。 2. 履修にあたっての心構えと要望 (1) 微生物のまとめノートを各自で作成してもらいます。各微生物の特徴、感染様式別に起因微生物とその感染予防対策を各自でまとめるように鋳型を配布し、それに沿って授業内容を記載してください。 (2) 小テストを3回計画しています。授業の区切りの良い時に授業開始時に10分程度の小テストを受けてもらいます。小テストは終講後の筆記試験（85点）に各5点ずつ（計15点）追加します。 (3) 教科書を大いに使用します。毎回の授業でスライド中に教科書のページを書きますので当該ページを開いて重要な箇所に線を引き、まとめノートに記載してください。なお、授業スライドは基本的に配布しません。 (4) 実際の生活ではなかなか耳慣れない微生物名ですが、授業でイメージして覚えていってください。なぜ医療従事者となる看護師が感染したら勤務できないのか。微生物は何処にいるか、何処から感染するか、ヒトの体の何処で増えるのか、感染したらどのように広がるかをイメージし、その対策を身につけてください。 3. 出席確認 出席は毎回確認します。 4. その他 1) 講義に関する連絡は授業時間内や掲示、またはWebClassで行います。 2) 講義に関する質問は授業前後、または、オフィスアワーに示したメールで対応します。
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30分：次回授業までに該当部分について教科書を読んでおいてください。 復習 30分：自分自身で微生物学まとめノート作成をしてもらいます。必要項目を記載できるように鋳型を配布しますので各微生物の特徴と各病原体を感染経路別にまとめてください。
課題に対するフィードバック： 試験結果（小試験を含む）については採点后、フィードバックを行う。
オフィスアワー：質問は授業前後に直接受け付けるか、またはメールで受け付けます。m_sanae@saitama-med.ac.jpへいつでも質問して下さい。
教科書：系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学 疾病の成り立ちと回復の促進4、吉田眞一代表著者、医学書院
参考書：看護学テキスト、微生物学・感染症学、中野隆史編集、南山堂 ナースング・グラフィカ、疾病の成り立ちと回復の促進③、臨床微生物・医動物、メディカ出版

授業科目の区分		人体の構造と機能				R6（2024）年度
授業科目名		ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
栄養学		2105	講義	1 年前期	必修	1／15
概 要：ヒトに対する栄養の意義について理解し、ヒトの健康を増進するための栄養素の種類と代謝について学習する。また、疾病・障害と栄養の関係を学ぶ。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的：栄養の定義および栄養素の種類とはたらき、代謝について理解する。健康を維持するための栄養、さらに臨床栄養の基礎となる知識を習得する。 到達目標：1. 栄養素とそのはたらきを理解する。 2. 疾病を治療するための食事・栄養基準と適応について説明できる。 3. 栄養ケアを考えることができる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☐②科学的な思考ができる ☒③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☐⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：1. 定期試験（筆記試験）（70％） 2. 授業内演習（30％） 成績評価基準：演習は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて 6 段階評価をし、定期試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						担当教員
						堀口 さやか
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容		担当者
1	5/17(金) 2 限目	合同	栄養学の概論・重要性	1. 栄養の適切な摂取と健康維持、日本人の食生活の推移と栄養摂取の現状 2. アセスメントのための身体計測方法と判定基準 *演習(電卓使用) 教科書 1 章 P2-4、7-8、12-15、10 章 P102、238-247、5 章 8 章 P169、179-185、7 章 P132-140、147-149、9 章 207-208		堀口
2	5/24(金) 2 限目	合同	エネルギー代謝と栄養素	1. エネルギー産生のメカニズム 2. 炭水化物・脂質・たんぱく質代謝の相互の関連 3. 栄養素の体内における役割 *演習(電卓使用) 教科書 4 章 P74-79、82-89、3 章 P59-60、5 章 P107、2 章 P18-42		堀口
3	5/31(金) 2 限目	合同	栄養素の代謝	1. 食物の消化と吸収 2. 消化管の機能に応じた食事内容・形態、栄養補給方法 *演習 教科書 3 章 P46-59、9 章 P191-195、210-216		堀口
4	6/7(金) 2 限目	合同	臨床栄養Ⅰ	1. 糖尿病の病態と食事療法の基本 *演習(電卓使用) 教科書 9 章 P216-218、7 章 P140-141		堀口
5	6/21(金) 2 限目	合同	臨床栄養Ⅱ	1. 高血圧症の病態と食事療法の基本 2. 動脈硬化と脂質異常症の病態と食事療法の基本 *演習 教科書 9 章 P208-209、217-218、3 章 P60-61、7 章 P141		堀口

6	7/5(金) 2 限目	合同	臨床栄養Ⅲ	1. メタボリックシンドロームの病態 2. 肥満症の病態と食事療法の基本、減量計画 *演習(電卓使用) 教科書 9 章 P206-208、7 章 P139、8 章 P165-168	堀口
7	7/12(金) 2 限目	合同	臨床栄養Ⅳ	1. 脂肪肝の病態と食事療法の基本 2. 高尿酸血症・痛風の病態と食事療法の基本 *演習 教科書 9 章 P214、218-219	堀口
8	7/19(金) 2 限目	合同	臨床栄養Ⅴ	1. 腎臓病の病態と食事療法の基本 *演習 教科書 9 章 P220-222、7 章 P141-142	堀口
履修者へのコメント： 1. 履修条件：特になし。 2. 履修にあたっての心構えと要望：配布資料は、授業期間全て持参する。 3. 出席確認：演習提出にて確認をする。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：授業までに内容に提示した教科書の該当部分を読んで整理しておく。 復習 30 分以上：教科書及び各回の授業で配付する資料（提示する「復習のポイント」含む）を整理しておく。					
課題に対するフィードバック： 演習は、毎回 10～15 分を設け、授業当日授業終了時提出とする。提出された演習は、採点・添削後、授業内外において返却・解説を行う。					
オフィスアワー： 授業時間以外の質問は、授業前後に教室または栄養部（西館 B1F、土足禁）へ来訪や、電子メール・WebClass からの質問も受け付ける（shori@saitama-med.ac.jp）。					
教科書：小野章史他『系統看護学講座・専門基礎分野 人体の構造と機能 [3] 栄養学』（医学書院）					
参考書：足立香代子他『系統看護学講座・別巻 栄養食事療法』（医学書院）					

授業科目の区分		疾病の成り立ちと回復の促進			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
薬理学	3101	講義	1年後期	必修	1/30
概要：薬理学は薬物治療の科学的な基礎である。薬物一般に共通する知識を学ぶとともに、具体的な個々の薬物について薬物の使用目的や作用などを学ぶ。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的：薬物の作用メカニズム・生体への作用を理解する。					周防 諭
到達目標：疾患ごとの代表的治療薬の種類・作用点を理解する。 治療薬による生体反応を理解する。					柳下 楠
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☐ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☐ ⑤看護者として自己成長できる ☐ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					岩佐 健介
成績評価方法：1. 定期試験（筆記試験）(90%)、2. 小テスト(10%) 成績評価基準：定期試験・小テストの総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/27 (金) 4時限目	合同	薬理学総論 (1)	オリエンテーション・薬物治療概論 (教科書、第1章、第2章)	周防
2	10/4 (金) 4時限目	合同	薬理学総論 (2)	薬物体内動態・薬と法律 (教科書、第2章)	周防
3	10/11 (金) 4時限目	合同	末梢神経作用薬 (1)	自律神経・コリン作用薬・抗コリン作用薬 (教科書、第7章)	周防
4	10/25 (金) 4時限目	合同	末梢神経作用薬 (2)	アドレナリン作用薬・抗アドレナリン作用薬・局所麻酔薬 (教科書、第7章)	周防
5	11/1 (金) 4時限目	合同	中枢神経作用薬 (1)	全身麻酔薬・催眠薬・抗不安薬・抗精神病薬 (教科書、第8章)	柳下
6	11/8 (金) 4時限目	合同	中枢神経作用薬 (2)	気分障害治療薬・パーキンソン病治療薬・アルツハイマー病治療薬・抗てんかん薬・麻薬性鎮痛薬 (教科書、第8章)	柳下
7	11/15 (金) 4時限目	合同	代謝系作用薬	糖尿病治療薬・高脂血漿治療薬・ホルモン (教科書、第11章)	岩佐
8	11/22 (金) 4時限目	合同	循環系作用薬	強心薬・血管拡張薬 (教科書、第9章)	岩佐

9	11/29 (金) 4時限目	合同	循環系作用薬	抗不整脈薬・抗高血圧治療薬 (教科書、第9章)	岩佐
10	12/6 (金) 4時限目	合同	抗炎症薬	抗炎症薬・抗アレルギー薬・痛風治療薬・免疫抑制剤 (教科書、第6章)	岩佐
11	12/13 (金) 4時限目	合同	呼吸器・消化器 系作用薬	鎮咳薬・去痰薬・気管支拡張薬・抗潰瘍薬・肝臓病治療薬・ 消化管運動改善薬・消化薬 (教科書、第10章)	柳下
12	1/10 (金) 4時限目	合同	抗感染症薬	抗生剤・合成抗菌剤・抗真菌薬・抗ウイルス薬 (教科書、第3章)	柳下
13	1/17 (金) 4時限目	合同	抗ガン剤	抗ガン剤の作用機序・副作用 (教科書、第4章)	岩佐
14	1/24 (金) 4時限目	合同	生物学的製剤	ワクチン・免疫グロブリン・サイトカイン (教科書、第5章)	岩佐
15	1/31 (金) 4時限目	合同	まとめ	復習・小テスト (教科書、全範囲)	周防

履修者へのコメント：

1. 履修条件：履修条件はありません。
2. 履修に当たっての心構えと要望：なし
3. 出席確認：出席確認は各回出席カードで確認します。
4. その他；なし

準備学習の内容及び必要時間：

予習 20 分以上：授業までに該当部分について教科書に目を通す。
復習 10 分以上：授業で配付する資料を読んで整理する。

課題に対するフィードバック：

- 1) 小テストの解答と解説は講義終了後に配布します。
- 2) 試験結果については採点后、フィードバックを行います。
- 3) 評価の詳細は、第1回授業時に説明します。

オフィスアワー：

教員に質問がある場合は、メールにて受け付けます。教員メールアドレスは学務課に聞くこと。

教科書：疾病のなりたちと回復の促進〈3〉薬理学（系統看護学講座 専門基礎分野）

[出版社：医学書院 ISBN：978-4-260-04716-6]

参考書：休み時間の薬理学（休み時間シリーズ）

[出版社：講談社 ISBN：978-4065238103]

授業科目の区分		疾病の成り立ちと回復の促進				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	
病理学	3102	講義	1年後期	必修	1／30	
概要：代表的な疾病の原因，成り立ち，さらに人体の形態学的，機能的変化について説明できる。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。						担当教員
目的：ヒトの病気を正しく理解するための基本的概念，発生機構，病理形態学に関する知識を習得する。						安田 政実
目標：病気を正しく理解するための知識を習得し、疾病の原因，成り立ち，さらに人体の形態学的，機能的変化について理解する。						佐藤 次生
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連						小路口奈帆子
□①人間を総合的に理解できる						大森 悠加
☑②科学的な思考ができる						美山 優
☑③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる						
☑④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる						
☑⑤看護者として自己成長できる						
☑⑥社会の変化に対応できる						
☑⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						
成績評価方法： 定期試験（筆記試験）（90％）学習態度（アンケート）（10％）						
成績評価基準： 学習態度はアンケートの回答回数で評価し、定期試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容		担当者
1	9/28 (土)	合同	女性生殖器	1. 外陰部の疾患, 2. 膣の疾患, 3. 子宮の疾患, 4. 卵巣・卵管の疾患, 5. 乳腺の疾患		美山
2	9/28 (土)	合同	男性生殖器	1. 精巣と精巣上体の疾患, 2. 前立腺の疾患		美山
9	9/28 (土)	合同	脳神経 病理組織細胞診断	1. 中枢神経系の疾患, 2. 脊髄の疾患, 3. 末梢神経系の疾患, 4. 病理組織細胞診断について, 5. 術中迅速組織診断, 6. 細胞診断, 7. 病理解剖		美山
1	10/5 (土)	合同	病理学とは 細胞傷害と細胞増殖 組織, 細胞の修復と再生	1. 病理学について, 2. 細胞の微細構造と機能, 3. 細胞増殖と細胞死, 4. 細胞傷害, 5. 遺伝子傷害とその修復 6. 再生, 7. 化生, 8. 創傷治癒, 9. 異物の処理		大森
2	10/5 (土)	合同	循環障害 炎症	1. 局所的循環障害, 2. 全身的循環障害, 3. 炎症とは, 4. 急性炎症, 5. 炎症の全身への影響, 6. 慢性炎症		大森
3	10/5 (土)	合同	感染症 免疫機構の異常	1. 病原体の種類, 2. 感染の成立, 経過, 防御機構, 3. 日和見感染, 4. 内因性・外因性感染, 5. 免疫反応, 6. アレルギー反応, 7. 自己免疫疾患, 8. 免疫不全症候群		大森
4	10/12 (土)	合同	腫瘍	1. 腫瘍の概念, 2. 腫瘍の形態, 3. 腫瘍の組織学的分類, 4. 悪性腫瘍の進展と転移, 5. 腫瘍の分化度, 6. 機能性腫瘍, 7. 腫瘍発生の要因, 8. 腫瘍の発生と遺伝子, 9. 癌の病期, 10. 癌の分子病理学		小路口

5	10/12 (土)	合同	上部・下部消化器	1. 口腔の疾患, 2. 唾液腺の疾患, 3. 食道の疾患, 4. 胃の疾患, 5. 腸の疾患	小路口
6	10/12 (土)	合同	肝臓, 胆道, 膵臓 内分泌系	1. 肝臓の疾患, 2. 胆道の疾患, 3. 膵臓の疾患, 4. 視床下部, 下垂体の疾患, 5. 甲状腺疾患, 6. 副甲状腺疾患, 7. 副腎疾患, 8. 多発性内分泌腫瘍	小路口
10	10/26 (土)	合同	遺伝と先天異常 代謝異常 老化 小児病理	1. 先天異常の病因, 2. 遺伝病, 3. 染色体異常症, 4. 単一遺伝子病, 5. 遺伝子診断とその応用, 6. 細胞の適応, 7. 細胞外・細胞内物質沈着, 8. 蛋白質代謝異常症, 9. 脂質代謝異常症, 10. 糖質代謝異常症, 11. 老化のメカニズム, 12. 老化と疾病の関連, 13. 小児疾患 (肺, 肝臓, 消化器), 14. 小児腫瘍	佐藤次
11	10/26 (土)	合同	造血器	1. 骨髄および血液の疾患, 2. リンパ節の疾患, 3. 脾臓の疾患, 4. 胸腺の疾患	佐藤次
12	10/26 (土)	合同	皮膚	1. 炎症性皮膚疾患, 2. 感染症, 3. 皮膚腫瘍	佐藤次
13	11/2 (土)	合同	循環器	1. 先天性心奇形, 2. 弁膜症, 3. 虚血性心疾患, 4. 心筋症, 心筋炎, 5. 腫瘍, 6. 動脈硬化, 7. 動脈瘤, 8. 血管炎, 9. 静脈疾患	
14	11/2 (土)	合同	呼吸器	1. 上気道疾患, 2. 気管, 気管支, 肺疾患の疾患, 3. 胸膜の疾患, 4. 縦隔の疾患	
15	11/2 (土)	合同	泌尿器 運動器	1. 腎臓の構造と機能, 2. 原発性糸球体腎炎, 3. 続発性糸球体腎炎, 4. 腎腫瘍, 5. 尿路系の疾患, 6. 骨・軟骨の疾患, 7. 関節疾患, 8. 筋, 腱, 末梢神経の疾患	
履修者へのコメント： 1. 履修条件 履修条件はありません。 2. 履修にあたっての心構えと要望 1) 質問は、授業中または授業後に積極的に行ってください。 2) アンケートは毎回 WebCLass で回答してください。 3. 出席確認方法 各回、出席カードで出席を確認します。 4. その他 1) 実務経験（医師）のある教員による授業科目です。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：次回授業までに教科書の該当範囲を通読し、各疾患について下調べをしておくこと。 復習 30 分以上：各回の授業で配布する資料を基に知識を整理しておくこと。					
課題に対するフィードバック： 試験結果については採点后、フィードバックを行う。					
オフィスアワー： 質問・相談は、授業終了後に受け付けます。					
教科書： 1. 笹野公伸, 岡田保典, 安井 弥編集 シンプル病理学 (改訂第 7 版) (南江堂, 2015 年)					
参考書： 1. 清水道生編集 カラーイラストで学ぶ 集中講義 病理学 (メジカルビュー社, 2010 年) 2. 坂本彦彦, 北川昌伸, 仁木利郎編集 標準病理学 (医学書院, 2010 年) 3. 山川光徳, 内藤善哉, 吉野 正監訳 自己評価型 病理学ノート (西村書店, 2011 年)					

授業科目の区分		疾病の成り立ちと回復の促進				R6（2024）年度
授業科目名		ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
疾病治療論Ⅰ		3103	講義	1年前期	必修	1／30
概要：主要な疾患の病態生理と治療理論を学習する。Ⅰでは各疾患に共通する内容として、血圧異常、感染症、生体侵襲の病態生理と治療理論を学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的：各疾患に共通する血圧の異常、感染症、生体侵襲の病態生理と治療理論を理解する。 到達目標：1. 血圧調整機構および、本態性高血圧の病態生理と治療理論について説明できる。 2. 感染症の病態生理と治療理論について説明できる。 3. 遺伝疾患・悪性腫瘍の病態生理と治療理論について説明できる。 4. 生体侵襲に関わる病態生理と治療理論について説明できる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 □①人間を総合的に理解できる ☑②科学的な思考ができる ☑③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる □④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる □⑤看護者として自己成長できる □⑥社会の変化に対応できる □⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						担当教員
						脇本 直樹
						高山 哲嘉 前山 昭彦
成績評価方法：筆記試験 90％（定期試験期間内） 小テスト 10％（授業時間内） 成績評価基準：筆記試験および小テストの総合点を、GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容		担当者
1	4/9(火) 2時限目	合同	血圧の異常①	1. 血圧とは何か 2. 血圧を調節する諸因子 3. 血圧の腎性調節 教科書(1)第4,12章		脇本
2	4/16(火) 2時限目	合同	血圧の異常②	1. 血圧の神経性調節 2. 自律神経による血圧調節 教科書(1)第4,12章		脇本
3	4/23(火) 2時限目	合同	血圧の異常③	1. 本態性高血圧の病態生理 2. 本態性高血圧の治療 教科書(1)第4,12章 ☆小テスト（1回～3回の範囲）		脇本
4	4/30(火) 2時限目	合同	感染症①	1. 細菌感染症 2. 多剤耐性菌感染症 教科書(1)第3章		脇本
5	5/7(火) 2時限目	合同	感染症②	1. ウイルス疾患 2. プリオン病 教科書(1)第3章		脇本
6	5/14(火) 2時限目	合同	感染症③	1. 寄生虫、原虫による感染症 ☆小テスト（4～5回の範囲） 教科書(1)第3章		脇本
7	5/21(火) 2時限目	合同	遺伝疾患	1. 遺伝のしくみ 2. 遺伝疾患 3. 染色体異常 教科書(1)第8章		脇本
8	5/28(火) 2時限目	合同	悪性腫瘍	1. 悪性腫瘍の発生機序 2. 白血病の病態生理と治療 教科書(1)第9章		脇本

9	6/4(火) 5 時限目	合同	生体侵襲①	1. 手術侵襲と生体の反応 2. 炎症、損傷治癒 3. 外科感染症 教科書(2) 第1章	高山
10	6/11(火) 5 時限目	合同	生体侵襲②	1. 呼吸管理 (酸素療法と人工換気) 2. 体液・栄養管理 3. 輸血療法 教科書(2) 第3章	脇本
11	6/18(火) 5 時限目	合同	生体侵襲③	1. 外科的基本技術 2. 低侵襲治療 (内視鏡下、画像下) 教科書(2) 第3,4章	高山
12	7/2(火) 5 時限目	合同	生体侵襲④	1. 臓器移植 2. インフォームドコンセント 教科書(2) 第4,6章	高山
13	7/9(火) 5 時限目	合同	生体侵襲⑤	1. 院内感染対策 2. ME 機器の管理 教科書(2) 第3,4,6章	前山
14	7/16(火) 5 時限目	合同	生体侵襲⑥	1. 外傷とショック 2. 救急医療 教科書(2) 第4,6章	前山
15	7/23(火) 5 時限目	合同	生体侵襲⑦	1. 麻酔法 教科書(2) 第3章	前山
履修者へのコメント： - 履修条件 履修条件はありません。 - 履修にあたっての心構えと要望 質問は、授業中または授業後に積極的に行ってください。 - 出席確認方法 各回、出席カードで出席を確認します。 - その他 1) 授業に関する連絡は、掲示またはメールで連絡するため、必ず確認をしてください。 2) 実務経験 (医師) のある教員による授業科目です。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：次回授業までに教科書の該当範囲を通読し、各疾患について下調べをしておくこと。 復習 30 分以上：各回の授業で配布する資料を基に知識を整理しておくこと。					
課題に対するフィードバック： 試験結果については採点后、フィードバックを行う。					
オフィスアワー： 授業後に教室で質問を受け付けます。					
教科書： (1) 笹野公伸他著『シンプル病理学』改訂第8版 (南江堂) 2020 *1 年次後期に病理学でも使用 (2) 矢島勝彦ほか著『系統看護学講座 別巻 臨床外科看護学総論』第11版 (医学書院) 2017 年					
参考書： (1) 大橋健一ほか著『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学』第6版 (医学書院) 2021					

授業科目の区分	疾病の成り立ちと回復の促進				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
疾病治療論Ⅱ	3104	講義	1年後期	必修	1/30
概要：主要な疾患の病態生理、治療理論を学習する。Ⅱでは呼吸器疾患、循環器疾患の病態生理と内科的・外科的治療理論を学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的：呼吸器疾患および循環器疾患の病態生理と内科的・外科的治療理論を理解する。					脇本 直樹
到達目標：1. 呼吸器疾患の病態生理と治療理論について説明できる。 2. 循環器疾患の病態生理と治療理論について説明できる。					木下 修
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☐ ⑤看護者として自己成長できる ☐ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：筆記試験 80%（後期試験期間内） 小テスト 20%（授業時間内） 成績評価基準：筆記試験および小テストの総合点を、GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/24(火) 2時限目	合同	呼吸器疾患 ①	1. 呼吸器と腎臓の機能 2. 酸塩基平衡 教科書(1)第1章	脇本
2	10/1(火) 2時限目	合同	呼吸器疾患 ②	1. 呼吸器感染症の病態生理、治療理論 教科書(1)第5章	脇本
3	10/8(火) 2時限目	合同	呼吸器疾患 ③	1. 閉塞性肺疾患の病態生理、治療理論 教科書(1)第5章	脇本
4	10/15(火) 2時限目	合同	呼吸器疾患 ④	1. 拘束性肺疾患の病態生理、治療理論 教科書(1)第5章	脇本
5	10/22(火) 2時限目	合同	呼吸器疾患 ⑤	1. 呼吸器疾患の病態と外科的治療 教科書(3)第1章	脇本
6	10/29(火) 2時限目	合同	呼吸器疾患 ⑥	1. その他の呼吸器疾患の病態生理、治療理論 ☆小テスト（1～6回の範囲） 教科書(1)第5章	脇本
7	11/5(火) 2時限目	合同	呼吸器疾患 ⑦	1. 縦隔疾患の病態と外科的治療 2. 胸部外傷の病態と外科的治療 教科書(3)第1章	脇本
8	11/12(火) 2時限目	合同	循環器疾患 ①	1. 心臓の血行動態と刺激伝達系 2. 不整脈の病態生理、治療理論 3. 心肺蘇生術の治療理論 教科書(2)第2,4章	脇本
9	11/19(火) 2時限目	合同	循環器疾患 ②	1. 心疾患の病態と外科的治療① 教科書(3)第2章	木下
10	11/26(火) 2時限目	合同	循環器疾患 ③	1. 先天性心疾患の病態生理、治療理論 2. 後天性弁膜疾患の病態生理、治療理論 教科書(2)第5章	脇本

11	12/3(火) 2時限目	合同	循環器疾患 ④	1. 心疾患の病態と外科的治療② 教科書(3)第2章	木下
12	12/10(火) 2時限目	合同	循環器疾患 ⑤	1. 虚血性心疾患の病態生理、治療理論 2. 心筋症の病態生理、治療理論 教科書(2)第5章	脇本
13	1/7(火) 2時限目	合同	循環器疾患 ⑥	1. 血管疾患の病態と外科的治療① 教科書(3)第2章	脇本
14	1/14(火) 2時限目	合同	循環器疾患 ⑦	1. 血管疾患の病態生理、治療理論 ☆小テスト (8・10・12・13・14回の範囲) 教科書(2)第5章	脇本
15	1/21(火) 2時限目	合同	循環器疾患 ⑧	1. 血管疾患の病態と外科的治療② 教科書(3)第2章	脇本
履修者へのコメント： 1. 履修条件 履修条件はありません。 2. 履修にあたっての心構えと要望 質問は、授業中または授業後に積極的に行ってください。 3. 出席確認方法 各回、出席カードで出席を確認します。 4. その他 1) 授業に関する連絡は、掲示またはメールで連絡するため、必ず確認をしてください。 2) 実務経験（医師）のある教員による授業科目です。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：次回授業までに教科書の該当範囲を通読し、各疾患について下調べをしておくこと。 復習 30 分以上：各回の授業で配布する資料を基に知識を整理しておくこと。					
課題に対するフィードバック： 試験結果については採点后、フィードバックを行う。					
オフィスアワー： 授業後に教室で質問を受け付けます。					
教科書： (1) 浅野浩一郎ほか著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [2] 呼吸器』第15版（医学書院）2019年 *1年次後期「成人看護Ⅰ」で購入済み (2) 松田直樹ほか著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [3] 循環器』第15版（医学書院）2019年 *1年次後期「成人看護Ⅰ」で購入済み (3) 北島政樹ほか著『系統看護学講座 別巻 臨床外科看護学各論』第9版（医学書院）2017年					
参考書： (1) 笹野公伸ほか著『シンプル病理学』改訂第8版（南江堂）2020 *1年次後期「病理学」で購入 (2) 大橋健一ほか著『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学』第6版（医学書院）2021					

授業科目の区分			疾病の成り立ちと回復の促進			R6（2024）年度	
授業科目名			ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
疾病治療論Ⅲ			3105	講義	1年後期	必修	1／30
概 要：主要な疾患の病態生理、治療理論を学習する。Ⅲでは消化器疾患、女性生殖器系疾患の病態生理と内科的・外科的治療理論を学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的：消化器疾患および女性生殖器疾患の病態生理と内科的・外科的治療理論を理解する。 到達目標： 1. 消化器疾患（食道・胃・腸管・肝臓・胆道・膵臓疾患）の病態生理と治療理論について説明できる。 2. 女性生殖器疾患（乳腺・子宮・卵巣）の病態生理と治療理論について説明できる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☒③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☐⑤看護者として自己成長できる ☐⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる							担当教員
							脇本 直樹
							高山 哲嘉
成績評価方法：筆記試験 90%（後期試験期間内） 小テスト 10%（後期試験期間内） 成績評価基準：筆記試験および小テストの総合点を、GPA 実施規則に則り評価する。							
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容			担当者
1	9/24(火) 5時限目	合同	消化器疾患①	1. 食道疾患の病態生理、治療理論 2. 胃・十二指腸疾患の病態生理、治療理論 教科書(1)第5章			脇本
2	10/1(火) 5時限目	合同	消化器疾患②	1. 食道疾患の病態と外科的治療 教科書(2)第3章			高山
3	10/8(火) 5時限目	合同	消化器疾患③	1. 腸疾患の病態生理、治療理論 ☆小テスト（1・3回の範囲） 教科書(1)第5章			脇本
4	10/15(火) 5時限目	合同	消化器疾患④	1. 胃疾患の病態と外科的治療① 教科書(2)第3章			高山
5	10/22(火) 5時限目	合同	消化器疾患⑤	1. 胃疾患の病態と外科的治療② 教科書(2)第3章			高山
6	10/29(火) 5時限目	合同	消化器疾患⑥	1. 腸管疾患の病態と外科的治療① 教科書(2)第3章			高山
7	11/5(火) 5時限目	合同	消化器疾患⑦	1. 腸管疾患の病態と外科的治療② 教科書(2)第3章			高山
8	11/12(火) 5時限目	合同	消化器疾患⑧	1. 肝不全の病態生理、治療理論 教科書(1)第5章			脇本
9	11/19(火) 5時限目	合同	消化器疾患⑨	1. 肝・胆・膵疾患の病態と外科的治療① 教科書(2)第3章			高山
10	11/26(火) 5時限目	合同	消化器疾患⑩	1. 肝炎、どの他の病態生理、治療理論 教科書(1)第5章			脇本

11	12/3(火) 5 時限目	合同	消化器疾患⑫	1. 肝・胆・膵疾患の病態と外科的治療② 教科書(2)第3章	高山
12	12/10(火) 5 時限目	合同	消化器疾患⑩	1. 胆道疾患の病態生理、治療理論 2. 膵臓疾患の病態生理、治療理論 ☆小テスト (8・10・12 回の範囲) 教科書(1)第5章	脇本
13	1/7(火) 5 時限目	合同	女性生殖器疾患①	1. 乳腺疾患の病態と外科的治療 教科書(2)第6章	脇本
14	1/14(火) 5 時限目	合同	女性生殖器疾患②	1. 子宮疾患の病態と外科的治療 教科書(3)第5章	脇本
15	1/21(火) 5 時限目	合同	女性生殖器疾患③	1. 卵巣疾患の病態と外科的治療 教科書(3)第5章	脇本
履修者へのコメント： 1. 履修条件 履修条件はありません。 2. 履修にあたっての心構えと要望 質問は、授業中または授業後に積極的に行ってください。 3. 出席確認方法 各回、出席カードで出席を確認します。 4. その他 1) 授業に関する連絡は、掲示またはメールで連絡するため、必ず確認をしてください。 2) 実務経験（医師）のある教員による授業科目です。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：次回授業までに教科書の該当範囲を通読し、各疾患について下調べをしておくこと。 復習 30 分以上：各回の授業で配布する資料を基に知識を整理しておくこと。					
課題に対するフィードバック： 試験結果については採点后、フィードバックを行う。					
オフィスアワー： 授業後に教室で質問を受け付けます。					
教科書： (1) 南川雅子ほか著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [5] 消化器』第15版（医学書院）2019年 *1 年次後期に「成人看護Ⅰ」でも購入 (2) 北島政樹ほか著『系統看護学講座 別巻 臨床外科看護学各論』第9版（医学書院）2017年 *1 年次前期に「疾病治療論Ⅱ」で購入済み (3) 末岡浩ほか著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [9] 女性生殖器』第15版（医学書院）2019年 *1 年次後期に「成人看護Ⅰ」で購入					
参考書： (1) 笹野公伸ほか著『シンプル病理学』改訂第8版（南江堂）2020 *1 年次後期に「病理学」で購入 (2) 大橋健一ほか著『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学』第6版（医学書院）2021					

授業科目の区分			健康支援と社会保障制度			R6（2024）年度							
授業科目名			ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間						
社会福祉			4102	講義	1 年後期	必修	2／30						
概 要： ノーマライゼーションの理念に基づき、高齢者や児童、経済的困窮者や障害者などが生活しやすい社会にするための支援や制度などを学ぶ。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的： 支援が必要な人々に対しての福祉制度や専門知識などを身に付けること。 到達目標： 社会福祉制度などを理解する。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐①人間を総合的に理解できる ☐②科学的な思考ができる ☒③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☒⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：定期試験 80％ レポート等 20％ 成績評価基準：レポートは評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、定期試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。							担当教員						
							小 林 明 弘						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容			担当者						
1	9/24（火） 4 限	合同	生活と福祉①	社会福祉の意義 生活基盤と社会福祉			小林						
2	10/1（火） 4 限	合同	生活と福祉②	社会のなかの集団 社会福祉援助技術			小林						
3	10/8（火） 4 限	合同	社会保障制度と 社会福祉①	社会保障の理念			小林						
4	10/15（火） 4 限	合同	社会保障制度と 社会福祉②	社会保障制度の現状と動向			小林						
5	10/22（火） 4 限	合同	社会保険制度①	社会保険制度の役割と変遷			小林						
6	10/29（火） 4 限	合同	社会保険制度②	医療保険			小林						
7	11/5（火） 4 限	合同	社会保険制度③	介護保険			小林						
8	11/12（火） 4 限	合同	社会保険制度④	年金保険制度			小林						
9	11/19（火） 4 限	合同	社会保険制度⑤	労働保険制度			小林						

10	11/26 (火) 4 限	合同	社会福祉の歴史 と動向	社会福祉の歴史 社会福祉の現状と課題	小林
11	12/3 (火) 4 限	合同	社会福祉の諸制 度と施策①	生活保護に関する法と施策	小林
12	12/10 (火) 4 限	合同	社会福祉の諸制 度と施策②	障害者福祉に関する法と施策	小林
13	1/7 (火) 4 限	合同	社会福祉の諸制 度と施策③	児童福祉に関する法と施策	小林
14	1/14 (火) 4 限	合同	社会福祉の諸制 度と施策④	高齢者福祉に関する法と施策	小林
15	1/21 (火) 4 限	合同	福祉行政のしく みと民間活動	福祉行政の実施体制 民間活動	小林
履修者へのコメント： 1. 履修条件 履修条件はありません。 2. 履修にあたっての心構えと要望 質問は、授業中または授業後に積極的に行ってください。 3. 出席確認方法 各回、出席カードで出席を確認します。 4. その他 不定期にグループワークやレポート提出を行います。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：次回授業までに教科書の該当範囲を通読し、各疾患について下調べをしておくこと。 復習 30 分以上：各回の授業で配布する資料を基に知識を整理しておくこと。					
課題に対するフィードバック： 試験結果については採点后、フィードバックを行う。					
オフィスアワー： 講義前後に質問などを受けつけます。					
教科書： 新体系 看護学全書 健康支援と社会保障制度③ 社会福祉 メヂカルフレンド社					
参考書： なし					

授業科目の区分		健康支援と社会保障制度				R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	
関係法規	4103	講義	1 年後期	必修	1／15	
概 要：保健・医療・介護・福祉分野における看護活動に関連する法律や制度の仕組みを理解し、看護との関連について理解を深める。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員	
目 的：将来保健、医療、介護、福祉の現場に出るにあたり必要となる法律の常識や関係法令及び制度の仕組みを学ぶ。特に保健師助産師看護師法については業務、義務と責任について詳しく学習する。					小野寺 亘	
到達目標：1. 保健・医療・福祉制度の変遷と時代背景について理解する。 2. それぞれの制度と看護との関連について理解する。						
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐ ①人間を総合的に理解できる ☐ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						
成績評価方法：定期試験（筆記試験）（90%、）学習態度（10%） 成績評価基準：学習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、定期試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者	
1	9/25（水） 1 時限目	1 年	法の概念	法について 1) 法についての基本を理解する。 2) 厚生行政の仕組みを理解する。	小野寺	
2	10/2（水） 1 時限目	1 年	医事法①	1. 医療法について 1) 医療法の経緯について理解する 2) 医療法の構成から医療現場を考察する	小野寺	
3	10/9（水） 1 時限目	1 年	医事法②	2. 保健師助産師看護師法について 1) 法律、政令、規則等の関係を理解する 2) 籍登録の意義について理解する	小野寺	
4	10/16（水） 1 時限目	1 年	医事法③	2. 保健師助産師看護師法について 3) 有資格者の義務と責任について理解する 4) 看護者の倫理要綱から医療倫理について考察する	小野寺	
5	10/23（水） 1 時限目	1 年	医事法④	3. 医療身分法について 1) 医師法、歯科医師法を理解する 2) その他の医療職の身分法を理解する	小野寺	
6	10/30（水） 1 時限目	1 年	医療保険	4. 医療保険について 1) 医療保険制度の仕組みを理解する 2) 高齢者の医療制度を理解する	小野寺	
7	11/6（水） 1 時限目	1 年	社会保険	5. 社会保障について 1) 社会保障の歴史を考察する 2) 社会福祉の構成と課題を考察する 6. 介護保険制度について 1) 制度の概要と被保険者の構成を理解する	小野寺	

				2) サービスの内容や種類を理解する	
8	11/13 (水) 1 時限目	1 年	保健衛生	7. 地域保健について 1) 地域保健法の目的を理解する 2) 関係機関の役割を理解する 8. 母子保健について 1) 母子保健法および母体保護法を理解する 9. 感染症対策について 1) 感染症予防法を理解する	小野寺
履修者へのコメント： 1. 履修条件：授業で配布した資料及び教科書を毎回持参すること。 2. 履修にあたっての心構えと要望 特になし 3. 出席確認：出席確認は各回出席カードにて確認する。 4. その他 特になし					
準備学習の内容及び必要時間 予習：30 分以上：「次回授業までに該当部分の教科書を読み資料の下調べをして整理しておくこと。」 復習：30 分以上：「授業で配布した資料、該当部分の教科書、参考図書を整理すること。」					
課題に対するフィードバック フィードバック方法は、第 1 回授業時に説明する。					
オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付ける。					
教科書：新体系 看護全書 健康支援と社会保障制度④ 関係法規（メヂカルフレンド社）					
参考書：系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④（医学書院） 国民衛生の動向 2022/2023 （厚生労働統計協会）					

授業科目の区分		健康支援と社会保障制度				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	
健康と運動	4104	講義	1年後期	必修	1／15	
概 要：生涯にわたり健康で活力に満ち、充実した生活を送るために、運動習慣の重要性について学習する。 目 的：本科目では、看護職を志す者として健康づくりに必要な運動（身体活動）を学び、患者へ伝えられるだけでなく自らも健康を維持するための運動習慣を体得することを目的とする。 到達目標：有酸素運動、筋力運動等各種の運動を通して、健康増進や疾病予防に有効な運動の種類と適正量を理解する。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐①人間を総合的に理解できる ☐②科学的な思考ができる ☒③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☐⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：レポート（80%）、学習態度（20%） 成績評価基準：レポートは評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、学習態度との総合点をGPA実施規則に則り評価する。						担当教員
						浅見 真一
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者	
1	9/25 (水) 2時限目	合同	運動と身体活動	健康日本21（第2次）における健康づくりのための身体活動基準及び身体活動指針を理解する	浅見	
2	10/2 (水) 2時限目	合同	有酸素運動	健康づくりに有効な有酸素運動について理解する	浅見	
3	10/9 (水) 2時限目	合同	筋力運動	健康づくりに有効な筋力運動（筋力トレーニング）について理解する	浅見	
4	10/16 (水) 2時限目	合同	柔軟運動	健康づくりに有効な柔軟運動（ストレッチング）について理解する	浅見	
5	10/23 (水) 2時限目	合同	ダイエットと運動	ダイエットに有効な運動について理解する	浅見	
6	10/30 (水) 2時限目	合同	メタボ・ロコモ・フレイルの予防と運動	メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム及びフレイルの予防改善に有効な運動について理解する	浅見	
7	11/6 (水) 2時限目	合同	メンタルヘルスと運動	心の健康づくりに有効な運動について理解する	浅見	
8	11/13 (水) 2時限目	合同	運動処方	生活習慣病予防改善のための運動処方について理解する	浅見	

履修者へのコメント： 1. 履修条件：履修条件はありません。 2. 履修に当たっての心構えと要望 GPA 目標を 2.5 以上とします。 3. 出席確認は各回出席カードで確認します。 4. その他 評価の詳細およびフィードバック方法は、第 1 回授業時に説明します。
準備学習の内容及び必要時間： 復習 30 分以上：各回の授業で配付する資料、テキストを整理すること。
課題に対するフィードバック： 第 1 回授業時に説明します。
オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。
教科書：なし
参考書：健康づくりのための身体活動基準 2013（厚生労働省） 健康づくりのための身体活動指針（アクティブガイド 厚生労働省） 特定保健指導における運動指導マニュアル（日本健康運動指導士会）

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6（2024）年度
授業科目名		ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
看護概論		5101	講義	1 年前期	必修	2／30
概要： 看護の対象となる人間を健康と環境とを関連付けて生活者として総合的にとらえ、看護理論や歴史的背景から看護の本質や機能、看護活動の場、保健医療福祉チームメンバーを、講義を通して学習する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。						担当教員
目的： 看護の語源や理論、歴史的背景等を通して、看護の本質を学習し、保健医療福祉チームメンバーの一員として実践するための看護の役割を理解する。						蒲生 澄美子
到達目標： 1. 看護の概念を語源や歴史的変遷、看護論を通して理解し説明できる。 2. 看護の対象を生活者として捉え、健康や環境と関連づけて総合的に理解し説明できる。 3. 保健医療システムについて説明できる。 4. 保健医療福祉チームメンバーとチームにおける看護の役割を説明できる。						
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる □②科学的な思考ができる □③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる □④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☑⑤看護者として自己成長できる ☑⑥社会の変化に対応できる □⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						
成績評価方法：授業時間内試験（筆記試験）60%、レポート40%（看護の概念20%、人間の概念20%） 成績評価基準：レポートは評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、筆記試験との総合点をGPA実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容		担当者
1	4/8(月) 1 時限	合同	看護の概念①	1. 看護の歴史的背景や看護理論から考える看護の概念（定義、目的、役割、活動の場） 1) 語源から考える看護 教科書 1 p. 2～p. 3 配布資料		蒲 生
2	4/15(月) 1 時限	合同	看護の概念②	2) 歴史的背景から考える看護の概念 ディスカッション・発表 教科書 1 p. 29～p. 57		蒲 生
3	4/22(月) 1 時限	合同	看護の概念③	3) 歴史的背景から考える看護の概念 ディスカッション・発表 教科書 1 p. 29～p. 57		蒲 生
4	5/20(月) 1 時限	合同	看護の概念④	4) 看護理論から考える看護の概念 教科書 1 p. 3～p. 28 配布資料		蒲 生
5	5/27(月) 1 時限	合同	看護の概念⑤	5) 看護理論から考える看護の概念 教科書 1 p. 3～p. 28 6) 看護の機能と看護活動の場 教科書 1 p. 149～p. 163 レポート提出「2つの看護論から考える看護の概念」 提出期限 授業内で説明		蒲 生
6	6/3(月) 1 時限	合同	健康と看護①	2. 健康の概念 1) 生理学、心理学、社会学、看護学の立場から考える健康の概念(1) 教科書 1 p. 104～p. 148 筆記試験：看護の概念 30 分間		蒲 生

7	6/10(月) 1 時限	合同	健康と看護①	1) 生理学、心理学、社会学、看護学の立場から考える健康の概念(2) 教科書 1 p. 104～p. 148 2) 健康に影響を及ぼす因子 教科書 1 p. 104～p. 148	蒲 生
8	6/17(月) 1 時限	合同	健康と看護②	3) 健康の段階 教科書 1 p. 104～p. 148 ディスカッション・発表	蒲 生
9	7/1(月) 1 時限	合同	健康と看護③	4) 健康の各段階に期待される役割行動 教科書 1 p. 104～p. 148 ディスカッション・発表	蒲 生
10	7/8(月) 1 時限	合同	環境と看護①	3. 環境の概念 1) 環境の概念 2) 環境と看護 教科書 1 p. 59～p. 101 筆記試験：健康の概念 30 分間	蒲 生
11	7/22(月) 1 時限	合同	環境と看護②	3) 健康に影響を及ぼす環境要因 教科書 1 p. 59～p. 96 ディスカッション・発表	蒲 生
12	7/29(月) 1 時限	合同	看護の対象①	4. 人間の概念 1) 生理学、心理学、社会学的立場から考える人間の概念 教科書 1 p. 59～p. 96 配布資料 2) 看護の対象となる生活者の概念 教科書 1 p. 59～p. 101 3) 患者の概念、患者の危機 教科書 1 p. 77～p. 96	蒲 生
13	7/30(火) 1 時限	合同	看護の対象②	4) 家族の概念 教科書 1 p. 63～p. 64 5) 家族の発達課題 教科書 1 p. 63～p. 64 6) 家族の危機 教科書 1 p. 77～p. 96	蒲 生
14	8/5(月) 1 時限	合同	看護の対象③	7) 防衛機制、コーピングの意味と内容 教科書 1 p. 87～p. 96 配布資料 8) 危機の種類、危機の段階、コーピング行動の具体例 教科書 1 p. 87～p. 96 レポート提出「危機とコーピング」 提出期限 授業内	蒲 生
15	8/6(火) 1 時限	合同	看護の概念 まとめ	5. 看護の目的、対象、方法のまとめ	蒲 生

履修者へのコメント：

1. 履修条件はありません。

2. 履修にあたっての心構えと要望

1) 課題学習を行う場合、次の事に注意してください。

(1) 課題の内容をよく読み、理解してください。教科書などを参照し、丁寧に学習することを期待します。

(2) 課題に必要な資料を複数集め、比較検討してまとめるようにしてください。

(3) ディスカッションをするときは、予習による個人の学習を済ませて臨んでください。

・ディスカッションには 6 人程度のグループ編成に基づいたワークとペアワークがあります。

グループ編成は第 1 回授業後に発表します。

2) 講義に関する質問は授業時間内に積極的に行ってください。疑問や不明点をそのままにしない学習姿勢を培うことを期待します。

3. 出席確認： 出欠席は毎回授業中に確認します。確認方法は授業開始時に説明します。

4. その他

準備学習の内容及び必要時間：

予習 60 分以上：シラバス（内容）に示した教科書の該当部分を読み、用語を理解して授業に臨んで下さい。

インターネット等で関連記事などを読み資料の下調べをし、その内容を整理して授業に臨むようにしてください。ディスカッションの準備は下調べが必要です。

復習 60 分以上：授業で学んだ内容を整理し、疑問点を残さないようにしてください。

課題に対するフィードバック：筆記試験・レポート結果については採点・添削後、フィードバックを行います。

オフィスアワー：授業終了後に講義室で質問を受け付ける。その他、下記のとおり質問・相談に対応します。

期間：月曜日～金曜日、 時間：8:30～17:30、 場所：研究室 21

教科書：1. 松本光子編著 『看護学概論 看護とは・看護学とは 第5版』（ヌーヴェル・ヒロカワ）2022 年
2. F. ナイチンゲール著、小玉香津子・尾田葉子訳『看護覚え書き：ほんとうの看護とそうでない看護』（日本看護協会出版会）2019 年
3. V. ヘンダーソン著、湯楨ます他訳『看護の基本となるもの』（日本看護協会出版会）2016 年

参考書： なし

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
看護倫理	5102	講 義	1年後期	必 修	1／15
概 要： 倫理の意味や倫理原則を自己の価値観と対比させることによって生じる葛藤や、医療・看護の場における倫理的問題解決のための意思決定のプロセスと方法を、講義を通して学習する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的：倫理の概念を学び、これまでの生活経験の中で培ってきた自己の価値観と対比させることによって生じる葛藤を通して倫理的感受性を養う。 到達目標：1. 倫理の意味と原則が説明できる。 2. 医療や看護の場における倫理的問題を説明できる。 3. 倫理的問題解決のための意思決定のプロセスと方法を学び意思決定できる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる ☑②科学的な思考ができる ☑③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☑④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☑⑤看護者として自己成長できる □⑥社会の変化に対応できる □⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：事例検討記録（20%）、倫理的意思決定レポート（80%） 成績評価基準：事例検討記録は1事例5点満点とし、4事例をグループで検討し作成する。 倫理的意思決定レポートは80点満点とし、個人で作成する。 事例検討記録と倫理的意思決定レポートは評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、総合点をGPA実施規則に則り評価する。					担当教員
					今野 葉月
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/27(金) 1限	合同	倫理の概念	1. 倫理の意味 2. 倫理—道徳—法律の関係 教科書 p. 2-9	今 野
2	10/4(金) 1限	合同	看護倫理の意味 看護職の倫理的責任	1. 看護倫理、生命倫理、職業倫理の関連 教科書 p. 11-13. 76-79 2. 看護倫理の必要性 教科書 p. 11-16 3. 看護倫理の歴史的変遷（倫理綱領の変遷含む） 教科書 p. 17-22 4. 看護職の責任 教科書 p. 109-114	今 野
3	10/11(金) 1限	合同	倫理的意思決定のプロセス	1. 倫理の原則 教科書 p. 35-48 2. 倫理的意思決定のプロセス 教科書 p. 136-221	今 野
4	10/25(金) 1限	合同	事例検討 1	1. 倫理的問題に関する事例の検討 グループ・ワーク 「看護学生の臨地実習における倫理的問題」 事例検討記録 提出 本日 17時	今 野
5	11/1(金) 1限	合同	事例検討 2	2. 倫理的問題に関する事例の検討 グループ・ワーク 「終末期ケアにおける倫理的問題」 事例検討記録 提出 本日 17時	今 野

6	11/8(金) 1 限	合同	事例検討 3	3. 倫理的問題に関する事例の検討 グループ・ワーク 「胎児診断における倫理的問題」 事例検討記録 提出 本日 17 時	今 野
7	11/15(金) 1 限	合同	事例検討 4	4. 倫理的問題に関する事例の検討 グループ・ワーク 「研究における倫理的問題」 事例検討記録 提出 本日 17 時	今 野
8	11/22(金) 1 限	合同	看護倫理まとめ	看護倫理的問題に関する自己の意思決定 倫理的意思決定レポート 提出 時間内	今 野
履修者へのコメント： 1. 履修条件 ありません 2. 履修にあたっての心構えと要望 1) 事例検討はグループ・ワークを行います。グループ編成は4～5人で編成し、授業開始時に発表します。 2) 事例検討では、次の事に注意してください。 (1) 事例および検討する内容を理解する。 (2) 事例検討に必要な資料（倫理綱領、関係法規、倫理の原則など）や教科書を十分活用する。 (3) 個人の学習（課外）を済ませてから、事例検討（授業）に臨む。 (4) 事例検討は積極的に参加し、意見交換（発言）する。 3. 出席確認 出欠席は毎回授業中に確認します。確認方法は最初の授業で説明します。					
準備学習の内容及び必要時間： 1) 授業の予習・復習を次のとおり行ってください。 (1) 予習（1 時間以上）：内容に示した教科書の該当部分を読み、用語を理解する。 事例の状況や関連事項は、教科書やインターネットを用いて下調べをする。 (2) 復習（1 時間以上）：授業で学んだ内容を整理し、疑問点を解消する。					
課題に対するフィードバック： 「事例検討記録」と「倫理的意思決定レポート」の採点結果は、授業時間内・外でフィードバックを行います。					
オフィスアワー：講義に関する質問は、授業時間内に行ってください。 授業時間外の質問は、次に示す時間に対応します。 期間：月曜日～金曜日、 時間：8:30～17:30、 場所：研究室 18					
教科書：小西恵美子編『看護倫理 改訂第3版；よい看護・よい看護師への道しるべ』（南江堂）2022 年					
参考書：1. 佐伯仁志也『ポケット六法 令和6年度版』（有斐閣）2024 年 2. 看護行政研究会編『令和5年度版 看護六法』（新日本法規）2023 年					

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
看護の方法Ⅰ (看護実践の基盤となる技術)	5103	講義	1 年前期	必修	2/60
概 要： 人間のヘルスニーズに対応するための看護を展開する方法の概要と看護実践のあらゆる場面において基盤となる安全・安楽・自立に関わる共通技術を、科学的根拠に基づいて実施できるように、講義・演習を通して学習する。 この科目は、「人体の構造と機能」に関わる知識を科学的根拠として活用しながら学習し、学習した内容は、演習や臨地実習で繰り返し実践する中で修得していく。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的： 看護を展開する方法と看護実践のあらゆる場面において基盤となる安全・安楽・自立に関わる共通技術を修得する。 到達目標： 1. 看護の安全を守る方法を理解し、設定された状況で感染防止・事故防止が実施できる。 2. 対象の安楽を図る方法および対象の自立を促す方法が理解できる。 3. 看護の方法論の概要が理解できる。 4. 対象を把握するための観察と記録、報告の方法を理解し、模擬患者に実施できる。 5. 人間の相互関係を成立・発展させるための技術を理解し、模擬患者に実施できる。 6. 看護を実践するために必要な看護師の身体の使い方を理解し、実施できる。 7. 対象の健康状態をアセスメントするために必要なフィジカルアセスメント、バイタルサインズ測定の方法を理解し、模擬患者に実施できる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☒③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☐⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法： 1. 筆記試験 60% (授業時間外 7/4 (木) 1 時限予定) 2. 実技試験 20% (授業時間内 2 回・前期定期試験内 1 回) 3. レポート 10% (●表示) 4. 学習態度 10% (▲WebClass の事後学習教材の実施状況) 成績評価基準： 実技試験・レポートは評価基準を学生に明示の上でその評価基準に基づいて評価し、筆記試験・学習態度の得点との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					担当教員 今野 葉月 蒲生 澄美子 宮崎 素子 清水 百子 榎本 佑美 八幡 真由美 倉田 暢子
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/11(木) 2 時限	合同	安全を守る方法 ①	1. 医療・看護における安全の意義 2. 医療・看護における危険要因 3. 安全確保の基礎知識 教科書(1)p. 12, p. 64-101 (3)p. 73-89	榎 本
2	4/11(木) 3 時限	合同	安全を守る方法 ②	1. 感染防止の原則と対策 2. 洗浄・消毒・滅菌の基礎知識 教科書(1)p. 12, p. 64-101 (3)p. 73-89	榎 本
3	4/11(木) 4 時限	合同	看護の方法論の 概要①	1. 看護過程の概念 2. 看護過程の構成要素 3. 看護過程を使うことの意義 教科書(1) p. 272-276	今 野

4	4/12(金) 3 時限	合同	安全を守る方法 ③	1. 無菌操作 2. 消毒薬の作成、希釈方法 教科書(1)p. 12, p. 64-101 (3)p. 73-89 ▲WebClass 上の事後課題 4/17(水)21 時まで	榎 本
5	4/12(金) 4 時限	合同	安楽を図る方法	1. 対象の安楽を図る意義 2. 対象の安楽を図る方法 教科書(2)p. 2-8, p. 160-163 (3)p. 270-272 ●レポート 中間提出 4/19(金)8:50 最終提出 5/8(水)8:50	蒲 生
6	4/18(木) 1 時限	A	安全を守る方法 ④	1. 衛生的手洗いの実践実践 2. スタンダードプリコーションの実践 3. 患者確認の実践 4. 無菌操作の実践 教科書(1)p. 12, p. 64-101 (3)p. 73-89 (学内実習)	担当教員 全 員
	4/18(木) 3 時限	B			
7	4/18(木) 2 時限	A	安全を守る方法 ⑤		
	4/18(木) 4 時限	B			
8	4/18(木) 3 時限	A	看護の方法論の 概要②	1. アセスメントに利用できる 考え方 1) クリティカルシンキング 2. アセスメントの目的と方法 教科書(1)p. 280-285, 292-305	今 野
	4/18(木) 1 時限	B			
9	4/18(木) 4 時限	A	観察・記録・報 告・コミュニケーション①	1. 観察の定義、 2. 観察の目的と方法 ※観察視点（基本的欲求）の作成：教科書(4) (5) 教科書(1)p. 294-297	今 野
	4/18(木) 2 時限	B			
10	4/19(金) 3 時限	合同	看護の方法論の 概要③	1. 看護診断と看護問題 2. 援助計画の立案 3. 実施と評価 教科書(1)p. 305-314, 314-318, 318-321 ▲WebClass 上の事後課題 4/26(金)21 時まで	今 野
11	4/19(金) 4 時限	合同	看護師の身体 の使い方①	1. 動作の安定性・効率性 2. ボディメカニクスの原則 3. 看護を実践するために必要な看護師の身体 の使い方 教科書(2)p. 24-25, p. 104-110, p. 115(3)p. 91-103 ▲WebClass 上の事後課題 4/24(水)21 時まで	蒲 生
12	4/25(木) 1 時限	合同	観察・記録・報 告・コミュニケーション②	1. コミュニケーションの意義と方法 2. カウンセリングの目的と方法の概要 3. 報告の目的と方法 4. 討議の目的と方法 教科書(1)p. 18-54	今 野
13	4/25(木) 2 時限	合同	観察・記録・報 告・コミュニケーション③	1. 看護過程と記録の関係 2. 記録の目的と種類、方法 教科書(1)p. 322-328 ▲WebClass 上の事後課題 5/22(水)21 時まで	今 野

14	4/25(木) 3 時限	A	看護師の身体の 使い方②	1. 看護を实践するために必要な看護師の身体の使い方 1) ボディメカニクスの活用 2. 作業効率を考えた实践の方法 教科書(2)p. 24-25, p. 104-110, p. 115(3)p. 91-103 (学内実習)	担当教員 全 員
	4/25(木) 4 時限	B			
15	4/26(金) 3 時限	合同	自立を促す方法	1. 対象の自立を促す意義 2. 対象の自立を促す方法 教科書(1)p. 10-11, (2)p. 5-6 配付資料 ▲WebClass 上の事後課題 5/2(木)21 時まで	蒲 生
16	4/26(金) 4 時限	合同	フィジカルアセ スメント①	1. 看護におけるフィジカルアセスメントの意義 2. フィジカルアセスメントの基本原則 3. フィジカルアセスメント基本技法(問診・視診・聴診・ 打診・触診) 教科書 (1)p. 168-259 (3)p. 111-150	宮 崎
17	5/9(木) 1 時限	A	安全を守る方法 ⑥	《実技試験》 1. 衛生的手洗い 2. 防護用具の着脱 (授業時間内試験)	担当教員 全 員
	5/9(木) 2 時限	B			
18	5/9(木) 3 時限	合同	フィジカルアセ スメント②	1. 呼吸器系のフィジカルアセスメントの方法 教科書 (1)p. 188-197 (3)p. 137-139	宮 崎
19	5/9(木) 4 時限	合同	フィジカルアセ スメント③	1. 身体の計測技術とスケールの活用方法(意識レベルの評 価方法を含む) 2. 対象の健康状態をアセスメントし、看護に適応する方法 教科書 (1)p. 168-259 (3)p. 111-150 ▲WebClass 上の事後課題 5/15(水)21 時まで	宮 崎
20	5/16(木) 1 時限	A	フィジカルアセ スメント④	1. 問診・視診・聴診・触診・打診の基本技法の实践 2. 模擬患者のフィジカルアセスメントの实践 (呼吸器系を中心に实践する) 3. 模擬患者のフィジカルアセスメント結果の記録、報告 教科書 (1)p. 168-259 (3)p. 111-150 (学内実習)	担当教員 全 員
	5/16(木) 3 時限	B			
21	5/16(木) 2 時限	A	フィジカルアセ スメント⑤		
	5/16(木) 4 時限	B			
22	5/17(金) 3 時限	合同	バイタルサイン ズ測定①	1. 看護におけるバイタルサインズ測定の意義 2. 体温の測定方法と根拠 3. 呼吸の測定方法と根拠 4. 脈拍の測定方法と根拠 5. 血圧の測定方法と根拠 (グループワーク 反転授業) 教科書(1)p. 150-168 (3)p. 120-139	宮 崎
23	5/17(金) 4 時限	合同	バイタルサイン ズ測定②	1. 体温・呼吸・脈拍・血圧のメカニズム 2. 体温・呼吸・脈拍・血圧の正常・異常 3. 体温・呼吸・脈拍・血圧の変動因子 (反転授業) 教科書(1)p. 150-168 (3)p. 120-139	宮 崎

24	5/23(木) 1 時限	A	観察・記録・報告・コミュニケーション④	1. 観察視点をを用いた系統的観察の実践 2. 対象とのコミュニケーションの実践 3. 観察した内容の記録、報告〔課外〕 (学内実習)	担当教員 全 員
	5/23(木) 2 時限	B			
25	5/23(木) 3 時限	合同	観察・記録・報告・コミュニケーション⑤	1. 観察視点をを用いて観察した内容の確認 2. 観察した内容を分類・整理しデータベースに記録 (グループワーク)	担当教員 全 員
26	5/23(木) 4 時限	合同	バイタルサインズ測定③	1. 測定結果の記録・報告方法 2. 測定結果をアセスメントし、看護に適応する方法 教科書(1)p. 150-168 (3)p. 120-139 ▲WebClass 上の事後課題 5/29(水)21 時まで	宮 崎
27	5/24(金) 3 時限	合同	観察・記録・報告・コミュニケーション⑥	1. 観察した内容の報告 2. カンファレンス 「系統的観察法を実践して把握した模擬患者の日常生活行動」 (グループワーク) 記録(データベース)提出 授業終了時 ●レポート 提出期限 5/27(月)8:50 まで	担当教員 全 員
28	5/30(木) 1 時限	A	バイタルサインズ測定④	1. 模擬患者の体温、脈拍、呼吸、血圧測定の実践 2. 模擬患者のバイタルサインズ測定結果と、その他 観察した内容の記録、報告 教科書(1)p. 150-168 (3)p. 120-139 (グループワーク・発表・学内実習)	担当教員 全 員
	5/30(木) 3 時限	B			
29	5/30(木) 2 時限	A	バイタルサインズ測定⑤		
	5/30(木) 4 時限	B			
30	5/31(金) 3 時限	A	フィジカルアセスメント⑥	《実技試験》 1. 呼吸音、肺性副雑音の聴診技術 (授業時間内試験)	担当教員 全 員
	5/31(金) 4 時限	B			

履修者へのコメント：

- 履修条件
ありません。
- 履修にあたっての心構えと要望
 - 次の通り、科学的根拠に基づいて原理・原則をふまえた看護を実施できるよう学習してください。
 - ①人体の構造と機能・生化学・薬理学・病理学、心理学や社会学など人間に関する様々な知識を活用し、科学的根拠をふまえ学習する。
 - ②看護実践の原理・原則を理解しながら学習する。
 - ③まだ学習していない知識を求められる場合もあるため、教科書や参考書を活用して自ら調べ、学習する。
 - ④すでに学習した単元の知識と本単元で新たに得た知識を使って理解を深める。
 - ②看護実践は、知識・技術・態度の統合で行われます。この科目の学習を通して、知識・技術・態度を統合する方法、得た知識を実践に活用する方法、看護技術の習得方法、看護者としての態度のあり方を意識して、身につける努力をしてください。
- 出席確認
授業ごとに、担当教員が出欠席を確認します。

4. その他 1) 試験について ①筆記試験・実技試験・レポートの詳細は、別途オリエンテーションします。 ②実技試験は、原理・原則に基づいた適切な方法で実施できるかを評価します。試験課題を理解し、反復練習をして臨んでください。 ③学習態度については、▲表示がある授業の事後学習教材の取り組み状況の評価します。▲表示の単元の講義後から学内実習前日までの期間内(指定の日時まで)に、Webclass にある問題をすべて正解し理解するまで実施してください。各単元の配点は別紙「看護の方法Ⅰ評価方法」を参照してください。 2) 連絡・相談について ①講義・学内実習に関する連絡は、掲示板やWebClass の各種機能・メールなどを用いて行います。各自で必ず確認してください。 ②講義・学内実習に関する質問や相談は、授業時間内に積極的に行ってください。 ③実習室の利用は別紙を配付し説明します。ルールを守って利用し、不明点は確認してください。
準備学習の内容及び必要時間： 1. 講義や学内実習での学習を補強するために、事前学習（予習と課題）と事後学習（復習と課題）を課します。 2. 予習・復習は、自主的に実施してください。 予習 30 分以上：学習内容をふまえて教科書の該当ページを読み、わからない用語については調べてください。学内実習前には動画や静止画を参考に看護技術のイメージトレーニングを実施し、学内実習で役割行動がとれるように準備をしてください。 復習 30 分以上：学習内容の要点を整理し覚え、看護技術は身につくまで繰り返し練習してください。 3. 事前・事後課題は単元毎に提示します。事前課題は、講義や学内実習で活用できるように準備してください。物品を用いたり、実習室で行う課題は、別途詳細を説明します。提出された課題は、適宜フィードバックします。
課題に対するフィードバック： 実技試験のフィードバックは評価の都度に行います。 レポートおよび筆記試験については採点后、時間外でフィードバックを行います。 最終的な評価結果は、掲示または WebClass で開示します。
オフィスアワー： 授業時間外は、月曜日から金曜日 8:30～17:30 の間に各単元担当に、直接または WebClass からメールで質問してください。
教科書： (1) 茂野香おる他著『系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ 第19版』（医学書院）2023 年 (2) 任和子他著『系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第18版』（医学書院）2023 年 (3) 深井喜代子他編『基礎看護学テキスト EBN 志向の看護実践 改訂第3版』（南江堂）2023 年 (4) 秋葉公子他著『看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 第5版』（ヌーベルヒロカワ）2023 年 (5) 江崎フサ子他著『ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト 第5版』（ヌーベルヒロカワ）2023 年 (6) 大久保昭行他編『わかる！検査値とケアのポイント第2版』（医学書院）2021 年
参考書： (1) 村中陽子他編著『学ぶ・活かす・共有する 看護ケアの根拠と技術 第3版』（医歯薬出版）2019 年 (2) 平田雅子著『完全版 ベットサイドを科学する 改訂第4版』（学研メディカル秀潤社）2021 年 (3) 岡本恵里他編著『ナースィング・ポケットマニュアル 基礎看護技術第2版』2023 年 (4) 矢崎義雄監修『治療薬マニュアル 2024』（医学書院）2024 年

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6（2024）年度
授業科目名		ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
看護の方法Ⅱ (日常生活行動への援助技術)		5104	講義	1 年 前期・後期	必修	2／60
概 要： 看護の独自の機能である日常生活行動への援助（飲食や排泄、姿勢や清潔、環境調整など）について、基本的欲求ごとに科学的根拠に基づいて実施する方法を、講義・演習を通して学習する。 この科目は、「人体の構造と機能」に関わる知識を科学的根拠として活用しながら学習し、学習した内容は、演習や臨地実習で繰り返し実践する中で修得していく。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。						担当教員
目 的：看護の対象となる人間の基本的欲求を理解し、それを助ける日常生活行動への援助技術を修得する。						今野 葉月 蒲生 澄美子 宮崎 素子 清水 百子 榎本 佑美 八幡 真由美 倉田 暢子
到達目標：1. 看護の対象の日常生活行動（環境・飲食・排泄・運動と姿勢・睡眠と休息、衣類の着脱、身体の清潔と皮膚の保護 など）と、援助の意義・方法が説明できる。 2. 日常生活行動への援助を実施する時の留意点について、人間の身体的・心理的・社会的特徴を根拠に、安全・安楽・自立を視点として説明できる。 3. 設定した模擬患者に、日常生活行動への援助が実施できる。						
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる ☑②科学的な思考ができる ☑③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☑④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☑⑤看護者として自己成長できる □⑥社会の変化に対応できる □⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						
成績評価方法：1. 筆記試験 50％（前期定期試験内） 2. 実技試験 40 ％（授業時間外 9/20(金) 予定） 3. レポート 5％（●表示） 4. 学習態度 5％（▲表示 WebClass の事後学習教材の実施状況） 成績評価基準：実技試験・レポートは評価基準を学生に明示した上でその評価基準に基づいて評価し、筆記試験・学習態度の得点との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容		担当者
1	5/24(金) 4 限目	合同	環境調整の援助 ①	1. 人間の健康と環境との関連 2. 病院・病棟の設備・構造・機能と望ましい環境 3. 病床の構造とリネンの種類及び特徴 教科書(2)p. 10-25 (3)p. 158-183 (5) 配布資料		蒲 生
2	6/6(木) 1 限目	合同	環境調整の援助 ②	1. ベッドメイキングの方法 2. シーツ交換の方法 3. 病室の環境を整える援助 教科書(2)p. 10-25, (3)p. 158-183 ▲WebClass 上の事後課題 6/19(水)21 時まで		蒲 生
3	6/6(木) 2 限目	合同	運動と姿勢の援助①	1. 姿勢と運動の生理的・心理的・社会的意義 2. 姿勢や運動のアセスメント（体位の種類） 3. 運動を制限することで起こる障害 教科書(2)p. 104-139 (3)p. 248-262 (5)		今 野

4	6/6(木) 3 限目	合同	運動と姿勢の援助②	1. 運動を制限することで起こる障害の予防 リハビリテーション(関節可動域訓練・筋力強化訓練) 2. 体位変換と移動動作の援助方法 教科書(2)p. 104-139, (3)p. 248-262 ▲WebClass 上の事後課題 6/12(水)21 時まで	今 野
5	6/6(木) 4 限	合同	身体の清潔の援助①	1. 身体を清潔にする意義 2. 身体を清潔にする方法 (口腔ケア、手浴、足浴、入浴) 教科書(2)p. 171-184, 215-223 (3)p. 234-247 (5)	宮 崎
6	6/7(金) 3 限目	A	環境調整の援助 ③	1. ベッドメイキングの実践 教科書教科書(2)p. 10-25 (3)p. 158-183 (学内実習)	担当教員 全 員
	6/7(金) 4 限目	B			
7	6/13(木) 1 限目	A	運動と姿勢の援助③	1. 臥床している模擬患者に、体位変換の実践 教科書(2)p. 104-139 (3)p. 248-262 事前課題を用いる (学内実習)	担当教員 全 員
	6/13(木) 3 限目	B			
8	6/13(木) 2 限目	A	運動と姿勢の援助④		
	6/13(木) 4 限目	B			
9	6/14(金) 3 限	A	運動と姿勢の援助⑤	1. 模擬患者に車いす・ストレッチャーへの移乗の実施 2. 模擬患者への車いす・ストレッチャーによる移送の実施 事前課題を用いる (学内実習)	担当教員 全 員
	6/14(金) 4 限	B			
10	6/20(木) 1 限目	A	環境調整の援助 ④	1. 臥床している模擬患者のシーツ交換の実践 2. 臥床している模擬患者の病床整備、環境調整の実践 教科書(2)p. 10-25 (3)p. 158-183 (学内演習)	担当教員 全 員
	6/20(木) 3 限目	B			
11	6/20(木) 2 限目	A	環境調整の援助 ⑤		
	6/20(木) 4 限目	B			
12	6/21(金) 3 限目	合同	飲食の援助①	1. 飲食の意義 2. 摂食行動に影響を及ぼす要因 3. 入院患者の食事の種類と特徴 教科書(2)p. 28-51 (3)p. 186-194 (5)	榎 本
13	6/21(金) 4 限目	合同	飲食の援助②	1. 食事介助の方法と根拠 教科書(2)p. 28-51 (3)p. 186-194 ▲WebClass 上の事後課題 7/3(水)21 時まで	榎 本
14	7/4(木) 3 限目	A	飲食の援助③ (身体の清潔の援助)	1. 臥床している模擬患者への食事介助の実践 2. 臥床している模擬患者への口腔ケアの実践 口腔ケア：教科書(2)p. 215-223 (3)p. 242-245 (学内実習)	担当教員 全 員
	7/4(木) 4 限目	B			
15	7/5(金) 3 限目	合同	排泄の援助①	1. 排泄の意義と排泄のメカニズム 2. 排泄行動と使用する用具・設備 教科書(2)p. 65-79, 87-88 (3)p. 207-212, 219-229 (5)	倉 田

16	7/5(金) 4 限目	合同	排泄の援助②	1. 自然排泄を促す援助方法 2. 失禁に対応した援助 教科書(2)p. 65-79, 87-88 (3)p. 207-212, 219-229 (5) ▲WebClass 上の事後課題 7/10(水)21 時まで	倉 田
17	7/11(木) 1 限目	A	排泄の援助③	1. 臥床している模擬患者への自然排泄への援助の実践 1) 便器・尿器を用いた援助 2) おむつを用いた援助 教科書(2)p. 65-79, 87-88 (3)p. 207-212, 219-229 (学内実習)	担当教員 全 員
	7/11(木) 3 限目	B			
18	7/11(木) 2 限目	A	排泄の援助④		
	7/11(木) 4 限目	B			
19	7/12(金) 3 限目	合同	身体の清潔の援助②	1. 身体を清潔にする援助 (清拭、洗髪、陰部洗浄) 2. 身だしなみを整える援助 (整髪、爪切り、ひげ剃り) 教科書(2)p. 184-215 (3)p. 234-247 ▲WebClass 上の事後課題 7/17(水)21 時まで	宮 崎
20	7/12(金) 4 限目	合同	体温調整の援助 衣類の援助	1. 体温調整の意義 2. 体温の産生と放散を助ける援助方法 教科書(2)p. 271-274 (5) 3. 衣類を用いる意義と衣生活 4. 適した衣類の条件と選択方法 5. 寝衣交換の援助方法 教科書(2)p. 224-232 (3)p. 184-185 (5) ▲WebClass 上の事後課題 7/17(水)21 時まで	宮 崎
21	7/18(木) 1 限目	A	身体の清潔の援助③	1. 臥床している模擬患者への全身清拭の実践 2. 臥床している模擬患者への寝衣交換の実践 教科書(2)p. 184-189 (3)p. 236-240 (学内実習)	担当教員 全 員
	7/18(木) 3 限目	B			
22	7/18(木) 2 限目	A	身体の清潔の援助④		
	7/18(木) 4 限目	B			
23	7/25(木) 1 限目	A	身体の清潔の援助⑤	1. 模擬患者への洗髪の実践 教科書(2)p. 190-198 (3)p. 242-244 (学内実習)	担当教員 全 員
	7/25(木) 3 限目	B			
24	7/25(木) 2 限目	A	身体の清潔の援助⑥		
	7/25(木) 4 限目	B			
25	7/31(水) 3 限	合同	呼吸の援助	1. 正常に呼吸する意義 2. 正常な呼吸をうながす援助 教科書(3) p. 198-206 (4) (5) (グループワーク) ▲WebClass 上の事後課題 8/5(月)21 時まで	八 幡

26	7/31(水) 4 限	合同	睡眠と休息の援助	1. 睡眠の種類とメカニズム 2. 睡眠と休息を阻害する要因 3. 睡眠と休息をうながす援助 教科書(2)p. 140-150 (3)p. 263-269 (5) (グループワーク) ▲WebClass 上の事後課題 8/5(月)21 時まで	清 水
27	8/1(木) 1 限目	A	身体の清潔の援助⑦	1. 臥床している模擬患者への陰部洗浄の実践 2. 臥床している模擬患者への部分浴の実践 教科書(2)p. 199-207 (3)p. 241-242 (学内実習)	担当教員 全 員
	8/1(木) 3 限目	B			
28	8/1(木) 2 限目	A	身体の清潔の援助⑧		
	8/1(木) 4 限目	B			
29	9/26(木) 1 限	合同	社会でその人らしく生活するための援助①	1. 次の看護問題をもつ患者の特徴と援助の方法 「不安」、「役割遂行の困難」、「気分転換の不足」 「療養法の未習得」 教科書(3)p. 151-153, (5)看護問題の定義・必要な情報・原因と誘因 (グループワーク)	今 野
30	10/3(木) 1 限目	合同	社会でその人らしく生活するための援助②	1. 次の看護問題の成り立ちと援助の方法 「不安」、「役割遂行の困難」、「気分転換の不足」 「療養法の未習得」 (グループワーク、発表) ●レポート 提出期限 10/4(金)8:50 まで	今 野

履修者へのコメント：

1. 履修条件

ありません。

2. 履修にあたっての心構えと要望

1) 次の通り、科学的根拠に基づいて原理・原則をふまえた看護を実施できるよう学習してください。

①人体の構造と機能・生化学・薬理学・病理学、心理学や社会学など人間に関する様々な知識を活用し、科学的根拠をふまえ学習する。

②看護実践の原理・原則を理解しながら学習する。

③すでに学習した科目(特に看護の方法Ⅰや看護概論)および単元の知識を使い、理解を深める。

④まだ学習していない知識を求められる場合もあるため、教科書や参考書を活用して自ら調べ、学習する。

2) 看護実践は、知識・技術・態度の統合で行われます。この科目の学習を通して、知識・技術・態度を統合する方法、得た知識を実践に活用する方法、看護技術の習得方法、看護者としての態度のあり方を意識して、身につける努力をしてください。

3. 出席確認

授業ごとに、担当教員が出欠席を確認します。

4. その他

1) 試験について

①筆記試験・実技試験・レポートの詳細は、別途オリエンテーションします。

②実技試験は、原理・原則をふまえ科学的根拠に基づいた看護技術が行えるかを評価します。また、本科目では看護の方法Ⅰで学習した看護技術も含め統合した技術を試験課題とします。到達目標と試験課題を理解し、**反復練習**をして臨んでください。

③学習態度については、▲表示がある授業の事後学習教材の取り組み状況进行评估します。▲表示の単元の講義後から学内実習前日までの期間内(指定の日時まで)に、Webclassにある問題をすべて正解し理解するまで実施してください。各単元の配点は別紙「看護の方法Ⅰ評価方法」を参照してください。

2) 連絡・相談について

①講義・学内実習に関する連絡は、掲示板やWebClassの各種機能・メールなどを用いて行います。各自で必ず確認してください。

②講義・学内実習に関する質問や相談は、授業時間内に積極的に行ってください。

③実習室の利用は別紙を配付し説明します。ルールを守って利用し、不明点は確認してください。

準備学習の内容及び必要時間：

1. 講義や学内実習での学習を補強するために、事前学習（予習と課題）と事後学習（復習と課題）を課します。

2. 予習・復習は、自主的に実施してください。

予習 30 分以上：学習内容をふまえて教科書の該当ページを読み、わからない用語については調べてください。学内実習前には動画や静止画を参考に看護技術のイメージトレーニングを実施し、学内実習で役割行動がとれるように準備をしてください。

復習 30 分以上：学習内容の要点を整理し覚え、看護技術は身につくまで繰り返し練習してください。

3. 事前・事後課題は単元毎に提示します。事前課題は、講義や学内実習で活用できるように準備してください。

物品を用いたり、実習室で行う課題は、別途詳細を説明します。提出された課題は、適宜フィードバックします。

課題に対するフィードバック：

実技試験のフィードバックは評価の都度に行います。

レポートおよび筆記試験については採点后、時間外でフィードバックを行います。

最終的な評価結果は、掲示またはWedClassで開示します。

オフィスアワー：

授業時間外は、月曜日から金曜日 8:30～17:30 の間に各単元担当に、直接またはWebClassからメールで質問してください。

教科書：

- (1) 茂野香おる他著『系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ 第19版』(医学書院) 2023年
- (2) 任和子他著『系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第18版』(医学書院) 2023年
- (3) 深井喜代子他編『基礎看護学テキスト EBN 志向の看護実践 改訂第3版』(南江堂) 2023年
- (4) 秋葉公子他著『看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 第5版』(ヌーベルヒロカワ) 2023年
- (5) 江崎フサ子他著『ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト 第5版』(ヌーベルヒロカワ) 2023年
- (6) 大久保昭行他編『わかる！検査値とケアのポイント第2版』(医学書院) 2021年

参考書：

- (1) 村中陽子他編著『学ぶ・活かす・共有する 看護ケアの根拠と技術 第3版』(医歯薬出版) 2019年
- (2) 平田雅子著『完全版 ベットサイドを科学する 改訂第4版』(学研メディカル秀潤社) 2021年
- (3) 岡本恵里他編著『ナーシング・ポケットマニュアル 基礎看護技術第2版』2023年
- (4) 矢崎義雄監修『治療薬マニュアル2024』(医学書院) 2024年

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
看護の方法Ⅲ (看護過程の活用方法)	5105	演習	1年後期	必修	1/30
概要： 科学的看護を实践する道具としての看護過程の活用方法を、演習を通して学習する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的：看護過程の活用方法を理解する。					今野 葉月
到達目標： 1. アセスメントの考え方が説明できる。 2. 看護診断の考え方が説明できる。 3. 援助計画立案の考え方が説明できる。 4. 援助計画に沿った実施の方法が説明できる。 5. 評価の考え方が説明できる。					蒲生 澄美子
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☐ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					宮崎 素子
成績評価方法：1. 筆記試験 50%（授業時間外 1/9(木)1 限予定） 2. 小テスト 10%（授業内試験） 3. 看護過程展開記録の内容 30% 4. 学習態度 10% 成績評価基準：看護展開記録（30 点）と学習態度（10 点）は、評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、筆記試験（50 点）と小テスト（10 点）を合わせて総合点とし、GPA 実施規則に則り評価する。					清水 百子
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/26(木) 4 限	合同	アセスメント (情報収集) の 方法①	1. 看護過程の構成要素 2. 情報収集の方法 教科書(1)p. 292-305, 配布資料	今 野
2	10/3(木) 3 限	合同	アセスメント (情報収集) の 実際②	【グループ・ワーク】 1. 観察視点の作成 1) 常在条件 2) 病理的状态 3) 基本的欲求 教科書(1)p. 292-305, (4) 情報収集項目と(5), 配布資料	担当教員 全員
3	10/3(木) 4 限	合同	アセスメント (情報収集) の 実際③	【グループ・ワーク】 1. 観察視点の作成 1) 常在条件 2) 病理的状态 3) 基本的欲求 教科書(1)p. 292-305, (4) 情報収集項目と(5), 配布資料 小テスト (10 点) 情報の確認・分類・整理	担当教員 全員
4	10/17(木) 3 限	B	アセスメント (情報収集) の 実際④	【学内実習】 1. 情報の収集 2. 情報の確認・分類・整理 (データベースの作成) 作成した観察視点と行動計画を用いる	担当教員 全員
	10/17(木) 4 限	A			

5	10/24(木) 2 限	合同	アセスメント (分析・解釈) 看護診断の実際 ①	1. 情報の分析・解釈の方法 (4 つのプロセス) 2. 看護診断の方法 教科書(1)p. 297-313, 配布資料	今 野
6	10/24(木) 3 限	合同	援助計画を立案 する方法①	1. 期待される結果の設定方法 2. 援助計画 (O-P, T-P, E-P) の設定方法 教科書(1)p. 314～p. 317, 配布資料	今 野
7	10/24(木) 4 限	合同	アセスメント (情報収集) の 実際②	【グループ・ワーク】 1. 情報の確認・分類・整理 (データベースの作成) 教科書(1)p. 292-305, 配布資料	担当教員 全員
8	10/31(木) 3 限	合同	アセスメント (分析・解釈) 看護診断の実際 ③	【グループ・ワーク】 1. 情報の分析・解釈 2. 看護診断 教科書(1)p. 297-313, 配布資料	担当教員 全員
9	10/31(木) 4 限	合同	アセスメント (分析・解釈) 看護診断の実際 ④	【グループ・ワーク】 1. 情報の分析・解釈 2. 看護診断 教科書(1)p. 297-313, 配布資料	担当教員 全員
10	11/7(木) 3 限	合同	援助計画に沿っ た実施①	1. 援助計画と実施との関連 2. 行動計画の立案の方法 教科書(1)p. 318-320, 10-13, 配布資料	今 野
11	11/7(木) 4 限	合同	評価の方法①	1. 目標 (期待される結果) の達成度の判断方法 2. 問題の解決状況の判断の方法 3. 経過記録の整理 4. データベースの整理 教科書(1)p. 320-321, 配布資料	今 野
12	11/21(木) 1 限	合同	援助計画立案の 実際②	【グループ・ワーク】 1. 期待される結果の設定 2. 援助計画 (O-P, T-P, E-P) の設定 教科書(1)p. 314～p. 317, 配布資料	担当教員 全員
13	11/21(木) 2 限	合同	援助計画立案の 実際③	【グループ・ワーク】 1. 期待される結果の設定 2. 援助計画 (O-P, T-P, E-P) の設定 教科書(1)p. 314～p. 317, 配布資料	担当教員 全員
14	11/28(木) 1 限	B	援助計画に沿っ た実施の実際②	【学内実習】 1. 期待される結果を意識した実施 2. 援助計画 (O-P, T-P, E-P) に沿った実施 作成した援助計画と行動計画を用いる	担当教員 全員
	11/28(木) 2 限	A			
15	11/28(木) 3 限	合同	評価の実際②	【グループワーク】 1. 実施の記録 (経過記録) 看護過程展開記録の提出 11 月 29 日 (金) 8:55 まで 担当教員	担当教員 全員

履修者へのコメント： - 履修条件は特にありません - 履修にあたっての心構えと要望 - グループ編成はABクラス別で2～3人で編成し、授業開始時に発表します。 - この科目は事例を用います。模擬患者ですが、守秘義務を順守してください。 - 講義を行った後に、グループ・ワークを行います。授業中に提示された課題に個別に取り組み、準備を整えてからグループワークに参加してください。グループ・ワークでは次の事に注意してください。 - 課題の内容をよく読み、理解してください。 - 課題に取り組むときは、必要な資料や教科書を十分活用してください。 - 課題に取り組むときは、学習目標を確認し、評価基準と照らし合わせてすすめてください。 - グループ・ワークをするときは、個人の学習を済ませてから臨んでください。 - 授業時間内で十分グループ・ワークが進まない場合、時間外を活用し学習を進めてください。 - 不明なことはその都度解消してください。 - 出席確認 出欠席は毎回授業中に確認します。確認方法は授業開始時に説明します。 - その他 看護過程展開録と学習態度の評価については、授業時間内で説明します。
準備学習の内容及び必要時間： 授業の予習・復習を次のとおり行ってください。 予習（30分以上）：内容に示した教科書の該当部分を、看護の方法Ⅰの学習内容を思い出しながらか読み、用語を理解して授業に臨んで下さい。 提示された課題に対して個別に取り組み、説明できるように準備をしてください。 復習（30分以上）：授業で学んだ内容を整理し、疑問点を解消してください。 学習内容を踏まえ、看護展開記録をまとめてください。
課題に対するフィードバック： 「筆記試験」、「授業時間内の小テスト」、「看護過程展開記録」「学習態度」の採点結果は、授業時間内・外でフィードバックします。
オフィスアワー：授業時間外の質問には、次のとおり対応します。 - 月曜日～金曜日の8:30～17:30、担当教員へ資料などを持参し質問してください。 - WebClassの機能を活用した質問に対しても、1に準じて対応します。
教科書：看護の方法Ⅰと同じ - 茂野香おる他著『系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ 第19版』（医学書院）2023年 - 任和子他著『系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第18版』（医学書院）2023年 - 深井喜代子他編『基礎看護学テキスト EBN 志向の看護実践 改訂第3版』（南江堂）2023年 - 秋葉公子他著『看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 第5版』（ヌーベルヒロカワ）2023年 - 江崎フサ子他著『ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト 第5版』（ヌーベルヒロカワ）2023年
参考書： 古橋洋子編集『初めて学ぶ看護過程』（医学書院）2017年

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6（2024）年度
授業科目名		ナンバー	内 訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
看護の方法Ⅳ (病理的状态に応じた日常生活行動への援助技術①)		5106	講義	1 年後期	必修	1／30
概 要：病理的状态（呼吸異常時や排泄異常時、栄養療法時）に応じた日常生活行動への援助について、科学的根拠に基づいて実施する方法を、講義・演習を通して学習する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておく。						担当教員
						今野 葉月 蒲生 澄美子 宮崎 素子 清水 百子 榎本 佑美 八幡 真由美 倉田 暢子
目 的：病理的状态（呼吸異常時や排泄異常時、栄養療法時）にある対象を理解し、その状況に応じた日常生活行動への援助について、科学的根拠に基づいて実践する方法を修得する。						
到達目標：1. 呼吸異常がある対象を理解し、呼吸異常時の援助(酸素療法・吸引) を模擬患者に実践できる。 2. 栄養療法が必要な対象を理解し、栄養療法時の援助（経管栄養法）を模擬患者に実践できる。 3. 排泄異常がある対象を理解し、排泄異常時の援助（浣腸・導尿）を模擬患者に実践できる。 4. 治療が日常生活行動へおよぼす影響を理解し、その状況に応じた援助を科学的根拠のもとに説明できる。						
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる ☑②科学的な思考ができる ☑③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☑④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☑⑤看護者として自己成長できる □⑥社会の変化に対応できる □⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						
成績評価方法：筆記試験 55%（後期定期試験内） 実技試験 30%（授業時間外） レポート 10%(●表示) 学習態度 5%(▲表示) WebClass の事後学習教材の実施状況 成績評価基準：実技試験, レポートは評価基準を学生に明示の上でその評価基準に基づいて評価し、筆記試験, 学習態度 得点との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容		担当者
1	9/26(木) 2 時限	合同	呼吸異常時の援助①	1. 呼吸異常時の患者の特徴 2. 酸素療法の目的と種類 3. 酸素療法の適応と実施時の援助方法 教科書(2)p. 234-240 (3)p. 198-206 ▲WebClass 上の事後課題 10/2(水)まで		八幡
2	9/26(木) 3 時限	合同	呼吸異常時の援助②	1. 吸引の目的と種類 2. 一時的吸引(口腔・鼻腔・気管内吸引)の適応と援助方法 教科書(2)p. 240-264 (3)p. 198-206		宮崎

3	10/3(木) 2 時限	合同	呼吸異常時の 援助③	1. 低圧持続吸引の原理と実施時の注意点 2. 吸入療法の適応と援助方法 3. 呼吸器系の治療が必要な患者の日常生活行動と援助方法 教科書(2)p. 316-318 (3)p. 198-206 ▲WebClass 上の事後課題 10/9(水)まで ●レポート	宮崎
4	10/10(木) 1 時限	B	呼吸異常時の 援助④	1. 酸素ボンベの取り扱いと酸素吸入の実施 2. 酸素吸入中の患者の観察および注意点 ＜ 学内実習 ＞	担当教員 全員
	10/10(木) 3 時限	A			
5	10/10(木) 2 時限	B	呼吸異常時の 援助⑤	1. 吸入器の種類と特徴 2. 口腔・鼻腔の吸引の実施 ＜ 学内実習 ＞	担当教員 全員
	10/10(木) 4 時限	A			
6	11/21(木) 3 時限	合同	栄養療法時の 援助①	1. 食事療法の適応・目的・種類 2. 食事療法が必要な患者の日常生活行動への影響と援助方法 3. 栄養状態の評価方法・観察項目 4. 食事療法の必要な患者の特徴 教科書(2) p. 28-61 (3) p. 186-197	榎本
7	11/21(木) 4 時限	合同	栄養療法時の 援助②	1. 経鼻経管栄養法実施時の援助・管理 教科書(2) p. 28-61 (3) p. 186-197	榎本
8	11/28(木) 4 時限	合同	栄養療法時の 援助③	1. 非経口栄養法の種類(胃瘻、腸瘻、静脈栄養) 2. 非経口栄養法の適応・禁忌 教科書(2) p. 28-61 (3) p. 186-197 ▲WebClass 上の事後課題 12/4(水)まで ●レポート	榎本
9	12/5(木) 1 時限	B	栄養療法時の 援助④	1. 経鼻経管栄養法実施時の実施 1) 胃管挿入時の介助、留置された胃管の管理 2) 栄養剤の種類と準備 3) 栄養法開始時、注入中、終了時の観察 4) 注入量の調整、体位 ＜ 学内実習 ＞	担当教員 全員
	12/5(木) 2 時限	A			
10	1/9(木) 2 時限	合同	排泄異常時の 援助①	1. 排泄の異常 2. 自然排便ができない場合の援助方法と根拠 3. 治療が必要な患者の日常生活行動への影響と援助方法 教科書(2) p. 64-71 p. 87-94 (3) p. 219-233 ▲WebClass 上の事後課題 1/14(水)まで	清水

11	1/9(木) 3 時限	合同	排泄異常時の 援助②	1. 自然排尿ができない場合の援助方法と根拠 教科書(2) p. 64-71 p. 79-87 (3) p. 207-218 ▲WebClass 上の事後課題 1/22(水)までに	清水
12	1/15(水) 1 時限	B	排泄異常時の 援助③	1. 50%グリセリン浣腸の実施 教科書 (2) p. 79-87 (3) p. 219-233 ＜ 学内実習 ＞	担当教員 全員
	1/16(木) 1 時限	A			
13	1/15(水) 2 時限	B	排泄異常時の 援助④		
	1/16(木) 2 時限	A			
14	1/23(木) 1 時限	B	排泄異常時の 援助⑤	1. 一時的導尿の実施 教科書 (2) p. 79-87 (3) p. 207-218 ＜学内実習＞	担当教員 全員
	1/23(木) 3 時限	A			
15	1/23(木) 2 時限	B	排泄異常時の 援助⑥		
	1/23(木) 4 時限	A			

履修者へのコメント：

- 履修条件はありません。
- 履修にあたっての心構えと要望
 - 講義や学内実習での学習を補強するために、事前学習と事後学習を課します。
事前・事後課題は単元ごとに提示します。事前課題は、講義や学内実習で活用できるように準備してください。
物品を用いて実習室で行う課題は別途説明します。提出された課題は、その都度フィードバックします。
 - 学習する際は、人体の構造と機能・薬理学・病理学や社会学など人間に関する様々な知識を活用し、根拠をふまえて学習を進めてください。
 - 各単元で学習した知識を統合して理解を深めてください。
 - まだ学習していない知識を求められる場合もあります。教科書や参考書を活用して自己学習を進めてください。
 - 当該科目は、看護の方法Ⅰや看護の方法Ⅱを基盤にしています。講義や学内実習で学んだことを確認しながら学習してください。
 - 学内実習前には根拠を踏まえた手順書を作成してください。その手順書をもとに実践します。
- 出席確認
出欠席は毎回授業中に確認します。確認方法は授業開始時に説明します。
- その他
 - 試験について
 - 筆記試験・実技試験の詳細は、別途オリエンテーションします。
 - 実技試験は、技術のポイントをよく確認し、繰り返し練習してから試験に臨んでください。
 - レポート課題は、「呼吸異常時」と「栄養療法時」に応じた日常生活行動への援助とします。課題の詳細は講義の中で説明します。

準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：学習内容をふまえ、教科書の該当ページを読み、不明な用語は教科書や参考書を用いて調べてください。看護技術は動画（静止画含む）を視聴し、手順と根拠を調べ、学習の準備をしてください。 復習 30 分以上：学習内容の要点を整理してください。看護技術は準備から後始末までの一連の流れが身につくまで、繰り返し練習をしてください。
課題に対するフィードバック： 試験・レポート結果は、採点・添削後、フィードバックを行います。
オフィスアワー 授業時間外は、月曜日から金曜日、8：30～17：30 の間に各单元担当者が対応します。
教科書 (1) 茂野香おる他著『系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ 第19版』（医学書院）2023 年 (2) 任和子他著『系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第18版』（医学書院）2023 年 (3) 深井喜代子他編『基礎看護学テキスト EBN 志向の看護実践 改訂第3版』（南江堂）2023 年 (4) 秋葉公子他著『看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 第5版』（ヌーベルヒロカワ）2023 年 (5) 江崎フサ子他著『ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト 第5版』（ヌーベルヒロカワ）2023 年 (6) 大久保昭行他編『わかる！検査値とケアのポイント第2版』（医学書院）2021 年
参考書： (1) 村中陽子ほか編著『学ぶ・活かす・共有する 看護ケアの根拠と技術 第3版』（医歯薬出版）2019 年 (2) 平田雅子著『完全版 ベットサイドを科学する 改訂第4版』（学研メディカル秀潤社）2021 年 (3) 岡本恵里他編著『ナーシング・ポケットマニュアル 基礎看護技術第2版』2023 年 (4) 矢崎義雄監修『治療薬マニュアル2024』（医学書院）2024 年

授業科目の区分	ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
基礎看護実習 I (看護師の役割の理解)	5109	実習	1 年 前期・後期	必修	1/45
概 要： 看護の対象の生活の場としての病院及び病棟の設備・構造・機能、対象の日常生活行動、看護の役割について、実習を通して学習する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目 的：看護の対象の生活の場と看護活動の場を知ることにより看護の役割を理解する。					今野 葉月
到達目標：1. 体験から看護の対象を取り巻く環境が説明できる。 2. 体験から看護の役割が説明できる。 3. 看護師として必要な態度を意識して行動する。					蒲生 澄美子
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連					宮崎 素子
☒ ①人間を総合的に理解できる					清水 百子
☒ ②科学的な思考ができる					榎本 佑美
☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる					八幡 真由美
☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる					倉田 暢子
☒ ⑤看護者として自己成長できる					他
☐ ⑥社会の変化に対応できる					実習開始時に掲示
☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：1. 知識・技能（40％） 2. 思考力・判断力・表現力（40％） 3. 主体性・協働性（20％）					
評価資料：看護過程展開記録、レポート、実践、実習態度					
成績評価基準：看護過程展開記録・レポート・実践・実習態度を到達目標の具体的な内容ごとに設定し、評価基準を学生に明示する。その評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
内 容					
I-1： 1) 対象が生活する場の一つである病院の環境 (1) 病院の立地条件と設備・構造・機能 (2) 病院で働く人々と対象との関わり (3) 感染防止・災害対策・事故防止のための工夫 (4) 患者の安楽と自立を守る上の工夫 I-2： 1) 対象が生活する場の一つである病棟の環境 2) 看護活動の場の一つである病棟における看護の役割 3) 対象の日常生活行動（環境を中心に）への援助 4) 看護師として必要な態度 (1) 病棟・病室の設備・構造・機能、 (2) 感染防止・災害対策・事故防止のための工夫、患者の安楽と自立を守る工夫 (3) 医療チームメンバーの種類と役割 (4) 看護師の援助内容と患者との関わり (5) 看護の対象への日常生活行動（環境）への援助の実践 (6) 看護師として必要な態度を意識した行動					

履修者へのコメント： - 履修条件はありません。 - 履修にあたっての心構えと要望 - 実習オリエンテーションは全て出席してください。 - 実習オリエンテーションの実施日時・場所は、掲示などで連絡します。 - オリエンテーションの内容は次のとおりです。 ① 実習施設から求められる各種手続きの実施 この手続きが滞った場合、履修できなくなる場合があります。 ② 実習要項や資料の配布 ③ 実習の時期・内容・方法・担当教員・評価基準などの説明 ④ 実践する技術の確認 など - 実習グループは1 グループ 10 名程度で編成します。 - 看護過程展開記録やレポートに取り組む場合、次の事に注意してください。 (1) 記録の目的やレポートのテーマを理解して取り組んでください。 不明な点は、早い時期（実習時間内）に解消して取り組んでください。 (2) 課題に取り組むときは、必要な資料や教科書を十分活用してください。 (3) 課題に取り組むときは、評価基準を確認し、学習の要点をつかんでください。 - 出席確認 出席確認の方法は、オリエンテーションで説明します。
準備学習の内容及び必要時間： - 実習 I-1 1) 予習（1 時間以上）：見学施設の特徴や病院の望ましい環境の特徴を調べて実習に臨んでください。 2) 復習（1 時間以上）：見学内容を整理し、疑問点を解消してください。 - 実習 I-2 1) 予習（1 時間以上）： a. 実習病棟の特徴を把握し、患者情報の用語を調べて実習に臨んでください。 b. 実習中に受けたアドバイスを踏まえて疑問点を調べ、看護展開記録を整理・修正して実習に臨んでください。 c. 看護実践の基盤となる技術と日常生活行動への援助技術は反復練習をしてください。 2) 復習（1 時間以上）： a. 実習で学んだ内容を整理し、疑問点を解消してください。 b. 患者との関わりを振り返り、「看護師に必要な態度」をとる準備をしてください。 c. 患者に実施する援助は、実施手順とこつを踏まえて、反復練習を続けてください。
課題に対するフィードバック： - I-1 レポートの採点結果は実習時間外でフィードバックします。 - I-2 「看護過程展開記録」、「レポート」、「実践」、「実習態度」の採点結果は、実習時間外でフィードバックします。
オフィスアワー：実習に関する質問は、実習時間内に行ってください。 実習時間外の質問は、16:00～17:30 に、担当教員が対応します。 実習期間外は、月曜日から金曜日の 8:30～17:30 に、担当教員が対応します。
教科書：看護概論，看護の方法Ⅰ，看護の方法Ⅱ，看護の方法Ⅲと同じ
参考書：看護概論，看護の方法Ⅰ，看護の方法Ⅱ，看護の方法Ⅲと同じ

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
地域・在宅看護概論	5111	講義	1 年次前期	必修	1/15
概 要： 地域・在宅看護の概念、目的、対象となる人、看護の特徴について概念を学習する科目である シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目 的： 地域・在宅看護が重要である社会的な背景をふまえ、地域で暮らし、居宅等で療養をする人と家族 がよりよく生活するための看護の特徴と課題を学ぶ。また、地域包括ケアシステムにおける関連機 関、多職種との連携、医療機関との連携における看護師の役割の概要を学ぶ。					益田 育子 海野 文子
到達目標： 1. 地域・在宅看護が必要とされる社会的背景と現状を考察できる 2. 地域・在宅看護の概念を理解できる 3. 地域や居宅等で生活をしている人を支える多職種、多機関と看護師の役割を列記できる 4. 地域包括ケアシステムの現状と課題を見出し、看護師の役割を記述・発信できる					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☐ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法： 1) 小テスト（4 回）：20% 2) 定期試験（終講試験）：70% 3) 地域調査報告書：10 点 %第 3 回・第 4 回で調査報告書を記載する 成績評価基準：地域調査報告書は指定の書式に必要事項を記入し、指定期日までに提出する。 上記 1), 2), 3) の総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/24 (水) 4 限	合同	地域・在宅看護 の概念と在宅看 護の特徴	1. 地域・在宅看護の概念 2. 地域・在宅看護の背景と学習の意義 テキスト(1)p. 16～	益田
2	5/8 (水) 4 限	合同	地域・在宅看護 の基盤	1. 地域の特徴とそこで暮らす人の理解 2. 地域の特徴と健康、看護師の活動 3. 地域・療養を支える在宅看護の役割・機能と基本的理念 ＜反転授業＞＜課題あり＞ テキスト(1)p. 41～ 小テスト①	益田
3	5/15 (水) 4 限	合同	地域包括ケアシ ステムと多様な 生活の場におけ る看護①	1. 地域アセスメントの意義と看護師が持つべき視点 2. 地域ごとの保健医療福祉を探究する ＜個人ワーク・グループワーク＞ テキスト(1)p. 88～, 114～	益田
4	5/22 (水) 4 限	合同	地域包括ケアシ ステムと多様な 生活の場におけ る看護②	1. 地域包括ケアと多職種・多機関連携 2. 地域ごとの保健医療福祉の強みと弱みを比較、掌握する ＜グループワーク＞ テキスト(1)p. 88～, 114～	益田

5	5/29 (水) 4 限	合同	地域療養を支える制度	1. 地域での療養を支える制度と社会資源 テキスト(1)p. 142～ 小テスト②	海野
6	6/12 (水) 4 限	合同	地域・在宅看護の対象者	1. 在宅療養者と家族の支援 2. 地域・在宅看護における倫理と権利保障 ＜反転授業＞ テキスト(1)p. 56～ 小テスト③	海野
7	7/10 (水) 4 限	合同	地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護③	1. 地域包括ケアシステムの課題 テキスト(1) p. 88～138 小テスト④	益田
8	7/17 (水) 4 限	合同	日本の地域・在宅看護の展望と看護師の役割	1. 日本の特徴と社会の変化に伴う看護師への期待 2. 医療施設と地域をつなぐ看護師になろう ＜反転授業＞ テキスト(1)p. 278～	益田
履修者へのコメント： - 履修条件：なし - 履修にあたっての心構えと要望： - 本科目の学習過程では、WebClass および、Google ドキュメントなどの ICT、YouTube を使用することもある - 前提 ①授業への参加準備として、個人で利用できるパソコン所有、ネットワーク環境の整備を推奨する ②小テストは指定日に実施する。小テストの再試験、追試験は実施しない。受験方法は開講後に詳細を案内する ③この科目は、後続する地域・在宅看護実習Ⅰの履修に直結する学習内容を含む ④地域・在宅看護概論の単位未修得の者は、後続する科目“地域・在宅看護Ⅰ”以降を履修できない - 出席確認： ①毎回の出席確認と出席承認：対面授業の場合、授業開始時または途中または提出物で出席確認をする。 ②状況に応じて遠隔授業になった場合は、配信動画の視聴後、期限内に WebClass に実装した指定教材を実施、完了申告により出席とみなす - その他 授業に関する事前学習、課題等は掲示板、授業時間内での案内または、登録履修者宛のメールで案内する 「難しい言葉」の事前確認や、地域や在宅医療・看護に関する時事ニュースなどに関心を持ち、自ら情報を得ることを期待している 実務経験（看護師）のある教員による授業科目です					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：毎次の学習内容はシラバスを参照し、テキスト、インターネット等で関連用語の調査を推奨する 復習 30 分以上：各回の授業で配付する資料、テキストを整理し、教材の自己管理をする					
課題に対するフィードバック： 小テスト・試験等結果については採点后、希望者を対象にフィードバックを行う。					
オフィスアワー：授業終了後に教室で受け付ける					
指定テキスト ①臺有桂, 石田千絵, 山下留理子編著:ナースング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア, メディカ出版, 第 7 版, 2022. ②臺有桂, 石田千絵, 山下留理子編著:ナースング・グラフィカ地域・在宅看護論②地域療養を支える技術, メディカ出版, 第 2 版, 2022.					
参考書：授業時に紹介する					

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
地域・在宅看護Ⅰ	5112	講義	1 年次後期	必修	1/15
概 要：療養の場は医療施設だけではない。地域で暮らし、地域で健康維持活動をし、疾病や障がいと折り合いつけながら生活している場のすべてを含むものである。人の健康と疾病予防、症状緩和、日常生活を支える制度、職種、看護師の役割と多職種・多機関連携を学ぶ科目である。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的：地域に暮らす人々の健康の現状とそれを支える社会資源（制度、多職種、多機関）の役割を学ぶ 到達目標： 1. 地域アセスメントと地域包括ケアシステムの概要を理解できる 2. 地域包括支援センターの機能と役割について理解できる 3. 看護師と連携・協働する多職種・多機関を知り、看護師の役割を説明できる 4. ケアマネジメント、介護保険、医療保険の制度、機能を説明できる 5. 訪問看護ステーションの機能と看護師の役割を理解し、医療施設との連携の展望を提案できる 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護師として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☒⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：小テスト（3 回）30%、レポート提出 10%、筆記試験 60%、いずれも筆記か WebClass 教材で実施する。 成績評価基準：レポート成果は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、筆記試験・小テストとの総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					担当教員
					海野 文子
					池田 梨紗
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/25 (水) 3 限	合同	地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護	1. 地域包括支援とはなにか 2. 療養の場の移行に伴う看護、退院支援（ディスカッション） テキスト（1）P88-98、P111-112	海野
2	10/2 (水) 3 限	合同	社会資源と制度①	1. 地域・居宅等で暮らす人が利用できる制度、社会資源 テキスト（1）P142-144	海野
3	10/9 (水) 3 限	合同	社会資源と制度②	1. 医療保険制度の概要としくみ 2. テキスト（1）P145-149 小テスト	海野
4	10/16 (水) 3 限	合同	社会資源と制度③	1. 地域・居宅等で暮らす人が利用できるその他の法律と制度 テキスト（1）162-192	海野
5	10/23 (水) 3 限	合同	社会資源と制度④	1. 介護保険制度の概要としくみ 2. ケアマネジメント テキスト（1）P121-138、P149-162 小テスト	海野

6	10/30 (水) 3 限	合同	地域包括ケアシステムにおける連携と役割①	1. 行政機関との連携と看護師の役割 2. 地域包括支援センターとの連携と看護師の役割 3. 居宅介護事業所との連携と看護師の役割 4. 介護サービス事業所との連携 テキスト (1) P114-117 小テスト	池田
7	11/6 (水) 3 限	合同	地域包括ケアシステムにおける連携と役割②	1. 専門職以外の人々との連携 2. 住民との連携 テキスト (1) P119-120 レポート提出	海野
8	11/13 (水) 3 限	合同	訪問看護ステーションの機能	1. 訪問看護ステーションの機能 2. 訪問看護ステーションの役割と看護の実際 テキスト (1) P198-210	海野
履修者へのコメント： 1. 履修条件： 1) 地域・在宅看護概論、地域・在宅看護実習Ⅰの単位修得が本科目の履修前提条件です。 2) 各小テストの再試験はありません。出席停止等、状況によっては追試験を実施します。 2. 履修にあたっての心構えと要望： 1) 本科目は、学習過程でWebClass および、Google ドキュメントなどの ICT、YouTube を使用することもあります。 2) 前提：授業への参加準備として、個人で利用できるパソコン所有、ネットワーク環境の整備を推奨します。 予習には 30 分以上かけて取り組みましょう。事前課題を提示する際は、30 分以内で取組める内容とします。 (1) 世の中の動向やニュースに関心を持ち、授業内で他者と共有する準備をしてください。 (2) 小テストは指定日に実施します。受験方法は開講後に詳細を案内します。 3. 出席確認：各授業、授業内提出課題等の提出をもって出席確認します。 4. 今後の履修に関する事項 この科目の単位を修得できなかった場合、後続する科目“地域・在宅看護Ⅱ”以降を履修できません。 5. その他 実務経験（看護師）のある教員による授業科目です。					
準備学習の内容及び必要時間： 1. 授業に関する事前学習、課題等は掲示板、授業時間内での案内または、登録履修者宛のメールでご案内します。 2. 各回に該当する事項を事前に指定テキスト該当ページで予習することを推奨します。「難しい言葉」のピックアップや、地域や在宅医療・看護に関する時事ニュースなどの情報を用意しておくことを期待しています。 3. 授業後は、1 コマにつき概ね 30 分以上の予習と復習を必要とします。予習・復習が必須です。					
課題に対するフィードバック： 試験・レポート結果については採点・添削後、フィードバックを行います。					
オフィスアワー：学習に関する質問、相談、意見、提案を歓迎します。9 時～17 時に科目担当者の海野が対応します。 学内を不在にすることが多いため、メールでの連絡も受け付けます。					
教科書： (1) 臺有桂, 石田千絵, 山下留理子編著: ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア, メディカ出版, 第 7 版, 2022. (2) 臺有桂, 石田千絵, 山下留理子編著: ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論②地域療養を支える技術, メディカ出版, 第 2 版, 2022.					
参考書： (1) 厚生統計協会編 『国民衛生の動向』2022/2023 (2) 社会学、社会福祉、関係法規、健康と運動等で使用するテキスト、 (3) 各看護学域概論のテキスト					

授業科目の区分	ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
地域・在宅看護実習 I	5115	実習	1 年次前期	必修	1 / 45
概 要：地域で生活を営むあらゆる人々が、どのような支援を受けて生活しているか、地域の特性や抱えている健康問題、人々の健康ニーズについて地域施設や自己の生活の場において学習する。地域・在宅看護実習 I によって人々の生活の場を理解し、今後の実習に繋げていく。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的：地域で生活を営むあらゆる人々が、どのような支援を受けて生活しているか、地域の特性や抱えている健康問題、人々の健康ニーズについて地域施設や自己の生活の場において学習する。地域・在宅看護実習 I によって人々の生活の場を理解し、今後の実習に繋げていく。 到達目標： 1. 人々が生活している環境を理解する 2. 地域で暮らす人々の日常生活行動を理解する 3. 保健医療福祉チームメンバーの役割を知る 4. 看護師に必要な態度を身につける 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護師として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☒⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					担当教員 海野 文子 池田 梨紗 他 実習開始時に掲示
成績評価方法：知識・技能 36%、思考力・判断力・表現力 46%、主体性・協働性 18% （実習記録、実習態度を総合的に評価する） 中間評価を実施し、修正、改善を考慮して最終提出後に最終評価とする。 成績評価基準：実習記録、実習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
内 容					
1. 実習施設：保健センター、地域包括支援センター、障害者等相談支援センター、複合施設、計 12 か所 2. 実習内容： 1) 人々が生活している環境 2) 地域で生活する人々の日常生活行動 3) 保健医療福祉チームメンバーの役割 4) 看護に必要な態度（主体性・誠実性・協調性・協働性・倫理観） 3. 実習方法： (1) 実習期間内に実習施設と居住地域で実習します。 (2) 個人またはグループで学習、実習します。 (3) 実習の学びをディスカッションし、発表します。					

履修者へのコメント： - 履修条件：地域・在宅看護概論を履修中であること。 - 履修にあたっての心構えと要望 「地域・在宅看護実習Ⅰ」を履修する場合、看護師に必要な態度を意識して行動しましょう。 - 実習前に実習施設の場所、交通状況を確認しておきましょう。 - 積極的にニュースや新聞から情報を得て自分の考えを持つようにしましょう。 - ルーブリック評価表においていずれか未達成（評価基準 60 点未満）の場合、不合格となります。 - 出席確認：出席確認の方法は、実習オリエンテーション時に説明します。 - その他 - 実習に関する連絡事項はメールや 1 階掲示板で連絡します。常に確認に努めてください。 - 実習中の緊急連絡は、担当教員に連絡・報告してください。繋がらない場合は、短期大学学務課に連絡してください。 - 実務経験（看護師）のある教員による授業科目です。
準備学習： - 以下予習のために、テキスト、インターネット、記事から情報を得る。事前学習に 30 分以上の予習が必要である。 1 年次履修中の授業で学習した資料や、更に追加学習してまとめる。 1) 実習施設の機能と役割について 2) 実習施設の多職種の役割について 3) 地域の特徴と実習で参加する事業について - 各実習施設までの交通経路を確認しておく。 - 実習で学習が不足していた内容については、復習に 30 分以上取り組む必要がある。
課題に対するフィードバック： - 実習記録に対するフィードバックは、実習時間内外で行います。 - 地域・在宅看護実習Ⅰ終了後に期間を設けてフィードバックします。
オフィスアワー： 実習に関する質問は、教員の実習施設巡回時に積極的に行ってください。電子メールや訪室での質問も可能です。
教科書： 1) 臺有桂他編 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア 第 7 版 メディカ出版 2023
参考書： 1) 生涯発達論、社会学、看護概論、看護の方法Ⅰ・Ⅱ、各領域の概論等のテキスト 2) 厚生統計協会編 『国民衛生の動向』 2022/2023

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
成人看護概論	5117	講義	1 年前期	必修	1/15
概要：「成人看護Ⅰ」「成人看護Ⅱ」「成人看護Ⅲ」など成人看護学の科目に活かせるよう、成人各期にある対象の発達課題や身体的・心理的・社会的特徴と生活様式、および対象の健康保持・増進や疾病の予防、健康課題についての概要、成人期にある対象に有用な概念を講義・演習を通して学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的：成人期にある対象の成長・発達課題などの特徴と生活、および健康課題を理解し、健康保持・増進や疾病予防の基礎を理解する。 到達目標：1. 成人期にある対象の特徴と生活を理解する。 2. 成人期にある対象の健康保持・増進や疾病予防について理解する。 3. 成人看護学の対象に有用な概念を理解する。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☐ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：1. 筆記試験 60%（定期試験） 2. レポート 15% 3. 小テスト 20% 4. 学習態度 5% 成績評価基準：レポート、学習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、筆記試験・小テストとの総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					担当教員 久保 かほる 浅見 多紀子
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	6/4 (火) 1 限	合同	成人の特徴と生活①	1. 成人看護学の対象 2. 成人各期にある対象の発達課題 教科書(1)p20-30	久 保
2	6/5 (水) 4 限	合同	成人の特徴と生活②	1. 成人各期にある対象の身体的特徴、心理・社会的特徴 2. 成人期にある対象の成長発達のアセスメントガイド 教科書(1)p30-40, p44-65	久 保
3	6/11 (火) 1 限	合同	成人の特徴と生活③	1. 成人期にある対象の役割 2. 成人期にある対象の生活様式 3. 成人期にある対象の生活のアセスメントガイド 教科書(1)p41-44, p90-109 ★レポート①課題提示 （テーマ：第1～3回の講義内容を踏まえて、成人期にある自分の家族の特徴を考察する） 提出期限：7/9 (火) 9:00	久 保
4	6/18 (火) 1 限	合同	成人期にある対象の健康の保持・増進や疾病予防①	1. 成人期にある対象の主な健康観 2. 成人期にある対象の健康保持・増進や疾病予防 3. 成人期にある対象の学習の特徴 4. 生活習慣に関連する健康課題 教科書(1)p58-87, p112-164, (2)	久 保
5	7/2 (火) 1 限	合同	成人期にある対象の健康の保持・増進や疾病予防②	1. 職業に関連する健康課題 2. ストレスに関連する健康課題 教科書(1)p166-197	浅 見

6	7/9 (火) 1 限	合同	成人への看護に 有用な概念①	☆小テスト① (4, 5 回の内容) 1. オレムのセルフケア理論 2. ストレス・コーピング 3. フィンクの危機理論 教科書(1)p244-278	浅 見
7	7/16 (火) 1 限	合同	成人への看護に 有用な概念②	1. ロイの適応看護モデル 2. 自己効力 教科書(1)p280-302	浅 見
8	7/23 (火) 1 限	合同	成人期にある対 象の特徴、生活、 健康課題を踏ま えた看護	☆小テスト② (6, 7 回の内容) 1. 成人各期にある対象の特徴、生活、健康課題を踏まえた看護 グループ・ディスカッション ★レポート② (テーマ：成人各期にある対象の特徴と生活、 健康課題を踏まえた看護) 提出期限：第 8 回終了時	久 保 浅 見
履修者へのコメント： - 履修条件はありません。 - 履修に当たっての心構えと要望(第 1 回授業時に詳細を追加説明する) - 小テストは、該当日の授業開始時に実施します。採点后、原則として 1 週間以内に返却しますので、必ず復習してください。 - レポート①②は、提出前に別紙評価表に基づき、自己評価をしてから提出してください。レポート②は、第 1 回～第 5 回の講義を踏まえてグループでディスカッションした内容を提出してください。 - 学習態度は、レポート①の別紙評価表に基づき、指示通りの提出期限や提出方法であるかを評価します。 - 出席確認 呼名またはリアクションシート、小テストの提出などで行います。担当教員の指示を確認してください。 - その他 - 講義に関する連絡は、授業時や掲示、または WebClass で行います。 - 講義に関する質問は、授業時間内、またはオフィスアワーで対応します。積極的に質問してください。 - 実務経験(看護師)のある教員による授業科目です。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：看護概論や生涯発達論、地域・在宅看護概論や地域・在宅看護実習 I で学習した内容を整理し、内容に該当する部分のノートや資料を持参してください。次回授業までに該当部分の教科書を読んで、授業に臨んでください。 復習 30 分以上：教科書や配付した資料、説明内容を整理してください。					
課題に対するフィードバック： - 小テストは、実施・回収直後に解説をします。ノートや資料を活用して振り返りをしてください。 - 定期試験・レポート①は、採点・添削後、フィードバックを行います。					
オフィスアワー： 授業時間外は、月曜日から金曜日の 9:00～17:00 に、各担当教員が対応します(但し、実習等で不在の時もあります)。 電子メール等でも随時質問を受け付けます。					
教科書： - 安酸史子・鈴木純恵・吉田澄恵編者『ナーシング・グラフィカ 成人看護学①成人看護学概論』(メディカ出版) 2022 年。 - 生活習慣病予防研究会編『生活習慣病のしおり』(社会保険出版社) 2024 年					
参考書： 自主的に求める。					

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
成人看護Ⅰ (慢性期看護)	5118	講義	1年後期	必修	1/30
概要：人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援、成人看護概論の知識と関連させ、成人看護技術や成人・老年看護実習に活かせるよう、慢性の経過をたどる疾病や障害をもつ成人期の患者および家族の特徴と、悪化予防やセルフケアの確立・維持・促進のための生活指導等、回復に向けた看護を講義・演習を通して学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的：慢性の経過をたどる疾病や障害をもつ成人期の患者および家族に、回復に向けた看護を実践するための方法を理解する。 到達目標：1. 慢性の経過をたどる疾病や障害をもつ患者および家族の特徴を理解する。 2. 慢性の経過をたどる疾病や障害の経過に応じた看護を理解する。 3. 慢性の経過をたどる疾病や障害をもつ成人期の患者の悪化予防やセルフケアの確立・維持・促進のための生活指導等、回復に向けた看護を理解する。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：1. 筆記試験 60%（定期試験） 2. レポート 14% 3. 小テスト 15% 4. 学習態度 11% 成績評価基準：レポート、学習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、筆記試験・小テストとの総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					担当教員 久保 かほる 秋山 千恵子 鈴木 夕岐子 杉本 真弓
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/27 (金) 3限	合同	慢性の経過をたどる疾病や障害をもつ患者・家族の特徴	1. 慢性の経過をたどる疾病をもつ患者・家族の特徴 2. 障害を持つ患者・家族の特徴 3. セルフケアの確立・維持・促進への援助 4. 社会的支援の獲得への援助 ●レポート「食事制限・活動制限の体験をふまえて」 提出：10月24日（木）13:00 教科書(1)p240-277	久保
2	10/4 (金) 3限	合同	肥満症患者と脂質異常症患者の看護	1. メタボリックシンドロームの診断基準 2. 肥満症患者の特徴 3. 肥満症患者の食事療法・運動療法への援助 4. 脂質異常症患者の特徴 5. 脂質異常症患者の食事療法・運動療法への援助 ●レポート提出：授業終了後□グループ・ディスカッション 教科書(2)(3)p177-183, p281-289	久保
3	10/11 (金) 3限	合同	2型糖尿病患者の看護①	1. 2型糖尿病患者の特徴 2. 2型糖尿病患者の食事療法の援助 3. 2型糖尿病患者の運動療法の援助 ●レポート（期限 10/11, 最終提出 10/25 授業終了後） □グループ・ディスカッション 教科書(2)(3)p243-281	久保
4	10/25 (金) 3限	合同	2型糖尿病患者の看護②	1. 2型糖尿病患者の薬物療法の援助 2. 2型糖尿病患者の低血糖症状と対処方法 3. 2型糖尿病患者への生活指導	久保

				○小テスト □グループ・ディスカッション 教科書(2)(3)p243-281	
5	11/1 (金) 3限	合同	虚血性心疾患患者の看護①	1. 心筋梗塞患者の特徴 2. 心臓カテーテルによる検査・治療を受ける患者の援助 3. 急性期の心筋梗塞患者の援助 ●レポート(期限11/1,最終提出11/8授業終了後) □グループ・ディスカッション 教科書(2)(4)p276-279, p312-323	久保
6	11/8 (金) 3限	合同	虚血性心疾患患者の看護②	1. 悪化予防と回復に向けた心筋梗塞患者への心臓リハビリテーションに準じた援助 2. 心筋梗塞患者への生活指導 ○小テスト □グループ・ディスカッション 教科書(2)(4)p312-335	久保
7	11/15 (金) 3限	合同	脳血管障害患者の看護	1. 脳梗塞患者の特徴 2. 急性期の脳梗塞患者への援助 3. 悪化予防と回復に向けた脳梗塞患者への運動リハビリテーションに準じた援助 4. 脳梗塞患者への生活指導 ●レポート提出:授業終了後 □グループ・ディスカッション 教科書(2)(5)p332-338	久保
8	11/22 (金) 3限	合同	慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の看護①	1. COPD患者の特徴 2. 急性増悪期のCOPD患者の援助 3. 悪化予防と回復に向けたCOPD患者への呼吸リハビリテーションに準じた援助 ●レポート(期限11/22,最終提出11/29授業終了後) □グループ・ディスカッション 教科書(6)p114-121, 183-188, 323-329	秋山
9	11/29 (金) 3限	合同	慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の看護②	1. COPD患者への生活指導 2. COPD患者への在宅酸素療法の指導 ○小テスト 教科書(6)p112-113, 256-258, 329-338	秋山
10	12/6 (金) 3限	合同	慢性腎不全・慢性腎臓病患者の看護①	1. 慢性腎不全・慢性腎臓病患者の特徴 2. 慢性腎不全・慢性腎臓病患者の病期に応じた生活指導 ●レポート(期限12/6,最終提出12/13授業終了後) □グループ・ディスカッション 教科書(7)p194-199, p250-252	鈴木
11	12/13 (金) 3限	合同	慢性腎不全・慢性腎臓病患者の看護②	1. 血液透析患者の血液透析導入期・維持期の生活指導 2. 腹膜透析患者の腹膜導入期・維持期の生活指導 ○小テスト 教科書(7)p252-264	鈴木
12	1/10 (金) 3限	合同	慢性肝炎患者の看護	1. 慢性肝炎患者の特徴 2. 慢性肝炎患者の援助 3. インターフェロン療法時の生活指導 ●レポート(期限1/10,最終提出1/17授業終了後) □グループ・ディスカッション 教科書(8)p401-403	鈴木
13	1/17 (金) 3限	合同	肝硬変患者の看護	1. 肝硬変患者の特徴 2. 肝硬変患者の援助 3. 肝硬変代償期にある患者の生活指導 4. 食道静脈瘤の破裂予防と破裂時の援助 5. 肝性脳症の予防と生活指導 ○小テスト 教科書(8)p404-410	鈴木

14	1/24 (金) 3 限	合同	アレルギー性疾患患者と膠原病患者の看護	1. アレルギー性疾患患者・膠原病患者の特徴 2. 全身性エリテマトーデス患者の特徴 3. 全身性エリテマトーデス患者への生活指導 4. リウマチ患者の特徴 5. リウマチ患者への生活指導 ●レポート提出：授業終了後□グループ・ディスカッション 教科書(9)p11-14, p194-200	鈴木
15	1/31 (金) 3 限	合同	神経難病患者の看護	1. 神経難病患者の特徴 2. 重症筋無力症患者の援助 3. 筋萎縮性側索硬化症患者の援助 ●レポート提出：授業終了後□グループ・ディスカッション 教科書(5)p186-188, p202-204, p357-360, 370-373	杉本
履修者へのコメント： - 履修条件はありません。 - 履修にあたっての心構えと要望(第1回授業時に詳細を追加説明する) - 小テストは、授業終了時に実施し、原則として採点后1週間以内に返却します。返却後、間違いを修正し、出題に関する内容の追加学習をして、指示した期限までに提出してください。 - レポートは、活用する該当授業までに指定の用紙を配付します。提出前に別紙自己評価表を記載してから提出してください。レポートは、採点后コメントをして返却します。 - 学習態度は、レポートや小テストの追加学習の提出期限・提出方法について評価します。 - 出席確認 呼名またはレポート・小テストの提出などで行います。担当教員の指示を確認してください。 - その他 - 講義に関する連絡は、授業時や掲示、またはWebClassで行います。 - 講義に関する質問は、授業時間内、またはオフィスアワーで対応します。積極的に質問してください。 - 実務経験(看護師)のある教員による授業科目です。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：概要に示した授業の学習内容や疾病治療論の学習内容を整理し、内容に該当する部分のノートやプリントを持参してください。次回授業までに該当部分の教科書を読んで、授業に臨んでください。 復習 30 分以上：教科書や配付資料、説明内容を整理してください。					
課題に対するフィードバック： - 小テスト(追加学習含む)・レポートは、採点・添削後、コメントをして返却します。追加学習が不十分な場合は、授業内外で解説し、再提出を求めることがあります。 - 定期試験は、採点・添削後、フィードバックを行います。					
オフィスアワー： 授業外は月曜日から金曜日の9:00～17:00の間に、各担当教員が対応します(但し、実習等で不在の時もあります)。 電子メールでも随時質問を受け付けます。					
教科書： ※2024年改訂の教科書については、授業ごとに明示した該当ページが変更する場合があります。 - 小松浩子共著『系統看護学講座 専門分野 成人看護学 1 成人看護学総論 第16版』(医学書院) 2022年 - 生活習慣病予防研究会編『生活習慣病のしおり』(社会保険出版社) 2024年(成人看護概論で購入) - 吉岡成人共著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [6] 内分泌・代謝 第16版』(医学書院) 2024年 - 吉田俊子共著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [3] 循環器 第16版』(医学書院) 2024年 - 井手隆文共著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [7] 脳・神経 第15版』(医学書院) 2024年 - 川村雅文共著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [2] 呼吸器 第16版』(医学書院) 2024年 - 大東貴志共著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [8] 腎・泌尿器 第16版』(医学書院) 2024年 - 南川雅子共著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [5] 消化器 第15版』(医学書院) 2024年 - 岩田健太郎共著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [11] アレルギー・膠原病 感染症 第15版』(医学書院) 2020年					
参考書：授業の時に随時、紹介する。					

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
老年看護概論	5124	講義	1 年前期	必修	1/15
概 要： 老年期を生きる人々の健康と生活、それらを取りまく社会の視点で高齢者の多様性を捉える。 また、超高齢社会における保健医療福祉の動向の位置づけや老年看護の役割について講義など とおして学ぶ。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目 的： 1. 老年看護学を理解するための基盤として、老年期を生きる人々の生活とそれを取りまく社会の 視点で高齢者の多様性をとらえる。 2. 高齢者の健康を支える保健医療福祉の制度の位置づけや看護の役割について学習する。					瀧山 文恵
到達目標： 1. 老年期を生きる人の理解について説明できる。 2. 超高齢社会と統計的輪郭について説明できる。 3. 高齢社会における保健医療福祉の動向について説明できる。 4. 高齢者の権利擁護のための制度について説明できる。 5. 老年看護学の発展、老年看護の役割について説明できる。 6. 地域で生活する高齢者の考え方、価値観から現在の生活行動について説明できる。					荒川 みひろ
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☐ ②科学的な思考ができる ☐ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					持田 奈穂美
成績評価方法： webClass 確認テスト(第1～7回)；21% 課題レポート；15% グループディスカッション・発表；5% 定期試験(筆記試験)；59% 成績評価基準： 課題レポート・グループディスカッション・発表はルーブリック評価表に沿って評価し、WebClass 確認テスト、定期 試験(筆記試験)との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	6/4(火) 2 限	合同	老年看護を学ぶ 入口 老いを生きる という事	※初回授業までに WebClass 上の「オリエンテーション」か ら動画視聴(老年看護学の学習過程と本科目の位置づけ) とオリエンテーション確認テストを実施しておくこと。 1. 老年看護を学ぶ入口 1) 老年看護学の学習過程と科目の位置づけ 2) 老いのイメージ、エイジズム 教科書：p2～3、p54～55 シラバス 2. 老いを生きるということ 1) 高齢者の定義 教科書：p11～22 2) 老年期の発達課題 *WebClass 確認テスト 3) 高齢者のスピリチュアリティ 4) 健康と生活(健康寿命) ※課題提示:地域で生活する高齢者の理解(期限7月23日)	瀧山

2	6/11(火) 2限	合同	超高齢社会と 社会保障①	1. 超高齢者社会の統計 ①超高齢社会の現状 ②高齢者と家族 ③高齢者の健康状態 ④高齢者の死亡 ⑤高齢者の暮らし 教科書：p 24～36 *WebClass 確認テスト	荒川
3	6/18(火) 2限	合同	超高齢社会と 社会保障②	1. 高齢社会における保健医療福祉の動向 ①保健医療福祉制度の変遷 ②介護保険制度の整備 ③高齢者医療のしくみ 教科書：p 36～50 *WebClass 確認テスト	荒川
4	7/2(火) 2限	合同	生活・療養の場 における看護	1. 高齢者とヘルスプロモーション 1) 老年期のヘルスプロモーション 2) 「住み慣れた場所で最期まで」を実現する地域包括ケア 教科書(1):P.360～364 2. 保健医療福祉施設および居住施設における看護 1) 介護保険施設 2) 地域密着型サービス 3) 住まい 教科書(1):P365～373 *WebClass 確認テスト	荒川
5	7/3(水) 4限	合同	高齢者の 権利擁護	1. 高齢者差別と権利擁護 2. 高齢者虐待と防止 3. 身体拘束と廃止のための取り組み 4. 権利擁護のための制度 教科書：p 54～67 *WebClass 確認テスト	瀧山
6	7/9(火) 2限	合同	老いる ということ	1. 加齢と老化 2. 加齢に伴う身体的側面の変化 3. 加齢に伴う心理的側面の変化 4. 加齢に伴う社会的側面の変化 教科書：p 4～11, p 94～119 *WebClass 確認テスト	瀧山
7	7/16(火) 2限	合同	老年看護の なりたち	1. 老年看護学教育の発展 2. 老年看護の役割 3. 老年看護に役立つ理論・概念 4. 老年看護に携わる者の責務 教科書：p 70～83 *WebClass 確認テスト	荒川
8	7/23(火) 2限	合同	地域で生活する 高齢者の理解	1. 地域で生活する高齢者の理解 1) 高齢者の生きがい、健康観、価値観が生活に及ぼす影響 2) 高齢者の健康と健康支援 3) 高齢者理解を深めるための自己の課題 (アクティブラーニング; グループディスカッション、発表) ※授業終了時レポート課題提出	瀧山 荒川 持田

履修者へのコメント： 1. 履修条件 特にありません 2. 履修にあたっての心構えと要望 1) 第1回授業開始前にWebClassにオリエンテーション動画「老年看護学の学習過程と本科目の位置づけ」のURLを提示します。またオリエンテーションに関する確認テストを提示します。必ず実施のうえ参加してください。 2) 老年期を生きる人々を理解するためには、高齢者とのかわりが大切です。皆さんの身近な高齢の方に“普段の生活や人生の思い出、健康に対する考え方”など、よくお話を聴き、積極的にかわりを持つことを心がけて授業に臨んでください。 3. 出席確認 授業参加後から翌日 23:59 までに WebClass 上の出席確認アンケートを実施してください。万が一、期限内の実施を忘れた場合は、授業担当者に直接申し出てください。 4. その他 1) 実務経験(看護師)のある教員による講義科目です。
準備学習の内容及び必要時間： 1. 予習 30 分以上：WebClass 確認テストを実施し、分からなかった設問や言葉を教科書を使って調べておく。 2. 復習 30 分以上：WebClass 確認テストを実施し、間違った点やあいまいな点は授業資料や教科書を活用し説明できるようにしておく。 3. 上記 1・2 の確認テストは、皆さんの知識修得をサポートするものであるのと同時に成績評価の 21%に該当します。各回、100%の正答で 3 点を取得できます(3 点×7 回＝合計 21 点を配点)。回数制限はありませんが、実施期間は授業から 1 週間です。100%の知識習得を目指してチャレンジしましょう。
課題に対するフィードバック： 試験は採点・添削後、フィードバックを行う。 課題レポート・グループディスカッション・発表はルーブリック評価表にてフィードバックを行う。
オフィスアワー： 1. 授業時間外の質問は、WebClass アンケートまたはメールで行うか、平日 8:30～17:00 に担当教員の研究室へ直接いらしてください。 2. 教員との面接を希望する場合は、臨地実習等で不在のことがあるため、事前に担当教員と日程を調整することをお勧めします。
教科書：北川公子 著者代表『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学』第9版(医学書院)2023.
参考書： 1) 正木治恵・真田弘美編『老年看護学概論－「老いを生きる」をささえることとは－ 改訂第4版』(南江堂) 2023. 2) 奥野茂代・大西和子編『老年看護学－概論と看護の実践－第6版』(ヌーヴェルヒロカワ) 2019. 3) 財団法人厚生統計協会編『国民衛生の動向・厚生指標』(厚生統計) 2021. ※その他、自主的に求める

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
小児看護概論	5129	講義	1年後期	必修	1/15
概要：小児看護概論は小児看護学の学習の基礎となる科目である。「生涯発達論」の知識を基に「母性看護概論」「看護倫理」「社会福祉」「関係法規」等の学習内容とも関連させ、子どもと家族の看護に必要なことを学ぶ。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的：「子どもの権利」擁護を基盤として、子どもの成長・発達と健康増進のための子どもと家族の看護、および子どもと家族を取り巻く社会状況や諸問題から、小児看護の役割を理解する。さまざまな視点から、子どもおよび小児看護に対する関心を高める。 到達目標： 1. 小児看護の変遷や社会的現状から、小児看護の役割（理念・目標）を理解する。 2. 子どもの基本的な権利と小児看護における倫理を理解する。 3. 子どもの成長・発達の特徴および遊びの意義と看護を理解する。 4. 小児各期の生活の特徴と健康増進のための看護を理解する。 5. 現代社会における子どもと家族の特徴と社会支援の概要を理解する。 6. 子どもと家族を取り巻く社会の諸問題について子どもの権利擁護の視点で考察できる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					担当教員 霜田 敏子 北田 良子 布施 好朗
成績評価方法：1. 定期試験（筆記試験）50% 2. 小テスト（筆記試験）30% 3. 個人課題（ミニ新聞作成と発表）10% 4. 学習態度（WebClass 確認問題&学び・感想の取り組みやディスカッションへの参加等）10% 成績評価基準：個人課題と学習態度は、評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、定期試験および小テストとの総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	11/20(水) 3限	合同	小児看護の変遷と子どもの現状、小児看護の役割	1. 諸外国および日本の児童観・育児観・小児看護の変遷 2. 現代日本の諸統計からみた子どもの現状 3. 成長・発達する子ども、生活者としての子ども 4. 小児看護の対象・目標・役割 教科書 p.4-18	霜田
2	11/27(水) 3限	合同	子どもの権利、小児看護における倫理	1. 子どもの権利条約の理念と内容 2. 子どもの基本的な権利とさまざまな問題 3. 小児看護における倫理原則、医療における意思決定 教科書 p.19-25 ★個人課題「ミニ新聞作成」提示、 提出期限 2025 年 1 月 14 日(火) 17:00	霜田
3	12/4(水) 3限	合同	子どもの成長・発達①	1. 子どもの成長・発達の原則、影響因子、成長・発達評価 2. 小児各期の形態的、身体生理の特徴、感覚・運動機能、 教科書 p.30-51 p.54-65 p.71-76 p.92-93 p.109-111 p.124-126	霜田

4	12/11(水) 3限	合同	子どもの成長・発達② 子どもの遊び	1. 小児各期の知的機能, コミュニケーション機能 2. 小児各期の情緒・社会的機能 3. 子どもの遊びの意義, 成長発達と遊び 4. 子どもとのコミュニケーションの実際① 教科書 p.76-78 p.94-100 p.111-115 p.127-130	霜田
5	1/8(水) 3限	合同	小児各期の生活の特徴と看護①	1. 乳児期の成長・発達に応じた生活への支援 2. 幼児期の成長・発達に応じた生活への支援 教科書 p.78-90 p.101-108 ★小テスト (第1回～第4回の内容)	霜田
6	1/15(水) 3限	合同	小児各期の生活の特徴と看護②	1. 学童期の成長・発達に応じた生活への支援 2. 思春期の成長・発達に応じた生活への支援 3. 小児各期の生活リズムの確立と生活習慣病の予防 教科書 p.117-122 p.139-144	霜田
7	1/22(水) 1限	合同	子どもと家族の看護	1. 家族の定義・機能 2. 子どもをもつ家族のアセスメント 3. 現代の子どもと家族を取り巻く社会状況や諸問題 4. 子どもと家族の社会支援の概要 教科書 p.146-160 p.162-192	霜田 北田 布施
8	1/22(水) 2限	合同	現代社会の諸問題と子どもの権利擁護	1. 現代社会の諸問題と子どもの権利擁護 2. 自己の子ども観や小児看護観の明確化 3. 子どもとのコミュニケーションの実際② 教科書 p.162-192 <ミニ新聞発表と相互評価, グループディスカッション>	霜田 北田 布施

履修者へのコメント：

- 履修条件：特にありませんが、「小児看護概論」の単位を修得できない場合、2年次以降の小児看護領域の科目を履修できないことがあります。
- 履修にあたっての心構えと要望
 - 人間の成長・発達の理解が重要です。予習・復習には「生涯発達論」の教科書や資料を活用して下さい。
 - 個人課題「子どもの権利条約と現代社会の諸問題」は各自でミニ新聞を作成します。詳細は授業で説明します。
 - 幼児向けTV番組やインターネット上の動画、ボランティア活動等で子どもの実際を知っておきましょう。
- 出席確認：授業開始時にWebClassで出欠席を確認します。遅刻の取り扱い等については授業の最初に伝達します。
- その他
 - 講義に関する連絡は、WebClassやメール、および1F掲示等で行います。
 - 講義に関する質問は、オフィスアワー、WebClassのメールを利用してください。

準備学習の内容及び必要時間：

予習 30分以上：テキスト、インターネット等で記事などを読み資料の下調べをして整理しておく。

復習 30分以上：各回の授業で配付する資料、テキストを整理すること。学習内容を振り返り、今後の学習に役立てるため、毎回WebClassの確認問題&学び・感想に取り組む。

課題に対するフィードバック：

試験・レポート結果については採点・添削後、フィードバックを行う。

オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。時間外の質問は月曜日～金曜日の8:30～17:00に研究室17で霜田が対応します。

教科書：(1) 奈良間美穂他著, 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 第14版, 医学書院, 2024.

参考書：(1) 「生涯発達論」で使用した教科書および配付資料

(2) 小口尚子・福岡鮎美, 『子どもによる子どものための子どもの権利条約』, 小学館, 2008

“子どもの権利条約”に関する参考図書は、図書館などに多数あります。いろいろ探して活用して下さい。

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
母性看護概論	5134	講義	1年後期	必修	1/15
概要: 人体の構造と疾病と機能・疾病の成り立ちと回復の促進で学んだ知識を科学的根拠として、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法をもととして、母性看護の基礎となる概念を学び、母性看護実践するうえでの考え方を学ぶ。 シラバス巻頭の「科目構造図」と「科目進捗表」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的: 母性看護の基盤となる概念を理解し、対象を取り巻く社会の変遷と現状を踏まえ、母性看護の対象と母性の健康について理解する。					大角地 久美子
到達目標: 1. 「母性」の概念を理解できる。 2. 母性看護の対象を理解できる。 3. 母性看護の変遷と現状が理解できる。 4. 母子保健行政と母性に関する法律が理解できる。 5. 女性のライフサイクルにおける健康について理解できる。					石川 裕貴
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的思考ができる ☐ ③専門的な知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長ができる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					非常勤講師
成績評価方法: 1. 定期試験（筆記試験）（60%） 2. 性周期課題レポート（10%） 3. 特別講義課題レポート（10%） 4. 小テスト（20%）					
成績評価基準: 上記2は別紙評価基準に基づいて評価し、定期試験（筆記試験）・小テストとの総合点をGPA実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	11/20 (水) 1限目	合同	母性とは 母子関係と家族の発達 女性のライフサイクルと家族 母性の発達・成熟・継承	1.母性の概念 2.愛着・母子相互作用と母子関係形成、 家族機能、家族の発達課題 3.現在女性のライフサイクルと発達課題 4.家族の発達段階と家族看護 5.女性性の発達、母性・父性・親性の発達 教科書(1) p2-19, p127-154	大角地
2	11/20 (水) 2限目	合同	女性のライフサイクルに伴う形態・機能の変化	1.性の分化と男女の形態的特徴 2.女性の性機能の特徴 教科書(1)p100-127	石川
3	11/27 (水) 2限目	合同	母性看護の変遷と現状	1.母性看護の変遷 2.母子保健統計の動向 教科書(1)p58-82	大角地
4	12/4 (水) 2限目	合同	母子保健行政	1.母性看護に関する組織と法律 2.母子保健に関する施策 教科書(1) p 82-97	大角地
5	12/11 (水) 2限目	合同	ヘルスプロモーション セクシュアリティ リプロダクティブヘルス/ライツ①	1.女性の生涯にわたる健康教育としてのヘルスプロモーションとエンパワーメント 小テスト 2.セクシュアリティの定義・発達と課題	大角地

				3. リプロダクティブヘルス/ライツの定義・課題 4. 受胎調節法 教科書(1)p22-26, 27-38, 252-258	
6	1/8 (水) 2 限目	合同	リプロダクティブヘルス/ライツ ②	1. 性感染症とその予防方法 2. HIVに感染した女性、HIVに感染した妊婦への看護 3. 人工妊娠中絶、性暴力を受けた女性の健康に対する看護 4. 児童虐待と看護 教科書(1) p 259-289, 299-316	大角地
7	1/9 (木) 4 限目	合同	母性看護のあり方	1. 国際化社会と看護 2. 母性看護の理念 3. 母性看護の課題 4. 母性看護における倫理 5. 周産医療・生殖医療におけるチーム医療 教科書(1) p 38-56, 317-326	大角地
8	1/ 22 (水) 3 限目	合同	【特別講義】 がんを経験して思う 女性の生き方	1. 母性看護のまとめ 今までの講義内容と特別講義を受け、母性とは何かを再考する [レポート提出] (提出期限:1/29 (水) 8:50まで)	非常勤講師
履修者へのコメント： - 履修条件：特になし - 履修にあたっての心構えと要望（第1回授業時に詳細を追加説明する） - 母性とは何か一緒に考えましょう。また、母性看護を理解するために必要な言葉を学びます。はじめは理解しにくいと思いますが、2年次に学ぶ「母性看護」へとつながりますので、楽しく学びましょう。 - 人体の構造と機能、人間のライフサイクルにおける各期の形態や・機能的側面や心理・社会的側面を踏まえて授業が進みます。学習内容を確認し「解剖学」や「生涯発達論」等のテキストを参考に、事前に下調べをし、まとめた上で授業に臨んで下さい。 - 小テストについては授業外において返却・解説を行います。 - 出席確認 出席確認は、呼名またはリアクションシートにて行います。、ただし、単元により小テストの提出等で出席確認を行う場合があるので、担当教員の指示を確認してください。 - その他 - 講義に関する連絡は、掲示またはwebClassにておこなうため、必ず確認してください。 - 講義に関する質問は、授業時間内に積極的に行ってください。 - 実務経験（看護師・助産師）のある教員による授業科目です。					
準備学習の内容及び必要時間： ①予習 30 分以上： 教科書の該当部分をよく読み、ポイントを押さえて授業に臨んでください。 ②復習 30 分以上： 授業内容（教科書・授業資料）を振り返り、学んだ内容を整理してください。 ③課題・レポートを作成し、提出することを求めます。					
課題に対するフィードバック： ①提出された課題については、返却し、授業内でフィードバックします。 ②授業内テストの解説はWebClass もしくは授業内で行います。 ③定期試験の解説は試験終了後に期間を設けて実施します。					
オフィスアワー：授業時間外の質問は、月曜日から金曜日までの 8:30～17:00 の間に研究室 15 大角地が対応します。					
教科書：(1)森 恵美 他著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学 1 第 14 版』（医学書院） 2023 年					

参考書:

- (1) 中込さと子他編『母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護 第3版』(メディカ出版) 2024年
- (2) 有森直子 他編『母性看護学I (概論) 第2版』(医歯薬出版株式会社) 2020年
- (3) 村本淳子 他著『ウイメンズヘルスナーシング概論 第2版』(ヌーヴェルビロリ) 2021年

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
精神看護概論	5138	講義	1年後期	必修	1/15
概要：前期で学んできた科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解を基に、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法として精神障害について考え、また歴史・背景を学ぶ。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的：我が国における精神保健福祉と看護のニーズを知り、個人の自己実現のプロセスを支えるための看護を、講義を通して学習する。					勝久 淳
到達目標：1. 精神看護学の基本的な考え方と、現代社会における精神保健福祉・看護ニーズの高まりとその背景について、自分の考えを表現できる。 2. 精神医学・精神医療の歴史をふまえて、日本の現状と課題について自分の考えを述べるができる。 3. 心のさまざまなはたらきとしくみについて説明できる。 4. 心身の健康に及ぼすストレスや心的外傷（トラウマ）の影響を説明できる。 5. コミュニケーションにおいて、関係を振り返ることの重要性を説明できる。 6. 家族や集団の中における人間関係が、メンタルヘルスに与える影響について説明できる。 7. 精神看護における権利擁護について自分の考えを表現できる。					渡邊 あゆみ
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☐ ②科学的な思考ができる ☐ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					小倉 圭介
成績評価方法：1. レポート10% 2. プロセスレコード10% 3. 小テスト20% 4. 定期試験（筆記試験）60% 成績評価基準：プロセスレコードとレポートは評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し小テストや筆記試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					中村寿賀子
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	11/29 (金) 1限	合同	精神看護で学ぶこと	1. 精神看護学とはなにか 2. 精神障害をもつ人の病いの体験と精神看護 3. 「心のケア」と日本社会 4. 精神看護の課題 （事前課題による反転授業） 教科書【1】P1～22	勝久
2	12/6 (金) 1限	合同	社会の中の精神障害	1. 精神障害と治療の歴史（ディスカッション） 2. 日本における精神医学・精神医療の流れ 教科書【1】P297～335 【課題レポート】提出期限12/13（金）	渡邊
3	12/6 (金) 5限	合同	心の働き	1. 心のはたらき 2. 心のしくみと人格の発達 教科書【1】P55～114	小倉
4	12/13 (金) 1限	合同	精神保健の考え方	1. 精神の健康とは 2. 心身の健康に及ぼすストレスの影響 3. 心的外傷（トラウマ）と回復 4. 精神障害という捉え方 教科書【1】P23～53	中村

5	1/10 (金) 1限	合同	精神障害者との 関係の振り返り	1. 基礎看護実習Ⅰ-2 の経験を基にプロセスレコードを記載する。(事前課題による反転授業) 2. プロセスレコードの記載方法・活用方法 3. プロセスレコードの自己評価・他者評価 教科書: 精神看護学【2】P28～45 【プロセスレコード課題】提出期限: 1/17 (金)	渡邊
6	1/17 (金) 1限	合同	関係のなかの人間	1. システムとしての人間関係 2. 全体としての家族 3. 人間と集団 (ディスカッションもしくはディベート) 教科書【1】P115～142 小テスト	勝久
7	1/24 (金) 1限	合同	学校と職場におけるメンタルヘルス	1. 学校におけるメンタルヘルスと看護 2. 職場におけるメンタルヘルスと看護 教科書【1】P178～194 小テスト	勝久
8	1/31 (金) 1限	合同	精神看護における権利擁護	1. 精神保健福祉法と権利擁護 1) 入院形態について 2) 行動制限に関すること (ディスカッション) 教科書【1】P335～370 教科書【2】199～209・315～323 小テスト	勝久
履修者へのコメント: 1. 履修条件: 履修条件はありません。 2. 履修にあたっての心構えと要望 1) 人間のライフサイクルにおける精神の発達について機能的側面や心理・社会的側面の課題等を講義で学びます。学習内容を確認し「生涯発達論」で学習した内容を授業前に復習してください。 3. 出席確認 1) 講義終了後に記載するリアクションシートの提出をもって出席とみなす。 4. その他 1) 講義に関する連絡は、WebClass や掲示をもって行うので、各自必ず確認してください。 2) 講義に関する質問は、授業内かオフィスアワーに直接聞きにきてください。					
準備学習の内容及び必要時間: 予習 30 分以上: 次回授業までに該当部分についてテキスト、インターネット等で記事などを読み資料の下調べをして整理しておく。 復習 30 分以上: 各回の授業で配付する資料、テキストを整理すること。					
課題に対するフィードバック: 試験・レポート結果については採点・添削後、フィードバックを行う。					
オフィスアワー: 授業時間外の質問は、メール対応または月曜日から金曜日 8:30～17:00 に勝久または渡邊の研究室へ来てください。					
教科書: (1) 武井麻子:『精神看護学【1】精神看護の基礎』(医学書院) 2023. (2) 武井麻子:『精神看護学【2】精神看護の展開』(医学書院) 2023.					
参考書: (1) 厚生統計協会編:『国民衛生の動向』2022/2023. (2) 岩崎弥生・渡邊博幸:『精神看護学① 精神看護学概論 精神保健』(メヂカルフレンド社) 2021. (3) 岩崎弥生・渡邊博幸:『精神看護学② 精神障害をもつ人の看護』(メヂカルフレンド社) 2021.					

2024 年度
2 年 次 履 修 科 目

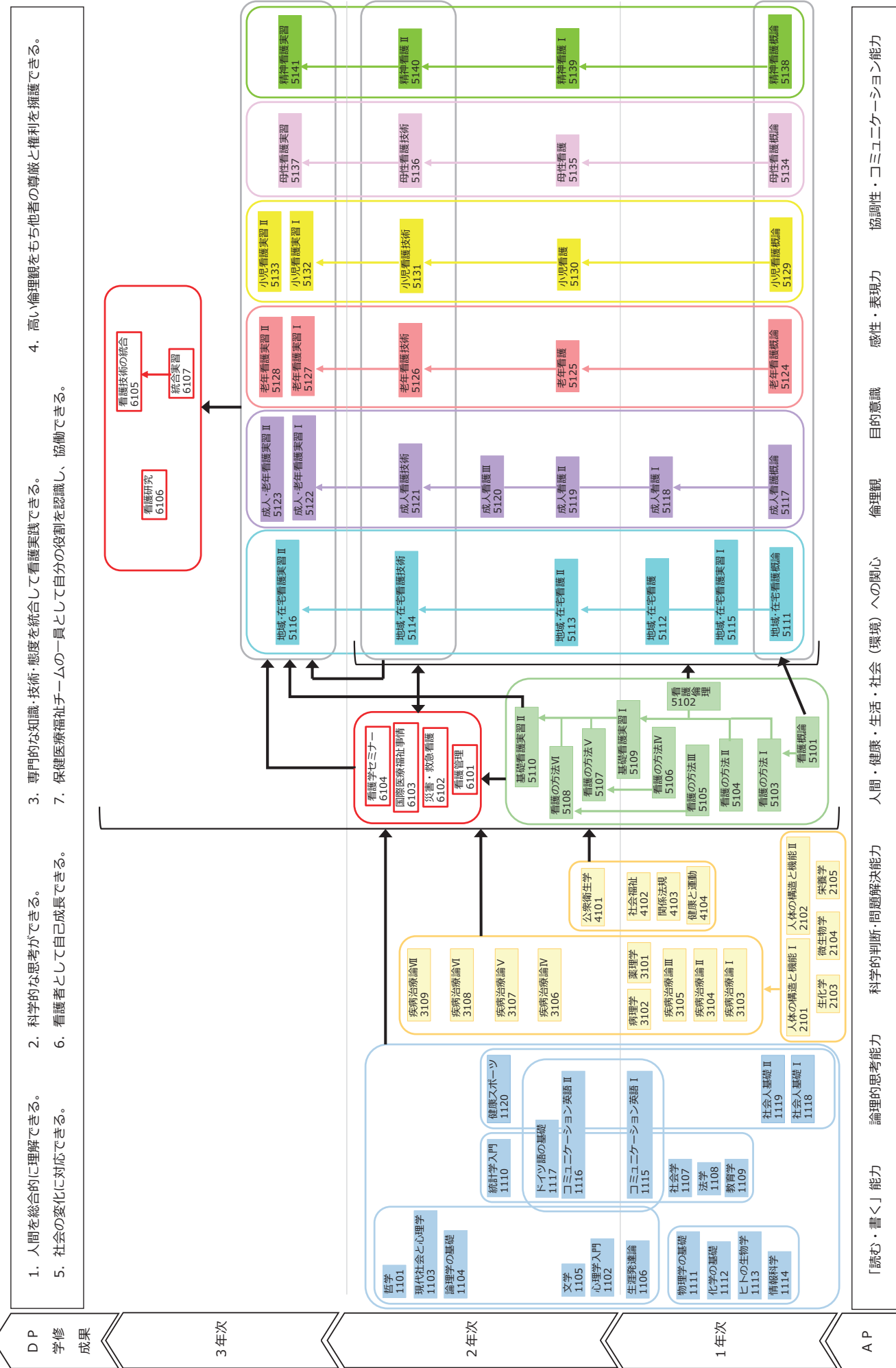
履修にあたっての一般事項

- (1) 本学で履修する科目は、科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解、人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法、看護の統合に大別されます。
また、科目は必修科目および選択科目の二つのカテゴリーがあります。科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解は、人間の理解、生活・社会の理解、自然科学の理解、国際交流の基礎、感性と創造の5分野に分けられます。
- (2) 学生は、科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解、人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法、看護の統合の規定の単位を修得しなければなりません。
- (3) 学生は学期初めに行われるオリエンテーションを確認し、その上で所定の履修科目について履修届（履修登録カード）を提出しなければなりません。
- (4) このカリキュラムは令和4年度入学生より適用します。

表2. 卒業要件及び国家試験受験資格

授 業 科 目 の 区 分		履修単位	
科学的思考の基盤、 人間と生活・社会の理解	人間の理解	3 単位	16単位以上
	生活・社会の理解	2 単位	
	自然科学の理解	2 単位	
	国際交流の基礎	4 単位	
	感性と創造	2 単位	
	人間の理解、生活・社会の理解、自然科学の理解、国際交流の基礎、感性と創造の中から選択	3 単位以上	
小 計		16単位以上	
人体の構造と機能		7単位	
疾病の成り立ちと回復の促進		9単位	
健康支援と社会保障制度		6単位	
小 計		22単位	
ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法	基礎看護学	14単位 (3)	67単位以上
	地域・在宅看護学	9単位 (3)	
	成人看護学	12単位 (6)	
	老年看護学	7単位 (3)	
	小児看護学	6単位 (2)	
	母性看護学	6単位 (2)	
	精神看護学	6単位 (2)	
看護の統合		7 単位以上 (2)	
小 計		67単位以上 (23)	
合 計		105単位以上	

カリキュラムマップ



授業科目の区分	人間の理解				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
哲学	1001	講義	2 年前期	選択	2／30
概 要：医療現場における具体的問題を毎回テーマとしてとりあげ、西洋のさまざまな哲学的思考を参考にしながら、それらの問題について考える。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的：おもに西洋の哲学思想を参照することによって、現代の医療現場における具体的問題とのかかわりを理解する。 到達目標：自分の直面する問題について哲学的に考える力を身に付け、そのような考えを自分の言葉で説明できるようになること。生命倫理の基本的な考え方を、その歴史的ひろがりにおいて理解すること。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☐⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：学習態度（コメントシート等から判断）30％＋定期試験（筆記試験）70％ 成績評価基準：学習態度はコメントシートの提出状況等で評価し、定期試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					担当教員 柳田 詩織
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/9(火) 1 限	合同	ガイダンス	前期の講義内容を概観する。	柳田
2	4/16(火) 1 限	合同	生命倫理の原理 ①	生命倫理の基本的な考えかたを為す、義務論や功利主義の考えかたを学ぶ。	柳田
3	4/23(火) 1 限	合同	生命倫理の原理 ②	生命倫理の重要な概念である人格の尊厳について学ぶ。	柳田
4	4/30(火) 1 限	合同	生命倫理の原理 ③	生命倫理の基本的な考えかたを為す、自己決定権やインフォームド・コンセントの考えかたを学ぶ。	柳田
5	5/7(火) 1 限	合同	生殖補助医療①	AID や代理出産など、生殖補助医療についての基本知識を学ぶ。	柳田
6	5/14(火) 1 限	合同	生殖補助医療②	前回の授業内容にもとづき、生殖補助医療の倫理的問題を批判的に考える。	柳田
7	5/21(火) 1 限	合同	人工妊娠中絶①	人工妊娠中絶の基本知識と、その論争の歴史を学ぶ。	柳田
8	5/28(火) 1 限	合同	人工妊娠中絶②	前回の授業内容をふまえ、人工妊娠中絶の倫理的問題を考える。	柳田
9	6/4(火) 1 限	合同	医療と差別	医療における差別の歴史とその倫理的問題を学ぶ。	柳田
10	6/11(火) 1 限	合同	脳死臓器移植①	脳死・臓器移植の基本知識を確認する。	柳田

11	6/18(火) 1 限	合同	脳死臓器移植②	前回の理解をもとに、脳死・臓器移植の倫理的問題を考察する。	柳田
12	6/25(火) 1 限	合同	安楽死①	安楽死について基本知識を学ぶ。	柳田
13	7/2(火) 1 限	合同	安楽死②	前回の授業内容にもとづき、安楽死の倫理的問題について考察する。	柳田
14	7/9(火) 1 限	合同	ケアについて	ケアの基本知識を学び、それを取り巻く社会的状況と、倫理的問題を考察する。	柳田
15	7/16(火) 1 限	合同	まとめ	全体のまとめを行なう。	柳田
履修者へのコメント： - 履修条件 履修条件はとくに設けません。 - 履修にあたっての心構えと要望 私語は慎んでください。 - 出席確認 出欠席はコメントシートで確認します。 - その他 なし					
準備学習の内容及び必要時間： 予習として、各回の当該テーマについて事典やインターネットの記事などを読み、イメージを掴んでおいてください。こちらから記事を指定する場合があります（30 分以上）。授業後は配布したプリントを復習してください（30 分以上）。					
課題に対するフィードバック： コメントシートへの応答を毎回授業冒頭に行います。					
オフィスアワー： 授業終了後に教室にて質問を受け付けます。					
教科書： なし。毎回講師作成のプリントを配布します。					
参考書： 黒崎剛・吉川栄省編『生命倫理の教科書 第2版』ミネルヴァ書房、2022 年。 小林亜津子『はじめて学ぶ生命倫理——「いのち」は誰が決めるのか』ちくまプリマー新書、2011 年。 そのほかにも、毎回の授業で参考文献を紹介していきます。					

授業科目の区分		人間の理解			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
心理学入門	1102	講義	2 年前期	選択	2／30
概 要： 認知心理学、発達心理学、社会心理学、臨床心理学などの基礎的な内容について講義する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的： 行動科学的な観点から、人間の心理現象（脳の働き＝知・情・意）についての基礎的な知識を習得し、自己および他者の心理について理解を深める。 到達目標： 1. 心理学の研究対象や研究方法およびその変遷について説明できる。 2. さまざまな心理現象の仕組みや特徴について説明できる。 3. 患者の心理的特徴について説明できる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☒⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					担当教員
					佐藤 礼子
成績評価方法：筆記試験（定期試験）80%、課題参加状況・レポート 20%。 成績評価基準：課題参加状況やレポートについては評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、筆記試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/8(月) 1 時限目	合同	心理学とその歴史	心理学の研究対象や研究方法およびその変遷 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
2	4/15(月) 1 時限目	合同	知覚	1.知覚の仕組みや特徴 2.パターン認知 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
3	4/22(月) 1 時限目	合同	学習と記憶	1.さまざまな学習形態 2.記憶の仕組みや特徴 課題(本日の内容のまとめと実験)を授業時間内に実施	佐藤
4	5/13(月) 1 時限目	合同	思考と言語	1.思考の形態や特徴 2.言語の機能や思考との関連性 課題(本日の内容のまとめと実験)を授業時間内に実施	佐藤
5	5/20(月) 1 時限目	合同	感情・欲求・ 動機付け	1.感情の定義や生起過程の理論 2.欲求の種類や構造 3.動機付けの種類および動機付け要因 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
6	5/27(月) 1 時限目	合同	発達①	1.ピアジェの認知発達理論 2.フロイトの心理・性的発達論 3.エリクソンの心理・社会的発達理論 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
7	6/3(月) 1 時限目	合同	発達②	1.乳児期の言語発達およびそれに関連する諸要因の発達 2.高齢者の心理的特徴およびその特徴に基づく対応のあり方 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤

8	6/10(月) 1時限目	合同	社会①	1.対人認知の特徴 2.対人関係における人間の思考や行動の特徴 課題(本日の内容のまとめと実験)を授業時間内に実施	佐藤
9	6/17(月) 1時限目	合同	社会②	集団における人間の思考や行動の特徴 課題(本日の内容のまとめと実験)を授業時間内に実施	佐藤
10	6/24(月) 1時限目	合同	知能	1.知能の定義および特徴 2.知能の測定方法および知能検査の利用法 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
11	7/1(月) 1時限目	合同	性格①	1.さまざまな性格の理論 2.性格の測定方法 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
12	7/8(月) 1時限目	合同	性格②	1.自己理解の重要性 2.交流分析理論とそれに基づく検査 3.性格検査の体験および自分の長所・短所についての考察 レポート課題の説明	佐藤
13	7/22(月) 1時限目	合同	適応	1.適応および不適応状態 2.自我防衛機制 前回のレポート提出 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
14	7/23(火) 1時限目	合同	心理療法	1.心理療法における主なアプローチ 2.各種心理療法の共通点 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
15	7/24(水) 1時限目	合同	医療	1.患者の心理的特徴 2.対象喪失 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
履修者へのコメント： 1.履修条件はありません。 2.履修にあたっての心構えと要望： 1)本科目を履修する場合は、1年次までの成績がGPA2.0以上であることが望ましい。 2)授業中の私語は他の学生の迷惑になりますので、厳に慎んでください。 3.出席確認：課題（授業参加用紙）の提出によって出席確認を行います。 4.その他：授業時間内に実施する課題については、第1回授業の時に詳細を説明します。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習は必要ありません。復習は30分以上、各回の授業で配布する資料や授業中各自がメモしたノート、参考書などを読んで整理すること。学習した内容を実際の生活の中で活用することを期待します。					
課題に対するフィードバック： 授業中に実施した課題は、採点・添削後、各自に返却しますので、必ず受け取って内容を確認してください。 試験の答案についても、採点后、各自に返却します。					
オフィスアワー： 授業内容についての質問は、授業終了後、教室で受け付けます。					
教科書： 教材としてプリントを毎回授業開始時に配布する。					
参考書： 市川伸一著『心理学って何だろう（心理学ジュニアライブラリ 00）』（北大路書房）2002年					

授業科目の区分		人間の理解			R6（2024）年度				
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間				
現代社会と心理学	1103	講義	2年後期	選択	1／15				
概 要： 虐待問題に対する考え方や対応の仕方、また脳の機能としての心理現象の特徴などについて講義する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的： 現代社会における重要な問題の一つである虐待について、医療従事者として必要な知識を習得し、心理学的な観点から理解を深める。 また人間の心理現象の仕組みについて、脳との関連性を中心に理解を深める。 到達目標： 1. 児童虐待および高齢者虐待における虐待者・被虐待者の心理および虐待問題への対応のあり方について説明できる。 2. さまざまな心理現象の仕組みや特徴について、脳と関連させて説明できる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☒③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☐⑥社会の変化に対応できる ☒⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：筆記試験（授業内試験）80%、課題参加状況 20%。 成績評価基準：課題参加状況については評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、筆記試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					担当教員				
					佐藤 礼子				

回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	11/13(水) 2時限目	合同	児童虐待①	虐待者（親）、被虐待者（子ども）の心理 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
2	11/20(水) 2時限目	合同	児童虐待②	児童虐待に対する医療従事者としての援助法 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
3	11/27(水) 2時限目	合同	高齢者虐待及び脳の機能としての心の機能としての心（入門編）	1.高齢者虐待の特徴や高齢者虐待への対応の仕方 2.脳の基本的な構造や仕組み 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
4	12/4(水) 2時限目	合同	脳の機能としての心の心①	進化という観点から見た、人間らしい心の働き 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
5	12/11(水) 2時限目	合同	脳の機能としての心の心②	記憶の仕組みや役割 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
6	1/8(水) 2時限目	合同	脳の機能としての心の心③	愛情の生じる仕組み 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
7	1/15(水) 2時限目	合同	脳の機能としての心の心④	心の発達や再生の仕組み、及び発達や再生の促進方法 課題(本日の内容のまとめ)を授業時間内に実施	佐藤
8	1/22(水) 2時限目	合同	まとめ	1.人間の心と脳の仕組みとの関連付け 2.上記に基づく看護のあり方	佐藤

履修者へのコメント： - 履修条件はありません。「心理学入門」（前期科目）を履修していない学生の履修も可能です。 - 履修にあたっての心構えと要望： 1) 本科目を履修する場合は、1 年次までの成績が GPA2.0 以上であることが望ましい。 2) この授業は、詳細な知識の習得を目指しているわけではありません。まずはとにかく興味を持てるようになること、今後の学習の足場作りを目指しています。虐待問題に関心がある学生さんだけでなく、関心がない学生さんや、「脳のことは難しそう…」と尻込みしている学生さんにも、ぜひ参加してもらいたいと思います。 3) 授業中の私語は他の学生の迷惑になりますので、厳に慎んでください。 - 出席確認：課題（授業参加用紙）の提出によって出席確認を行います。 - その他：授業時間内に実施する課題については、第 1 回授業の時に詳細を説明します。
準備学習の内容及び必要時間： 予習は必要ありません。復習は 30 分以上、各回の授業で配布する資料や授業中各自がメモしたノート、参考書などを読んで整理すること。学習した内容を実際の生活の中で活用することを期待します。
課題に対するフィードバック： 授業中に実施した課題は、採点・添削後、各自に返却しますので、必ず受け取って内容を確認してください。試験の答案についても、採点後、各自に返却します。
オフィスアワー： 授業内容についての質問は、授業終了後、教室で受け付けます。
教科書：教材としてプリントを毎回授業開始時に配布する。 第 1～3 回は、教材として、参考書に挙げたまんがを使用します。 第 4～7 回は、教材として、映像(DVD)を使用します。 (NHK クリエイティブ『驚異の小宇宙・人体Ⅱ－脳と心』全 6 巻中の 4 巻分)
参考書：ささやななえ・椎名篤子著『凍りついた瞳(め)』（集英社）1995 年 くさか里樹著『ヘルプマン！』3 巻(講談社) 2005 年

授業科目の区分		人間の理解			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
論理学の基礎	1104	講義	2年後期	選択	2/30
概 要： 「論理学って、なに？」「難しそう……」と思うかもしれませんが、学校の勉強や日常生活、仕事にも関連するものです。論理思考の基本を身につけ、今後の生活や仕事に活用していくことを目指します。 シラバス巻頭の「科目構造図」と「科目進捗表」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的： 自分の頭で考えて、その考えや情報をまとめられるようになることを目指します。また、まとめたものを自分の言葉で分かりやすく表現し、他者に伝える技術を学習していきます。 到達目標： 1. 「論理」という言葉の意味を自分の言葉で説明できる。 2. 論理的に読む、論理的に書くための基礎を身につける。 3. 論理的思考と看護がどのように関連するのかを考え、学ぶ。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☒⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法： 学習態度（25％）や課題（25％）、定期試験（筆記試験）（50％） 成績評価基準： 学習態度や課題、定期試験の総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					担当教員 <u>小沢 恵美子</u>
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/30 (月) 1 限	合同	論理的な考え方 ①	論理とは何か？ 「読む」こと「書く」ことの基本	小沢
2	10/7 (月) 1 限	合同	論理的な考え方 ②	1 分間スピーチ、他者意識について 看護師と情報の関係	小沢
3	10/21 (月) 1 限	合同	論理思考の基本 ①	1 分間スピーチ、因果関係について 看護学生と「読む」こと「書く」ことの関連	小沢
4	10/28 (月) 1 限	合同	論理思考の基本 ②	因果関係を考える練習 1	小沢
5	11/11 (月) 1 限	合同	論理思考の基本 ③	1 分間スピーチ、因果関係を考える練習 2 看護における「読む」ことの重要性	小沢
6	11/18 (月) 1 限	合同	論理思考の基本 ④	1 分間スピーチ、イコールの関係について 文章を読む視点 1	小沢
7	11/25 (月) 1 限	合同	論理思考の基本 ⑤	抽象化について 文章を読む視点 2	小沢

8	12/2 (月) 1 限	合同	論理思考の基本 ⑥	1 分間スピーチ、イコールの関係を考える練習 文章を読む視点 3	小沢
9	12/9 (月) 1 限	合同	論理思考の基本 ⑦	1 分間スピーチ、対立関係について 看護学生の「読む力」を伸ばすために	小沢
10	12/23 (月) 1 限	合同	論理思考の基本 ⑧	弁証法について 「読む」レッスン	小沢
11	1/6 (月) 1 限	合同	論理思考の基本 ⑨	1 分間スピーチ、対立関係を考える練習 看護における「書く」ことの重要性	小沢
12	1/20 (月) 1 限	合同	論理思考を使う ①	1 分間スピーチ 文章を「書く」視点 1	小沢
13	1/27 (月) 1 限	合同	論理思考を使う ②	文章を「書く」視点 2 論理的に書く	小沢
14	1/28 (火) 1 限	合同	全体のまとめ①	論理思考を使ってまとめた文章を書く	小沢
15	1/29 (水) 1 限	合同	全体のまとめ②	論理思考を使って 800 字程度の文章を書く	小沢

履修者へのコメント：

1. 履修条件

履修条件はありません。

2. 履修にあたっての心構えと要望

授業はテキストに沿って進めていくので忘れないようにしましょう。

授業では発表（1 分間スピーチ）や問題演習を行っていきます。主体的に取り組むことを求めます。

課題は成績に関係するものなので、期日までに提出するようにしましょう。

3. 出席確認

授業開始時に呼名等で出席を確認します。

4. その他

準備学習の内容及び必要時間：

予習 30 分以上：テキストの次回授業の該当部分について読み、前回までの内容との関連を確認する。

復習 30 分以上：各回授業のテキストの該当部分を再度確認し、授業内容を整理する。

課題に対するフィードバック：

課題プリントやレポートについては採点・添削後、フィードバックを行う。

オフィスアワー：

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

教科書：

坂井浩美・山崎啓子著『看護学生のための「読む力」「書く力」レッスン』（日本看護協会出版社）2021 年

参考書：

出口汪著『マンガでやさしくわかる論理思考』（日本能率協会マネジメントセンター）2014 年

授業科目の区分		人間の理解			R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
文学	1005	講義	2 年前期	選択	2／30
概 要： 病・死・ケアが描かれた文学作品の講読を通して、読む力を養うとともに、病や死が社会的・文化的にどのような意味を持つのか考える。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的： 文学を通して、病や死の文化的な位置付けや意味について考え、自分なりに問い直す視点を持つ。 到達目標： 1. 読解力を身に付ける（明治～昭和の文学を読みこなす）。 2. 文化と病の関わりについて意識的な視点を持つ。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☐⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					担当教員
					芳賀 祥子
成績評価方法：毎回の授業におけるコメント提出 40%、最終レポート 60%の総合評価					
成績評価基準：					
①コメント提出（授業内容を理解し、指示を踏まえて、自分なりに感じたことや考えたことが書けているか）					
②最終レポート（授業内容を踏まえて作品を読めているか。また、作品のなかの根拠を示しながら、本文に表現された病や死の意味・意義について考えることができているか）					
①②の総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/9(火) 3 時限目	合同	ケアとは何か	1. ケアの定義 2. 文学の中で描かれるケアの基本知識	芳賀祥子
2	4/16(火) 3 時限目	合同	ケアの表象	1. 横光利一「春は馬車に乗って」	芳賀祥子
3	4/23(火) 3 時限目	合同	結核の表象 1	1. 結核の文化的イメージ 2. 徳富蘆花「不如帰（ほととぎす）」	芳賀祥子
4	4/30(火) 3 時限目	合同	結核の表象 2	1. 結核とサナトリウム 2. 堀辰雄「風立ちぬ」	芳賀祥子
5	5/7(火) 3 時限目	合同	結核の表象 3	1. ジブリ作品「風立ちぬ」の中の結核表象	芳賀祥子
6	5/14(火) 3 時限目	合同	結核の表象 4	1. 正岡子規の日記「病床六尺」 2. 葉山嘉樹「淫売婦」	芳賀祥子
7	5/21(火) 3 時限目	合同	ハンセン病の表象 1	1. ハンセン病の隔離政策と差別 2. 北條民雄「いのちの初夜」	芳賀祥子
8	5/28(火) 3 時限目	合同	ハンセン病の表象 2	1. ハンセン病の戦後と社会復帰 2. 風見治「不在の街」	芳賀祥子

9	6/4(火) 3 時限目	合同	ハンセン病の表 象 3	1. 現代におけるハンセン病の在り方 2. ドリアン助川「あん」	芳賀祥子
10	6/11(火) 3 時限目	合同	ハンセン病の表 象 4	1. 神谷美恵子「生きがいのについて」	芳賀祥子
11	6/18(火) 3 時限目	合同	文学と死 1	1. 「死」を描くことの難しさと問題点 2. 文学と「死」の関係	芳賀祥子
12	6/25(火) 3 時限目	合同	文学と死 2	1. 菊池寛「愛児不死」	芳賀祥子
13	7/2(火) 3 時限目	合同	文学と死 3	1. 東日本大震災における怪談	芳賀祥子
14	7/9(火) 3 時限目	合同	文学と死 4	1. 「幽霊」の文学的意義 2. 井上ひさし「父と暮せば」	芳賀祥子
15	7/16(火) 3 時限目	合同	まとめ	問題点・観点の整理	芳賀祥子

履修者へのコメント：

1. 履修条件はありません。

2. 履修にあたっての心構えと要望：

1) 本科目を履修する場合は、1 年次までの成績が GPA2.0 以上であることが望ましい。

2) 毎時間短編小説を読みます。ただ解説を聞くのではなく、文章を読み、立ち止まって自身で考えることを習慣化していきましょう。

3. 出席確認：感想・コメントの提出によって出席を確認します。

4. その他：特になし

準備学習の内容及び必要時間：

予習 30 分以上：基本的に毎時間一本短編小説を解説し、感想を共有しますので、授業前に時間をかけてしっかり読んでおくこと。

復習 30 分以上：授業で配布する資料、テキストを整理しておくこと。

課題に対するフィードバック：

授業内のコメントは次の時間に共有し、レポート等の結果については採点后フィードバックを行います。

オフィスアワー：

授業後に教室で質問を受け付けます。

教科書：授業で扱う作品の本文はこちらから配布します。

参考書：

1. 上野千鶴子『ケアの社会学 当事者主権の福祉社会へ』（太田出版 2011）

2. 坂口幸弘『死別の悲しみに向き合う グリーフケアとは何か』（講談社現代新書 2012）

3. 米村みゆき・佐々木亜紀子編『〈介護小説〉の風景 高齢社会と文学〔増補版〕』（森話社 2015）

4. 福田真人『結核の文化史 近代日本における病のイメージ』（名古屋大学出版 1995）

授業科目の区分		生活・社会の理解			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
統計学入門	1110	講義	2 年前期	選択	2／30
概 要：現代の医療では EBM（科学的根拠に基づく医療）が重視されており、経験と直感だけではなく、データ分析によって根拠を示す必要がある。最近では、便利な統計分析ソフトの普及により、容易にデータ分析ができるようになったが、結果の正しい解釈や適切な手法の選択のためには統計学の知識が必要である。本講義ではまずデータの特徴を、グラフによって視覚的に表現したり、平均や分散などの数値によって表現する方法について学ぶ。このような方法は記述統計と呼ばれ、推測統計の基礎となる。推測統計はデータのもとになる集団すなわち母集団について推測する方法であり、看護・医療において非常に重要である。本講義では推測統計の主な手法である推定や仮説検定について、看護・医療の例を用いて学ぶ。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的：統計学の考え方を理解し、演習問題を通して理解を深める。記述統計・推測統計の様々な手法について、看護・医療の例を用いて学ぶ。 到達目標： 1. 統計データの図表の読み取り・作成ができ、基本的な統計量を計算できる。 2. 代表的な確率分布を理解する。 3. 推定・仮説検定の考え方を理解し、実際にこれらを行うことができる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☐⑤看護者として自己成長できる ☐⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：1. 期末課題レポート 60%、2. 中間課題レポート 40% 成績評価基準：レポートは答えを導き出す過程も重視して採点し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					担当教員
					山本 雅義
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/11(木) 3 時限目	合同	データの種類 グラフ	1. 変数の分類 2. 質的データのグラフ 3. 時系列データのグラフ	山本
2	4/18(木) 3 時限目	合同	データの分布 統計量	1. 度数分布表 2. ヒストグラム 3. 分布の特徴を表す指標 4. 平均値、分散、標準偏差の計算	山本
3	4/25(木) 3 時限目	合同	相関分析	1. 2 変数の相関と散布図 2. 共分散 3. 相関係数	山本
4	5/2(木) 3 時限目	合同	回帰分析	1. 回帰直線 2. 最小 2 乗法 3. 決定係数	山本
5	5/9(木) 3 時限目	合同	確率と確率変数	1. 確率 2. 確率変数 3. 確率分布 4. 確率変数の平均・分散・標準偏差	山本
6	5/16(木) 3 時限目	合同	離散型確率分布	1. 2 項分布 2. 超幾何分布 3. ポアソン分布	山本

7	5/23(木) 3 時限目	合 同	正規分布 標本分布	1. 正規分布 2. 標準化を用いた確率の計算 3. 母集団と標本 4. カイ 2 乗分布、t 分布、F 分布 中間課題レポート	山本
8	5/30(木) 3 時限目	合 同	統計的推定 1	1. 推測統計の考え方 2. 点推定と推定量 3. 区間推定 4. 母平均、母分散の信頼区間	山本
9	6/6(木) 3 時限目	合 同	統計的推定 2	1. 中心極限定理 2. 2 項分布の正規近似 3. 母比率の信頼区間	山本
10	6/13(木) 3 時限目	合 同	統計的仮説検 定 1	1. 仮説検定の考え方 2. 有意確率、有意水準、棄却域 3. 母平均の差の検定 4. 母分散の比の検定	山本
11	6/20(木) 3 時限目	合 同	統計的仮説検 定 2	1. 対応のある母平均の差の検定 2. 母比率の差の検定	山本
12	6/27(木) 3 時限目	合 同	統計的仮説検 定 3	1. クロス集計表 2. 独立性の検定 3. 適合度の検定	山本
13	7/4(木) 3 時限目	合 同	疫学と統計学	1. オッズ比と相対危険度 2. 症例対照研究 3. コホート研究 4. スクリーニング	山本
14	7/11(木) 3 時限目	合 同	時系列データ の分析	1. 移動平均 2. 指数平滑化	山本
15	7/18(木) 3 時限目	合 同	補足	1. 線形回帰モデル 2. 統計ソフト R の使い方 期末課題レポート	山本
履修者へのコメント					
1. 履修条件はありません。 2. 履修にあたっての心構えと要望： (1) 本科目を履修する場合は、1 年次までの成績が GPA2.0 以上であることが望ましい。 (2) 毎回、演習問題を出します。 (3) 計算問題は必ず自分で計算してみてください。 (4) 演習問題の解答は授業内で解説します。 3. 毎回授業開始時に出席確認を行います。 4. その他： (1) 講義に関する連絡は掲示にて行います。 (2) 質問は講義中に遠慮せずに行ってください。講義後の質問も歓迎します。 (3) 評価の詳細およびフィードバック方法は、第 1 回授業時に説明します。					
準備学習の内容及び必要時間：					
予習 30 分以上：参考書の該当部分を読んでおいてください。					
復習 30 分以上：参考書、ノートや配布資料を復習し、疑問点を整理して質問してください。					
課題に対するフィードバック：					
レポート結果については採点・添削後、フィードバックを行います。					
オフィスアワー：					
授業終了後の教室で質問を受け付けます。					
教科書：教材					
参考書：					
1. 石村貞夫・今福恵子・田沼美杉 著『看護系学生のためのやさしい統計学』（共立出版）2010 年					
2. 東京大学教養学部統計学教室 編『統計学入門』（東京大学出版会）1991 年					

授業科目の区分		国際交流の基礎			R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
コミュニケーション 英語Ⅱ	1116	演習	2年後期	選択	2／30
概 要： 医療に関する英語の知識を広げつつ、医療に関わる個人の生活と社会の問題について思考を深める。併せて基礎的な英語表現と、英語でのコミュニケーションの基礎を身につける。クラスを2つに分け、それぞれ日本人教師（「リーディングクラス」担当）とネイティブ教師（「会話クラス」担当）が交互に授業を行う。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目 的： 英語の一般的な技能向上と、医療従事者として必要な英語の知識の向上を目指す。					種田 佳紀 <u>林 禅之</u> Stephen O’Toole
到達目標： 看護・医療に関する基礎的な英単語や英語表現を理解し、必要に応じて使用できるようになる。多少込み入った英文を自分の力で解釈できるようになる。					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる □②科学的な思考ができる □③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる □④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☑⑤看護者として自己成長できる ☑⑥社会の変化に対応できる □⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法： （リーディングクラス） 1. 平常点（リアクションペーパー、映像授業レポート）（20%）、2. 期末試験（筆記試験）（30%） （会話クラス） 1. 平常点（授業参加及び発言）（20%）、2. 期末試験（筆記試験）（30%） 成績評価基準： （リーディングクラス） 各授業回のリアクションペーパーと、映像授業のレポートは評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、筆記試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。 （会話クラス） 平常点は、授業参加及び発言の積極性を評価し、筆記試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/27(金) 3時限目	合同	オリエンテーション	1年間の授業実施の狙いを理解するとともに、受講する際の注意点等の説明を受ける。	種田 林 O’Toole
2	10/4(金) 3時限目	合同	(会話) Vital Signs Unit 1 (pp. 16-19)	オーラルコミュニケーションを中心に、医療・看護に関係する英語を学ぶ。 ※グループワークを行う。	O’Toole
3	10/11(金) 3時限目	A	(リーディング) English for Medicine Chapter 1	リーディングを中心に、医療・看護に関係する英語を学ぶ。	種田

			(pp. 1-5)		
		B	(会話) Vital Signs Unit 1 (pp. 16-19)	オーラルコミュニケーションを中心に、医療・看護に関係する英語を学ぶ。 ※グループワークを行う。	O' Toole
4	10/25(金) 3時限目	A	Vital Signs Unit 1 (pp. 16-19)	オーラルコミュニケーションを中心に、医療・看護に関係する英語を学ぶ。 ※グループワークを行う。	O' Toole
		B	English for Medicine Chapter 1 (pp. 1-5)	リーディングを中心に、医療・看護に関係する英語を学ぶ。	種田
5	11/1(金) 3時限目	A	English for Medicine Chapter 2 (pp. 6-10)	リーディングを中心に、医療・看護に関係する英語を学ぶ。	林
		B	Vital Signs Unit 2 (pp. 20-23)	オーラルコミュニケーションを中心に、医療・看護に関係する英語を学ぶ。 ※グループワークを行う。	O' Toole
6	11/8(金) 3時限目	A	Vital Signs Unit 2 (pp. 20-23)	オーラルコミュニケーションを中心に、医療・看護に関係する英語を学ぶ。 ※グループワークを行う。	O' Toole
		B	English for Medicine Chapter 2 (pp. 6-10)	リーディングを中心に、医療・看護に関係する英語を学ぶ。	林
7	11/15(金) 3時限目	A	映像授業	英語音声の映像をみて、総合的な英語力を養う。	種田
		B	Vital Signs Unit 2 (pp. 20-23)	オーラルコミュニケーションを中心に、医療・看護に関係する英語を学ぶ。 ※グループワークを行う。	O' Toole
8	11/22(金) 3時限目	A	Vital Signs Unit 2 (pp. 20-23)	オーラルコミュニケーションを中心に、医療・看護に関係する英語を学ぶ。 ※グループワークを行う。	O' Toole
		B	映像授業	英語音声の映像をみて、総合的な英語力を養う。	種田
9	11/29(金) 3時限目	A	English for Medicine Chapter 3 (pp. 11-15)	リーディングを中心に、医療・看護に関係する英語を学ぶ。	林
		B	Vital Signs Unit 3 (pp. 24-28)	オーラルコミュニケーションを中心に、医療・看護に関係する英語を学ぶ。 ※グループワークを行う。	O' Toole
10	12/6(金) 3時限目	A	Vital Signs Unit 3 (pp. 24-28)	オーラルコミュニケーションを中心に、医療・看護に関係する英語を学ぶ。 ※グループワークを行う。	O' Toole

		B	English for Medicine Chapter 3 (pp. 11-15)	リーディングを中心に、医療・看護に関する英語を学ぶ。	林
11	12/13(金) 3時限目	A	English for Medicine Chapter 4 (pp. 16-20)	リーディングを中心に、医療・看護に関する英語を学ぶ。	種田
		B	Vital Signs Unit 3 (pp. 24-28)	オーラルコミュニケーションを中心に、医療・看護に関する英語を学ぶ。 ※グループワークを行う。	O'Toole
12	1/10(金) 3時限目	A	Vital Signs Unit 3 (pp. 24-28)	オーラルコミュニケーションを中心に、医療・看護に関する英語を学ぶ。 ※グループワークを行う。	O'Toole
		B	English for Medicine Chapter 4 (pp. 16-20)	リーディングを中心に、医療・看護に関する英語を学ぶ。	種田
13	1/17(金) 3時限目	A	English for Medicine Chapter 5(pp. 21-25)	リーディングを中心に、医療・看護に関する英語を学ぶ。	林
		B	Vital Signs Unit 4 (pp. 29-33)	オーラルコミュニケーションを中心に、医療・看護に関する英語を学ぶ。 ※グループワークを行う。	O'Toole
14	1/24(金) 3時限目	A	Vital Signs Unit 4 (pp. 29-33)	オーラルコミュニケーションを中心に、医療・看護に関する英語を学ぶ。 ※グループワークを行う。	O'Toole
		B	English for Medicine Chapter 5(pp. 21-25)	リーディングを中心に、医療・看護に関する英語を学ぶ。	林
15	1/31(金) 3時限目	合同	総まとめ	全体の授業の振り返りを行う。 ※グループワークを行う。	種田 O'Toole 林

履修者へのコメント：

1. 履修条件：なし

2. 履修にあたっての心構えと要望

授業に積極的に参加するようにしてください。望ましいGPAは、特にありません。

3. 出席確認

授業中の点呼あるいはリアクションペーパー提出によって出席を確認します。初回のオリエンテーションでの指示に従ってください。

4. その他：リーディングクラスの期末試験は、日本人教員が採点を行う。会話クラスの期末試験は、ネイティブ教員が採点を行う。

準備学習の内容及び必要時間：

(リーディングクラス)

予習 30 分以上：①教科書 (English for Medicine) の Vocabulary Study を解く。 ②教科書 (English for Medicine) の Reading を読み、わからない単語・表現を辞書で調べておく。 復習 30 分以上：学習した内容を整理する。 (会話クラス) 予習 30 分以上：教科書 (Vital Signs) にあらかじめ目を通し、わからない単語・表現を辞書で調べておく。 復習 30 分以上：学習した内容を整理する。
課題に対するフィードバック： 掲示にてフィードバックを行う。
オフィスアワー： 疑問点や質問事項があれば、WebClass のメッセージ機能、あるいはメールを使って林まで随時連絡してください。 メールアドレス：yhaya[at]saitama-med.ac.jp、[at]の部分は@に置き換えてください。 ※メールで質問する際には、次の情報を必ず入れるようにしてください。 ・メールのタイトル (「短大英語Ⅱについての質問」など) ・氏名と学籍番号 ・用件
教科書： (リーディングクラス) Toshiaki Nishihara・Mayumi Nishihara・Carey Benom (共著) 『English for Medicine(Revised Edition)』 (金星堂) 2022. (会話クラス) Vivian Morooka・Terri Sugiura (共著) 『Vital Signs(Revised Edition)』 (南雲堂) 2018.
参考書： なし (必要に応じて、アドバイスします)

授業科目の区分		科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解			R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
ドイツ語の基礎	1117	演習	2年後期	選択	2／30
概 要： ドイツ語の基本文法を学びながら、ドイツ語圏に生活する人々の日常生活におけるコミュニケーションの仕方を学び、自分でも話してみる、そして外国語でのコミュニケーションを通して、視野を広げる。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的： この授業では、ドイツ語の基礎文法と簡単な日常会話のバリエーションを学びながら、EU 圏の牽引役とも言えるドイツの言語と文化についての理解を深めていきます。 到達目標： 1. ドイツ語で簡単な日常会話を行える。 2. ドイツ語の平易な文章が理解できるようになる。 3. ドイツ語圏の文化への理解を深める。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☐⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☐⑦地域に貢献するために保健医療福祉チームメンバーとして協働できる					担当教員
					フライベルク
					マルクス
成績評価方法： 授業参加・発言（50%）、レポート（授業 50 分に相当する課題研究等）（50%）で評価します。 成績評価基準： 基本的な文法を理解しているかどうか。場面に合わせた日常表現を用いることができるかどうか。これらの評価基準に基づいて評価し、筆記試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価します。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/24(火) 3時限目	合同	発音①	ドイツ語の街の名前とドイツ語の基本的な発音	フライベルク
2	10/1(火) 3時限目	合同	発音②	ドイツ語のアルファベットと、注意すべき母音・子音の発音	フライベルク
3	10/8(火) 3時限目	合同	挨拶表現	日常の挨拶についての表現	フライベルク
4	10/15(火) 3時限目	合同	自己紹介	自己紹介で使う語彙と表現	フライベルク
5	10/22(火) 3時限目	合同	言語と国	言語と国のドイツ語での表現	フライベルク
6	10/29(火) 3時限目	合同	食料品	食料品にまつわるドイツ語表現	フライベルク
7	11/5(火) 3時限目	合同	飲み物	各種飲み物のドイツ語で表現	フライベルク

8	11/12(火) 3時限目	合同	飲食店での会話 ①	注文に必要な表現	フライベ ルク
9	11/19(火) 3時限目	合同	飲食店での会話 ②	会計に関する表現	フライベ ルク
10	11/26(火) 3時限目	合同	街中の建築物	各種建物のドイツ語での表現	フライベ ルク
11	12/3(火) 3時限目	合同	お店	様々な店の種類のドイツ語表現	フライベ ルク
12	12/10(火) 3時限目	合同	買い物	買い物時に使用するドイツ語表現	フライベ ルク
13	1/7(火) 3時限目	合同	趣味と余暇	趣味や余暇での活動に関するドイツ語表現	フライベ ルク
14	1/14(火) 3時限目	合同	スポーツ	スポーツの種類や関係する語彙と表現	フライベ ルク
15	1/21(火) 3時限目	合同	テスト	学期まとめ	フライベ ルク

履修者へのコメント：

1. 履修条件：履修条件はありません。

ドイツに限らず、諸外国の文化や生活・風土に興味関心のある学生の受講を期待しています。

2. 履修にあたっての心構えと要望：

1) 本科目を履修する場合は、1年次までの成績がGPA2.0以上であることが望ましい。

2) この演習は主に語学力を培うための授業ですが、言語は諸外国の文化に触れるための重要なツールであることを意識してもらえればと思います。また、演習形式の授業ということもありますので、疑問・質問などについて積極的な発言を期待しています。

3. 出席確認：出欠席は授業冒頭で確認します。

4. その他

評価についての詳細は、第1回授業時に説明します。

準備学習の内容及び必要時間：

復習 60 分程度：各回の授業で配付する資料の内容を理解し、語彙や言い回しを復習すること。

課題に対するフィードバック：

課題の回答と解説などのフィードバックは授業内に行います。

オフィスアワー：

授業前に教室にて相談を受け付けます。

教科書：

指定のテキストはありません。各回、授業プリントを配布します。

参考書：

なし

授業科目の区分		感性と創造			R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
健康スポーツ	1018	実技	2 年前期	選択	1／30
概 要：自が毎日を健康に過ごすための 身体活動を実践する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
					森 史枝
目 的：看護にあたる際に各自が健全な身体を持ち主でありたい。そのためには毎日を健康に暮らすための身体活動が必要となる。それをいかに安全に楽しく実践し、習得するかを学ぶことを目的とする。					
到達目標：1. 自己の正しい呼吸法に基づく正しい姿勢と身体作りの方法を理解し、看護にあたるに必要な自己の筋力アップを図る。 2. 看護の際に求められるグループ行動のために各自が協力して一つのことを成し遂げる難しさと楽しさを追及する。					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる □②科学的な思考ができる ☑③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☑④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☑⑤看護者として自己成長できる ☑⑥社会の変化に対応できる ☑⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：①学習態度 10％ ②実技試験 50％ ③レポート 40％ 成績評価基準：○実技試験はグループ作業が上手くなされているか否かに重点を置き、普段の学習態度にも視点を置くものとする。（実技試験のみの採点ではない） ○実技の追試は行わない ○レポートは科目の到達目標への理解度を評価する。 以上の評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/5（金） 4時限目	合同	ガイダンス	授業の概要、履修上の注意事項。グループ分け。 質疑応答	森
2	4/12（金） 4時限目	合同	ストレッチ① ラジオ体操第一	呼吸法と筋肉の動かし方。 正しい姿勢と歩き方の関係。自己の姿勢の長所・短所の理解。 介護に使える体操の工夫。	森
3	4/19（金） 4時限目	合同	ストレッチ② ヒップホップ①	前回の復習 ストレッチの基本動作と看護に必要な筋力作り。その① リズムに合わせて動くヒップホップ。その①	森
4	4/26（金） 4時限目	合同	ストレッチ③ ヒップホップ②	前回の復習 ストレッチの基本動作と看護に必要な筋力作り。その② リズムに合わせて動くヒップホップ。その②	森
5	5/10（金） 4時限目	合同	ストレッチ④ ヒップホップ③	前回の復習 ストレッチの基本動作と看護に必要な筋力作り。その③ リズムに合わせて動くヒップホップ。その③	森
6	5/17（金） 4時限目	合同	ストレッチ⑤ ヒップホップ④	前回の復習 ストレッチの基本動作と看護に必要な筋力作り。その④ リズムに合わせて動くヒップホップ。その④	森

7	5/24 (金) 4時限目	合同	ストレッチ⑥ ヒップホップ⑤	前回の復習 ストレッチの基本動作と看護に必要な筋力作り。その⑤ リズムに合わせて動くヒップホップ。その⑤	森
8	5/31 (金) 4時限目	合同	ストレッチ⑦ ヒップホップ⑥	前回の復習 ストレッチの基本動作と看護に必要な筋力作り。その⑥ リズムに合わせて動くヒップホップ。その⑥	森
9	6/7 (金) 4時限目	合同	ストレッチ⑧ ヒップホップ⑦	前回の復習 ストレッチの基本動作と看護に必要な筋力作り。その⑦ リズムに合わせて動くヒップホップ。その⑦ グループで8×8カウント分の創作（フォーメーションを含む）その①	森
10	6/14 (金) 4時限目	合同	ストレッチ⑨ ヒップホップ⑧	前回の復習 ストレッチの基本動作と看護に必要な筋力作り。その⑧ リズムに合わせて動くヒップホップ。その⑧ グループで8×8カウント分の創作（フォーメーションを含む）その②	森
11	6/21 (金) 4時限目	合同	ストレッチ⑩ ヒップホップ⑨	前回の復習 ストレッチの基本動作と看護に必要な筋力作り。その⑨ リズムに合わせて動くヒップホップ。その⑨ グループで8×8カウント分の創作（フォーメーションを含む）その③	森
12	6/28 (金) 4時限目	合同	ストレッチ⑪ ヒップホップ⑩	前回の復習 ストレッチの基本動作と看護に必要な筋力作り。その⑩ グループで8×8カウント分の創作（フォーメーションを含む）その④ (レポート用紙配布)	森
13	7/5 (金) 4時限目	合同	ストレッチ⑫ ヒップホップ⑪	前回の復習 ストレッチの基本動作と看護に必要な筋力作り。その⑪ グループで8×8カウント分の創作（フォーメーションを含む）その⑤	森
14	7/12 (金) 4時限目	合同	ストレッチ⑬ ヒップホップ⑫	前回の復習 ストレッチの基本動作と看護に必要な筋力作り。その⑫ 踊りの総仕上げ✚グループで細部に気を付けて動く練習。 (レポート提出締め切り)	森
15	7/19 (金) 4時限目	合同	ストレッチ⑭ ダンスまとめ	ストレッチの後、ダンスのグループワーク発表、評価をする。実技テスト	森

履修者へのコメント：

1. 履修条件

- 1) 詳細は初回ガイダンスで説明します。
- 2) この授業は欠席すると次回の受講が難しくなる可能性があります。

2. 履修にあたっての心構えと要望

- 1) 毎週の授業をスムーズに受けられるように自己の健康管理をすること。
- 2) 人としての基本的な態度（忘れ物、挨拶、返事等）を理解して行動する。
- 3) グループ行動では積極的に意見を出し合い、人任せにしない。
- 4) 授業に入る前に前回の内容を思い返しておく。

3. 出席確認

原則として授業時には対面によって出席を確認します。

4. その他

- 1) 用意するもの：スニーカー、汗拭き用タオル、飲物（水分補給用）
- 2) 感染防止対策：保健担当者を決める。授業前に授業場所（錬成館）への移動時や授業前後に次の役割を担う。

①授業前に学務課から消毒用物品セットを借りて錬成館へ持参し、共有部分や物品を必要に応じて消毒する。 ②グループ全員の授業前の体温や健康状態を確認する。 ③マスク着用、 飲水時の会話禁止、 手洗い・手指消毒の徹底、 密着・密集しない等をメンバーに遵守するよう声かけする。 3) 授業での運動時は、教員の指示に従う。錬成館は、十分に換気しながら使用する。 4) 授業終了後に質問を受け付ける。 5) レポートの返却はしない。 6) 実技テストの追試はしない。実技テストを受けられない場合はレポート提出のみの採点となる。
準備学習の内容及び必要時間：特になし
課題に対するフィードバック： 試験・レポート結果については採点・添削後、質問を受け付ける。
オフィスアワー： 授業終了後に必要に応じて教室で質問を受け付ける。
教科書：なし
参考書：なし

授業科目の区分		疾病の成り立ちと回復の促進				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	
疾病治療論Ⅳ	3106	講義	2年後期	必修	1/30	
概 要：主要な疾患の病態生理、治療理論を学習する。Ⅳでは中枢・末梢神経、骨・関節に関する疾病の病態生理と内科的・外科的治療を学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。						担当教員
目 的：中枢・末梢神経、骨・関節に関する疾病の病態生理と内科的・外科的治療を理解する。						脇本 直樹
到達目標：1. 中枢・末梢神経系の疾病の病態生理と治療理論について説明できる。 2. 骨・関節に関する疾病の病態生理と治療理論について説明できる。						小林 正人
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☐ ⑤看護者として自己成長できる ☐ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						門野 夕峰
成績評価方法：定期試験（筆記試験） 90% 小テスト 10%						
成績評価基準：筆記試験および小テストの総合点を、GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者	
1	9/27 (金) 4 限	合同	神経疾患①	1. 神経系の構造としくみ 教科書(1)第章	脇本	
2	10/4 (金) 4 限	合同	神経疾患②	1. 神経系の基本的な病態生理、治療理論 教科書(1)第章	脇本	
3	10/11 (金) 4 限	合同	神経疾患③	1. 意識障害、脳死、植物状態の病態生理、治療理論 教科書(1)第章	脇本	
4	10/25 (金) 4 限	合同	神経疾患④	1. 頭痛の病態生理、治療理論 2. 眩暈の病態生理、治療理論 3. 失神の病態生理、治療理論 教科書(1)第章 ☆小テスト (1～4 回の範囲)	脇本	
5	11/1 (金) 4 限	合同	神経疾患⑤	1. 脳血管障害の病態生理、治療理論 教科書(1)第章	脇本	
6	11/8 (金) 4 限	合同	神経疾患⑥	1. 脳炎・髄膜炎の病態生理、治療理論 教科書(1)第章	脇本	
7	11/15 (金) 4 限	合同	神経疾患⑦	1. 脱髄疾患の病態生理、治療理論 教科書(1)第章	脇本	
8	11/22 (金) 4 限	合同	神経疾患⑧	1. 変性疾患の病態生理、治療理論 2. 末梢神経疾患の病態生理、治療理論 教科書(1)第章	脇本	
9	11/29 (金) 4 限	合同	神経疾患⑨	1. 筋疾患の病態生理、治療理論 2. 神経・筋接合部の疾患の病態生理、治療理論 教科書(1)第章 ☆小テスト (5～9 回の範囲)	脇本	
10	12/6 (金) 4 限	合同	神経疾患⑩	1. 脳血管障害の病態生理、外科的治療 教科書(2)第4章	小林	

11	12/13 (金) 4 限	合同	神経疾患①	1. 頭部外傷の病態生理、外科的治療 2. 脳腫瘍の病態生理、治療理論 教科書(2)第4章	脇本
12	1/10 (金) 4 限	合同	運動器疾患①	1. 骨折の病態と治療 2. 変形性関節症の病態と外科的治療 教科書(3)第5章	門野
13	1/17 (金) 4 限	合同	運動器疾患②	1. 骨腫瘍の病態生理、治療理論 教科書(3)第5章	門野
14	1/24 (金) 4 限	合同	運動器疾患②	1. 脊椎脊髄疾患の病態生理、治療理論 教科書(3)第5章	門野
15	1/31 (金) 4 限	合同	まとめ	2. 神経系疾患のまとめ 3. 運動器疾患のまとめ	脇本

履修者へのコメント：

- 履修条件
履修条件はありません。
- 履修にあたっての心構えと要望
 - この科目を履修する場合、GPA2.0以上が望ましい。
 - 質問は、授業中または授業後に積極的に行ってください。
- 出席確認方法
各回、出席カードで出席を確認します。
- その他
 - 授業に関する連絡は、掲示またはメールで連絡するため、必ず確認をしてください。
 - 試験結果については、採点・添削後にフィードバックを行います。
 - 実務経験（医師）のある教員による授業科目です。

準備学習の内容及び必要時間：

- 予習 30 分以上：次回授業までに教科書の該当範囲を通読し、わからない用語については調べてください。
- 復習 30 分以上：各回の授業で配布する資料を基に知識を整理してください。

課題に対するフィードバック：

- 試験結果については採点後、フィードバックを行う。

オフィスアワー： 授業後に教室で質問を受け付けます。

教科書：

- 井出 隆文他著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [7] 脳・神経』第 15 版（医学書院）2019
*1 年次前期「生活習慣と看護」で購入済み
- 北島政樹 他編著『系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 第 11 版』（医学書院）2017
*1 年次後期に「疾病病治療論Ⅲ」で購入済み
- 加藤光宝 他著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [10] 運動器 第 15 版』（医学書院）2019
*2 年次後期に「成人看護Ⅱ」でも使用

参考書：

- 矢島勝彦ほか著『系統看護学講座 別巻 臨床外科看護学総論』第 11 版（医学書院）2017 年
*1 年次前期に「疾病総論」で購入済み
- 恒吉 正澄監修『シンプル病理学』改訂第 8 版（南江堂）2020 *1 年次前期「病理学」で購入済み

授業科目の区分		疾病の成り立ちと回復の促進				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	
疾病治療論Ⅴ	3107	講義	2年後期	必修	1/30	
概要：主要な疾患の病態生理、治療理論を学習する。Ⅴでは造血器、内分泌、免疫、腎・泌尿器疾患の病態生理と内科的・外科的治療を学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。						担当教員
目的：1, 造血器、内分泌、免疫、腎・泌尿器疾患の病態生理と内科的・外科的治療を理解する						脇本 直樹
到達目標：1. 造血器系の疾患の病態生理と治療理論について説明できる。 2. 内分泌疾患の病態生理と治療理論について説明できる。 3. 膠原病・アレルギー疾患の病態生理と治療理論について説明できる。 4. 腎・泌尿器疾患の病態生理と治療理論について説明できる。						朝倉 博孝
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☐ ⑤看護者として自己成長できる ☐ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						
成績評価方法：定期試験（筆記試験）90%、（小テスト）10% 成績評価基準：筆記試験の点数を、GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者	
1	9/24 (火) 4 限	合同	造血器①	1. 貧血の病態生理、治療理論 2. 血液の悪性腫瘍の病態生理、治療理論 教科書(1) 第章	脇本	
2	10/1 (火) 4 限	合同	造血器②	1. 凝固異常の病態生理、治療理論 2. 輸血学 教科書(1) 第章	脇本	
3	10/8 (火) 4 限	合同	内分泌・代謝疾患①	1. 糖尿病の病態生理、治療理論 教科書(1) 第章	脇本	
4	10/15 (火) 4 限	合同	内分泌・代謝疾患②	1. 脂質異常症の病態生理、治療理論 2. 痛風の病態生理、治療理論 3. 先天性代謝異常の病態生理、治療理論 教科書(2) 第章	脇本	
5	10/22 (火) 4 限	合同	内分泌・代謝疾患③	1. 甲状腺疾患の病態生理、治療理論 2. 副甲状腺疾患の病態生理、治療理論 教科書(2) 第章	脇本	
6	10/29 (火) 4 限	合同	内分泌・代謝疾患④	1. 下垂体疾患の病態生理、治療理論 2. 副腎疾患の病態生理、治療理論 教科書(2) 第章 ☆小テスト (1～6 回の範囲)	脇本	
7	11/5 (火) 4 限	合同	免疫疾患①	1. 免疫のしくみと免疫が関与する疾患の病態生理、治療理論 教科書(3) 第章	脇本	
8	11/12 (火) 4 限	合同	免疫疾患②	1. 膠原病の病態生理、治療理論 教科書(3) 第章	脇本	
9	11/19 (火) 4 限	合同	免疫疾患③	1. 膠原病の近縁疾患の病態生理、治療理論 2. アレルギー疾患の病態生理、治療理論 教科書(3) 第章	脇本	

10	11/26 (火) 4 限	合同	免疫疾患④	1. 甲状腺疾患の病態生理、治療理論 教科書(3)第章 ☆小テスト (7～10 回の範囲)	脇本
11	12/3 (火) 4 限	合同	腎・泌尿器疾患 ①	1. 腎不全の病態生理、治療理論 教科書(4)第章	脇本
12	12/10 (火) 4 限	合同	腎・泌尿器疾患 ②	1. 糸球体腎炎の病態生理、治療理論 2. ネフローゼの病態生理、治療理論 教科書(4)第章	脇本
13	1/7 (火) 4 限	合同	腎・泌尿器疾患 ③	1. 腎・副腎疾患の病態生理、外科的治療 教科書(4)第章	朝倉
14	1/14 (火) 4 限	合同	腎・泌尿器疾患 ④	1. 泌尿器疾患の病態生理、外科的治療 教科書(4)第章	朝倉
15	1/21 (火) 4 限	合同	腎・泌尿器疾患 ⑤	1. 尿路疾患の病態生理、治療理論 教科書(4)第章 ☆小テスト (11, 12, 15 回の範囲)	脇本
履修者へのコメント： 1. 履修条件 履修条件はありません。 2. 履修にあたっての心構えと要望 1) この科目を履修する場合、GPA2.0 以上が望ましい。 2) 質問は、授業中または授業後に積極的に行ってください。 3. 出席確認方法 各回、出席カードで出席を確認します。 4. その他 1) 授業に関する連絡は、掲示またはメールで連絡するため、必ず確認をしてください。 2) 実務経験（医師）のある教員による授業科目です。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：次回授業までに教科書の該当範囲を通読し、わからない用語については調べてください。 復習 30 分以上：各回の授業で配布する資料を基に知識を整理してください。					
課題に対するフィードバック： 試験結果については採点后、フィードバックを行う。					
オフィスアワー： 授業後に教室で質問を受け付けます。					
教科書： (1) 村井勝 他著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [4] 血液・造血器 』第 15 版 2019 年（医学書院） *2 年次生後期「成人看護Ⅱ」でも使用 (2) 末岡浩 他著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [6] 内分泌・代謝 』第 15 版 2019 年（医学書院） *1 年次前期「生活習慣と看護」で購入済み (3) 村井勝 他著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [11] アレルギー・膠原病・感染症 』第 15 版 2020 年（医学書院） *2 年次生後期「成人看護Ⅱ」でも使用 (4) 大東貴志ほか著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [8] 腎・泌尿器』第 15 版 2019 年（医学書院） *2 年次生後期「成人看護Ⅱ」でも使用					
参考書： (1) 矢島勝彦ほか著『系統看護学講座 別巻 臨床外科看護学総論』第 11 版（医学書院）2017 年 *1 年次前期に「疾病総論」で購入済み (2) 恒吉 正澄監修『シンプル病理学』改訂第 8 版（南江堂）2020 *1 年次前期「病理学」で購入済み					

授業科目の区分		疾病の成り立ちと回復の促進				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	
疾病治療論Ⅵ	3108	講義	2 年前期	必修	1/30	
概要：妊娠、出産に関わる産科の病態生理と治療理論、および小児の疾病に関する病態生理と治療理論を学ぶ。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。						担当教員
目的：妊娠、出産に関わる産科の病態生理と治療理論、および小児の疾病に関する病態生理と治療理論を理解する。						小児科学 秋岡 祐子
到達目標：1. 成育医療の概念、予防接種、不慮の事故について説明できる。 2. 小児の主な疾患に関する病態生理と治療理論について説明できる。 3. 児童虐待の現状と対応について説明できる。 4. 産科医療の概要が説明できる。 5. 新生児の異常・先天性異常に関する病態生理と治療理論について説明できる。 6. 妊娠中・周産期の異常に関する病態生理と治療理論について説明できる。						小児科学 石井 佐織
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☐ ⑤看護者として自己成長できる ☐ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						産婦人科学 亀井 良政 産婦人科学 難波 聡
成績評価方法：定期試験（筆記試験）90％ 小テスト 10％ 成績評価基準：筆記試験および小テストの総合点を、GPA 実施規則に則り評価する。						産婦人科学 宮崎 加寿子 産婦人科学 田丸 俊輔
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者	
1	4/10(水) 4 時限目	合同	成育医療 小児科総論	成育医療の概念、予防接種、小児の感染症、 テキスト 1)P.30-51,P.169-188, 2)P.143-167	秋岡	
2	4/17(水) 4 時限目	合同	先天異常 新生児疾患	染色体異常、マススクリーニング 低出生体重児の疾患 仮死、RDS、MAS、高ビリルビン血症など テキスト 2)P.6-10, P.19-41, 4)P.493-510	秋岡	
3	4/24(水) 4 時限目	合同	小児の循環器疾患	先天性心疾患 VSD, PDA, TOF など 後天性心疾患 川崎病, SIDS テキスト 2)P.191-213, 4)P.513-532	秋岡	
4	5/1(水) 4 時限目	合同	小児の呼吸器疾患 小児の免疫・アレルギー・アレルギー性疾患	急性細気管支炎、肺炎、クループ 食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支喘息 JIA など テキスト 2)P.107-125, P.177-184	秋岡	
5	5/8(水) 4 時限目	合同	小児の消化器疾患	口唇・口蓋裂、食道閉鎖症、肥厚性幽門狭窄症、腸重積、 ヒルシュスプルング病、鎖肛、急性胃腸炎 テキスト 2)P.225-268, 4)P.493-510	秋岡	
6	5/15(水) 4 時限目	合同	小児の代謝性疾患・内分泌疾患 小児の腎疾患	糖尿病、成長ホルモン分泌不全性低身長症 ネフローゼ症候群、急性腎炎 テキスト 2)P.67-73, P.89-97, P.343-366	秋岡	

7	5/22(水) 4 時限目	合同	小児の血液・造血疾患・悪性新生物 児童虐待	貧血, 出血性疾患, ITP, 血友病, 急性リンパ性白血病、神経芽細胞腫など 虐待の現状と対応 テキスト 1)P.163-169, P.494-511 2) P.282-290,311-331	石井
8	5/29(水) 4 時限目	合同	小児の神経疾患・ 精神疾患 運動器疾患	てんかん, 脳性麻痺, 発達障害 (精神発達症群) 骨折 テキスト 2)P.381-400, P.420-427, 496-509	秋岡
9	6/6(木) 5 時限目	合同	産科救急	産科医療における救急疾患とその治療法 テキスト 3)P.457～464	亀井
10	6/13(木) 5 時限目	合同	新生児の異常	新生児仮死の診断と治療法 テキスト 3)P.489～493	亀井
11	6/19(水) 4 時限目	合同	妊娠中の異常 (I)	妊娠初期・中期・後期における異常の診断と治療 テキスト 3)P.380～422	宮崎
12	6/26(水) 4 時限目	合同	妊娠中の異常 (II)	ハイリスク妊娠 テキスト 3)P.380～422	宮崎
13	7/3(水) 4 時限目	合同	周産期の異常 (I)	分娩前の異常についての基本的な内容 テキスト 3)P.423～488	田丸
14	7/10(水) 4 時限目	合同	周産期の異常 (II)	分娩時、分娩後、産褥期の異常 テキスト 3)P.423～489, P.514～550	田丸
15	7/17(水) 4 時限目	合同	先天性異常	出生前からのリプロダクティブヘルスケア テキスト 3)P.14～60	難波

履修者へのコメント：

1. 履修条件

履修条件はありません。

2. 履修にあたっての心構えと要望

- 1) この科目を履修する場合、GPA2.0 以上が望ましい。
- 2) 第1回～第8回の小児科学では、毎回授業後に WebClass の小テスト（確認問題）を実施してください。
- 3) 質問は、授業中または授業後に積極的に行ってください。

3. 出席確認方法

各回、出席カードで出席を確認します。

4. その他

- 1) 授業に関する連絡は、掲示またはメールで連絡するため、必ず確認をしてください。
- 2) 実務経験（医師）のある教員による授業科目です。

準備学習の内容及び必要時間：

予習 30 分以上：各回の学習内容に照らして、教科書や参考書で概要を把握し、わからない用語については調べてください。

復習 30 分以上：各回の授業において学習内容の要点を整理してください。

課題に対するフィードバック：

試験結果については採点后、フィードバックを行う。

オフィスアワー：

授業時間内または授業後に教室で質問を受け付けます。

教科書：

- 1) 奈良間美穂他著『系統看護学講座専門分野Ⅱ小児看護学[1]小児臨床看護総論』（医学書院）（1年後期購入済）
- 2) 奈良間美穂他著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ小児看護学[2]小児臨床看護各論』第14版（医学書院）
- 3) 森恵美他著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ母性看護学各論』第14版（医学書院）2年次前期 母性看護で購入
- 4) 北島政樹他著『系統看護学講座 別巻 臨床外科看護学各論』第9版（医学書院）1年次に疾病治療論で購入

参考書：自主的に求める

授業科目の区分		疾病の成り立ちと回復の促進				R6（2024）年度
授業科目名		ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
疾病治療論Ⅶ		3109	講義	2年前期	必修	1／30
概 要： 主要な疾患の病態生理・治療理論を学習する。Ⅶでは、精神医学の基礎知識、精神疾患の病態と治療法を学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。						担当教員 吉益 晴夫 梅村 智樹 嶋崎 広海 安田 貴昭 藤井 良隆 倉持 泉 棚橋 伊織 中島 崇博 志賀浪 貴文
目 的： 精神医学の基礎知識の修得、即ち、種々の精神疾患の病状、病態、治療方法等を学ぶことにより、看護師として必要な精神障害への理解を深める。						
到達目標： 精神疾患の症状、病態、治療方法を理解する。						
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる □②科学的な思考ができる ☑③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☑④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる □⑤看護者として自己成長できる ☑⑥社会の変化に対応できる ☑⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						
成績評価方法： 定期試験（筆記試験）(90%)、学習態度(10%) 成績評価基準： 学習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、定期試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容		担当者
1	4/11（木） 4時限目	合同	精神医学の概念	1.精神医学総論 2.精神疾患の分類 精神看護学【1】 p. 6, pp. 24～33, 172～174, 187～188		吉益 晴夫
2	4/18（木） 4時限目	合同	気分〈感情〉障害①	1. うつ病の概念、病状、分類、治療、他 精神看護学【1】 pp. 183～191, 275～281 精神看護学【2】 pp. 153～161		梅村 智樹
3	4/25（木） 4時限目	合同	気分〈感情〉障害②	1. 双極性障害の概念、病状、分類、治療、他 精神看護学【1】 pp. 185～191, 275～281 精神看護学【2】 pp. 153～161		嶋崎 広海
4	5/2（木） 4時限目	合同	統合失調症	1.統合失調症の概念、病状、分類、治療、他 精神看護学【1】 pp. 165～176, 268～275 精神看護学【2】 pp. 167～171		倉持 泉
5	5/9（木） 4時限目	合同	パーソナリティ障害	1.パーソナリティ障害の概念、病状、分類、治療、他 精神看護学【1】 pp. 216～217		棚橋 伊織
6	5/16（木） 4時限目	合同	てんかん	1.てんかんの概念、病状、分類、治療、他 精神看護学【1】 pp. 209～211		倉持 泉
7	5/23（木） 4時限目	合同	神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	1.不安障害の概念、病状、分類、治療、他 2. 強迫性障害の概念、病状、分類、治療、他 3. 心的外傷およびストレス関連障害の概念、病状、		志賀浪 貴文

				分類、治療、他 4. 解離症群、身体症状症および関連症群の概念、病状、分類、治療、他 精神看護学【1】 pp. 191～201, 281～282	
8	5/30 (木) 4時限目	合同	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	1. 摂食障害の概念、病状、分類、治療、他 2. 睡眠障害の概念、病状、分類、治療、他 3. 周産期にみられる精神医学的問題 4. 依存を生じない物質の乱用 精神看護学【1】 pp. 215～216, 229～231, 282～283 精神看護学【2】 pp. 108～112	安田 貴昭
9	6/6 (木) 4時限目	合同	精神作用物質使用による精神および行動の障害	1. アルコール依存症の概念、病状、分類、治療、他 2. アルコール以外の物質使用障害の概念、病状、分類、治療、他 精神看護学【1】 pp. 201～207, 268～275, 285 精神看護学【2】 pp. 171～178	吉益 晴夫
10	6/13 (木) 4時限目	合同	心理的発達の障害 知的障害〈精神遅滞〉	1. 発達障害の概念、病状、分類、治療、他 2. 知的障害の概念、病状、分類、治療、他 精神看護学【1】 pp. 68～70, 208～209, 211～215, 285 精神看護学【2】 pp. 87～89, 161～167	梅村 智樹
11	6/20 (木) 4時限目	合同	病状性を含む器質性精神障害①	1. 認知症の概念、病状、分類、治療、他 精神看護学【1】 pp. 74～79, 223～229, 232～234, 284	梅村 智樹
12	6/27 (木) 4時限目	合同	病状性を含む器質性精神障害②	1. 高次脳機能障害の概念、病状、分類、治療、他 2. せん妄の概念、病状、分類、治療、他 精神看護学【1】 pp. 158～160, 221～222, 368 精神看護学【2】 pp. 359～362	吉益 晴夫
13	7/4 (木) 4時限目	合同	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	1. 注意欠如・多動性障害の概念、病状、分類、治療、他 精神看護学【1】 pp. 57, 70, 213～214	藤井 良隆
14	7/11 (木) 4時限目	合同	治療学1	1. 精神療法 2. 認知行動療法 3. 非指示的療法 4. リラクゼーション法 5. 心理教育 6. 精神科作業療法 7. 精神科リハビリテーション 精神看護学【1】 pp. 236, 239, 241, 247, 249, 260～263, 294, 307 精神看護学【2】 pp. 73～75, 103, 256	中島 崇博
15	7/18 (木) 4時限目	合同	治療学2	1. 精神疾患と脳 2. 薬物療法、精神療法 3. 電気けいれん療法 精神看護学【1】 pp. 236, 265, 288～289, 308 精神看護学【2】 pp. 293	志賀浪 貴文

履修者へのコメント： 1. 履修条件 履修条件はありません。 2. 履修にあたっての心構えと要望 この科目を履修する場合、GPA2.0 以上が望ましい。 3. 出席確認 各回出席カードで確認する。 4. その他 実務経験のある教員（医師）による授業科目である。
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：次回授業までに教科書の該当範囲を通読し、各疾患について下調べをしておくこと。 復習 30 分以上：各回の授業で配布する資料を基に知識を整理しておくこと。
課題に対するフィードバック： 試験結果については採点后、フィードバックを行う。
オフィスアワー： 授業終了後に教室で質問を受け付ける。
教科書： (1) 武井麻子：『精神看護学【1】精神看護の基礎』（医学書院）2021（1 年次に購入済み） (2) 武井麻子：『精神看護学【2】精神看護の展開』（医学書院）2021（1 年次に購入済み）
参考書：なし

授業科目の区分		健康支援と社会保障制度				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	
公衆衛生学	4101	講義	2 年前期	必修	2／30	
概 要：憲法第 25 条に規定されている国民の健康な生活を確保する上で、保健医療福祉に関わる専門職に求められる公衆衛生学的な考え方を身につける。公衆衛生学、疫学の理論、我が国の健康や環境の現状、予防医学の方法、様々な保健活動に関する知識について学ぶ。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的：保健医療に関わる専門職として身につけるべき、健康の保持増進、予防医学、疫学、保健統計、人と環境との関係、保健活動に関する基本的な知識や予防医学的な姿勢を身につける。 到達目標：地域における健康に関する課題や人の健康を保持・増進する方法を学び、理解し、実生活で活用できるようになるとともに、将来保健医療チームの一員として働ける能力を身につける。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☒⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						担当教員
						高橋 美保子
成績評価方法： 定期試験（筆記試験）：90%、学習態度：10% 成績評価基準： 学習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、定期試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容		担当者
1	4/10 (水) 2 限	合同	健康と公衆衛生	公衆衛生学の目的、対象および活動の特徴 健康の概念 テキスト p.1-6		高橋
2	4/17 (水) 2 限	合同	健康指標	人口静態統計（人口ピラミッド、年齢 3 区分別人口、世帯構造）、人口動態統計（出生の現状） テキスト p.9-14		高橋
3	4/24 (水) 2 限	合同	健康指標	人口動態統計（死亡の現状） テキスト p.20-22, 24		高橋
4	5/1 (水) 2 限	合同	健康指標	人口動態統計（婚姻、離婚、死産の現状）、生命表（平均余命、平均寿命）、患者調査、国民生活基礎調査（受療率、有訴者率、通院者率、等） テキスト p.11-13, 16-18, 22-24		高橋
5	5/8 (水) 2 限	合同	疫学	疫学の目的と方法、疫学的因果関係の推定、臨床疫学とエビデンス テキスト p.25-43		高橋
6	5/15 (水) 2 限	合同	感染症	感染症の成立要件、感染症の予防（感染症法、予防接種法） テキスト p.53-72, 144-145		高橋
7	5/22 (水) 2 限	合同	感染症	結核、AIDS、新型インフルエンザ対策等 テキスト p.73-75		高橋
8	5/29 (水) 2 限	合同	環境保健	感染性廃棄物の処理、生活環境の管理等 テキスト p.84-101		高橋

9	6/5 (水) 2 限	合同	地域保健	地域保健法 (保健所、市町村保健センター、等)、健康日本 21、健康増進法 テキスト p.197-198, 108-110	高橋
10	6/12 (水) 2 限	合同	母子保健	母子保健の歴史、母子保健サービスと法制度、現在の課題と対策 テキスト p.133-147	高橋
11	6/19 (水) 2 限	合同	学校保健	学校保健の意義と内容、学齢期の健康問題と対策 テキスト p.149-165	高橋
12	6/26 (水) 2 限	合同	精神保健	精神保健福祉の現状と精神障害者の社会復帰対策 テキスト p.124-131	高橋
13	7/3 (水) 2 限	合同	生活習慣病予防	生活習慣病の現状と健康づくり対策、特定健康診査、特定保健指導等 テキスト p.111-121	高橋
14	7/10 (水) 2 限	合同	がん対策、難病 対策	がんの現状と対策 テキスト p.112-114 難病対策の概要 資料配付	高橋
15	7/17 (水) 2 限	合同	産業保健	労働による健康障害 産業保健に関わる法制度と健康管理対策 テキスト p.166-186	高橋

履修者へのコメント：

- 履修条件
履修条件はありません。
- 履修にあたっての心構えと要望
質問は、授業中または授業後に積極的に行ってください。
- 出席確認
各回、出席カードで出席を確認します。
- その他

準備学習の内容及び必要時間：

予習 30 分以上：次回授業までに該当部分についてテキスト、インターネット等で記事などを読み資料の下調べをして整理しておく。
復習 30 分以上：各回の授業で配付する資料、テキストを整理すること。

課題に対するフィードバック：

試験結果については採点后、フィードバックを行います。

オフィスアワー：

電子メールで随時質問を受け付ける。または、授業終了後に教室で質問を受け付ける。

電子メールアドレス： p_miho@saitama-med.ac.jp

教科書：

ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障(2) 公衆衛生 第6版

参考書：

「国民衛生の動向」厚生労働統計協会

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
看護の方法Ⅴ (病理的状态に応じた日常生活行動への援助技術②)	5107	講義	2年前期	必修	1/30
概要: 病理的状态 (薬物療法時や検査時、患者指導時) に応じた日常生活行動への援助について、科学的根拠に基づいて実施する方法を、講義・演習を通して学習する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておく。					担当教員
目的: 病理的状态 (薬物療法時や検査時、患者指導時) にある対象を理解し、その状況に応じた日常生活行動への援助について、科学的根拠に基づいて実践する方法を修得する。					今野 葉月 蒲生 澄美子 宮崎 素子
到達目標: 1. 主な検査の目的や注意点、援助方法が説明できる。 2. 検体の採取時の注意点を理解し、モデルを用いた静脈血採取が実施できる。 3. 薬物療法が必要な対象を理解し、皮下注射・筋肉内注射、点滴静脈内注射をモデル人形に実施できる。 4. 患者教育の意義と方法が説明できる。					清水 百子 榎本 佑美 八幡 真由美 倉田 暢子
卒業認定・学位授与方針 (ディプロマポリシー) / 学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☐ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法: 筆記試験 50% (授業時間外 6月3日の予定) 実技試験 30% レポート 20% (●表示) 成績評価基準: 実技試験, レポートは評価基準を学生に明示の上でその評価基準に基づいて評価し、筆記試験, 学習態度 得点との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/5 (金) 1 時限	合同	薬物療法時の援助①	1. 薬物療法の意義と目的 2. 薬物の体内動態と作用 3. 薬物に関する法律と管理 4. 薬物療法における看護師の役割 5. 薬物療法を受ける患者への援助 教科書 (1) p. 340-369 (2) p. 165-193	清水
2	4/5 (金) 2 時限	合同	薬物療法時の援助②	1. 薬物療法の種類と特徴 ・坐薬・経口薬・経皮薬・外用薬 ・皮下注射・皮内注射・筋肉内注射・静脈内注射 他 2. 薬物療法の実際 教科書 (1) p. 340-369 (2) p. 165-193	清水
3	4/8 (月) 3 時限	合同	薬物療法時の援助③	1. 輸血の目的と種類、取り扱い 2. 輸血の副作用と合併症 3. 輸血をする患者への援助 教科書 (2) p. 393-400	清水

4	4/8 (月) 4 時限	合同	薬物療法時の 援助④	1. 薬物療法を受ける患者の日常生活への援助 教科書 (1) p. 340-369 (2) p. 165-193 グループワーク, ディスカッション	清水		
5	4/12 (金) 1 時限	A	薬物療法時の 援助⑤	1. 皮下注射・筋肉内注射の実践 教科書 (1) p. 340-369 (2) p. 165-193 (学内実習)	担当教員 全員		
	4/15 (月) 3 時限	B					
6	4/12 (金) 2 時限	A	薬物療法時の 援助⑥				
	4/15 (月) 4 時限	B					
7	4/19 (金) 1 時限	A	薬物療法時の 援助⑦			1. 点滴静脈内注射の実践 教科書 (1) p. 340-369 (2) p. 165-193 (学内実習)	担当教員 全員
	4/22 (月) 3 時限	B					
8	4/19 (金) 2 時限	A	薬物療法時の 援助⑦				
	4/22 (月) 4 時限	B					
9	4/26 (金) 1 時限	合同	検査時の援助①	1. 主な検査 (生体・検体) の目的、方法(注意点を含む)、 合併症 2. 検査を受ける患者の日常生活への影響 3. 検査を受ける患者の日常生活行動への援助 (グループワーク, ディスカッション) 教科書 (2) p. 194-215 (6)	宮崎		
10	4/26 (金) 2 時限	合同	検査時の援助②	1. 検体 (静脈血、尿、便) の採取方法・取り扱い方法 2. 針刺し事故の原因、予防法、対処法 教科書 (1) p. 319-324 (2)p. 194-215 (6)	宮崎		
11	5/10 (金) 1 時限	A	検査時の援助③	1. 人体モデルを用いた静脈血採取の実践 2. 採取した検体 (静脈血) の取り扱い 3. 針刺し事故の予防法の実践 教科書 (1) 319-324 (2) 208-212 (学内実習)	担当教員 全員		
	5/13 (月) 3 時限	B					
12	5/10 (金) 2 時限	A	検査時の援助④				
	5/13 (月) 4 時限	B					
13	5/17 (金) 1 時限	A	検査時の援助④			1. 検査を受ける患者の日常生活行動への援助 教科書 (2) p. 194-215 (6) (グループワーク, ディスカッション, 発表) ●レポート(9, 13 回使用のワークシート) 提出期限 5 月 20 日(月) 16:00 まで	宮崎
	5/17 (金) 2 時限	B					

14	5/31 (金) 1 時限	合同	患者教育①	1. 看護の教育的役割 1) 教育・指導の意義と方法 2. 患者教育の効果をあげる条件 1) 教材の種類 2) 教材の使用法 教科書 (2) p. 57-74	蒲生
15	5/31 (金) 2 時限	合同	患者教育②	1. 指導計画に基づいた実施・評価 教科書 (2) p. 57-74 配布資料 ●レポート 提出期限 6 月 14 日(金) 8 : 50 まで	蒲生
履修者へのコメント : 1. 履修条件はありません。 2. 履修にあたっての心構えと要望 1) 講義や演習での学習を補強するために、事前学習（予習と復習）と事後学習を課します。 事前・事後課題は単元ごとに提示します。事前課題は、講義や学内実習で活用できるように準備してください。 物品を用いて実習室で行う課題は、別途説明します。提出された課題は、その都度フィードバックします。 2) 学習する際は、人体の構造と機能・薬理学・病理学や社会学など人間に関する様々な知識を活用し、根拠をふまえて学習を進めてください。 (1) 各単元で学習した知識を統合して理解を深めてください。 (2) まだ学習していない知識を求められる場合もあります。教科書や参考書を活用して自己学習をしてください。 (3) 当該科目は、看護の方法Ⅰや看護の方法Ⅱ、看護の方法Ⅳを基盤にしています。講義や学内実習で学んだことを確認しながら学習をすすめてください。 3. 出席確認 出欠席は毎回授業中に確認します。確認方法は授業開始時に説明します。 4. その他 1) 試験について (1) 筆記試験・実技試験・レポート課題の詳細は、別途オリエンテーションします。 (2) 実技試験は、技術のポイントをよく確認し、繰り返し練習してから試験に臨んでください。					
準備学習の内容及び必要時間 : 予習 30 分以上 : 予習は学習内容をふまえて、教科書の該当ページを読み、不明な用語は教科書や参考書を用いて調べてください。看護技術は動画（静止画含む）を視聴し、手順と根拠を調べ、学習の準備をしてください。 復習 30 分以上 : 復習は、学習内容の要点を整理してください。 看護技術は準備から後始末までの一連の流れが身につくまで、繰り返し練習をしてください。					
課題に対するフィードバック : 試験・レポート結果は、採点・添削後、フィードバックを行います。					
オフィスアワー 授業時間外は、月曜日から金曜日、8 : 30～17 : 30 の間に各単元担当者が対応します。					
教科書 : ※(1)～(6)は、2023 年度購入済み (1) 阿曾洋子 他著『基礎看護技術 第 8 版』(医学書院) 2019 年 (2) 香春知永 他編『基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する 改訂第 3 版』(南江堂) 2018 年 (3) 秋葉公子 他著『看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 第 4 版』(ヌーベルヒロカワ) 2018 年 (4) 江崎フサ子 他著『ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト 第 4 版』(ヌーベルヒロカワ) 2018 年 (5) 川合真一 他編『今日の治療薬 2023』(南江堂) 2023 年 (6) 大久保昭行 他編『わかる！検査値とケアのポイント第 2 版』(医学書院) 2021 年					

参考書：

- (1) 村中陽子 他編著『学ぶ・活かす・共有する 看護ケアの根拠と技術 第3版』(医歯薬出版) 2019 年
- (2) 三上れつ 他編 『演習・実習に役立つ基礎看護技術 根拠に基づいた実践をめざして 第4版』(ヌーベルヒロカワ) 2015 年
- (3) 平田雅子 著 『完全版 ベットサイドを科学する 改訂第4版』(学研メディカル秀潤社) 2021 年

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
看護の方法VI (看護過程を活用した日常生活行動への援助の方法)	5108	演習	2年前期	必修	1/30
概 要： 1 年次に学んだ看護過程の知識を基に活用し、ヘンダーソン看護論を用いた模擬患者への看護(日常生活行動への援助)の方法について具体的に学習する。看護過程が科学性を担保することから、既習の知識の統合やクリティカルシンキングの活用についても学習する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目 的：看護過程を活用し、常在条件・病理的状态をふまえた基本的欲求の状態に応じた援助の方法を修得する。					今野 葉月 蒲生 澄美子 宮崎 素子 清水 百子 榎本 佑美 八幡 真由美 倉田 暢子
到達目標：1. 看護過程を使って看護を実践する意義が説明できる。 2. 看護過程を使って模擬患者への看護が展開できる。					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☐ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：1. 看護過程展開記録の内容（40%）2. 筆記試験（30%）3. 口述試験（20%）4. 学習態度（10%） 成績評価基準：上記評価方法 1, 3, 4 は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて採点（70 点満点）し、筆記試験（30 点満点）と合わせて合計得点を算出する。この合計得点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	6/3(月) 4 限	合同	看護過程の概念 アセスメント (情報収集) ①	【講義】 I. 看護過程の概念、看護過程の構成要素の想起 II. 看護過程の使い方の実際 1. アセスメントの方法 教科書 1. p. 4～15, p. 58 ※次回までに事前学習 1～3 を作成する	今 野
2	6/7(金) 1 限	合同	アセスメント (情報収集) ②	【グループ・ワーク】 1. アセスメント 1) 情報収集の視点の明確化 教科書 1. p. 58～66 ※個別に作成した事前学習を基に観察視点を確認しあう	担当教員 全員
3	6/7(金) 2 限	合同	アセスメント (情報収集) ③		
4	6/10(月) 3 限	合同	アセスメント (情報収集) ④	【グループ・ワーク】 1. アセスメント 2) 視点に基づいて情報収集 3) 収集した情報の確認・分類・整理（データベース作成） 教科書 1. p. 40～43, p. 69～76 ※次回までにデータベースを作成する	担当教員 全員
5	6/10(月) 4 限	合同	アセスメント (分析・解釈) ① 看護診断	【講義】 1. アセスメント 1) 情報の分析・解釈の方法 2. 看護診断 1) 看護診断（看護問題）の概念 2) 看護診断の表現方法 教科書 1. p. 40～47, p. 69～97	今 野

6	6/14(金) 1 限	合同	アセスメント (分析・解釈)② 看護診断	【グループ・ワーク】 1. アセスメント 1) 情報の分析・解釈 2. 看護診断 看護診断 (問題リスト作成) 教科書 1. p. 58, p. 77～97 ※口述試験 (アセスメント) : 6/21(金) 1.2 限	担当教員 全員
7	6/14(金) 2 限	合同	アセスメント (分析・解釈)③ 看護診断		
8	6/17(月) 3 限	B	アセスメント (分析・解釈)④ 看護診断		
	6/17(月) 4 限	A			
9	6/24(月) 3 限	合同	看護計画立案① 実施の概要①	【講義】 3. 看護計画立案の意義、内容 1) 看護問題の優先順位決定の意義、基準 2) 期待される結果の意味、設定方法 3) 具体策 (援助方法) の意味、内容、立案方法 4) 行動計画の意味、立案方法 教科書 1. p. 48～50, p. 98～120, p. 105 4. 実施の意味、内容、留意点 教科書 1. p. 51～53, p. 106～107	今 野
10	6/24(月) 4 限	合同	評価 ① サマリー	【講義】 5. 評価 1) 評価の意味、目的、内容、方法 2) 実施後の評価 (グループワーク) 3) 看護計画全体の評価 (グループワーク) 6. 看護サマリー 1) 看護サマリーの意味、目的、内容、作成方法	今 野
11	6/28(金) 1 限	B	看護計画立案②	【グループ・ワーク】 1. 看護計画立案 1) 看護問題の優先順位決定 2) 期待される結果の設定 3) 具体策 (援助方法) 立案 4) 行動計画立案 教科書 1. p. 48～50, p. 98～120, p. 105 ※授業中に次回「実施」の導入を行う (10 分) ※口述試験 (計画立案) : 7/12(金) 1.2 限	担当教員 全員
	6/28(金) 2 限	A	行動計画立案		
12	7/1(月) 3 限	B	看護計画立案③		
	7/1(月) 4 限	A	行動計画立案		
13	7/5(月) 1 限	B	実施 ②	【実習室でグループ毎に実施】 1. 計画に基づいて模擬患者に援助を行う 1) 実施／報告 2) 記録 (データベース, 経過記録, 結果・評価, サマリー,) 教科書 1. p. 51～53, p. 105～107 ※課外で、経過記録、評価、サマリーを記録する	担当教員 全員
	7/8(金) 3 限	A			
14	7/5(月) 2 限	B	実施 ③		
	7/8(金) 4 限	A			
15	7/22(月) 3 限	B	評価 ② サマリー	【グループ・ワーク】 1. 評価 1) 実施後の評価 2) 看護計画全体の評価 2. 模擬患者の転科サマリーの作成 教科書 1. p. 54～56, p. 108～109, p. 122～123, p. 145 ※看護過程展開記録 : 提出 7/23(火) 13:00 担当教員へ	担当教員 全員
	7/22(月) 4 限	A			

履修者へのコメント： - 履修条件 ありません。 - 履修にあたっての心構えと要望 - グループワークのグループは、クラス別で2～3人が1グループになるように編成します。 グループ編成は、授業開始時に発表します。 - グループワーク（課題学習）を行う場合、次の事に注意してください。 - 課題の位置づけを確認し、内容をよく読み理解してください。 - 課題に取り組むときは、必要な資料や教科書を十分活用してください。 - 課題に取り組むときは、評価基準を踏まえ、学習のポイントをつかんでください。 - グループワークの前に個人の学習を済ませ、臨んでください。 - 本科目を履修する場合は、1年次までの成績がGPA2.0以上であることが望ましい。 - 出席確認 授業ごとに、担当教員が出欠席を確認します。具体的な方法は授業の初回で説明します。 - その他 13回、14回目の授業は、看護過程の構成要素の「実施」を学習します。「実施」は準備と後片付けを含みます。
準備学習の内容及び必要時間： 授業の予習・復習は次のとおり行ってください。 - 予習（1時間以上）：内容に示した教科書の該当部分を、1年次に学習した内容（看護の方法Ⅰと看護の方法Ⅲ、基礎看護実習Ⅰなど）を思い出しながらかみ、用語を理解して授業に臨んで下さい。 - 復習（1時間以上）：授業で学んだ内容を整理し、疑問点を解消してください。
課題に対するフィードバック： 「看護過程展開記録」、「学習態度」は、中間評価を授業時間内・外でフィードバックします。 「看護過程展開記録」、「口述試験」、「学習態度」の採点結果は、授業時間外でフィードバックします。
オフィスアワー： 授業時間外の質問には、次のとおり対応します。 - 月曜日～金曜日の8:30～17:30、担当教員へ資料などを持参し質問してください。 - WebClassの機能を活用した質問に対しても、1に準じて対応します。
教科書：1.2は1年次に購入済み - 秋葉公子他著『ヘンダーソン看護論の実践 第4版』（ヌーヴェルヒロカワ）2018年 - 江崎フサ子他著『ヘンダーソンの基本的看護に関する問題リスト 第4版』（ヌーヴェルヒロカワ）2018年 - 飯野京子他著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学[4]血液・造血器 第15版』（医学書院）2024年
参考書： 古橋洋子編集『初めて学ぶ看護過程』（医学書院）2017年

授業科目の区分	ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
基礎看護実習Ⅱ (基本的欲求の状態に応じた日常生活行動への援助)	5110	実習	2 年前期	必修	2 / 90
概 要： 対象の基本的欲求の状態に応じた日常生活行動への援助を、実習を通して学習する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目 的： 学内で学んだ知識・技術・態度を統合、活用して、対象の基本的欲求の状態に応じた日常生活行動への援助ができる。					今野 葉月
到達目標： 1. 看護過程を使って看護を実践する。 2. 看護の役割が説明できる。 3. 看護師の必要な態度を意識して行動できる。					蒲生 澄美子
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦地域に貢献するために保健医療福祉チームメンバーとして協働できる					宮崎 素子
					清水 百子
					榎本 佑美
					八幡 真由美
					倉田 暢子
					ほか
成績評価方法： 1. 知識・技能 (38%) 2. 思考力・判断力・表現力 (42%) 3. 主体性・協働性 (20%) 看護過程展開記録・レポート、実践、看護者としての態度の習得度を総合的に評価する。 成績評価基準： 上記 1～3 の評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
内 容					
目標 1 : 1) アセスメントできる (1) 受け持ち患者の基本的欲求の状態が把握できる (2) 情報を分析・解釈し看護問題を明確にできる 2) 看護計画を立案できる (1) 期待される結果を設定できる (2) 看護問題を解決・緩和・予防するための具体的な援助計画が立案できる 3) 計画に基づいて実践できる 4) 看護計画全体の評価ができる 目標 2 : 看護の独自性を具体的に述べることができる 目標 3 : 1) 主体的に行動（学習含む）している 2) 他者との間に信頼関係を築くよう努めている 3) 適切な健康管理をしている 4) 実習グループの一員として協調性をもった行動をしている 5) 看護チームの一員として協働している 6) 生命の尊厳と人権を尊重した行動をしている 7) 自分の責任と能力を意識して行動している					

履修者へのコメント： 1. 履修条件はありません。 2. 履修にあたっての心構えと要望 1) この科目を履修するには、GPA 値は2.0 以上が望ましい。 2) 実習時期・内容（予習・復習含む）・方法・評価基準の詳細は、実習オリエンテーションで説明します。 3) これまで学んだ知識を統合・活用します。事前学習を丁寧に行い、より深めた知識にするよう期待します。 4) 到達目標を達成するために必要な看護技術は反復練習し、確実に実践できるように練習してください。 3. 出席確認 1) 毎日、実習開始前に出欠席を直接確認します。 4. その他 特になし
準備学習の内容及び必要時間： 予習 60 分以上： 実習準備の学習は病理的状态に関する学習を深めるために、テキスト、参考書を用いて「人体の構造と機能」の基礎知識を整理し、主な疾患に関する症状発現のメカニズムなどを整理しましょう。症状に対する日常生活行動への影響を調べ、基本的欲求の変化がイメージできるように下調べをしましょう。 実習期間中の予習は、翌日あるいはその先に予定されている治療・検査・援助などについて、テキストや資料を活用して下調べ学習をしましょう。 復習 60 分以上： 毎日の体験を通して生じた疑問を書き出し、授業で配付された資料、テキスト等を活用して、その都度解決しましょう。解決できない事柄を明確にし、翌日には指導を受けられるようにしましょう。 実習中に助言された内容を活かして記録修正するなどを含みます。
課題に対するフィードバック： 実習内容、実習記録、実習態度について、実習時間内・外で随時フィードバックします。
オフィスアワー： ・実習に関する質問は実習時間内に積極的に行ってください。 ・実習時間外の質問は 16：00～17：00 に担当教員が対応します。 ・実習期間以外：月曜日から金曜日の 8：30～17：00、担当教員が対応します。
教科書： 2023 年度購入済みの教科書（科目：看護概論，看護の方法Ⅰ，看護の方法Ⅱ，看護の方法Ⅲ，看護の方法Ⅳ），看護の方法Ⅴ，看護の方法Ⅵと同じ
参考書： 2023 年度購入済みの教科書（科目：看護概論，看護の方法Ⅰ，看護の方法Ⅱ，看護の方法Ⅲ，看護の方法Ⅳ）看護の方法Ⅴ，看護の方法Ⅵと同じ。このほか必要に応じて担当教員が紹介する。

授業科目の区分	ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
地域・在宅看護Ⅱ	5113	演習	2年次前期	必修	2/30
概 要： 居宅等で疾患・症状と折り合いをつけながら生活する療養者とその家族への支援を学習する科目である。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目 的：疾病や障がいと折り合いをつけて地域で暮らし、居宅等で療養をする人と、家族への介入の要点を学ぶ。					益田 育子
到達目標： 1. 生活と折り合いをつけて居宅等で療養する人への看護の要点を抽出できる 2. 訪問看護を利用する人に多い傷病と症状を題材に、生活と療養への介入要点を整理できる 3. 居宅等で療養する人の看護アセスメントと看護計画立案の基盤を作ることができる 4. 地域と、地域で生活する人、療養する人への健康危機管理、災害対策を調査し、発展的な提案ができる					海野 文子
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					池田 梨紗
成績評価方法：筆記またはオンラインで試験を実施する 1) 小テスト4回：40% 2) 学習課題調査・成果物提出：20% 3) 最終試験：40% 成績評価基準：受験と作成、提出期限遵守を評価の前提とする。上記1), 2), 3) の総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/12 (金) 3 限	合同	在宅看護過程の概要	在宅看護過程と在宅での看護技術の特徴 小テスト①	益田
2	4/17 (水) 3 限	合同	居宅等での日常生活を支える看護技術 /PBL 2 階実習室・和室	1. 在宅療養環境 2. 在宅療養と食生活 3. 在宅療養と排泄 4. 在宅での清潔援助 テキスト 2) p. 34～	益田 海野 池田
3	4/24 (水) 3 限	合同	在宅療養を支える医療ケア① 反転授業	1. 在宅での医療ケアの特徴 2. 在宅経管栄養法 3. 在宅中心静脈栄養法 テキスト 2) p. 106～ 小テスト②	益田
4	5/1 (水) 3 限	合同	在宅療養を支える医療ケア② 反転授業	1. 呼吸管理 1) 在宅酸素療法 (HOT) 2) 在宅人工呼吸管理 テキスト 2) p. 106～	益田
5	5/8 (水) 3 限	合同	地域包括支援センターの役割	1. 地域住民の健康と活動の維持・向上 2. 疾病予防のための他職連携 テキスト 1) p. 88～	池田

6	5/15 (水) 3 限	合同	在宅療養を支える訪問看護①	1. 状態別・状況別対象者への看護師の役割 認知症、脳血管疾患と在宅看護 テキスト 2) p. 210～	海野
7	5/22 (水) 3 限	合同	在宅療養を支える訪問看護②	1. 状態別・状況別対象者への看護師の役割 ALS、精神疾患、重症心身障がい児と在宅看護 テキスト 2) p. 220～	海野
8	5/29 (水) 3 限	合同	在宅療養を支える訪問看護③	1. 在宅療養の終了期における看護師の役割 1) 終末期と緩和ケア 2) 化学療法、放射線療法、がん性疼痛の管理 3) 在宅での看取り 題材疾病：悪性腫瘍 テキスト 2) p. 216～ 小テスト③	海野
9	6/5 (水) 3 限	合同	在宅療養を支える医療ケア③	1. 在宅療養、生活における褥瘡管理 脊髄損傷と在宅看護 他 テキスト 2) p. 155～	益田
10	6/12 (水) 3 限	合同	在宅療養を支える医療ケア④	1. 在宅におけるインスリン自己注射と足病変予防 1) 在宅療養者と家族への支援 2) 社会資源の利用と医療資源調達 2 型糖尿病と在宅看護 テキスト 2) p. 165～	池田
11	6/19 (水) 3 限	合同	在宅療養を支える医療ケア⑤	1. 在宅における CAPD 管理 腎機能低下と在宅看護 テキスト 2) p. 171～ 小テスト④	益田
12	6/26 (水) 3 限	合同	事例検討① ＜討議＞	1. 在宅療養事例アセスメント 2. 社会資源の選択と活用 テキスト 2) p. 204～	益田 海野
13	7/3 (水) 3 限	合同	事例検討② ＜討議＞	1. 在宅で療養する人への看護計画の要点 2. 看護実践と評価の要点 テキスト 2) p. 204～	益田 海野
14	7/10 (水) 3 限	合同	在宅療養を支える健康危機・災害対策 ＜紙上シミュレーション＞	1. 地域包括ケアシステムにおける災害対策 2. 訪問看護師による健康危機・災害対策 テキスト 2) p. 188～	益田 海野
15	7/17 (水) 3 限	合同	事例検討③ ＜プレゼンテーション＞	1. 事例に対する災害対策の提案 2. 指定地域の課題抽出 成果物提出 最終試験	益田

履修者へのコメント：

- 履修条件：前提となる履修科目：地域・在宅看護概論、地域・在宅看護実習Ⅰ、地域・在宅看護Ⅰ。これらの単位習得をしていることが本科目の履修条件である
- 履修にあたっての心構えと要望：基礎看護技術を習得し、該当科目の単位習得をしていることが望ましい。本科目履修までの総合 GPA2.2 以上が円滑な学習を期待できる
- 出席確認：開講時に案内する
- その他：再試験、追試験については、学則に基づき判断する。本科目は小テストと成果物と最終試験の合算による単位認定となる。・小テスト、最終試験は指定する日時での受験が評価の前提である
 - ・成果物提出はチェックリストに基づいて自己評価他者評価をする。期限内提出が評価の前提である
 - ・受験および成果物提出の詳細は開講時および授業内で案内する
- 本科目は、事前課題提示や学習用資料提供に WebClass を使用することもある

実務経験（看護師）のある教員による授業科目です

準備学習の内容及び必要時間： 本科目は、演習科目であり総時間の80以上（24時間以上）の出席時間によって評価該当となる。 各単元の学習成果の測定として、小テスト4回と成果物の提出、最終試験を含む。これらの自己学習を自律して能動的に行うことを期待する。学習の補足が必要と判断した際は、学習課題を提案する。
課題に対するフィードバック： 成果物と小テスト、最終試験の結果については採点・添削後、希望者に対し開示する
オフィスアワー：集合授業時はその場で質問を受け付ける。
指定テキスト： 1) 臺有桂, 石田千絵, 山下留理子編著: ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア, メディカ出版, 第7版, 2022. 2) 臺有桂, 石田千絵, 山下留理子編著: ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論②地域療養を支える技術, メディカ出版, 第2版, 2022.
参考書：授業時に紹介します

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
地域・在宅看護技術	5114	演習	2 年次 後期	必修	2／30
概 要：在宅看護過程を理解し、事例に対し訪問看護模擬看護実践をする科目である。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
					海野 文子
					池田 梨紗
目 的： あらゆる発達課題、疾病、障がい、家族構成とおりあいをつけ、居宅等で暮らす人に対する看護を実践的に学ぶ。					非常勤教員
到達目標： 1. 居宅等で生活、療養する人への在宅看護過程を可視化し説明できる 2. 居宅等で生活、療養する人と介護者への訪問看護模擬実践をし、実践の評価修正ができる 他者との討議を通し、自己の思考と行動を発展させ、自己の学習過程と成果を評価できる					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 □①人間を総合的に理解できる □②科学的な思考ができる □③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる □④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる □⑤看護者として自己成長できる □⑥社会の変化に対応できる □⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法： 1) 成果物提出 4 回 80% 2) 小テスト 2 回 20% 成績評価基準： 4 回分の成果物と 2 回の小テストの総合点を GPA 実施規則に則り評価する。 ・成果物 4 回の評価基準：各回、指定内容の記述をし、期限内提出が前提である。チェックリストに基づいて自己採点の後に提出されたものを評価する ・小テスト 2 回の評価基準：指定する期間内の受験が前提である。紙媒体又はオンラインでの受験とし、配点する					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/30（月） 3 限	合同	在宅看護過程の特徴と在宅看護における看護師のマネー	1. 在宅看護過程の基本と看護師の役割 2. 訪問看護時のマナー 3. 家庭訪問、初回訪問 4. 訪問手順、倫理、心構え テキスト 2) p. 18～ 小テスト①	海野
2	9/30（月） 4 限				
3	10/7（月） 3 限	A	訪問看護時マナー 2 階実習室 2 階和室	訪問時のマナーと倫理 テキスト 2) p. 18～ ＜実践演習・ロールプレイ＞ 成果物提出①	海野 池田
	10/7（月） 4 限	B			
4	10/21（月） 3 限・4 限	合同	訪問看護の実際① 対象把握と アセスメント	1. 医療施設との連携 2. 訪問看護指示書と訪問看護計画 3. 初回訪問時の介入要点	海野
5					
6	10/28（月） 3 限	合同	訪問看護の実際② 初回訪問 2 階実習室	1. 初回訪問時の観察 2. 紙上事例に対する初回訪問後の検討事項抽出 	

7	11/11 (月) 3 限・4 限	合同	訪問看護の実際③ 訪問看護計画と サービスの調整	1. 紙上事例に対する社会資源の選択 2. 訪問看護計画の作成 3. 看護計画の共有 テキスト 2) p. 22～ ＜グループワーク＞	海野
8					
9	11/25 (月) 3 限	A	訪問看護の実際④ 訪問と実践 2 階実習室	1. 紙上事例 (担当事例) への訪問看護模擬実践 テキスト 2) p. 22～ ＜実践演習＞	海野 池田
	12/2 (月) 3 限	B			
10	11/25 (月) 4 限	A			海野 池田
	12/2 (月) 4 限	B			
11	12/9 (月) 3 限	合同	訪問看護の実際⑤ 評価・修正 2 階実習室	1. 紙上事例 (担当事例) への看護実践後の評価と修正の要点 テキスト 2) p. 22～ ＜プレゼンテーション＞成果物提出③	海野 池田
12	12/9 (月) 4 限				
13	12/23 (月) 3 限・4 限	合同	地域包括支援の 実際と発展への アイデア	1. 地域包括支援センターの取り組みを調査、考察 2. 担当地域への提案事項の検討 テキスト 1) p. 88～ ＜グループワーク＞小テスト②	海野
14					
15	1/20 (月) 3 限	合同	地域・在宅看護 学習まとめ 自己課題の明確化	1. 地域で生活する人への看護師の役割まとめ 2. 在宅看護過程における自己課題の明確化 成果物提出④	海野
履修者へのコメント： 1. 履修条件：前提となる履修科目―地域・在宅看護概論、地域・在宅看護実習Ⅰ、地域・在宅看護Ⅰ、地域・在宅看護Ⅱ。これらの単位習得が本科目の履修条件である 2. 履修にあたっての心構えと要望：看護過程を学ぶ既習科目の単位習得をしていることが望ましい。本科目履修までの総合 GPA2.3 以上が円滑な学習を期待できる 3. 出席確認方法：開講時に案内する 4. その他：再試験、追試験については、学則に基づき判断する。本科目は成果物と小テストによる単位認定となる。成果物のみ、小テストのみの再試験・追試験は実施しない。詳細は開講時に案内する 5. 本科目は、事前課題提示や学習用資料提供に WebClass を使用することもある 実務経験（看護師）のある教員による授業科目です					
準備学習の内容及び必要時間： 本科目は、<u>演習科目であり総時間の 80%以上（24 時間以上）の出席を要する。</u> また、単位認定該当物となる 4 回分の成果物の提出準備と実践演習出席の準備等で、個人学習活動の時間を要する。これらを本科目の毎次の事前学習 30 分、事後学習 30 分の範疇に位置付け、能動的な学習を推奨する。					
課題に対するフィードバック： 成果物と小テストの結果については採点・添削後、希望者に対し開示する					
オフィスアワー：集合授業時はその場で質問を受け付ける。 電子メールでの質問への回答は、平日 9 時～17 時で対応し、必要時には質問者の了承を得て学生全体に共有する。					

指定テキスト

1) 臺有桂, 石田千絵, 山下留理子編著: ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア, メディカ出版, 第7版, 2022.

2) 臺有桂, 石田千絵, 山下留理子編著: ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論②地域療養を支える技術, メディカ出版, 第2版, 2022.

参考書: 1) 河野あゆみ. 強みと弱みからみた地域・在宅看護過程 第2版: +総合的機能関連図. 医学書院. 2023

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
成人看護Ⅱ (周手術期看護)	5119	講義	2年前期	必修	1／30
概要：人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援、成人看護概論、成人看護Ⅰの知識と関連させ、成人看護技術や成人・老年看護実習、統合実習に活かせるよう、周手術期にある成人期の患者および家族の特徴と、手術を受ける患者の術後合併症予防や退院に向けた日常生活指導等、急性期から回復期への看護を、講義を通して学習する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的：周手術期にある成人期の患者および家族に、急性期から回復期への看護を実践するための方法を理解する。 到達目標： 1. 危機的状態にある患者の看護を理解する。 2. 手術療法を受ける患者の手術前・手術中・手術後の看護を理解する。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる ☑②科学的な思考ができる ☑③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる □④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる □⑤看護者として自己成長できる ☑⑥社会の変化に対応できる □⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法：1. レポート15％ 2. 小テスト15％ 3. 筆記試験（定期試験）60％、4. 学習態度10％ 成績評価基準：レポートは評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、小テスト・筆記試験・学習態度の総合点をGPA実施規則に則り評価する。					担当教員
					浅見 多紀子
					秋山 千恵子
					田中 顕治

回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/9 (火) 2 限	合同	危機的状況にある患者の看護	1. クリティカルケア看護の特性 2. クリティカルケアを必要とする患者・家族の特徴 1)患者の身体的・心理的・社会的特徴 2)家族の心理的・社会的特徴 3. クリティカルな患者の病態の特徴 1)過大侵襲を受けた患者の生体反応 教科書(1)P.2～49	浅見
2	4/16 (火) 2 限	合同	手術療法を受ける患者の看護①	1.手術療法を受ける患者・家族の特徴 1)術前の患者・家族の特徴 2)術中の患者・家族の特徴 3)術後の患者・家族の特徴 2.手術前の看護 1)術前検査・術前オリエンテーション 2)術前の援助 教科書(2)P.12～24,202,228～259	秋山
3	4/ 23 (火) 2 限	合同	手術療法を受ける患者の看護②	3.手術中の看護 1)手術室の環境 2)手術室入室時の援助 3)麻酔導入時の援助 4)手術中の看護師の役割 教科書(2)P.278～303,326～331	秋山

4	4/ 30 (火) 2 限	合同	手術療法を受ける患者の看護③	5)麻酔覚醒時の援助 4.手術後の看護 1)術後 24 時間以内 (急性期) の援助 2)術後回復期から退院に向けた援助 教科書(2)P. 306~324,343~373	秋山
5	5/7 (火) 2 限	合同	手術療法を受ける患者の看護④	5.術後合併症予防のための援助 1)術後合併症の発生機序 2)術後合併症予防のための援助 (無気肺、イレウス以外) 教科書(2)P.324~342	秋山
6	5/14 (火) 2 限	合同	手術療法を受ける患者の看護⑤	6.術後合併症 (無気肺) 予防のための援助 1)術後合併症の発生機序 2)術後起こり易い合併症の予防のための援助 教科書(2)P.324~342 *ディスカッション ★レポート提出① [テーマ: 術後合併症 (無気肺) の機序、術前・術後の看護、提出期限: 5/21 (火) 9:00 まで]	担当教員 全 員
7	5/21 (火) 2 限	合同	消化管の手術を受ける患者の看護①	1.消化管の手術を受ける患者の特徴 1)消化管の解剖生理 2)消化管疾患の病態生理 3)治療 (術式) の特徴 4)患者の身体的・心理的・社会的特徴 教科書(3)P.16~31,142~206,(4)P.172~234 ☆小テスト	秋山
8	5/ 28 (火) 2 限	合同	消化管の手術を受ける患者の看護②	2.胃の手術を受ける患者の看護 1)術後急性期の援助 2)術後回復期から退院に向けた援助 教科書(3)P.358~367,(4)P.323~330	秋山
9	6/4 (火) 2 限	合同	消化管の手術を受ける患者の看護③	3.腸の手術を受ける患者の看護 1)術後急性期の援助 2)術後回復期から退院に向けた援助 教科書(3)P.89~396,462~480,(4)P.330~338	秋山
10	6/11 (火) 2 限	合同	消化管の手術を受ける患者の看護④	4.術後合併症 (腸閉塞・イレウス) 予防のための援助 1)術後合併症の発生機序 2)術後起こり易い合併症の予防のための援助 教科書(2)P.324~342 *ディスカッション ★レポート提出② [テーマ: 術後合併症 (腸閉塞・イレウス) の機序、術前・術後の看護、提出期限: 6/18 (火) 9:00 まで]	担当教員 全 員
11	6/18 (火) 2 限	合同	運動器の手術を受ける患者の看護①	1.骨折の手術を受ける患者の特徴 1)筋骨格の解剖生理 2)適応疾患の病態生理 3)治療 (術式) の特徴 4)患者の身体的・心理的・社会的特徴 2.骨折の治療を受ける患者の看護 1)牽引療法を受ける患者の援助 2)ギプス固定を受ける患者の援助	田中

				3)固定術を受ける患者の援助 教科書(6)P.11~104,110~116,240~265 ☆小テスト	
12	6/ 25 (火) 2 限	合同	運動器の手術を受ける患者の看護②	3.人工股関節置換術を受ける患者の特徴 1)筋骨格の解剖生理 2)適応疾患の病態生理 3)治療（術式）の特徴 4)患者の身体的・心理的・社会的特徴 4.人工股関節置換術を受ける患者の看護 1)術前の援助 2)術後急性期の援助 3)術後回復期から退院に向けた援助 教科書(6)P.11~83,141~143,254~265	田中
13	7/2 (火) 2 限	合同	運動器の手術を受ける患者の看護③	5.脊椎の手術を受ける患者の特徴 1)筋骨格の解剖生理 2)適応疾患の病態生理 3)治療（術式）の特徴 4)患者の身体的・心理的・社会的特徴 6.脊椎の手術を受ける患者の看護 1)術前の援助 2)術後急性期の援助 3)術後回復期の援助 4)術後、回復期から退院に向けた援助 教科書(6)P. 11~83,166~168,254~268,284~285 ★レポート提出③ [テーマ：腰部脊柱管狭窄症の手術を受けた患者の回復期から退院に向けた援助、提出期限：7/9（火）9：00 まで]	田中
14	7/9 (火) 2 限	合同	脳血管の手術を受ける患者の看護①	1.脳血管の手術を受ける患者の特徴 1)脳の解剖生理 2)脳疾患の病態生理 3)治療（術式）の特徴 4)患者の身体的・心理的・社会的特徴 教科書(4)P.368~432,(5)P.6~159 ☆小テスト	秋山
15	7/16 (火) 2 限	合同	脳血管の手術を受ける患者の看護②	2.脳血管の手術を受ける患者の看護 1)術前の援助 2)術後急性期の援助 3)術後回復期から退院に向けた援助 教科書(4)P.368~432, (5)P.122~130,297~311,324~332	秋山

履修者へのコメント： 1.履修条件はありません。 2.履修にあたっての心構えと要望（第1回授業時に詳細を追加説明します。） 1)本科目を履修する場合、1年次までのGPA2.3以上であることが望ましい。 2)学習態度は、提出期限や提出方法（提出先間違い、指定の書式で書いていない等）を守る、相手が読みやすい文字で書くといった誠実性を評価します。 3.出席確認 出欠席は、呼名またはリアクションシートで行います。但し、単元により小テストの提出等で出席確認を行う場合があるので、担当教員の指示を確認して下さい。 4.その他 1)講義に関する連絡は、掲示またはWeb Classで行います。 2)講義に関する質問は、授業時間内に積極的に行ってください。 3)実務経験（看護師）のある教員による授業科目です。
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30分以上：授業の内容を踏まえて、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ、疾病治療論Ⅰ～Ⅲで学習した内容を復習し、内容に該当する部分のノートやプリントを持参して下さい。次回授業までに該当部分の教科書を読み、資料の下調べをして整理しておいて下さい。 復習 30分以上：教科書や配付したプリント、説明内容をノートに整理して下さい。授業ノートと教科書を関連させて復習して下さい。
課題に対するフィードバック： 1.小テストは授業内で解答を確認します。採点后、出題に関する内容の自己学習を追加し翌日の9:00までに担当教員のレポート提出ボックスに提出して下さい。小テストの内容に対する理解度と自己学習の追加内容を総合的に評価します。 2.提出された小テストの自己学習は、1週間以内に返却します。小テストの自己学習が不十分な場合は、授業内外で解説し、必要時再提出を求めます。 3.定期試験・レポート結果については採点・添削後、フィードバックを行います。
オフィスアワー： 授業外は、月曜日から金曜日の9:00～17:00の間に、各担当教員が対応します（但し、実習等で不在の時もあります）。遠隔授業時は、Web Classの掲示版を活用して下さい。
教科書： (1)道又元裕共著『系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学 第2版』（医学書院）2020年 (2)矢永勝彦共著『系統看護学講座 別巻 臨床外科総論 第12版』（医学書院）2023年（疾病治療論Ⅰで購入済み） (3)南川雅子共著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学[5] 消化器 第15版』（医学書院）2019年（成人看護Ⅰで購入済み） (4)北島政樹共著『系統看護学講座 別巻 臨床外科各論 第10版』（医学書院）2023年（疾病治療論Ⅱで購入済み） (5)井手隆文共著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学[7]脳・神経第15版』（医学書院）2019年（成人看護Ⅰで購入済み） (6)田中栄共著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学[10]運動器 第15版』（医学書院）2019年
参考書： (1)竹内登美子編著『高齢者と成人の周手術期看護1 外来/病棟における術前看護 第3版』（医歯薬出版）2019年 (2)竹内登美子編著『高齢者と成人の周手術期看護2 術中/術後の生体反応と急性期看護 第3版』（医歯薬出版）2019年 (3)竹内登美子編著『高齢者と成人の周手術期看護3 開腹術/腹腔鏡下手術を受ける患者の看護 第3版』（医歯薬出版）2019年 (4)竹内登美子編著『高齢者と成人の周手術期看護4 脳神経疾患で手術を受ける患者の看護 第2版』（医歯薬出版）2015年 (5)竹内登美子編著『高齢者と成人の周手術期看護5 運動器疾患で手術を受ける患者の看護 第2版』（医歯薬出版）2014年 その他、自主的に求める。

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
成人看護Ⅲ (がん看護)	5120	講義	2年前期	必修	1／30
概要：人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法で学んだ知識を基に、成人・老年看護実習、統合実習に活かせるよう、がんの治療を受ける成人期の患者および家族の特徴と、全人的苦痛の緩和、その人らしい生活を送るための支援と安らかな死への看護を学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的：がんの治療を受ける成人期の患者および家族の特徴、全人的苦痛の緩和、その人らしい生活を送るための支援、安らかな死への看護を理解する。 到達目標：1. がん医療の現状を理解する。 2. がん患者とその家族の特徴を理解する。 3. がんの治療（薬物療法、放射線療法、造血幹細胞移植）と看護を理解する。 4. 緩和ケアを必要とする患者の看護を理解する。 5. 最期の時を過ごす患者の看護を理解する。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☒③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☐⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					担当教員 久保かほる 浅見多紀子 秋山千恵子 鈴木夕岐子 杉本 真弓 小野 真央 田中 顕治
成績評価方法：1. 小テスト 15% 2. レポート 20% 3. 筆記試験 50%（定期試験） 4. 学習態度 15% 成績評価基準：レポート、学習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、小テスト、筆記試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/11(木) 1限	合同	がん医療の現状	1. がん対策推進基本計画 2. がんサバイバーシップケア 3. がん医療における地域包括ケア 教科書(1)第1章A 第4章A2	浅見
2	4/18(木) 1限	合同	がん医療の現状	1. がん患者の臨床経過 2. がん病変に対する治療の選択 教科書(1)第2章B 第3章A1	浅見
3	4/25(木) 1限	合同	がんの治療を受ける患者の看護	＊小テスト（1, 2回の内容） 1. 薬物療法の流れと治療計画 2. 抗悪性腫瘍薬の種類と特徴 3. 薬物療法における看護 教科書(1)第3章C, 第5章C	杉本
4	5/2(木) 1限	合同	がんの治療を受ける患者の看護	1. 放射線療法の特徴と流れ 2. 放射線療法における看護 教科書(1)第3章D, 第5章D (2)第8, 9章	杉本
5	5/9(木) 1限	合同	がんの治療を受ける患者の看護	1. 造血幹細胞移植の特徴 2. 造血幹細胞移植時の看護 教科書(1)第5章E (3)第4章C, 第5章D	杉本

6	5/16(木) 1限	合同	緩和ケアを必要とする患者の看護	*小テスト (3, 4, 5回の内容) 1. 緩和ケアの定義、理念 2. がん患者の苦痛 (トータルペイン) 3. 緩和ケアにおける倫理的課題 教科書(5)第1章AB, 第4章	浅見
7	5/23(木) 1限	合同	緩和ケアを必要とする患者の看護	1. 全人的ケア 1) 身体的ケア 2) 心理的ケア 3) 社会的ケア 4) スピリチュアルケア 2. 緩和ケアにおけるチームアプローチ 教科書(5)第5章	浅見
8	5/30(木) 1限	合同	最期の時を過ごす患者の看護	1. 人生の最期の時を過ごしている患者の心理過程 2. 人生の最期の時を過ごしている患者の特徴 3. 臨死期の概念 4. 人生の最期の時を支える援助 教科書(4)第9章 (5)第7, 8章	杉本
9	6/6(木) 1限	合同	1～8 回学習内容の応用	*小テスト (6, 7, 8回の内容) 1. 乳がん患者の事例に対する看護 1) 乳がん患者の経過 グループディスカッション (*学習態度)	担当教員 全員
10	6/13(木) 1限	合同	1～8 回学習内容の応用	2) 術前の薬物療法時の看護 グループディスカッション (*学習態度)	担当教員 全員
11	6/20(木) 1限	合同	1～8 回学習内容の応用	3) 術後の放射線治療時の看護と退院支援 グループディスカッション (*学習態度)	担当教員 全員
12	6/27(木) 1限	合同	1～8 回学習内容の応用	4) 緩和ケア グループディスカッション (*学習態度)	担当教員 全員
13	7/4(木) 1限	合同	1～8 回学習内容の応用	5) 最期の時を過ごす患者・家族への援助 グループディスカッション (*学習態度)	担当教員 全員
14	7/11(木) 1限	合同	1～8 回学習内容の応用	6) 臨死期の援助 グループディスカッション (*学習態度)	担当教員 全員
15	7/18(木) 1限	合同	1～8 回学習内容の応用	7) まとめ プレゼンテーション (*学習態度) *レポート (9～15回の内容)	担当教員 全員

履修者へのコメント：

1. 履修条件はありません。

2. 履修にあたっての心構えと要望

1) この科目を履修する場合、1年次のGPA2.3以上であることが望ましい。

2) 小テストは、該当日の授業開始時に実施します。採点后1週間以内に返却しますので、必ず復習してください。

3) 学習態度は別紙評価基準に基づき、グループディスカッションへの参加状況を評価します。

4) レポートは9～15回のグループディスカッション、プレゼンテーションの内容をまとめ、別紙評価表で自己評価をしてから提出してください。

3. 出席確認

呼名またはリアクションシートや小テストの提出で行います。

4. その他

1) 講義に関する連絡は授業時、または掲示で行います。

2) 講義に関する質問は授業時間内、またはオフィスアワーで対応します。積極的に質問してください。

3) 実務経験（看護師）のある教員による授業科目です。

準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：授業の内容を確認し、教科書の該当ページを読んでください。 復習 30 分以上：授業での説明内容や教科書の重要部分をノートに整理してください。
課題に対するフィードバック： 1) 小テストは回収後に解説をしますので、ノートや資料を活用して振り返りをしてください。 2) レポート、学習態度は採点后に返却しますので、コメントを確認してください。 3) 筆記試験は採点后、全体の傾向と個別の点数をフィードバックします。
オフィスアワー： 授業時間外は月曜日から金曜日の 9:00～17:00 に研究室 23 浅見が対応します（実習等で不在の時もある）。
教科書： (1) 小松浩子・他共著『系統看護学講座別巻 がん看護学 第 3 版』（医学書院）2023 年 (2) 福田国彦・他共著『系統看護学講座別巻 臨床放射線医学 第 10 版』（医学書院）2021 年 (3) 飯野京子・他共著『系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学 [4] 血液・造血器 第 版』（医学書院）2019 年 (4) 小松浩子・他共著『系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学 [1] 成人看護学総論 第 16 版』（医学書院）2022 年 (5) 恒藤暁・他共著『系統看護学講座別巻 緩和ケア 第 3 版』（医学書院）2020 年
参考書： (1) 池田正・他共著『系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学 [9] 女性生殖器 第 15 版』（医学書院）2019 年 その他、自主的に求める

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
成人看護技術	5121	演習	2年後期	必修	2/30
概要：人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進、「基礎看護学」、「成人看護概論」「成人看護Ⅱ」で学んだ知識を基盤とし、成人・老年看護実習、統合実習に活かせるよう、様々な健康状態にある成人期の患者及び家族に対する臨床判断と看護技術を、演習を通して学習する。シラバス巻頭のカリキュラムマップを参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的：成人期にある対象の健康問題の判別、解決に必要な基礎的知識を理解し、基本技術を身につける。					久保 かほる 浅見 多紀子 秋山 千恵子 鈴木 夕岐子
到達目標： 1. 健康障害をきたした成人期にある対象の看護過程の技術を身につける。 2. 健康障害をきたした成人期にある対象への看護技術を身につける。					杉本 真弓 小野 真央 田中 顕治
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☐ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☐ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					志賀 路子 橋本 舞 吉田 昌実
成績評価方法：1. 実技試験 40% 2. 学習態度（演習への取り組み方） 30% 3. 記録・レポート・その他 30%					
成績評価基準：記録・レポート・実技試験は別紙評価基準に基づいて評価し、学習態度の総合的点を GPA 実施規則の評価基準に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/24(火) 1 限	A	オリエンテーション 周手術期の看護過程①	1. 成人看護技術の進め方と記録の方法 1)第1～15回の進め方 2)成人看護技術の記録様式の使用法	担当教員 全員
	9/24(火) 2 限	B		2. 術前及び術後急性期の看護問題の明確化 3. 術前及び術後急性期の看護計画の立案 ディスカッション	
2	10/1(火) 1 限	A	周手術期の看護過程②	1. 術前及び術後急性期の看護問題の明確化 2. 術前及び術後急性期の看護計画の立案	担当教員 全員
	10/1(火) 2 限	B		ディスカッション	
3	10/8(火) 1 限	A	周手術期の看護技術①	1. 術後ベッドの作成の行動計画の立案 1)術後ベッドの作成の行動計画の立案	担当教員 全員
	10/8(火) 2 限	B		2)術後ベッドの作成のポイント及び根拠 ディスカッション	
4	10/15(火) 1 限	A	周手術期の看護技術②	1. 術後患者のフィジカルアセスメント 1)術後患者のフィジカルアセスメントのポイント及び根拠	担当教員 全員
	10/15(火) 2 限	B		2)術後患者のフィジカルアセスメントの行動計画の立案 3)術後患者のフィジカルアセスメントの実施 ディスカッション・実習	

5	10/22(火) 1 限	A	周手術期の 看護技術③	1. 術後患者のフィジカルアセスメント 1)術後患者のフィジカルアセスメントのポイント及び根拠 2)術後患者のフィジカルアセスメントの行動計画の立案 3)術後患者のフィジカルアセスメントの実施 ディスカッション・実習	担当教員 全員
	10/22(火) 2 限	B			
6	10/29(火) 1 限	A	周手術期の 看護技術④	1. 術後患者の寝衣交換 1)術後患者の寝衣交換のポイント及び根拠 2)術後患者の寝衣交換の行動計画の立案 ディスカッション・実習	担当教員 全員
	10/29(火) 2 限	B			
7	11/5(火) 1 限	A	周手術期の 看護技術⑤	1. 術後患者の寝衣交換 1)術後患者の寝衣交換のポイント及び根拠 2)術後患者の寝衣交換の行動計画の立案及び修正 3)術後患者の寝衣交換の実施 ディスカッション	担当教員 全員
	11/5(火) 2 限	B			
8	11/12(火) 1 限	A	周手術期の 看護技術⑥	1. 血糖測定 1)血糖の働きや基準値、症状の機序、術後の生体反応と血糖の関連 2)血糖測定の手順と根拠及びポイント 3)血糖測定の実践 ディスカッション・実習	担当教員 全員
	11/12(火) 2 限	B			
9	11/19(火) 1 限	A	周手術期の 看護技術⑦	1. 術後患者の寝衣交換 1)術後患者の寝衣交換のポイント及び根拠 2)術後患者の寝衣交換の行動計画の立案及び修正 ディスカッション・実習	担当教員 全員
	11/19(火) 2 限	B			
10	11/26(火) 1 限	A	周手術期の 看護技術⑧	1. 術後患者の寝衣交換 1)術後患者の寝衣交換のポイント及び根拠 2)術後患者の寝衣交換の行動計画の立案及び修正 3)術後患者の寝衣交換の実施 ディスカッション	担当教員 全員
	11/26(火) 2 限	B			
11	12/3(火) 1 限	A	周手術期の 看護技術⑨	1. 術後患者の寝衣交換 1)術後患者の寝衣交換のポイント及び根拠 2)術後患者の寝衣交換の行動計画の立案及び修正 3)術後患者の寝衣交換の実施 ディスカッション・実習	担当教員 全員
	12/3(火) 2 限	B			
12	12/10(火) 1 限	A	周手術期の 看護技術⑩	1. 術後患者の寝衣交換 *実技試験	担当教員 全員
	12/10(火) 2 限	B			
13	1/7(火) 1 限	A	周手術期の 看護過程③	1. 術後回復期の看護問題の明確化 2. 術後回復期の看護計画の立案 ディスカッション	担当教員 全員
	1/7(火) 2 限	B			
14	1/14(火) 1 限	A	周手術期の 看護技術⑪	1. 術後回復期の援助 1)術後回復期の援助のポイント及び根拠 2)術後回復期の援助の行動計画の立案及び修正 3)術後回復期の援助の実施 ディスカッション	担当教員 全員
	1/14(火) 2 限	B			

15	1/21(火) 1 限	A	周手術期の 看護技術⑫	1. 術後回復期の援助 1)術後回復期の援助の実施 ディスカッション・実習	担当教員 全員
	1/21(火) 2 限	B			
履修者へのコメント：					
1. 履修条件：次の科目が履修中または単位を修得していること。①成人看護概論 ②成人看護Ⅰ ③成人看護Ⅱ ④成人看護Ⅲ					
2. 履修にあたっての心構えと要望（第1回授業時に詳細を追加説明します）					
1) この科目を履修する場合、1年次までのGPA2.3以上であることが望ましい。					
2) 学習態度（演習への取り組み方）は、1～15回の授業での準備性・意見の表出・積極性・傾聴・協調性などを評価する。					
3) 記録・レポートの課題、それらの提出期限については第1回授業時に詳細を追加説明する。					
4) 図書館を有効に活用し、教科書や授業ノート・参考資料等を持参してディスカッションに参加すること。					
5) 本科目はディスカッションで行います。グループメンバーと協力し、メンバー全員で積極的に課題に取り組むこと。					
3. 出席確認方法					
演習時に担当教員がグループごとに出席確認を行う。					
4. その他					
①演習に関する連絡はWeb Class内で行う。必ず確認する。					
②演習に関する質問は、授業時間内に積極的にする。					
③実務経験（看護師）のある教員による授業科目である。					
準備学習の内容及び必要時間：					
予習1時間以上：人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ、疾病治療論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、基礎看護学、成人看護概論、成人看護Ⅱで学習した知識・技術を活用する。既習の内容をふまえてディスカッションで積極的に発言できるように記録に記載し準備をする。（事前学習の詳細については、7月初旬に掲示する）					
復習1時間以上：グループでのディスカッションの内容をもとに、記録の追加・修正、学習の追加を行う。					
課題に対するフィードバック：					
実技試験については授業時間内にフィードバックを行う。提出された記録については授業内外において返却・解説を行う。					
オフィスアワー：					
1) 授業時間外の質問は、月曜日から金曜日 8:30～17:00 の間に担当教員が対応します。 （会議等で不在の場合もあります。）					
2) 非常勤講師の場合は、授業終了後に教室で対応します。					
授業日以外に質問がある場合は鈴木が対応します。（実習等で不在の場合もあります。）					
教科書：					
（1）秋葉公子共著『看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 第4版』（ヌーヴェルヒロカリ）2013年					
（2）矢永勝彦共著『系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 第11版』（医学書院）2023年(疾病治療論Ⅰで購入済み)					
（3）北島政樹編『系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 第9版』（医学書院）2023年(疾病治療論Ⅰで購入済み)					
（4）吉岡成人共著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学[6]内分泌・代謝』（医学書院）2024年 （成人看護Ⅰで購入済み）					
参考書：成人看護Ⅱの参考書を参照する。					
（1）大久保昭行・井上智子編『わかる！検査値とケアのポイント [第2版]』（医学書院）2016年					
（2）東京女子医科大学糖尿病センター編『糖尿病の治療マニュアル第6版』（医歯薬出版）2012年					
（3）高木永子監『看護過程に沿った対症看護 第5版』（学研）2018年					
（4）新見明子編『根拠がわかる疾患別看護過程 改訂第3版』（南江堂）2021年					
（5）藤崎 郁著『フィジカルアセスメント完全ガイド 第3版』（学研メディカル秀潤社）2017年					
（6）本庄恵子・吉田みつこ監『写真でわかる臨床看護技術2 アドバンス (Web 動画付) 呼吸・循環・創傷ケアに関する看護技術を中心に！』（インターメディカ）2020年					
その他、自主的に求める。					

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6 (2024) 年度
授業科目名		ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
老年看護 (高齢者の心身機能の変化と生活機能を支える看護)		5125	講義	2 年前期	必修	1/30
概 要 : 人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度、看護の基本、「老年看護概論」で学んだ知識を基に、高齢者に特徴的な疾病・障害と生活行動の視点に基づいた看護について学ぶことで老年看護を実践するための必要な基本知識を身につける。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。						担当教員
目 的 : 加齢に伴う心身機能の変化や疾病・障害の特徴と高齢者における健康のとらえかたについて理解し、高齢者の生活機能を支えるための看護について学ぶ。						瀧山 文恵 荒川 みひろ
到達目標 : 1. 高齢者の健康を支えるための生活機能を整える看護について説明できる。 2. 加齢に伴う変化をふまえた高齢者の生活と看護について説明できる。 3. 高齢者の健康逸脱からの回復を促す看護について説明できる。 4. 認知症高齢者の支援について説明できる。 5. 高齢者のリスクマネジメントについて説明できる。 6. 高齢者のエンドオブライフケアについて説明できる。						持田 奈穂美 鈴木 敦子
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☐ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						
成績評価方法：1. 筆記試験 1 回(55%) 2. 授業内容確認テスト 1 回(30%) 3. レポート 3 回(15%) 成績評価基準：レポートはルーブリック評価表に基づいて評価し、筆記試験、授業内容確認テスト、レポートの総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容		担当者
1	4/8 (月) 2 限	合同	高齢者の健康を支えるための看護	1. 高齢者の健康のとらえかた 2. 老年看護の役割 教科書(1) : P. 2-22、73-78 *WebClass 上の確認テスト		荒川
2	4/10 (水) 3 限	合同	高齢者の生活機能を整える看護 [1] -コミュニケーション-	1. 視力障害のある高齢者の看護 2. 難聴のある高齢者の看護 3. 高齢者におけるセクシュアリティ 教科書(1) : P. 97-101、198-209、213 - 218 *WebClass 上の確認テスト		荒川
3	4/22 (月) 2 限	合同	高齢者の生活機能を整える看護 [2] -食事① (摂食・嚥下)-	1. 加齢による食生活の変化(摂食・嚥下) 2. 摂食嚥下能力のアセスメント 3. 摂食嚥下障害のある高齢者の看護 教科書(1) : P. 146-159 *WebClass 上の確認テスト ※レポート課題①：「高齢者の摂食・嚥下機能の変化と援助」 (PC 作成可) 提出期限：4 月 22 日(月)授業時		瀧山

4	5/13 (月) 2限	合同	高齢者の生活機能を整える看護 [3] -食事②(低栄養)-	1. 誤嚥性肺炎予防のための口腔ケア 2. 高齢者の栄養状態の変調(PEM・サルコペニア肥満) 3. 栄養状態のアセスメント 4. 高齢者の低栄養状態の予防と改善の援助 教科書(1) : P. 118-119、149-161 *WebClass 上の確認テスト	瀧山
5	5/20 (月) 2限	合同	高齢者の生活機能を整える看護 [4] -排泄-	1. 加齢による排泄(排尿・排便)機能の変化 2. 排尿障害のアセスメントとケア 3. 排便障害のアセスメントとケア ※レポート課題②:「紙おむつでの排泄体験をとおして考える高齢者の排泄ケア」(PC作成可) (アクティブ・ラーニング; 体験学習) 提出期限: 5月27日(月)授業時 提出先: 特設ボックス 教科書(1) : P161-172 *WebClass 上の確認テスト	持田
6	5/24 (金) 3限	合同	高齢者の生活機能を整える看護 [5] -清潔-	1. 高齢者に生じやすい清潔に関する健康課題 1) 皮膚障害 2) 清潔のアセスメント能力の変化 2. 清潔のアセスメント 3. 清潔の援助 教科書(1) : P172-185 *WebClass 上の確認テスト	荒川
7	5/27 (月) 2限	合同	健康逸脱からの回復を促す看護 [1] -症候のアセスメントと看護-	1. 掻痒(かゆみ) 1) 老人性皮膚掻痒症がある高齢者の看護 2) 疥癬に罹患した高齢者の看護 2. 脱水 3. 褥瘡・スキンテア 教科書(1) : P234-241, 248-254 *WebClass 上の確認テスト	荒川
8	6/10 (月) 2限	合同	高齢者の生活機能を整える看護 [6] -生活リズム-	1. 高齢者の生活リズムの変調(睡眠・覚醒) 2. 生活リズムのアセスメントとケア 教科書(1) : P. 185-198 *WebClass 上の確認テスト	荒川
9	6/17 (月) 2限	合同	高齢者の生活機能を整える看護 [7] -日常生活を支える基本的活動-	1. 基本動作と環境のアセスメント 2. 転倒のアセスメントと看護 3. 廃用症候群のアセスメントと看護 教科書(1) : p 122-146 *WebClass 上の確認テスト	荒川
10	6/24 (月) 2限	合同	健康逸脱からの回復を促す看護 [2] -身体疾患のある高齢者の看護-	1. パーキンソン病・パーキンソン症候群 2. 骨粗鬆症 3. 骨折 教科書(1) : P267-269, 275-282 *WebClass 上の確認テスト	荒川
11	7/1 (月) 2限	合同	治療を必要とする高齢者の看護 [1] -薬物療法を受ける高齢者の看護-	1. 加齢に伴う薬物動態の変化 2. 薬物有害事象と老年症候群 3. 薬物療法における援助 教科書(1) : P321-326 *WebClass 上の確認テスト	持田

12	7/8 (月) 2 限	合同	健康逸脱からの 回復を促す看護 [3] -認知症の理解-	1. 認知症の定義と鑑別 2. 代表的な 4 つの認知症と特徴 3. 認知症の症状 4. 認知症の診断・治療・予防 教科書(1) : P. 282-307 *WebClass 上の確認テスト	瀧山
13	7/12 (金) 3 限	合同	健康逸脱からの 回復を促す看護 [4] -認知症高齢者の 看護-	1. 認知症のケアの看護 2. 認知症高齢者と家族へのサポートシステム 教科書(1) : P. 307-316 *WebClass 上の確認テスト	瀧山
14	7/22 (月) 2 限	合同	高齢者のリスク マネジメント	1. 高齢者と救命救急 1) 救急を受診する高齢者の特徴 2) 救命救急場面における看護師の役割 2. 高齢者と災害 1) 災害における高齢者の脆弱性 2) 災害フェーズと高齢者支援 教科書(1) : P. 395-397, 397-406 *WebClass 上の確認テスト	持田
15	7/24 (水) 2 限	合同	高齢者のエンド オブライフケア	1. エンドオブライフケアの概念 2. 「生きる」ことを支えるケア 3. 意思決定への支援 4. 末期段階に求められる援助 5. 介護保険施設における看取りケアとチームケア 教科書(1) : P. 348-358 *WebClass 上の確認テスト ※レポート課題③:「看護師に必要な高齢者のエンドオブライフケ アにおける意思決定支援」(PC 作成可) 提出期限: 7 月 29 日(月)9:00 提出先: 持田メールボックス	持田 鈴木

履修者へのコメント:

1. 履修条件

老年看護概論が履修済みであること

2. 履修にあたっての心構えと要望

1) 「老年看護」を履修する場合、GPA1.9 以上が望ましい

2) 1 年次で学習した(解剖学、生理学、疾病総論)知識をふまえ、老年看護では生涯発達論(老年期)、老年看護概論の学習を復習して授業に臨んでください。

3. 出席確認

授業参加後から翌日 23:59 までに WebClass 上の出席確認アンケートを実施してください。万が一、期限内の実施を忘れた場合は、授業担当者に直接申し出てください。

4. その他

1) 講義に関する連絡はメールまたは WebClass 掲示板で確認してください。

2) 老年看護 I の単位が取得できていない学生は、3 年次の老年看護実習 I・II を履修することができません。

3) 実務経験(看護師)のある教員による講義科目です。

準備学習の内容及び必要時間:

1. 予習 30 分以上: WebClass 確認テストを実施し、分からなかった設問や言葉を、教科書を使って調べておく。

2. 復習 30 分以上: WebClass 確認テストを実施し、間違った点やあいまいな点は授業資料や教科書を活用し説明できるようにしておく。

3. 上記 1. 2. の確認テストは、皆さんの知識修得をサポートするものであると同時に、成績評価の 30%に該当します。

各回、100%の正答で2点分を取得できます（1回2点×15回＝合計30点を配点）。回数制限はありませんが、実施できる期間は授業から1週間です。毎回100%の知識修得を目指して何度でもチャレンジしましょう。
課題に対するフィードバック： - 筆記試験は、試験実施後に解説します。不明な点がありましたら遠慮なく質問をしてください。 - レポートはルーブリックによるフィードバックを行います。
オフィスアワー： 授業時間外の質問はWebClass アンケートまたはメールで行うか平日 8：30～17：00 に担当教員の研究室に直接いらしてください。（臨地実習等のため不在の場合もあります）。
教科書： （1）北川公子共著 『系統看護学講座 専門分野 老年看護学』（医学書院）2023.（1年次に購入済み）
参考書： （1）財団法人厚生統計協会編『国民衛生の動向・厚生指標』（厚生統計），2023/2024. （2）堀内ふき・大淵律子・諏訪さゆり・山本恵子編『ナースンググラフィカ 老年看護学①高齢者の健康と障害 第7版』（メディカ出版）2023. ナースング・グラフィカ （3）堀内ふき・大淵律子・諏訪さゆり・山本恵子編編『ナースンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 第6版』（メディカ出版）2023. （4）正木治恵、真田弘美編『老年看護概論―「老いを生きる」を支えることとは―改定第4版』（南江堂）2023.

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
老年看護技術	5126	演習	2年後期	必修	2/30
概 要： ICF (国際生活機能分類) を基盤とした目標志向型思考による老年看護の実践方法について学習する。高齢者を統合的にとらえ、生活機能をアセスメントするとともに、高齢者がもっている力を発揮し健康のニーズを達成するための援助方法を演習を通して学習する。 シラバス巻頭の「科目構造図」と「科目進度表」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的： 高齢者の健康を生活機能の観点から全体的(ホリスティック)にアセスメントし、加齢の変化や疾病、障害をもちながらも高齢者が望む生活を支える目標志向型思考の看護を実践するための基礎的知識・技術・態度について学ぶ。高齢者の健康のニーズを支えるうえで保健医療福祉メンバー、家族と協働する重要性について理解する。 到達目標： 1. 国際生活機能分類(ICF)にもとづいた目標志向型思考の老年看護を展開する意義を説明できる 2. 事例高齢者の全体像をホリスティックにとらえ、生活機能の観点から健康アセスメントできる 3. 事例高齢者の健康のニーズと看護の方向性、看護の焦点(目標)を説明できる 4. 事例高齢者の生活機能におけるマイナス面、プラス面をアセスメントし、もっている力を発揮し対象者の望む生活に結びつく目標と援助計画を立案できる。 5. 事例高齢者の日常生活援助技術が実施できる 6. 保健医療福祉チームの一員として、多職種と連携し高齢者と家族の健康を支える看護について説明できる。 卒業認定・学位授与方針(ディプロマポリシー) / 学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☒③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☒⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					担当教員 瀧山 文恵 荒川 みひろ 持田 奈穂美 田幡 清美 齋藤 宏一 非常勤講師
成績評価方法： 1. 指定された学習課題(学習態度含む)：60% 2. 実技試験：15% レポート：5% 3. 小テスト(筆記)：20% 成績評価基準：学習課題、実技試験、レポートは評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、授業内試験(筆記)との総合点をGPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/25 (水)	3 限 合同	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [1]	※初回授業までにWebClass上の「オリエンテーション」から動画視聴(老年看護学の学習過程と本科目の位置づけ)とオリエンテーション確認テストを実施しておくこと。 1. 国際生活機能分類(ICF)にもとづいた目標志向型思考の老年看護を展開する意義 2. 高齢者の全体像と健康の捉え方 (グループ・ディスカッション) 教科書(1)P73 - 83, 408-410, 小冊子 課題：高齢者の全体像	瀧山 荒川 持田

2	9/25 (水)	4 限 合同	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [2] 情報収集① 個人因子	1. 高齢者の「個人因子」が生活機能に及ぼす影響と情報収集の方法 2. 高齢者の「心身機能・身体構造」の情報を把握する目的と意義 教科書(1)P86 - 92, 小冊子	荒川 瀧山 持田
3	10/2 (水)	3 限 B クラス 4 限 A クラス	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [3] 情報収集②PA	1. 高齢者の「心身機能・身体構造」の情報を把握する目的と意義 2. 事例にもとづいた「心身機能・身体構造」の情報収集(視覚・聴覚のフィジカルアセスメント: 演習) 3. 生活機能における高齢者のもっている力(強み)についてのアセスメント 教科書(1)P. 86-87, 97-101 (2)P124~162 小冊子 *学内実習 課題: フィジカルアセスメント学習用紙	持田 瀧山 荒川 齋藤 非常勤
4	10/9 (水)	3 限 B クラス 4 限 A クラス	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [4] 情報収集③PA	1. 事例にもとづいた「心身機能・身体構造」の情報収集(嚥下機能、神経系のフィジカルアセスメント: 演習) 2. 生活機能における高齢者のもっている力(強み)についてのアセスメント 教科書(1)P. 86-87, 101-102, 150-153 (2)P124~162 *学内実習 課題: フィジカルアセスメント学習用紙	持田 瀧山 荒川 齋藤 非常勤
5	10/16 (水)	3 限 B クラス 4 限 A クラス	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [5] 情報収集④PA	1. 事例にもとづいた「心身機能・身体構造」の情報収集(筋骨格系のフィジカルアセスメント: 演習) 2. 生活機能における高齢者のもっている力(強み)についてのアセスメント 教科書(1)P. 86-87, 105 (2)P124~162 *学内実習 課題: フィジカルアセスメント学習用紙	持田 瀧山 荒川 齋藤 非常勤
6	10/23 (水)	3 限 B クラス 4 限 A クラス	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [6] 情報収集⑤ 高齢者総合機能評価	1. 高齢者総合機能評価(CGA)を活用した「精神機能」「ADL」の情報収集: 演習【教室】 1) 精神機能の評価と支援 2) 日常生活機能の評価と支援 2) 能力(できる ADL)と実行状況(している ADL)の把握と潜在能力を引き出す支援 (体験学習)	荒川 瀧山 持田
7	10/30 (水)	3 限 B クラス 4 限 A クラス	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [7] 健康のニーズ、看護の方向性、看護の焦点	1. 高齢者の健康アセスメント 1) 事例高齢者の健康のニーズ 2) 健康のニーズを満たすための看護の方向性 3) 事例高齢者の看護の焦点と優先順位 教科書(1) P. 413-417, 小冊子	瀧山 荒川 持田
8	11/6 (水)	3 限 合同	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [8] 多職種連携実践	1. 高齢者をとりまく「環境因子(人的環境)」と多職種連携のありかた 1) 高齢者の健康のニーズを支える多職種連携実践(IPW) 2) 多職種連携における看護師の役割 (グループ・ディスカッション) 教科書(1) P. 50-52, 383 - 385 課題: EVO の視聴/WebClass 上の課題	田幡 瀧山 荒川 持田

9	11/13 (水)	3 限 B クラス 4 限 A クラス	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [9] 援助計画の立案 (分析・解釈)	1. 事例高齢者の生活機能を向上するための援助計画の立案 1) 高齢者が望む生活に向かって、持っている力を発揮し、安全で満足な生活を送っている姿 (グループ・ワーク) 教科書(1)P. 410 - 420, 小冊子 課題 : 病態に関する学習用紙、援助計画の立案	荒川 瀧山 持田 齋藤 非常勤
10	11/20 (水)	3 限 B クラス 4 限 A クラス	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [10] 援助計画の立案 (分析・解釈)	1. 事例高齢者の生活機能を向上するための援助計画の立案 1) 高齢者の生活に影響を及ぼしているマイナス面とプラス面(高齢者のもっている力: 強み)のアセスメント 2) 看護の方向性 (グループ・ワーク) 教科書(1)P. 410 - 420, 小冊子 課題 : 病態に関する学習用紙、援助計画の立案	荒川 瀧山 持田 齋藤 非常勤
11	11/27 (水)	3 限 B クラス 4 限 A クラス	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [11] 目標設定と援助計画の立案	1. 事例高齢者の生活機能を向上するための援助計画の立案 1) 看護の焦点を達成するための短期目標、長期目標の設定 2) 援助計画の立案 教科書(1)P. 410 - 420, 小冊子 課題 : 病態に関する学習用紙、援助計画の立案 1. 事例にもとづいた高齢者の健康を支える援助計画の立案 1) 事例高齢者の援助計画(短期目標、長期目標、援助計画) (グループ・ワーク) 教科書(1)P. 417 - 420, 小冊子 課題 : 看護計画立案	瀧山 荒川 持田
12	12/4 (水)	3 限 B クラス 4 限 A クラス	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [12] 援助計画の実践	1. 事例高齢者の生活機能を向上するための援助計画の実践 1) 対象者の心身機能、個人因子に配慮したコミュニケーション 2) 安全・安楽・自立に配慮した移動の援助 3) 安全・安楽・自立に配慮した食事環境の調整 *学内実習	瀧山 荒川 持田 齋藤 非常勤
13	12/11 (水)	3 限 合同	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [13] SOAP、評価	1. 援助計画に基づいた看護実践の評価 1) 援助計画に基づいた看護実践と評価-SOAP- 2) 援助計画の目標評価と援助計画の追加・修正 教科書(1)P. 417 - 420, 小冊子 課題 : SOAP、目標の評価・プランの修正	瀧山 荒川 持田
14	1/15 (水)	3 限 B クラス 4 限 A クラス	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [14] 実技試験	1. 事例高齢者の生活機能を向上するための援助計画の実践 1) 心身機能、個人因子に配慮したコミュニケーション 2) 安全・安楽・自立に配慮した移動の援助 3) 安全・安楽・自立に配慮した食事環境の調整 2F・3F 実習室 ※実技試験 ※授業時課題提出	瀧山 荒川 持田 齋藤 非常勤
15	1/22 (水)	3 限 B クラス 4 限 A クラス	ICF にもとづいた目標志向型思考の看護 [15] まとめ	*小テスト 30 分(第 1~10 回授業の筆記試験) 1. 老年看護における目標志向型思考の看護展開のまとめ 1) ポートフォリオの作成 教科書(1)P. 417 - 420, 授業資料全て	瀧山 荒川 持田

履修者へのコメント： - 履修条件 1) 老年看護概論、老年看護を履修中、または単位を修得していること - 履修にあたっての心構えと要望(第1回授業時に詳細を追加説明する) 1) この科目を履修する場合は、1年次からの累積GPAが1.9以上が望ましい 2) 本科目は事例をもとに、進めていくため授業内に配付される事例を熟読しておいてください。 3) 図書館を有効に活用し、主体的に学習を進めてください。演習は、グループメンバーと協力し、課題に取り組んでください。 4) 第1回授業開始前にWebClassにオリエンテーション動画「老年看護学の学習過程と本科目の位置づけ」のURLを提示します。またオリエンテーションに関する確認テストを提示します。必ず実施のうえ参加してください。 - 技術演習について (1) 技術演習を行う際は、臨地実習と同様の身だしなみで参加してください(1・2年次看護実習要項参照)。また、演習中はマスク、ゴーグルを必ず着用してください。 (2) PAの技術演習を行う際は以下のものを持参してください。①フィジカルアセスメント学習用紙 ②フィジカルアセスメントに関する参考書 ③バインダー ④時計 - 出席確認方法 授業参加後から翌日 23:59 までにWebClass上の出席確認アンケートを実施してください。万が一、期限内の実施を忘れた場合は、授業担当者に直接申し出てください。 - その他 1) 課題の提出日時等の詳細は初回授業時に提示します。期限は厳守してください。 2) 実務経験(看護師)のある教員による授業科目です。
準備学習の内容及び必要時間： 1. 予習 30 分以上：老年看護概論および老年看護で学習した内容は各自で整理しリングファイルに綴じ、インデックスを付けてください。 2. 第3～5回は、フィジカルアセスメント学習用紙の指定頁を教科書、文献を用いて学習し、まとめてください。前週に演習で実施するフィジカルアセスメントの動画をWebClassにUPします。必ず視聴し、留意点を学習用紙に追加してください。 3. 復習 30 分以上：第3～5回は、WebClassに復習用動画をUPします。各自、活用し学習してください。 4. 授業で使用了資料、課題を振り返り、インデックスを付けて整理しファイルに保管してください。3年次臨地実習でもファイルを活用します。
課題に対するフィードバック： 学習課題、技術試験、レポート結果については、採点・添削後、フィードバックします。不明な点がありましたら、遠慮なく質問してください。
オフィスアワー： 1. 授業時間外の質問は、WebClass アンケートまたはメールで行うか、平日 8:30～17:00 に担当教員の研究室へ直接いらしてください。 2. 教員との面接を希望する場合は、臨地実習等で不在のことがあるため、事前に担当教員と日程を調整することをお勧めします。
教科書： 1. 北川公子共著 『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学』第9版(医学書院)2023。(1年次に購入済み) 2. 香春知永・齋藤やよい編『看護学テキスト NICE 基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する(改訂第3版)』(南江堂)2020。(1年次に購入済み) 小冊子：2024年度老年看護学小冊子 - ICF の概念を用いた生活機能からみた老年看護 - (初回授業時に配付)
参考書： 1. 堀内ふき・大淵律子・諏訪さゆり編『ナースンググラフィカ 老年看護学①高齢者の健康と障害』第7版(メディカ出版)2023。 2. 堀内ふき・大淵律子・諏訪さゆり編『ナースンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践』第6版(メディカ出版)2023。

3. 正木治恵・真田弘美編『老年看護学概論―「老いを生きる」をささえることとは― 改訂第4版』（南江堂）2023.
 4. 正木治恵・真田弘美編『老年看護技術-最後までその人らしく生きることを支援する- 改訂第4版』（南江堂）2023.
 5. 山田律子・荻野悦子・井出訓編『生活機能からみた 老年看護過程+病態・生活機能関連図第4版』（医学書院）2020.
- *その他、自主的に求めること

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
小児看護 (発達段階と健康レベルに応じた子どもと家族の看護)	5130	講義	2 年前期	必修	1/30
概要：1 年次の「小児看護概論」の学習を基に、「疾病治療論Ⅵ」「公衆衛生学」、基礎看護学や地域・在宅看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学、母性看護学の各科目の内容と関連させて、健康障害の程度や発達段階に適した子どもと家族の看護を学習する。本科目の学習内容を基に「小児看護技術」で子どもの援助技術を具体的に学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的：「子どもの権利」擁護を基盤として、健康障害の程度や発達段階に適した子どもと家族の看護に必要な基本的な知識を習得する。入院や通院、在宅等のさまざまな状況および特別な支援を必要とする子どもと家族の看護も具体的に学習する。 到達目標： 1. 子どもの権利擁護の視点から子どもの看護を具体的に理解できる。 2. 小児各期における健康増進のための子どもと家族の看護を理解できる。 3. 小児と家族に関わる法律や施策について理解できる。 4. 病気や入院が子どもと家族に与える影響とその看護を理解できる。 5. さまざまな状況や特別な支援を必要とする子どもと家族の看護を理解できる。 6. 子どもの生理機能と主な症状、その看護を理解できる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					担当教員 霜田 敏子 北田 良子 布施 好朗 加藤 久栄
成績評価方法：1. 小テスト（筆記試験）および定期試験（筆記試験） 70% 2. 個人レポート課題 10% 3. 所定の授業回でのプレゼンテーション 10% 4. 学習態度（WebClass 確認問題&学び・感想の取り組み） 10% 成績評価基準：評価の基準はこの科目の到達目標に対する到達度とし、小テスト・定期試験、個人レポート、所定の授業回のプレゼンテーション、学習態度を点数化の上合計し、GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	4/11 (木) 2 時限	合同	小児各期における健康増進のための子どもと家族への看護①	1. 栄養と食生活 2. 生活リズムの確立 3. セルフケアと保健教育 教科書(1)p. 80～p.87, p.101, p.118～p.119	霜田
2	4/18 (木) 2 時限	合同	小児各期における健康増進のための子どもと家族への看護②	1. 遊びと学習 2. 事故防止と安全教育 3. 感染症と予防 教科書(1)p. プレゼンテーション①②	霜田
3	4/25 (木) 2 時限	合同	小児各期における健康増進のための子どもと家族への看護③	1. 他者との関係 2. 問題行動の防止 3. 思春期の成長・発達 教科書(1) プレゼンテーション③④	霜田

4	5/2 (木) 2 時限	合同	病気の子どもと 家族の看護①	1. 子どもの権利や自律性を尊重した看護 2. 病気・障害や入院が子どもと家族に与える影響 3. 各発達段階の子どもの病気の理解と反応 教科書(1)p.19-p.25 p.212-p.218 プレゼンテーション⑤	霜田
5	5/9 (木) 2 時限	合同	病気の子どもと 家族の看護②	1. 入院における子どもと家族の看護 2. 子どもや家族の対処能力を引き出す援助（プレパレーションなど） 教科書(1)p.218-p.223 ★個人レポート課題提示 提出期限 7 月 26 日(金)17:00	霜田
6	5/16 (木) 2 時限	合同	急性期にある子 どもと家族の看 護 慢性期にある子 どもと家族の看 護	1. 急性期にある疾患をもつ子どもと家族の特徴と反応 2. 急性期にある子どもと家族の看護（川崎病・感染症ほか） 3. 慢性的な経過をたどる疾患をもつ子どもと家族の特徴 4. 発達に応じたセルフケア能力の育成 5. 成人期への移行を目ざした支援 （喘息・糖尿病 ほか） 教科書(1)p.252-p.256 p.248-p.251 プレゼンテーション⑥⑦	霜田
7	5/23 (木) 2 時限	合同	周手術期の子ど もと家族の看護	1. 子どもの手術の特徴 2. 子どもや家族への影響や反応 3. 子どもと家族が安全・安楽に手術を受けるための準備 4. 手術後の子どもと家族の看護を説明できる。 教科書(1)p.256-p.268 プレゼンテーション⑧ ○小テスト（第1回～第6回内容）別の日程に実施	布施
8	5/30 (木) 2 時限	合同	終末期の子ども と家族の看護 先天的な障害の ある子どもと家 族の看護	1. 子どもの生命や死に対する受けとめ方 2. 終末期にある子どもと家族の特徴や反応 3. 終末期にある子どもと家族の看護 4. 先天性障害の種類と特徴 5. 先天的な障害をもつ子どもと家族の看護（ダウン症候群等） 教科書(1)p.269-p.282 (2)p.2-p.15 プレゼンテーション⑨⑩	布施
9	6/6 (木) 2 時限	合同	子どもの症状の 観察と看護①	1. 小児の生理機能と各症状の特徴 2. 各症状の生理機能アセスメントと看護 （不機嫌・啼泣・痛み・発熱・発疹など） 教科書(1)p.344-p.414 プレゼンテーション⑪	北田
10	6/13 (木) 2 時限	合同	子どもの症状の 観察と看護②	1. 小児の生理機能と各症状の特徴 2. 各症状の生理機能アセスメントと看護 （脱水・嘔吐・下痢・呼吸困難・けいれん・意識障害など） 教科書(1)p.344-p.414 プレゼンテーション⑫	北田
11	6/20 (木) 2 時限	合同	ハイリスク新生 児と家族の看護	1. ハイリスク新生児の定義・特徴 2. ハイリスク新生児のおもな疾患と看護 3. 子どもと親（家族）の関係促進のための看護（ディベロップメンタルケアなど）と社会支援制度 4. 新生児・未熟児医療の課題 教科書(2)p.29-p.64 プレゼンテーション⑬	加藤
12	6/27 (木) 2 時限	合同	心身に障害のあ る子どもと家族 の看護 医療的ケアを必 要として退院す る子どもと家族 の看護	1. 心身障害の定義と種類、動向 2. 心身に障害のある子どもと家族の特徴と看護（脳性麻痺他） 3. 在宅療養を必要とする子どもと家族の特徴 4. 子どもと家族の日常生活を整える看護 5. 成長・発達を支える看護 6. 社会資源の活用 教科書(1)p.480-p.492 p.229-p.239 プレゼンテーション⑭⑮	加藤

13	7/4 (木) 2 時限	合同	外来における子どもと家族の看護	1 小児外来の特徴と看護の役割 2 外来受診する子どもと家族の特徴 3. 子どもと家族の看護（トリアージ、診察、セルフケア、在宅支援、育児支援など） 教科書(1)p. 223-p. 228 プレゼンテーション⑩	北田
14	7/11 (木) 2 時限	合同	災害を受けた子どもと家族の看護	1. 災害による子どもへの影響とストレス 2. 災害を受けた子どもと家族への援助 教科書(1) p. 239-p. 246 プレゼンテーション⑪	北田
15	7/18 (木) 2 時限	合同	小児に関わる法律や施策 子どもの虐待と看護	1. 小児と家族に関わる法律や施策（こども基本法、児童福祉法、母子保健法、予防接種法、学校保健安全法など） 2. 子どもの虐待対策の経緯と現状 3. 子どもの虐待のリスク要因・予防・早期発見 4. 子どもと家族の看護 教科書(1)p.162-p.192p.494-p.511 プレゼンテーション⑫	霜田

履修者へのコメント：

- 履修条件 1)「小児看護概論」の単位を修得していないと、履修できない場合もある。
- 履修にあたっての心構えと要望（詳細は第1回授業時、およびその都度、追加説明を行う）
 - 「小児看護」を履修するにあたり、1年次までのGPA2.0以上であることが望ましい。
 - 学習内容や子どもに関する自己の認識を確認し、今後の学習に役立てるため、毎回授業で Web Class の学び・感想を活用し1年次と同様の振り返りを行う。
 - 個人レポート課題として、病気や入院経験、障害をもつ子どもの家族（自分の親・家族を含む）にインタビュー（対面またはリモート）をしてレポートを作成します。詳細は、第4回4/27に説明します。
 - 指定された課題のプレゼンテーションを2名のチームで全員1回ずつ行います。詳細は初回に説明します。
 - 子どもの理解のために、幼児向けTV番組やインターネット上の動画の視聴、実際の子どもの関わり等を推奨します。
- 出席確認
 - 講義開始時にWebClassで確認します。遅刻の取り扱い等については授業初回に伝達します。
- その他
 - 講義に関する連絡は、WebClassやメール、1F掲示板で行います。

準備学習の内容及び必要時間：

予習 30 分以上：シラバスの各回に示されている用語を中心に、教科書や参考書、インターネット等で記事などを読み資料の下調べをして整理しておく。

復習 30 分以上：授業内容を教科書・資料・WebClass 確認問題等で振り返り、学習の要点をまとめて下さい。

課題に対するフィードバック：試験・レポート結果については採点・添削後、フィードバックを行う。

オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付ける。授業時間以外では、月曜日～金曜日の8:30～17:00に、研究室17で霜田が対応します。

教科書：

- 奈良間美穂他著，系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 第14版，医学書院，2023.
- 奈良間美穂他著，系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学② 第14版，医学書院，2024.
- 森恵美他著，系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 第14版，医学書院，2023（母性看護で購入済み）

参考書：

- 「生涯発達論」や「疾病治療論Ⅵ」で使った教科書および資料

授業科目の区分	ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
小児看護技術	5131	演習	2年後期	必修	2/30
概要：1年次の「小児看護概論」の学習を基に、「疾病治療論VI」「公衆衛生学」、基礎看護学や地域・在宅看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学、母性看護学の科目の内容と関連させて、子どもの援助技術を具体的に学習する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的：「子どもの権利」擁護を基盤として、子どもの健康障害の程度、発達段階に適した子どもと家族の看護実践に必要な基本的な知識・技術・態度を習得する。					霜田 敏子
到達目標： - 小児の検査・処置における必要な知識・技術・態度の基本を修得できる。 - 小児の成長・発達評価（身体計測を含む）に必要な知識・技術・態度の基本を修得できる。 - 小児のアセスメント（VS測定を含む）に必要な知識・技術・態度の基本を修得できる。 - 小児の与薬に必要な知識・技術・態度の基本を修得できる。 - 健康障害のある子どもと家族の事例に応じた看護を展開するための方法を理解できる。 - 医療を受ける子どもの最善の利益を守るための看護を考えることができる。 - 子どもや家族との関わりに必要なコミュニケーション・スキル（ユーモアや笑いの意図的活用）を理解できる。					北田 良子
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☐ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					布施 好朗
成績評価方法： - 小テストおよび定期試験（筆記試験）45% - VS測定実技試験10% - 個人課題10% - 演習課題①～⑤への取り組み25% - 学習態度（WebClass予習・復習問題・授業参加度、学び感想の取り組み）10%					原 智子
成績評価基準：実技試験、個人課題・演習課題、学習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、筆記試験との総合点をGPA実施規則に則り評価する。					金子 美結
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/27 (金) 1時限	合同	検査・処置を受ける子どもの看護	1. プレパレーションの意義と発達に応じた方法 2. 子どもの検体採取の留意点 3. 子どもの対処能力（強み）を活かした援助（採血・採尿・骨髄穿刺・腰椎穿刺） 教科書(1)p. 202-206, 218-221, 416-418, 441-456 ★第3回演習の事前準備・課題提示①	布施
2	10/4 (金) 1時限	合同	子どものアセスメント技術（1） 成長・発達の評価①	1. 小児の成長・発達評価の目的と方法 2. 小児の身体計測の目的と方法 3. 乳幼児の特徴をふまえた安全・安楽な身体計測の方法 教科書(1)p. 37-51, 296-302	北田

3	10/11 (金) 1 時限	A	子どものアセスメント技術 (2)	1. 乳幼児の身体計測方法と根拠に基づいた計測 2. 乳児モデルの身体発育評価 教科書(1)p. 37-51, 296-302 □実習, グループワーク	北田、布施、 霜田 原、金子
	10/11 (金) 2 時限	B	成長・発達の評価②		
4	10/25 (金) 1 時限	合同	子どものアセスメント技術 (3) バイタルサイン測定①	1. 子どものアセスメントに必要な技術 2. 子どものバイタルサイン測定方法 3. 乳幼児のバイタルサイン測定時の工夫 教科書(1) p. 284-296, 313-320 ★第6回実習の課題提示②	北田
5	10/25 (金) 2 時限	合同	子どものアセスメント技術 (4) フィジカルアセスメント①	1. 子どもの身体的アセスメント 2. 子どもの成長・発達、および身体各部の観察方法 教科書(1) p. 303-313, 320-342	北田
6	11/1 (金) 2 時限	A	子どものアセスメント技術 (5) バイタルサイン測定②	1. 乳児モデル人形によるバイタルサイン測定の実施 2. 測定時の子どもや家族の反応や気持ちの理解, 事故防止 □実習 教科書(1) p. 284-296, 313-320	北田、霜田 布施 原、金子
	11/1 (金) 1 時限	B			
7	11/22 (金) 1 時限	A	子どものアセスメント技術 (6) バイタルサイン測定③	1. 乳児モデル人形によるバイタルサイン測定 2. バイタルサイン測定の知識・技術・態度 【実技試験】	北田 霜田 布施
	11/22 (金) 2 時限	B			
8	11/29 (金) 1 時限	合同	子どものアセスメント技術 (7)	1. アセスメント技術のまとめ 2. 実技試験のフィードバック ★小テスト (範囲: 第1回～第7回の内容) ★個人課題提示 提出期限 2025/1/17 (金) 9:00	北田
9	11/29 (金) 2 時限	合同	子どもの与薬	1. 子どもの与薬の特徴 2. 子どもの発達に応じた安全な与薬方法 3. 年齢発達に応じた静脈内持続点滴の固定方法 教科書(1) p. 416-441 ★第10回実習の課題提示④	布施
10	12/6 (金) 1 時限	A	子どもの静脈内持続点滴時の看護	1. 年齢・発達に応じた静脈内持続点滴の固定の実施 2. 静脈内持続点滴の観察や管理 3. 静脈内持続点滴中の子どもの生活援助 4. 子どもと家族の気持ちの理解 □実習 教科書(1) p. 416-441	布施 北田 霜田 金子
	12/6 (金) 2 時限	B			
11	12/13 (金) 1 時限	合同	子どもの看護過程 (1)	1. 子どもと家族の看護過程の展開に必要な情報収集・アセスメントの方法 2. ゴードンの機能的健康パターンを用いたアセスメント 3. DVD 事例の情報整理・アセスメント □実習・グループワーク ★第13回プレゼンテーション課題④の説明 教科書 (1) (2) 参考書(2)	霜田
12	1/10 (金) 2 時限/	合同	ユーモアと笑いの活用①	1. ユーモアと笑いの意義 2. 子どもや家族の看護へのユーモア・スキルの活用 参考書(4)	矢島
13	1/17 (金) 1 時限	A	子どもの看護過程 (2)	1. 事例の情報整理・アセスメント 2. 看護問題の明確化, 看護計画の立案・記述 □実習、グループワーク・プレゼンテーション 教科書 (1) (2) 参考書(2)	霜田 北田 布施
	1/16 (木) 3 時限	B			

14	1/17 (金) 2 時限	A	子どもの看護過程 (3)	1. 事例の看護計画の発表・意見交換 2. 看護計画の課題 3. 子どもと家族の人権を尊重した援助 □グループワーク・プレゼンテーション ★第 15 回プレゼンテーション課題⑤の説明 教科書 (1) (2) 参考書(2)	霜田 北田 布施
	1/16 (木) 4 時限	B			
15	1/31 (金) 1 時限	A	子どもの遊び ユーモアと笑いの活用②	1. 子どもと家族が笑顔になれる・楽しめる遊び 2. 子どもの看護にユーモアや笑いを活用する意義 □プレゼンテーション 参考書(4)	霜田 北田 布施 矢島
	1/31 (金) 2 時限	B			

履修者へのコメント：

1. 履修条件

- 1) 「小児看護概論」「小児看護」の単位を修得していないと、履修できない場合もあります。
- 2) 「小児看護技術」の単位が取得できていない学生は、3 年次の小児看護実習Ⅰ・Ⅱを履修することができません。

2. 履修にあたっての心構えと要望（詳細は第 1 回授業時、およびその都度、追加説明を行う）

- 1) 「小児看護技術」を履修するにあたり、1 年次までの GPA2.0 以上であることが望ましい。
- 2) 実習課題①～⑤、事前学習や個人課題は、下記を予定していますが、詳細は、その都度説明します。
①小児の身体測定、②小児のバイタルサイン測定、③持続点滴時の観察・看護、
④看護過程、⑤ユーモア・スキル
- 3) 個人課題は、「小児のバイタルサイン測定」をテーマとしたレポートを作成します。身近な健康児を対象とします。協力を得られそうな対象を考えておいて下さい。詳細は後日説明します。
- 4) 幼児向け TV 番組「おかあさんといっしょ」や「アンパンマン」、インターネット上の動画等の視聴により、子どもの実際を知っておきましょう。

3. 出席確認

WebClass の出席確認へのアクセスで確認します。遅刻の取り扱い等については授業初回に伝達します。

4. その他

- 1) 講義に関する連絡は、WebClass やメール、1F 掲示板で行います。

準備学習の内容及び必要時間：

予習 30 分以上：シラバスの各回に示されている用語を中心に、教科書や参考書で学習して下さい。

復習 30 分以上：授業内容を教科書・資料や Web Class の復習問題で振り返り、学習の要点まとめて下さい。

課題に対するフィードバック：

試験・レポート結果については採点・添削後、フィードバックを行う。

オフィスアワー：

授業時間以外では、月曜日～金曜日の 8:30～17:00 の間に、講義を担当した教員、もしくは北田が直接、またはメールで対応します。（臨地実習で不在の場合もあります。）

教科書：

- (1) 奈良間美穂他著，系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 第 14 版，医学書院，2023.
- (2) 奈良間美穂他著，系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学② 第 14 版，医学書院，2024.

参考書：

- (1) 「生涯発達論」や「疾病治療論Ⅵ」で使用した教科書および資料
- (2) 荃津智子編著，『発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程』第 2 版，医歯薬出版株式会社，2021
- (3) 山元恵子監：写真でわかる小児看護技術 アドバンス，インターメディカ，2017.
- (4) 矢島伸男著，『イラスト版 子どものユーモア・スキル』，合同出版，2017

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6 (2024) 年度
授業科目名		ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
母性看護 (周産期にある対象と その家族への看護)		5135	講義	2 年前期	必修	1/30
概要：看護の基本・ライフサイクルに応じた看護の方法を基に、妊娠・分娩・産褥・新生児各期の身体的・心理的・社会的特徴、妊産褥婦と新生児とその家族に対する健康維持増進と発達への援助、疾病予防または疾病回復に必要な看護の方法を学ぶ。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的：子どもを産み育てるために必要となる、妊娠前からの女性・家族への支援を理解し、妊娠・分娩の母児および家族に対する健康維持・増進、発達への援助および疾病予防または疾病回復に必要な看護を理解する。 到達目標：1. 生命に対する自己の考えを説明できる。 2. 妊娠前（非妊時）の女性への看護（遺伝相談、不妊症）について説明できる。 3. 妊婦の特性と必要な看護について説明できる。 4. 産婦の特性と必要な看護について説明できる。 5. 褥婦の特性と必要な看護について説明できる。 6. 新生児の特性と必要な看護について説明できる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☒③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☒⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						担当教員 <u>大角地久美子</u> 石川 裕貴 山下 智子 非常勤講師
成績評価方法： 1. 定期試験[筆記試験] (60%) 2. 小テスト (30%) 3. レポート (10%) 成績評価基準： 上記3は別紙評価基準に基づいて評価し、定期試験（筆記試験）・小テストとの総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者	
1	4/10 (水) 1 限目	合同	妊娠の生理① 不妊症	1. 母性看護Ⅰの概要の説明、年間スケジュールの説明 2. 遺伝と母性看護との関連 3. 不妊症の検査と治療 4. 不妊症の看護の方法 教科書(1)p14～60 ●レポート提出（講義の感想）：提出期限 4/17（水）8:50	非常勤講師	
2	4/17 (水) 1 限目	合同	妊娠の生理②	1. 妊娠経過に伴い母体に起こる身体的変化 教科書(1)p62～81, p92～132 2. 胎児の成長・発達 教科書(1)p68～81, p100～132	大角地	
3	4/24 (水) 1 限目	合同	妊娠の生理③	1 妊婦とその家族の心理・社会的変化 教科書(1)p82～91	大角地	
4	5/1 (水) 1 限目	合同	妊娠の看護①	1. 妊娠初期の妊婦とその家族への日常生活に対する看護 教科書(1)p133～182	大角地	

5	5/8 (水) 1 限目	合同	妊婦の看護②	1. 妊娠中～末期の妊婦とその家族への日常生活に対する看護 教科書: (1)p133～182	大角地
6	5/15 (水) 1 限目	合同	妊婦の看護③	1. 妊婦に起こりやすい健康逸脱とその看護 教科書: (1)p380～422	大角地
7	5/22 (水) 1 限目	合同	産婦の看護①	1. 分娩の3要素 [小テスト] 2. 分娩経過に伴い母体に起こる身体的変化 教科書(1)p184～211 3. 産婦とその家族の心理・社会的変化 4. 産婦・家族と胎児のアセスメント 教科書(1)p211～226	山下
8	5/29 (水) 1 限目	合同	産婦の看護②	1. 分娩経過に沿った看護の方法 2. 産婦に起こりやすい異常とその看護 3. 腹式帝王切開による分娩と看護 4. 無痛分娩と看護 教科書(1)p423～489	山下
9	6/5 (水) 1 限目	合同	褥婦の看護①	1. 産褥期の身体的変化（退行性変化・進行性変化） 教科書(1)p322～334, (2)p116～154, (3)p20～30, 126～149	大角地
10	6/12 (水) 1 限目	合同	褥婦の看護②	1. 産褥経過の診断 2. 褥婦の健康状態のアセスメント 3. 身体機能の回復および進行性変化への看護 教科書(1)p334～355, p341～343, (2)p116～154, (3)p20～52, 126～149	大角地
11	6/19 (水) 1 限目	合同	褥婦の看護③	産褥期の心理・社会的変化 1. 児との関係確立への看護 2. 育児にかかわる看護 3. 家族関係再構築への看護 4. 施設退院後の看護 教科書(1)p356～378, (2)p116～154, (3)p20～52, 126～149	大角地
12	6/26 (水) 1 限目	合同	褥婦の看護④	1. 褥婦に起こりやすい異常とその看護 教科書 (1)p514～550	大角地
13	7/3 (水) 1 限目	合同	新生児の看護①	1. 新生児の定義 [小テスト] 2. 新生児の形態・機能 教科書(1)p262～281, (2)p156～194, (3)p54～68	石川
14	7/10 (水) 1 限目	合同	新生児の看護②	1. 新生児のフィジカルアセスメント 教科書(1)p281～305, (2)p156～194, (3)p54～112	石川
15	7/17 (水) 1 限目	合同	新生児の看護③	1. 新生児の出生直後から退院までの看護 教科書(1)p305～320, (2)p156～194, (3)p54～147	石川

履修者へのコメント 1. 履修条件 1) 履修条件は、ありません。しかし、母性看護の単位が取得できていない学生は、3 年次の母性看護実習を履修することができません。 2. 履修に当たっての心構えと要望(第 1 回授業時に詳細を追加説明する) 「母性看護」を履修する場合、GPA2.0 以上が望ましい。 3. 出席確認 出欠席は、呼名またはリアクションシートで行います。但し、単元により小テストの提出等で出席確認を行う場合があるので、担当教員の指示を確認して下さい。 4. その他 1) レポート課題の期限は厳守してください。 2) 実務経験（看護師・助産師）のある教員による授業科目です。
準備学習の内容及び必要時間： ①予習 30 分以上： 教科書の該当部分を読むことおよび、教科書該当部分の動画を視聴し、ポイントを整理してください。 ②復習 30 分以上： 授業終了後には、授業内容（教科書・授業資料・動画）を振り返り、知識の定着を図ってください。 ③レポートを作成し、提出することを求めます。
試験に対するフィードバック ①授業内テスト（小テスト）の解説は授業内で行います。 ②定期試験の解説は試験終了後に期間を設けて実施します。
オフィシアワー： 講義に関する質問は積極的にしてください。質問方法はWebClass メール、直接の場合は月曜日から金曜日 8:30～17:00 の間に講義を担当した教員（研究室 15:大角地、研究室 9：石川、研究室 20:山下）におこなってください。 なお、メールでの質問に関しては 17:00 までお願いいたします。
教科書：(1) 森恵美他著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ母性看護学各論 母性看護学 2 第 14 版』（医学書院）2023 年 (2) 日本助産診断実践学会 編マ『タニティ診断ガイドブック第 6 版』（医学書院）2020 年 (3) 平澤美恵子他監修『写真でわかる母性看護技術アドバンス』（インターメディカ）2020 年
参考書：(1) 医療情報科学研究所 編『病気がみえる Vol. 9 婦人科 第 4 版』（メディックメディア）2018 年 (2) 医療情報科学研究所 編『病気がみえる Vol. 10 産科 第 4 版』（メディックメディア）2018 年 (3) 佐世正勝・石村由利子 編『ウェルネスからみた母性看護過程＋病態関連図 第 4 版』（医学書院）2021 年 ＊その他自主的に求める。

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
母性看護技術	5136	講義	2年後期	必修	2/15
概要：ウェルネス看護診断の考えを基本とした看護過程、母性看護に必要な援助技術、非妊婦期の女性・家族への看護の方法を演習を通して学習する。 シラバス巻頭の「科目構造図」と「科目進度表」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的：マタニティサイクルにある母子およびその家族の特徴と健康問題を査定し、妊婦・産婦・褥婦および新生児とその家族への看護の方法について理解できる。					大角地 久美子
到達目標：1. 生命に対する自己の考えを説明できる。 2. 妊娠前（非妊時）の女性への看護（遺伝相談、不妊症）について説明できる。 3. 妊婦・産婦・褥婦・新生児の特性と必要な看護について実践できる。 4. ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程について基本的な考え方が説明でき、事例をもとに妊娠経過のアセスメントができる。					石川 裕貴
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的な知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる能力 ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					山下 智子
成績評価方法： 1. 定期試験(40%) 2. 実技試験(20%) 3. 学習態度(演習)(20%) 4. 課題提出状況・内容(15%) 5. レポート(5%) 成績評価基準： 上記2～4は別紙評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、定期試験（筆記試験）との総合点をGPA 実施規則に則り評価する。					非常勤講師
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/27 (金) 2 限	合同	母性の看護過程	1. マタニティ看護診断に基づく母性看護過程 教科書(2)P viii～xiii	大角地
2	10/4 (金) 2 限	合同	妊婦の看護過程①	1. 模擬事例を用いた妊婦の看護過程 (グループワーク：アセスメントのディスカッション) 教科書(1)p92～182 (2)p2～64	大角地 石川 山下
3	10/10(木) 4 限	合同	妊婦の看護過程②	1. 模擬事例を用いた妊婦の看護過程 (グループワーク：アセスメントのディスカッション) 教科書(1)p92～182 (2)p2～64 ●妊婦のアセスメント（個人） 提出期限 10/17(木)8:50	大角地 石川 山下
4	10/31 (木) 4 限	合同	褥婦・新生児の看護過程①	1. 褥婦の模擬事例を用いた看護過程 (グループワーク：アセスメントのディスカッション) 教科書(1)p322～378, (2)p116～194	大角地 石川 山下

5 6	11/8 (金) 1・2 限	合同	褥婦・新生児の 看護過程②③	1. 褥婦の模擬事例を用いた看護過程 (グループワーク：アセスメントのディスカッション) 教科書(1)p322～378, (2)p116～194 「褥婦のアセスメント・看護計画(グループ)」 ●褥婦のアセスメント・看護計画(個人) 提出期限 11/15(金)8:50	大角地 石川 山下
7 8	11/21 (木) 3・4 限	A	【演習】 妊婦の健康診査	1. 妊婦モデルを用いた妊婦健康診査の実施 1) レオポルド触診法の実施 2) 子宮底長・腹囲の測定 3) 胎児心拍数の測定 2. 模擬事例を用いた妊婦のフィジカルアセスメントの実施 ●妊婦の観察技術の演習後の課題 提出期限：A クラス 11/28 (木) 8:50 B クラス 12/5 (木) 8:50	石川 大角地 山下 非常勤 講師
	11/28 (木) 3・4 限	B			
9	12/5(木) 3 限	A	【実技試験】 妊婦の健康診査	1. 妊婦モデルを用いた妊婦健康診査の実施 1) レオポルド触診法の実施 2) 子宮底長・腹囲の測定 3) 胎児心拍数の測定 2. 模擬事例を用いた妊婦のフィジカルアセスメントの実施	石川 大角地 山下 非常勤 講師
	12/5(木) 4 限	B			
10	12/6 (金) 1 限	B	【演習】 産婦の看護	1.分娩各期に合わせた産婦の援助 (産痛緩和、基本的ニーズの援助、家族への配慮等) ＊学習態度(演習) [3F 実習室・3F2・4]	山下 大角地 石川 非常勤 講師
	12/6 (金) 2 限	A			
11	12/12(木) 3 限	合同	周産期における 褥婦のメンタルヘルス	1. 褥婦のメンタルヘルス 2. 褥婦のメンタルヘルスケア 教科書(1)p541～550 ●レポート課題提出期限 12/19(木)8:50	非常勤 講師
12 13	1/16 (木) 3, 4 限	A	【演習】 新生児の 観察・看護・ 沐浴技術	1. 新生児モデルを用いた看護・沐浴の実施 1) 新生児の観察 2) 新生児の更衣・オムツ交換・瓶授乳 3) 新生児の沐浴技術 2. 新生児のフィジカルアセスメント ●新生児の観察技術の演習後の課題 提出期限：A クラス 1/24 (金) 8:50 B クラス 1/17 (金) 8:50	石川 大角地 山下 非常勤 講師
	1/17 (金) 1, 2 限	B			
14 15	1/23(木) 3, 4 限	A	【演習】 褥婦の看護	1. 褥婦モデルを用いた褥婦の観察 1) 退行性変化の観察 2) 進行性変化の観察 3) 授乳介助(ラッチオン、ポジショニング) 2. 模擬事例を用いた褥婦のフィジカルアセスメントの実施 教科書(1)p322～378, (2)p116～194 ●褥婦の観察技術の演習後の課題 提出期限：A クラス 1/30 (木) 8:50 B クラス 1/31 (金) 8:50	石川 大角地 山下 非常勤 講師
	1/24(金) 1, 2 限	B			

履修者へのコメント 1. 履修条件 1) 履修条件は、ありません。しかし、母性看護の単位が取得できていない学生は、3年次の母性看護実習を履修することができません。 2. 履修に当たっての心構えと要望(第1回授業時に詳細を追加説明する) 1) 「母性看護」を履修する場合、GPA2.0以上が望ましい。 ①課題レポートを作成し、提出することを求めます。 ②配付した資料は全てファイルに綴じ、毎回の講義または演習時に持参してください。 2) 技術演習について (1)実習室で技術演習を行う際は以下のものを持参してください。 ①事前学習 ②名札 ③時計 ④マスク・手指消毒薬 (2)服装は、病院実習に準じます。実習靴を履いてください。 (3)演習欠席した場合、追加の演習はありません。母性看護実習の前に各自で技術練習をしてください。 (4)学習態度は、演習時の「身だしなみ、課題提出状況・内容、演習の参加状況」で評価いたします。 3. 出席確認 出欠席は、呼名またはリアクションシートで行います。 4. その他 1) 講義に関する連絡は、掲示またはWebClassにておこなうため、必ず確認してください。 2) 課題の期限は厳守してください。 3) 実務経験(看護師・助産師)のある教員による授業科目です。	準備学習の内容及び必要時間 ①予習 30分以上: 教科書該当部分の動画を視聴し、ポイントを整理してください。演習は、事前に提示された課題を行い持参したうえで、演習に臨んでください。 ②復習 30分以上: 授業内容(教科書・授業資料・動画)を振り返り、学習に活用してください。 演習技術の復習は各自で行ってください。
課題に対するフィードバック: ① 提出された課題については、返却し、授業内でフィードバックします。 ② 授業内テストの解説はWebClassもしくは授業内で行います。 ③ 定期試験の解説は試験終了後に期間を設けて実施します。	オフィスアワー: 講義に関する質問は積極的にしてください。質問方法はWebClass メール、直接の場合は月曜日から金曜日 8:30～17:00の間に講義を担当した教員(研究室15:大角地、研究室9:石川、研究室20:山下)に行ってください。 なお、メールでの質問に関しては17:00までをお願いいたします。
教科書: (1)森恵美他著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ母性看護学各論 母性看護学②第14版』(医学書院)2021年 (2)齋藤益子他著『マタニティ診断ガイドブック第6版』(医学書院)2020年 (3)平澤美恵子他監修『写真でわかる母性看護技術アドバンス』(インターメディカ)2020年	参考書: (1)医療情報科学研究所 編『病気がみえる Vol.10 産科 第4版』(メディックメディア)2018年 (2)佐世正勝・石村由利子 編『ウェルネスからみた母性看護過程+病態関連図 第3版』(医学書院)2017年 (3)荒木奈緒・中込さと子他 編『母性看護学③母性看護技術』(メディカ出版)2024年 *その他自主的に求める。

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
精神看護Ⅰ (精神症状に応じた看護)	5139	講義	2年前期	必修	1／15
概要：人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進・健康支援と社会保障制度で学んだ知識を根拠として、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法を基に、精神症状とそれに伴う生活行動の変化に応じた看護、精神障害者を一人の人間として尊重する重要性を、講義を通して学ぶ。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的：精神看護概論で学んだ精神保健福祉と看護のニーズをふまえ、精神疾患に対する看護を学ぶための基礎となる知識を身につける。また、精神障害者が抱える身体的・心理的・社会的苦痛を理解する。					勝久 淳 渡邊あゆみ
到達目標：1. 精神障害者の抱える症状とその看護について説明できる。 2. 精神科で行われる検査や治療に対する看護について説明できる。 3. 精神看護学を学ぶものとして知っておく必要のある法制度を説明できる。 4. 精神障害者の生活環境と抱える困難さについて説明できる。 5. 看護におけるコミュニケーションの重要性を理解し、相互作用を振り返ることの意義を説明できる。 6. 精神看護における多職種連携の重要性について説明できる。 7. 災害時の精神看護の果たす役割について説明できる。					小倉 圭介
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる ☑②科学的な思考ができる □③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☑④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☑⑤看護者として自己成長できる ☑⑥社会の変化に対応できる ☑⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：1. レポート 10%, 2. 小テスト 20%, 3. 定期試験（筆記試験）70% 成績評価基準：レポートは評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、小テストや筆記試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	5/31 (金) 3 限	合同	精神障害者の理解	1. 精神医療・看護の対象者（ディスカッション） 2. 精神障害者の抱える症状と看護 3. 精神の健康とマネジメント 教科書: 精神看護学【1】P24～30, 233～234 精神看護学【2】P256～309, 350～358 【課題レポート】提出期限 6/7（金）	渡邊
2	6/7 (金) 3 限	合同	危機 〈クライシス〉	1. 危機〈クライシス〉の概念 2. 危機〈クライシス〉予防 3. 危機介入 教科書: 精神看護学【1】P34～54 小テスト	勝久
3	6/14 (金) 3 限	合同	精神科における 実際	1. 精神科における検査方法と看護 2. 精神科における主な治療法と看護 （事前課題による反転授業） 教科書: 精神看護学【1】 P74～79, 174～176, 188～191, 268～285 小テスト	勝久

4	6/21 (金) 3 限	合同	精神看護の 基本①	1. 精神科の治療的環境と患者の入院生活 2. 精神科病院の医療安全 3. 行動制限について（ディスカッション） 教科書：精神看護学【1】P350～354 精神看護学【2】P214～218, 223～229, 312～323 小テスト	勝久
5	6/28 (金) 3 限	合同	精神看護の 基本②	1. 精神障害と法制度 2. おもな精神保健医療福祉対策とその動向 教科書：精神看護学【1】P335～370	渡邊
6	7/9 (火) 4 限	合同	精神看護の 基本③	1. 看護におけるコミュニケーション機能 2. 治療的コミュニケーションに関する重要な概念 3. コミュニケーション技術 4. アサーション 教科書：精神看護学【2】P2～27, 45～53, 253～254	小倉
7	7/9 (火) 5 限	合同	精神看護の 基本④	1. 精神看護における多職種連携 2. リエゾン精神看護の役割 教科書：精神看護学【2】P131～134, 153～167, 350～372	小倉
8	7/19 (金) 3 限	合同	精神看護の 基本⑤	1. 司法精神医学と看護 2. 災害時の精神保健と精神看護の役割 (事前課題による反転授業) 教科書：精神看護学【2】P374～388 小テスト	勝久

履修者へのコメント：

- 履修条件：1) 生涯発達論、精神看護概論の単位を修得していないと履修できないことがある。
- 履修にあたっての心構えと要望
 - この科目を履修する場合、GPA2.0 以上が望ましい。
 - 生涯発達論、精神看護概論で学習した内容を授業前に復習しておくこと。
 - 精神障害者に関する書籍や映像作品にふれておきましょう。
- 出席確認：1) 講義終了後に記載するリアクションシートの提出をもって出席とみなす。
- その他
 - 講義に関する連絡はWebClass と掲示をもって行うので確認してください。
 - 講義に関する質問はリアクションシートの利用、もしくはオフィスアワーに直接聞きに来てください。

準備学習の内容及び必要時間：

- 予習 30 分以上：次回授業までに該当部分についてテキスト、インターネット等で記事などを読み資料の下調べをして整理しておく。
- 復習 30 分以上：各回の授業で配付する資料、テキストを整理すること。

課題に対するフィードバック：

試験・レポート結果については採点・添削後、フィードバックを行う。

オフィスアワー：

授業時間外の質問は、メール対応または月曜日から金曜日 8:30～17:00 に勝久または渡邊の研究室へ来てください。

教科書：

武井麻子：『精神看護学【1】精神看護の基礎』（医学書院）2023。（1 年次に購入済み）
武井麻子：『精神看護学【2】精神看護の展開』（医学書院）2023。（1 年次に購入済み）

参考書：

厚生統計協会編：『国民衛生の動向』2022/2023.
岩崎弥生・渡邊博幸：『精神看護学① 精神看護学概論・精神保健』（メヂカルフレンド社）2021.
岩崎弥生・渡邊博幸：『精神看護学② 精神障害をもつ人の看護』（メヂカルフレンド社）2021.

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
精神看護Ⅱ (精神障害をもつ対象への看護)	5140	講義	2年後期	必修	2/30
概要：人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進で学んだ知識を根拠として、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法を基に、精神障害者の抱える身体的・心理的・社会的苦痛に対する看護、セルフケアモデルの考えに基づいた看護過程を講義・演習を通して学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的：主な精神障害の特徴や症状に対する看護、および患者の回復や日常生活の自立に向けた支援方法について理解する。また、地域社会における多職種との連携や精神看護の果たす役割について理解する。					勝久 淳 渡邊 あゆみ 小倉 圭介 中村 寿賀子
到達目標：1. 精神疾患の特徴とその看護について説明できる。 2. 自己理解・他者理解のためのコミュニケーションについて考察できる。 3. 精神障害者と家族の抱える困難さについて説明できる。 4. 精神障害者の社会復帰、地域生活支援の重要性について説明できる。 5. 精神看護の果たす役割について説明できる。 6. 日常生活の自立に向けた支援方法について、セルフケアモデルを用いて看護展開できる。					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☐ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：1. プロセスレコード 10%, 2. 小テスト 20%, 3. 定期試験（筆記試験）50% 4. 指定された学習課題 20% 成績評価基準：プロセスレコードと学習課題は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、小テストや筆記試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/25 (水) 1 限	合同	精神疾患患者の理解と看護①	1. うつ病患者の看護（気分障害） 2. メンタルアセスメントとかかわり方（DVD 視聴） 教科書【1】P182～191 小テスト	勝久
2	10/2 (水) 1 限	合同	精神疾患患者の理解と看護②	1. 双極性障害（気分障害）の看護 2. メンタルアセスメントとかかわり方（DVD 視聴） 教科書【1】P182～191 小テスト	勝久
3	10/9 (水) 1 限	合同	関係の振り返り	1. 基礎看護実習Ⅱの経験を基にプロセスレコードを記載 2. プロセスレコードを書く目的・効果 3. プロセスレコードの場面選択 2. プロセスレコードの記載方法・活用方法 3. プロセスレコードの自己評価・他者評価 教科書【2】P28～45 【プロセスレコード課題】提出期限：10/16（水）	渡邊

4	10/16 (水) 1 限	合同	精神疾患患者の 理解と看護③	1. 依存症患者の看護 (嗜癖) 2. メンタルアセスメントとかわり方 (DVD 視聴) 教科書【1】P201～207・127～129	勝久
5	10/23 (水) 1 限	合同	精神疾患患者の 理解と看護④	1. 統合失調症患者 (急性期) 看護のポイント 2. メンタルアセスメントとかわり方 (DVD 視聴) 3. 幻聴体験 (ディスカッション) 教科書【1】P165～181	渡邊
6	10/30 (水) 1 限	合同	精神疾患患者の 理解と看護⑤	1. 統合失調症患者 (慢性期) 看護のポイント 2. メンタルアセスメントとかわり方 (DVD 視聴) 3. 統合失調症のさまざまな経過 教科書【1】165～81・【2】P71～73 小テスト	渡邊
7	11/6 (水) 1 限	合同	精神疾患患者の 理解と看護⑥	1. 発達障害の概念 2. 発達障害者支援法 2. 発達障害患者の特徴と必要な看護 3. 発達障害で問題となる二次障害 教科書【1】P70・208～215【2】P185 小テスト	渡邊
8	11/7 (木) 3 限	合同	精神疾患患者の 理解と看護⑦	1. パーソナリティ障害患者の看護 教科書【1】P216～218	小倉
9	11/7 (木) 4 限	合同	精神疾患患者の 理解と看護⑧	1. 強迫性障害・心的外傷患者の看護 教科書【1】P191～201	小倉
10	11/14 (木) 4 限	合同	精神疾患患者の 理解と看護⑨	摂食障害患者の看護 1. 摂食障害のサイン・症状 こころの症状 からだの症状 2. 摂食障害の経過と治療 3. 摂食障害の多職種連携 4. 自助グループ「NABA」と家族会やどかりの紹介 動画視聴「いいかげんに生きよう」 教科書【1】P215～216【2】P108～112	中村
11	12/4 (水) 1 限	合同	精神障害者の 地域における 生活支援①	1. 日本の精神医療福祉の歴史と現状 2. 精神障害者の社会参加と地域生活支援の実際 3. 精神障害者への就労支援 4. 長期入院患者の地域生活への移行支援 (動画視聴) 教科書【1】P14～20・319～322・339～354 【2】P130～145・161～167・247～254	渡邊
12	12/13 (金) 2 限	合同	精神障害者の 地域における 生活支援②	精神障害と共に生きる人々を地域で支える 1. ストレングスモデルについて グループディスカッション：ストレングス・マッピング シートを用いて 2. リカバリーのプロセス エンパワーメント・ストレングス・レジリエンス 3. 家族支援の実際 4. 地域生活を支える人々 ピア活動/訪問看護/デイケア 教科書【1】P45～48・119～131・256～265・295～296 教科書【2】P70～101・134～178・251～254	中村

13	1/8 (水) 1 限	合同	オレム-アンダー ウッドのセル フケア理論①	オレムの看護過程・ストレングスモデル 教科書【2】P59・240～247・256～282	勝久 ・ 渡邊
14	1/15 (水) 1 限	合同	オレム-アンダー ウッドのセル フケア理論②	オレムの看護過程・ストレングスモデル (グループワーク) 教科書【2】P59・240～247・256～282	勝久 ・ 渡邊
15	1/22 (水) 1 限	合同	オレム-アンダー ウッドのセル フケア理論③	オレムの看護過程・ストレングスモデル (グループワーク) 教科書【2】P59・240～247・256～282 【指定された学習課題】提出期限:1/31(金)	勝久 ・ 渡邊
履修者へのコメント：					
1. 履修条件 1) 生涯発達論、精神看護概論、精神看護Ⅰを履修中または単位を修得していること。 2. 履修にあたっての心構えと要望 1) この科目を履修する場合、GPA2.0以上が望ましい。 2) 生涯発達論、精神看護概論、精神看護Ⅰで学習した内容を授業前に復習しておくこと。 3) 長期休暇を利用し、精神障害者に関する書籍や映像作品にふれておきましょう。 3. 出席確認：1) 講義終了後に記載するリアクションシートの提出をもって出席とみなす。 4. その他 1) 講義に関する連絡はWebClassと掲示をもって行うので確認してください。 2) 講義に関する質問はリアクションシートの利用、もしくはオフィスアワーに直接聞きに来てください。					
準備学習の内容及び必要時間：					
予習 30 分以上：次回授業までに該当部分についてテキスト、インターネット等で記事などを読み資料の下調べをして整理しておく。 復習 30 分以上：各回の授業で配付する資料、テキストを整理すること。					
課題に対するフィードバック：試験・レポート結果については採点・添削後、フィードバックを行う。					
オフィスアワー：授業時間外の質問は、メール対応または月曜日から金曜日 8:30～17:00 に勝久または渡邊の研究室へ来てください。					
教科書：					
1. 武井麻子：『精神看護学【1】精神看護の基礎』（医学書院）2023。（1年次に購入済み） 2. 武井麻子：『精神看護学【2】精神看護の展開』（医学書院）2023。（1年次に購入済み）					
参考書：					
1. 厚生統計協会編：『国民衛生の動向』2022/2023. 2. 岩崎弥生・渡邊博幸：『精神看護学① 精神看護学概論・精神保健』（メヂカルフレンド社）2021. 3. 岩崎弥生・渡邊博幸：『精神看護学② 精神障害をもつ人の看護』（メヂカルフレンド社）2021.					

授業科目の区分		看護の統合				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	
看護管理	6101	講義	2年後期	必修	1/15	
概要：健康支援と社会保障制度、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法で学んだ知識を基に、質の高い看護を効果的に提供できるよう、看護ケア・看護サービスのマネジメントやマネジメントに必要な知識・技術、看護を取りまく諸制度、病院の安全・感染管理の実際も含め、講義・演習を通して学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的：看護の対象者を取りまくあらゆる資源を活用し、質の高い看護を提供するためのしくみを理解する。 到達目標：1. 看護におけるマネジメントを理解する。 2. 看護ケア・看護サービスのマネジメントを理解する。 3. マネジメントに必要な知識と技術を理解する。 4. 病院の安全管理・感染管理の実際を理解する。 5. 看護を取り巻く諸制度を理解する。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☐ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的思考ができる ☐ ③専門的な知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						担当教員
						久保 かほる 原嶋 弥生 吉原 みき子
成績評価方法：1. 筆記試験（定期試験）60％ 2. レポート13％ 3. 小テスト20％ 4. 学習態度7％ 成績評価基準：レポート、学習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、筆記試験・小テストとの総合点をGPA実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者	
1	9/26 (木) 3限	合同	看護におけるマネジメント	1. 看護管理を学ぶ目的 2. 看護管理の定義 3. 看護管理学の概念構成と基本的要素 4. 看護におけるマネジメント 教科書 p2-14	久 保	
2	10/3 (木) 3限	合同	看護ケア・看護サービスのマネジメント	○小テスト① (1回目の内容) 1. 看護ケアのマネジメントと看護職の機能 2. 患者の権利の尊重 3. チーム医療 4. 看護業務の実践（日常業務のマネジメント） 5. 看護サービス・組織目的達成のマネジメント 6. 看護サービス提供のしくみづくり 7. 人材のマネジメント 8. サービスの評価 教科書 p16-23, p41-62, p78-110, p132-136	久 保	
3	10/10 (木) 3限	合同	マネジメントに必要な知識と技術	○小テスト② (2回目の内容) 1. 組織とマネジメント 2. リーダーシップとマネジメント 3. 組織の調整 教科書 p138-162 ●レポート①課題提示 提出期限：10/24 (木) 9:00	久 保	

4	10/17 (木) 3 限	合同	病院の安全管理 の実際①	1. 患者の安全管理 2. 医療従事者の安全管理 教科書 p23-34, p122-132	原 嶋 久 保
5	10/24 (木) 3 限	合同	病院の安全管理 の実際②	1. 医療関係者の安全管理 2. 地域の安全管理 3. 不特定多数の安全管理 4. 情報の管理 教科書 23-34, p122-132	原 嶋 久 保
6	10/31 (木) 3 限	合同	病院の感染管理 の実際①	1. 感染症 2. 院内感染 3. 主な病原微生物の感染経路. 教科書 p35-39	吉 原 久 保
7	11/6 (水) 2 限	合同	病院の感染管理 の実際②	1. 感染対策の目標 2. 感染防止対策の基本 3. スタンダードプリコーション 4. 手指衛生の重要性 教科書 p35-39	吉 原 久 保
8	11/14 (木) 3 限	合同	看護を取り巻く 諸制度	1. 看護職 2. 医療制度 3. 看護政策と制度 教科書 p166-193 □グループ・ディスカッション ●レポート②課題提示 提出期限：11/21(木)9:00	久 保
履修者へのコメント： - 履修条件はありません。 - 履修にあたっての心構えと要望（第1回授業時に詳細を追加説明する） - 本科目を履修する場合、1年次のGPA2.0以上であることが望ましい。 - 小テストは、該当日の授業開始時に実施します。採点后、原則として1週間以内に返却しますので、必ず復習してください。 - レポート①②は、提出前に自己評価表(別紙)を用いて各自で評価してから提出してください。 - 学習態度は、レポート①②で自己評価表(別紙)に基づき、指示通りの提出期限や提出方法であるかを評価します。 - 出席確認 呼名またはリアクションシート、小テストの提出などで行います。 - その他 - 講義に関する連絡は、授業時や掲示、またはWebClassで行います。 - 講義に関する質問は、授業時間内、またはオフィスアワーで対応します。積極的に質問してください。 - 実務経験(看護師)のある教員による授業科目です。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上；健康支援と社会保障制度、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法で学習した内容を整理し、内容に該当する部分のノートやプリントを持参してください。 次回授業までに該当部分の教科書を読んで、授業に臨んでください。 復習 30 分以上；教科書や配付したプリント、説明内容を整理してください。					
課題に対するフィードバック： - 小テストは実施・回収直後に解説をします。ノートやプリントを活用して振り返りをしてください。 - 定期試験・レポート①②は、採点・添削後、フィードバックを行います。					
オフィスアワー： 授業外は月曜日から金曜日の9:00～17:00の間に、科目責任者が対応します（但し、実習等で不在の時もあります）。 電子メールでも随時、質問を受け付けます。					
教科書： ※教科書が2024年改訂されるため、授業ごとに明示した該当ページが変更する場合があります。 上泉和子著者代表『看護の統合と実践[1]看護管理 第11版』（医学書院）2024年。					
参考書： 自主的に求める。					

授業科目の区分		看護の統合			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
災害・救急看護	6102	講義	2年後期	必修	1／30
概要：人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法で学んだ知識を統合し、災害看護では災害という異常事態が人々の心身に及ぼす影響と災害サイクルに応じた看護を、救急看護では生命の危機状態にある患者・家族の特徴と緊急時の対応、生命維持に必要な看護技術を学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的：1. 災害時、被災者に対し必要な看護を実践するための方法を理解する。 2. 緊急時に必要な看護を実践するための方法を理解する。					浅見多紀子 布施 好朗 田中 顕治
到達目標：1. 災害が人々の心身に及ぼす影響を理解する。 2. 災害サイクルに応じた看護を理解する。 3. 生命の危機的状態にある患者・家族の特徴を理解する。 4. 生命維持に必要な看護を理解する。 5. 緊急時の対応（BLS）を身につける。					武川 礼子 猿谷 倫史
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：1. レポート 20% 2. 実技試験 20% 3. 筆記試験（定期試験） 40% 3. 学習態度 20% 成績評価基準：レポート、実技試験、学習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、筆記試験との総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/26(木) 2 限	合同	災害と災害医療の概念①	1. 災害の種類と特徴 2. 災害による被害・疾病の特徴 3. 災害医療、災害看護の概念 4. 災害サイクル 教科書(2)1, 2, 5-1	浅見
2	10/3(木) 2 限	合同	災害と災害医療の概念②	1. 災害医療に関する国の政策と法律 2. 医療救護活動の基本原則 CSCATTT 教科書(2)3, 5-2・3・4・5	浅見
3 4	10/10(木) 1, 2 限	合同	災害サイクルに応じた看護②③	＊レポート（提出期限 10/24 13:00） 1. 災害看護と国際看護活動の実際 2. 災害時のトリアージの原則と実践 3. 災害時の応急処置 教科書(2)5-3・4, 10-2	武川 浅見
5	10/24(木) 2 限	合同	災害サイクルに応じた看護①	1. 超急性期・急性期の看護 2. 救護所・避難所での看護 3. 応急仮設住宅での看護 4. 復興期の看護 教科書(2)5-1, 6	浅見

6	10/31(木) 2 限	合同	災害サイクルに 応じた看護④	*レポート (授業終了時提出) 1. 要配慮者への看護 グループワーク 教科書(2)8	浅見
7	11/7(木) 2 限	合同	災害とこころの ケア	*レポート (授業終了時提出) 1. 被災者の心理とこころのケア 2. 支援者のストレスとストレスマネジメント 教科書(2)7	浅見
8	11/14(木) 2 限	合同	救急医療におけ る対象の理解と 看護師の役割①	1. 救急患者・家族の特徴 2. 日本の救急医療体制 3. 救急医療の場に対応した看護師の役割 1) 初期・第二次救急医療における対応 2) 院内急変時における対応 教科書(1)第 1 章 ABC, 第 2 章, 第 3 章 AC	布施
9 10	11/21(木) 1, 2 限	合同	救急医療におけ る対象の理解と 看護師の役割② ③	*レポート (提出期限 12/5 13:00) 1. 救急医療の場に対応した看護師の役割 1) 第三次救急医療における対応 2. フライトナースの役割 教科書(1) 第 1 章 ABC, 第 2 章, 第 3 章 B	猿谷 布施 田中 浅見
11	11/28(木) 2 限	合同	救急処置と看護 師の役割①	1. 成人の BLS 教科書(1)第 4 章 A～F, 第 5 章 A	田中
12	12/5(木) 1 限 3F2	A	救急処置と看護 師の役割②	*学習態度 1. モデル人形 (成人) への BLS の実践 実技演習 教科書(1)第 5 章 A	田中 布施 浅見
	12/5(木) 2 限 3F2	B			
13	12/12(木) 1 限 3F2	B	救急処置と看護 師の役割③	*実技試験、学習態度 1. モデル人形 (成人) への BLS の実践 実技演習 教科書(1)第 5 章 A	田中 布施 浅見
	12/12(木) 2 限 3F2	A			
14	1/9(木) 1 限	B	救急処置と看護 師の役割④	*学習態度 1. 子どもの BLS 2. モデル人形 (子ども) への BLS の実践 実技演習 教科書(1)第 5 章 A, 小児看護技術の教科書(2)p232～245	布施 田中 浅見
	1/9(木) 2 限	A			
15	1/16(木) 1 限 3F2	A	救急処置と看護 師の役割⑤	*実技試験、学習態度 1. モデル人形 (子ども) への BLS の実践 実技演習 教科書(1)第 5 章 A, 小児看護技術の教科書(2)p232～245	布施 田中 浅見
	1/16(木) 2 限 3F2	B			

履修者へのコメント： - 履修条件はありません。 - 履修にあたっての心構えと要望（第1回授業時に詳細を説明する） - この科目を履修する場合、1年次までのGPA2.0以上であることが望ましい。 - 少人数やグループでのディスカッション、グループでの実技演習を行います。積極的に参加してください。 - 別紙評価基準に基づき、レポートは課題の内容と文章の体裁、実技試験は授業時間内に成人・子どものBLSの手法、学習態度は能動的な学習姿勢を評価します。 - 出席確認 呼名や課題の提出により確認します。 - その他 - 授業に関する連絡は、授業時、または掲示で行います。 - 授業に関する質問は授業時間内、またはオフィスアワーで対応します。積極的に質問してください。 - 実務経験(看護師)のある教員による授業科目です。
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30分以上：授業の内容を確認し、教科書の該当ページを読んできてください。 復習 30分以上：授業での説明内容や教科書の重要部分をノートに整理してください。
課題に対するフィードバック： - レポートは採点后、授業時間内に全体の傾向をフィードバックします。 - 実技試験は採点后、個別またはグループごとにフィードバックします。 - 学習態度は授業時間内に個別またはグループごとにフィードバックします。 - 筆記試験は採点后、全体の傾向と個別の点数をフィードバックします。
オフィスアワー： 授業時間外は、月曜日から金曜日の9:00～17:00に研究室 23 浅見が対応する（実習等で不在の時もある）。
教科書： - 山勢博彰・他著『系統看護学講座 別巻 救急看護学 第7版』（医学書院）2024年 - 酒井明子・他著『ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践③ 災害看護 第5版』（メディカ出版）2022年
参考書：自主的に求めます。

授業科目の区分		看護の統合				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	
国際医療福祉事情	6103	演習	2年 前期・後期	選択	1/30	
概要： 国際看護学の概念や文化の違いを理解し、国際看護活動を行う上で必要な基礎知識を学習する。看護の概念や倫理等の看護に関する基礎知識、ボランティアなどの社会的活動や様々な体験により視野を広げ、国際社会における保健医療福祉の実情や国際協力、グローバルな視野をもつことの重要性について、この科目の講義や海外の医療施設の訪問、看護学生との交流、異文化学習・体験を通して学ぶ。シラバス巻頭のカリキュラムマップを参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的： 国際社会における保健医療福祉の実情を理解し、国際協力について学習する。さらに、海外の医療施設の訪問や看護学生との交流を体験しながらグローバルな視野を身につける。 到達目標： 1. 人々の多様な価値観を認識し、専門職業人としての共感的態度を理解する。 2. 異文化を体験し、人々の健康と生活を自然・社会・文化的環境との相互作用の観点から理解する。 3. 国際社会における保健医療福祉の実情を知り、国際協力について考える。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☐②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法： 事前学習（20%）、プレゼンテーション（50%）、レポート（30%） 成績評価基準： 事前学習、プレゼンテーション、レポートは別紙評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に照り評価する						担当教員 鈴木 夕岐子 北田 良子 ()
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容		担当者
1	4/16(火) 4限	合同	国際看護学の概念	1. ガイダンス 2. グローバルな視野を持つ意義 3. 国際看護の概念 教科書 P.4~25 講義		鈴木
2	5/ 7(火) 4限	合同	世界の健康課題①	1. 世界の健康課題の基本概念 2. 国際機関、国際協力機関 3. 国際機関、国際協力機関：発表準備 教科書 P.57~77 講義・グループワーク		鈴木 北田
3	6/ 4(火) 4限	合同	世界の健康課題②	1. 国際機関、国際協力機関：発表 プレゼンテーション		鈴木 北田
4	6/18(火) 4限	合同	世界の保健医療システム	1. 世界の保健医療システム 2. 国際協力に用いられる手法（調査・アプローチ） 教科書 P.79~83,123~126 講義		鈴木
5	7/16(火) 4限	合同	異文化理解①	1. 看護と文化 2. 日本文化の理解 3. 日本文化の特徴（テーマ）：発表 教科書 P.34~41 講義・ディスカッション・プレゼンテーション		鈴木 北田

6	10/1(火) 5限	合同	異文化理解②	1. 日本文化の理解 2. テーマに基づいた日本文化の特徴：発表 プレゼンテーション	鈴木 北田
7	11/5(火) 5限	合同	国際看護の 実践の場①	1. 国際看護協力に関係する機関 2. 国際協力としての看護の実際 3. 日本人看護師に求められる役割、国際協力に必要なとされる 態度・能力：グループワーク、発表準備 講義・ディスカッション・グループワーク	鈴木 北田
8	11/19(火) 5限	合同	国際看護の 実践の場② 海外研修準備①	1. 日本人看護師に求められる役割、国際協力に必要なとされる 態度・能力：発表 2. 日本人看護師に求められる役割 3. 国際協力に必要なとされる態度・能力 4. 外国で看護活動をする 5. 海外研修時の研修テーマの立案 教科書 P. 75~77, 141~151, 141~151, 112~119, 128~136 プレゼンテーション・講義・グループワーク	鈴木 北田
9	12/3(火) 5限	合同	海外研修準備②	1. 研修日程に沿った研修テーマ：発表 2. 訪問したい国・地域の概要・文化的特徴 3. 研修にあたっての打ち合わせ グループワーク・プレゼンテーション 4. 海外研修に必要な手続き 5. 海外研修における安全（健康管理を含む） 説明会	鈴木 北田
10	12/14～ 12/22 のうち 4泊5日 程度	合同	海外研修①	1. 海外における看護活動の実際の見学 ツアーコンダクター・現地コーディネーター・医療専門 通訳同行 1) 海外の病院訪問：病院説明・院内見学 2) 海外看護学校訪問：学校紹介・校内見学・現地学生と の交流会 2. 異文化の体験と理解 1) 市内研修 2) 自由研修	鈴木
11	/		海外研修②		
12	/		海外研修③		
13	/		海外研修④		
14	/		海外研修⑤		
15	1/14(火) 5限	合同	研修報告会	1. 各グループの研修課題にそった報告 プレゼンテーション *レポート課題「研修課題の到達度と研修での学び」	鈴木

履修者へのコメント： 1. 履修条件 1) 最大履修人数 60 名を予定しています。履修登録時に最大履修人数を超えた場合は、下記の(1) (2)の両条件を満たした学生の履修を優先します。 (1) シラバスをしっかりと読み、何をどのように身につけたいかに関して記載する課題を指定したルールに沿って期限内に提出する (2) 上記(1)の課題で自分が目指す学修を明確にしている 2. 履修にあたっての心構えと要望 1) 明確な目標を持ち、課題に真摯に取り組むことを期待します。GPA 値は 2.0 以上が望ましい。 2) 授業には適宜グループ学習を組み入れます。活発な意見交換ができるように自己学習をしてください。初回講義時にグループ学習のテーマ等の詳細を説明します。 3) ニュース等、国際的な出来事に関心を持つようにして下さい。 4) 基礎英語力を身につける努力を期待します。 5) 海外研修の決定は 11 月上旬を予定しています。世界情勢により不測の事態が発生し海外研修が不可能となった場合には、海外研修期間としているシラバス第 11 回～14 回の内容を変更します。 3. 出席確認方法：対面の場合には直接出欠席の確認をします。 4. その他 1) 本科目の海外研修については、履修人数により学習方法が異なる場合があります。 2) 本科目は授業時間の他に旅行業者からの説明会を予定します。日時は掲示により連絡します。 3) 本科目は海外研修費用として、渡航関連費用・旅行費用が別途必要となります。 4) 訪問国は、テロ・災害・感染症等による渡航禁止措置により変更する場合があります。 5) 講義や研修旅行に関する質問は、授業時間内に質問して下さい。
準備学習の内容及び必要時間： 予習30分以上：授業内容を踏まえて事前に該当箇所についてテキスト、インターネット等で記事などを読み下調べをしておいてください。常に日本の現状との比較を念頭に置き、興味・関心をもって学習に取り組んで下さい。 復習 30 分以上：授業内容やグループ学習時に生じた疑問等はそのままとせず、積極的に調べるようにして下さい。興味のある国・地域を探し、その国の歴史・風土・医療制度などを継続して調べ、海外研修で活用できるように学習して下さい。
課題に対するフィードバック： 提出された課題・レポートについては返却時にフィードバックします。
オフィスアワー： 1) 授業時間外の質問は、月曜日から金曜日 8:30～17:00 の間に鈴木が対応します。 (会議等で不在の場合もあります。) 2) 授業日以外に非常勤講師へ質問がある場合は鈴木が対応します。(実習等で不在の場合もあります。)
教科書： 1) 森 淑江・山田智恵里・正木治恵 編『国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために』（南江堂）2019
参考書： 1) 近藤麻理『知って 考えて 実践する 国際看護』（医学書院）2011 2) 大橋一友・岩澤和子 編『国際化と看護—日本と世界で実践するグローバルな看護をめざして—』（メディカ出版）2018 3) その他：各自・各グループの研修課題に応じて自主的に求める。 その他、自主的に求める。

授業科目の区分		看護の統合			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
看護学セミナー (基礎看護)	6104	演習	2年後期	必修	1 / 30
概 要： 本科目では文献検索の方法や文献検討を通して、看護における研究の意義と必要性および看護研究のすすめ方を学ぶ。さらに、この学習過程では他者と積極的にディスカッションすることにより視野が広がり、課題を追究していくおもしろさを体験する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目 的： 文献検索、文献検討および研究計画立案の学習を通して、看護における研究の意義と必要性を理解する。看護研究のプロセスを理解する。					今野 葉月 蒲生 澄美子
到達目標： 1. 看護についての自己の疑問や興味・関心が研究課題となり得るか検討することができる。 2. 課題追究のためのキーワードを抽出し文献検索できる。 3. 検索した文献を検討できる。 4. 研究計画を立案できる。 5. 上記1, 2, 3, 4の学習を通して、研究の目的や必要性がわかる。 6. 上記1, 2, 3, 4の学習を通して、自己の知識に対する謙虚な姿勢や研究倫理について考え、研究的姿勢を培うことができる。 7. ICT を活用し情報の収集、分析し、アウトプットできる。					宮崎 素子 清水 百子 榎本 佑美 八幡 真由美 倉田 暢子
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☐ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法： 1. 文献のクリティーク記録（30％） 2. 研究計画書（30％） 3. 学習態度（40％） 成績評価基準： 上記1. ～3. について評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/30(月) 2時限	合同	研究のプロセス 文献検索方法	1. オリエンテーション（看護学セミナーの目的、目標、方法） 2. 文献の種類と文献検索の方法 教科書 p. 4-30, p. 46-59 3. 文献カードの作成方法 教科書 p. 32-43	担当者 全員
2	10/2(水) 2時限	合同	文献の読み方	1. クリティーク文献の決定 ディスカッション 2. 文献のクリティーク方法 教科書 p. 66～69 3. 文献のクリティーク ディスカッション ・研究のテーマ、目的、動機、背景、研究の価値 教科書 p. 248～254, 284～301	担当者 全員
3	10/7(月) 2時限	合同	文献検討①	1. 文献のクリティーク ディスカッション ・研究のテーマ、目的、動機、背景、研究の価値 教科書 p. 248～254, 284～301	担当者 全員
4	10/9(水) 2時限	合同	文献検討②	1. 文献のクリティーク ディスカッション ・研究の概念枠組、変数、仮説、研究デザイン 教科書 p. 108～151, 284～301	担当者 全員

5	10/16(水) 2 時限	合同	文献検討③	1. 文献のクリティーク 全体討議 ディスカッション ・研究対象、データ収集、データの分析、倫理的配慮 教科書 p. 84～106, 156～187, 194～234	担当者 全員
6	10/21(月) 2 時限	合同	文献検討④	1. 文献のクリティーク ディスカッション ・研究結果の考察、限界 教科書 p. 266～271 2. 研究発表の意義と方法 教科書 p. 271～283 文献のクリティーク記録提出：10/30(水) 8:50	担当者 全員
7	10/28(月) 2 時限	合同	研究計画書の作成①	1. 研究課題（テーマ）の明確化 ディスカッション 教科書 p. 32～53, 248～254	担当者 全員
8	11/18(月) 2 時限	合同	研究計画書の作成②	1. 研究課題のキーワードの抽出と定義 ディスカッション 2. 研究の動機、目的の明確化 ディスカッション 教科書 p. 32～53, 248～264	担当者 全員
9	11/25(月) 2 時限	合同	研究計画書の作成③	1. 研究課題（テーマ）の明確化 ディスカッション 教科書 p. 32～53, 248～254	担当者 全員
10	12/2(月) 2 時限	合同	研究計画書の作成④	1. 研究の背景、研究の価値の検討 2. 研究の概要の図示 ディスカッション 教科書 p. 32～53, 248～264	担当者 全員
11	12/9(月) 2 時限	合同	研究計画書の作成⑤	1. 研究の背景、研究の価値の検討 2. 研究の概要の図示 全体討議 ディスカッション 教科書 p. 32～53, 248～264	担当者 全員
12	1/6(月) 2 時限	合同	研究計画書の作成⑥	1. 研究方法の検討 ディスカッション ・研究デザイン、対象、データ収集方法、データ分析方法 教科書 p. 108～191, 248～264	担当者 全員
13	1/20(月) 2 時限	合同	研究計画書の作成⑦	1. 研究方法の検討 ディスカッション ・研究デザイン、対象、データ収集方法、データ分析方法 2. 倫理的配慮の検討 ディスカッション 教科書 p. 84～106, 108～191, 248～264 3. 研究のタイムスケジュールの検討 研究計画書の提出 2025 年 1 月 24 日（金） 8:50	担当者 全員
14	1/27(月) 2 時限	合同	研究計画書の作成⑧	作成した研究計画書発表 プレゼンテーション 教科書 p. 271-276 作成した研究計画書を持参する	担当者 全員
15	1/29(水) 2 時限	合同	まとめ	1. 学習目標の達成度の確認 ・研究の意義、プロセスの理解度、研究的姿勢の理解度	担当者 全員

履修者へのコメント：

1. 履修条件はありません。

2. 履修にあたっての心構えと要望

1) 授業内容に応じて教科書の該当部分を熟読し授業に臨んで下さい。

2) 個人学習を基盤にしてグループで学習をしていきます。グループは3～5人で編成し、授業時間外でもグループ全体で学習する場面があります。グループ討議を楽しみながら学習して下さい。

3) セミナーは主体的に学習活動を行う科目です。課題に関する個人学習を基本とします。個人学習したものをもとにグループ学習（ディスカッション）します。グループ学習には、事前（課題に関する準備）学習、事後（授業内容の整理）学習が必要です。

4) セミナーをすすめていく上での質問に対しては授業時間内に担当教員が対応します。

5) 本セミナーを履修する場合は、1年次までの成績がGPA2.0以上であることが望ましい。

3. 出席確認：毎時限、直接出欠席を確認します。

4. その他：特になし

準備学習の内容及び必要時間： 予習 60 分以上：次回授業までに課題に対する<u>個人学習</u>（該当部分についてテキストを用いて下調べをして整理する）をし、ディスカッション時にそれぞれ必要な資料を作成し持参してください。 ①文献検索・文献検討の際にはそれぞれの文献カードを作成してください。 ②クリティーク・研修計画作成では検討に必要な資料を作成してください。 復習 60 分以上：グループ学習（ディスカッション）を通して検討した内容を整理します。テキストあるいは担当教員の助言に基づいて、検討内容を補い、個人学習での内容を整理し直します。
課題に対するフィードバック：クリティーク記録・研究計画書は、時間内または時間外に採点・添削した結果をフィードバックします。
オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。 授業時間外は、担当教員が以下のように対応します。 1. 期間：月曜日～金曜日. 2. 時間：8:30～17:30. 3. 場所：担当教員の研究室
教科書：(1)坂下玲子・宮芝智子・小野博史著 『系統看護学講座別巻 看護研究 第2版』（医学書院） 2023 年
参考書：(1)山崎茂明・六本木淑恵著『看護研究のための文献検索ガイド 第4版 増補版』（日本看護協会出版会） 2010 年 (2)その他、学習をすすめていく上で必要な文献は自主的に求める。

授業科目の区分		看護の統合			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
看護学セミナー (成人看護)	6104	演習	2年後期	必修	1/30
概要：ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法で学んだ知識を統合し、エビデンスに基づいた看護を実践するために、専門職としての看護における研究の意義と必要性、看護研究のすすめ方および研究的態度を学習する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目的：看護研究のすすめ方を理解する。 到達目標：1. 看護研究の意義を理解する。 2. 研究の過程（プロセス）を理解する。 3. 成人看護の視点で研究課題を明確にする。 4. 研究課題に関連する文献を検索・整理・検討する。 5. 論理的に思考し、表現する力を身につける。 6. 研究的態度（研究倫理、能動的な学習姿勢）を身につける。 7. ICTを活用して情報を収集・分析し、アウトプットする。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☐⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					担当教員 久保かほる 浅見多紀子 秋山千恵子 鈴木夕岐子 杉本 真弓 小野 真央 田中 顕治
成績評価方法：1. レポート 65%（文献レビュー30%、研究計画書 30%、学会参加レポート 5%） 2. 学習態度 35% 成績評価基準：レポート、学習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/26(木) 1 限	合同	看護研究の意義 研究の過程①	1. 看護研究の意義と役割 2. 研究の過程（プロセス） 1) リサーチクエスト 2) 文献レビュー 教科書(1)第1, 2, 3章	担当教員 全員
2	10/3(木) 1 限	グループ	リサーチクエスト	1. 疑問のしぼり込み グループワーク 教科書(1)第2章	担当教員 全員
3	10/7(月) 2 限 5FPC 室	グループ	文献レビュー①	1. 文献検索 2. 文献整理 グループワーク 教科書(1)第3章	担当教員 全員
4	10/24(木) 1 限	グループ	文献レビュー②	*文献整理（授業開始時提出、時間内返却） （最終提出期限 10/31 授業開始時） 1. 文献整理 グループワーク 教科書(1)第3章	担当教員 全員

5	10/31(木) 1限	グループ	文献レビュー③	*文献検討 (授業開始時提出, 時間内返却) 1. 文献検討 グループワーク 教科書(1) 第3章, 第9章付録	担当教員 全員
6	11/7(木) 1限	グループ	文献レビュー④	*文献検討 (授業開始時提出, 時間内返却) 1. 文献検討 グループワーク 教科書(1) 第3章, 第9章付録	担当教員 全員
7	11/14(木) 1限	グループ	文献レビュー⑤	*文献検討 (授業開始時提出, 時間内返却) (最終提出期限 11/18 授業開始時) 1. 文献検討 グループワーク 教科書(1) 第3章, 第9章付録	担当教員 全員
8	11/18(月) 2限	合同	研究の過程②	1. 研究の過程 (プロセス) 3) 倫理的配慮 4) 研究デザイン 5) データ収集 6) データ分析 教科書(1) 第4, 5, 6, 7, 8章	担当教員 全員
9	11/25(月) 2限	グループ	研究計画書作成 ①	*研究計画書 (授業開始時提出, 時間内返却) 1. 研究動機・背景 2. 研究目的 グループワーク 教科書(1) 第2, 3, 8章	担当教員 全員
10	12/2(月) 2限	合同	研究計画書作成 ②	*研究計画書 (授業開始時提出, 時間内返却) 1. 研究動機・背景 2. 研究目的 グループワーク 教科書(1) 第2, 3, 8章	担当教員 全員
11 12	12/7(土) 9:00～ 14:00 頃	合同	看護研究の意義 と役割①②	*学会参加レポート (提出期限 12/13(金)13:00) 1. 臨床看護師の研究課題 2. 研究成果のプレゼンテーション 第32回埼玉看護研究学会参加 教科書(1) 第9章	担当教員 全員
13	12/9(月) 2限	グループ	研究計画書作成 ③	*研究計画書 (授業開始時提出, 時間内返却) 1. 研究デザイン 2. 研究対象 3. データ収集方法 4. データ分析方法 5. 倫理的配慮 グループワーク 教科書(1) 第4, 5, 6, 7, 8章	担当教員 全員
14	1/20(月) 2限	グループ	研究計画書作成 ④	*研究計画書 (授業開始時提出, 時間内返却) (最終提出期限 1/28(火) 13:00) 1. 研究デザイン 2. 研究対象 3. データ収集方法 4. データ分析方法 5. 倫理的配慮	担当教員 全員

				グループワーク 教科書(1) 第4, 5, 6, 7, 8章	
15	1/27(月) 2限	合同	研究計画書作成 ⑤	1. 研究計画書のまとめ プレゼンテーション 教科書(1) 第9章	担当教員 全員
履修者へのコメント： 1. 履修条件：次の1)2)を充たしていること 1) 成人看護概論、成人看護Ⅰの単位を修得済み 2) 成人看護Ⅱ、成人看護Ⅲを現在履修中 2. 履修にあたっての心構えと要望（第1回授業時に詳細を説明する） 1) この科目を履修する場合、1年次までのGPA2.0以上であることが望ましい。 2) 少人数でグループワークを行います。積極的に参加してください。 3) 言葉の意味を調べられるもの（辞書、他の科目の教科書等）を持参してください。 4) レポートの文献レビュー、学会参加レポートは個人評価、研究計画書はグループ評価とし、別紙評価基準に基づき内容の評価します。学習態度は別紙評価基準に基づき、研究的態度を個人評価します。 3. 出席確認 グループごとに確認します。 4. その他 1) 授業に関する連絡は、授業時、または掲示で行います。 2) 授業に関する質問は授業時間内、またはオフィスアワーで対応します。積極的に質問してください。 3) 実務経験(看護師)のある教員による授業科目です。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 1 時間以上：授業内容を確認し、教科書や参考書でわからないことを調べ、自分の意見をまとめてください。 復習 30 分以上：ディスカッションを振り返り、要点や課題をまとめてください。					
課題に対するフィードバック： 1) 文献レビューは採点后、授業時間内で個別にフィードバックします。 2) 研究計画書は採点后、グループごとにフィードバックします。 3) 学習態度は授業時間内に個別にフィードバックします。					
オフィスアワー： 授業時間外は、月曜日から金曜日の9:00～17:00に研究室23 浅見が対応する（実習等で不在の時もある）。					
教科書： (1) 坂下玲子・他共著『系統看護学講座別巻 看護研究』（医学書院）2022 年					
参考書： (1) 西条剛央著『看護研究で迷わないための超入門講座 JJN スペシャル 86』（医学書院）2009 年 (2) 早川和生編著『看護研究の進め方 論文の書き方 JJN スペシャル 94 第2版』（医学書院）2012 年					

授業科目の区分		看護の総合			R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
看護学セミナー （老年看護）（地域・在宅看護）	6104	演 習	2 年後期	必 修	1／30
概 要： 1. 2 年次に学習した知識を統合し、老年看護を研究的な視点からとらえ、看護における研究に必要な方法と態度について学ぶ。 シラバス巻頭の「科目構造図」と「科目進捗表」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的： 1. 看護研究の意義について理解するとともに、研究に必要な態度を身につける。 2. 看護研究の過程（プロセス）を理解する。 3. 自己の考えを論理的に表現する力を身につける。 到達目標： 1. 看護における研究の意義と役割について説明できる。 2. 老年看護の分野において自己の研究課題を見つけることができる。 3. 研究テーマに沿った文献検索ができる。 4. 自己の研究テーマを解明するための研究計画書を作成できる。 5. プレゼンテーションと討議ができる。 6. ICT を活用し情報の収集、分析し、アウトプットできる。 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる ☑②科学的な思考ができる □③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる □④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☑⑤看護者として自己成長できる ☑⑥社会の変化に対応できる □⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる 成績評価方法： 1. 研究計画書の作成（25％） 2. 研究計画発表（25％） 3. 指定された課題(50％）：論文のクリティーク(25％)、文献レビュー(20％)、学会参加レポート(5％) 研究計画書の作成、研究計画発表、指定された課題学習には、授業の参加態度が含まれている。 成績評価基準： 研究計画書の作成・発表、論文のクリティーク、文献レビュー、学会参加レポートは、ルーブリック評価表に沿って評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					担当教員
					瀧山 文恵
					荒川 みひろ
					持田 奈穂美
					海野 文子
池田 梨紗					

回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/26（木） 1 限	合同	看護研究とは	1. 老年看護学セミナーの目的・目標・方法 2. 看護研究の意義と役割 3. 研究チームの結成と研究テーマの共有 ☆研究チームの決定(1 チーム 3 名程度) ☆事前に Web Class 掲示板で自己紹介と研究テーマの共有をしておく 教科書：p 4～30, 362～366 (講義・アクティブラーニング；グループワーク)	担当教員 全員
2	10/3（木） 1 限	合同	看護研究のプロセス	1. 看護研究の過程(プロセス) 2. リサーチクエスションの検討 教科書：p 17～18, 32～43, 52～53, 110(講義・アクティブラーニング；グループワーク)	担当教員 全員

3	10/7 (月) 2 限	合同	論文の クリティーク①	1. 研究論文のクリティーク方法 2. 文献の種類と読むべき優先順位 教科書：p 66～69, p284～301 (講義・アクティブラーニング；グループ・ディスカッション)	担当教員 全員
4	10/17 (木) 1 限	合同	論文の クリティーク②	1. 研究論文クリティークの発表、討議 教科書：p 66～69 (アクティブラーニング；グループ・ディスカッション)	担当教員 全員
5	10/24 (木) 1 限	合同	論文の クリティーク③	1. 研究論文クリティークの発表、討議 教科書：p 66～69 (アクティブラーニング；グループ・ディスカッション) ★課題レポート：論文のクリティーク用チェックシート (提出期限：翌週授業時)	担当教員 全員
6	10/31 (木) 1 限	合同	文献レビューと ICT を活用した 文献検索の方法 *PC 室使用	1. 文献レビューと目的 2. 文献検索データベースを使った文献検索の方法 3. グループの興味ある分野に関する文献検索 教科書：p 46～65, p 70～80 (実習) ※次回授業までに、各自で研究課題に関連する文献を検索し、 1 文献についてレビューし、カードにまとめる。	担当教員 全員
7	11/7 (木) 1 限	合同	文献レビュー①	1. 文献レビューの記述方法 2. グループの研究テーマに関する文献検索 3. グループの研究テーマに関連する文献レビュー 4. 論文から得られた情報の文献カード整理 教科書：p 46～65 (アクティブラーニング；グループ・ディスカッション)	担当教員 全員
8	11/14 (木) 1 限	合同	文献レビュー②	1. 文献レビューの概要について発表、グループ討議 教科書：p 46～65 (アクティブラーニング；グループ・ディスカッション) ★課題レポート：文献カード(提出期限：翌週授業時)	担当教員 全員
9	11/18 (月) 2 限	合同	研究における 倫理的配慮	1. 研究における倫理的配慮の原則 2. 依頼書と同意書の取り方 3. 高齢者を対象とする研究の倫理的配慮 教科書：p 84～106	担当教員 全員
10	11/28 (木) 1 限	合同	研究計画書 の作成①	1. 研究計画書を作成する意義と目的 2. 研究計画書の概要、書式、書き方 3. 研究計画書の作成(チェックリスト参照) 1) 研究タイトル仮 2) はじめに (研究の動機・意義) 3) 研究目的 4) 文献レビュー 5) 用語の定義 (講義・グループワーク) 教科書：p 248～263 *上記 1)～3) について計画書に記述し、12 回授業までに複 数回教員のフィードバックを受けて追加・修正する。	担当教員 全員
11	12/7 (土)	合同	学会参加	1. 看護系学会への参加 ★課題(学会参加レポート) 提出期限：12 月 12 日授業時	担当教員 全員
12	12/9 (月) 2 限	合同	研究計画書 の作成②	1. 研究計画書の作成 教科書：p 248～263 (アクティブラーニング；グループ・ワーク)	担当教員 全員

13	12/23 (月) 2 限	合同	研究計画書の作成③	1. 研究計画書の作成(チェックリスト参照) 1) 研究方法 (研究デザイン、データ収集期間、研究対象者データ収集方法、データ分析方法) 2) 倫理的配慮 3) 引用文献 4) 討議したい内容 教科書: p248～263 (アクティブラーニング; グループ・ワーク) 研究計画書中間提出 期限: 1 月 8 日(水)17 時	担当教員 全員
14	1/20 (月) 2 限	合同	研究計画書の作成④	1. 研究計画書の作成(チェックリスト参照) 教科書: p248～263 (アクティブラーニング; グループ・ワーク) ★研究計画書 提出期限: 1 月 22 日(水)9 時	担当教員 全員
15	1/27 (月) 2 限	合同	研究計画書のプレゼンテーション	1. 研究計画についてプレゼンテーションができる (事前に Web Class) 2. 研究計画について質問・討議ができる。 3. 他者の発表について講評ができる。 (アクティブラーニング; プレゼンテーション、ディスカッション) ★研究計画書の最終提出・計画書のチェックリスト 提出期限: 1 月 31 日(金)12 時	担当教員 全員

履修者へのコメント:

1. 履修条件

1) 看護概論、老年看護概論、老年看護および技術を履修中または単位を修得している。

2. 履修にあたっての心構えと要望(第1回授業時に詳細を追加説明する)

1) 看護セミナー(老年看護)を履修する場合、GPA2.0 以上が望ましい

2) 老年看護に興味をもち、具体的に追究したいテーマと動機を持っている学生を歓迎します。

3) 文献のクリティークや文献レビューなどの事前学習が提示されます。授業を円滑に進めるために必ず実施して参加してください。

4) 自己の考えを論理的に表現するとともに他者と協働し、主体的に学習を進めてください。

5) 担当教員の指導を積極的に受けながら、主体的に課題に取り組んでください。

3. 出席確認

1) 授業参加後から翌日 23:59 までに WebClass 上の出席確認アンケートを実施してください。万が一、期限内の実施を忘れた場合は、授業担当者に直接申し出てください。

4. その他

1) 授業に関する連絡事項や研究計画書の指導等、WebClass 掲示板を活用します。

2) 実務経験(看護師)のある教員による授業科目です。

準備学習の内容及び必要時間:

1. 予習 30 分以上: 内容に提示した教科書の該当部分を読み、ポイントを整理してください。

2. 復習 30 分以上: 授業内容(教科書、配付資料)やグループワークを振り返り、演習メンバーと意見交換をした上で学習の要点や自己の課題をまとめて下さい。

課題に対するフィードバック:

1. ルーブリック評価表または提出された課題に直接コメントを記載し、授業内でフィードバックします。

2. 研究計画書の作成、研究計画発表の準備について、授業内外で積極的に相談やフィードバックを受けて進めてください。

オフィスアワー:

授業時間外の質問は、WebClass メールまたは、月曜日から金曜日 8:30～17:00 に担当教員の研究室へいらしてください。(臨地実習指導のため不在のこともあります)

教科書：

1) 坂下玲子著『系統看護学講座 別巻 看護研究』第2版(医学書院)2023.

参考書：

1. 南裕子編著『看護における研究』（日本看護協会出版会）2010.

2. 『埼玉医科大学短期大学紀要』

3. 日本看護協会『看護研究における倫理指針』2004.

※看護研究に関する文献を自主的に求める。

授業科目の区分		看護の統合			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
看護学セミナー (小児看護)	6104	演習	2年後期	必修	1／30
概 要：1・2年次に学んだ知識を統合し、小児看護を研究的な視点からとらえ、看護研究に必要な知識と態度を学ぶ。研究論文の読み取りや小児の施設見学等を通して、自己の研究課題についての研究計画書作成、研究学会参加から、研究の過程を理解する。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目 的：1. 看護研究の意義を理解し、研究の過程を理解する。 2. 論理的・科学的思考に基づく研究的態度を身につける。 3. 看護における「子どもの最善の利益の保障」について自己の考えを深める。					霜田 敏子 北田 良子 布施 好朗
到達目標：1. 看護における研究の意義や基礎知識を理解できる。 2. 小児看護の分野における自己の研究課題を見つけられる。 3. 自己の研究課題に沿った文献検索ができる。 4. 研究論文を分析的に読み取ることができる。 5. 看護研究における子どもの倫理的配慮を理解できる。 6. 研究の方法・過程を理解できる。 7. 自己の研究課題について研究計画書を作成できる。 8. 「ICT」を活用し情報の収集・分析し、アウトプットできる。					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☐③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☒⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法： 1. プレゼンテーション（研究方法別／各自の選んだ論文紹介／論文の分析的評価） 20％ 2. 施設見学（事前調査⇒見学視点作り⇒見学での理解・感想レポート） 10％ 3. 看護研究学会参加（学会参加レポート、ディスカッション） 10％ 4. 研究計画書・ループリック評価（データ収集一部含む） 40％ 5. セミナー自己評価〈1〉〈2〉 6. 子どもの最善の利益の保障についてのグループディスカッション・発表、WebClassの学び・感想の実施 20％ 以上の1～5の成果物一式「小児セミナーMANABI 足跡」を綴じて提出する。 成績評価基準：評価の基準は、この科目の到達目標に対する到達度とし、上記成績評価方法1～6の基準を明示し点数化し、総合点をGPA実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者
1	9/26(木) 1限目	合同	子どもの最善の利益の保障① 看護研究の意義	1. 各自の子どもに関する興味・関心と学習目標 2. 子どもの最善の利益を保障するとは？ 3. 看護における研究の意義 テキスト:p. 2～p. 15 ☐ グループワーク、ディスカッション	担当教員 全員
2	10/2(水) 2限目	合同	研究課題と文献検索	1. 研究課題の見つけ方 2. 文献検索の意義、方法	担当教員 全員

				3. 情報リテラシー テキスト：p. 2～p. 15 p. 30～p. 32, p. 38～p. 42 □プレゼンテーション, ディスカッション	
3	10/9(水) 2限目	合同	文献検索	1. 文献検索の意義, 方法 2. インターネットによる文献検索の実践 ★検索した文献(研究論文)を次回持参する。 テキスト：p. 30～p. 42 □実習	担当教員 全員
4	10/16(水) 2限目	合同	論文の分析的 評価①	1. 研究論文の全体的な読み取り 2. 論文の分析的評価(クリティーク)の目的と方法 □プレゼンテーション, ディスカッション	担当教員 全員
5	10/23(水) 2限目	合同	小児関連施設 の実際	1. 小児関連施設における子どもの生活と援助の実際 2. 小児関連施設における子どもの最善の利益 □小児施設見学実習 施設見学レポート(提出期限未定)	担当教員 全員
6	10/30(水) 2限目	合同	論文の分析的 評価②	1. 研究論文の読み取り 2. 論文の分析的評価(クリティーク) □プレゼンテーション, ディスカッション	担当教員 全員
7	11/6(水) 4限目	合同	論文の分析的 評価③	1. 研究論文の読み取り 2. 論文の分析的評価(クリティーク) □プレゼンテーション, ディスカッション	担当教員 全員
8	11/11(月) 2限目	合同	子どもを対象 とした研究に おける倫理的 配慮	1. 看護研究における倫理 2. 研究課程別, 発達段階別の子どもの権利遵守 テキスト：p. 57～p. 70 参考資料：日本小児看護学会の倫理指針 □プレゼンテーション, ディスカッション	担当教員 全員
9	11/18(月) 2限目	合同	研究の方法 研究過程	1. 研究方法, デザイン, 概念枠組み, 信頼性・妥当性 2. 研究の過程 3. 研究課題・目的に応じた研究方法の選定 テキスト：p. 43～p. 45 p. 47～p. 56 p. 71～p. 80 p. 71～p. 80	担当教員 全員
10	11/25(月) 2限目	合同	研究計画書の 作成①	1. 研究計画書の意義 2. 研究計画書の書き方 1) 研究動機 2) 研究課題の背景 3) リサーチクエスション, 研究目的の明確化 4) 研究方法 5) データ収集と分析 3. 自己の研究課題に関する文献の検索 テキスト p. 71～p. 80 ★研究計画書は1人または2人一組で取り組む	担当教員 全員
11	12/2(月) 2限目	合同	研究計画書の 作成②	1. 研究課題の明確化, 研究課題の背景 2. 研究目的の設定 3. 研究方法の立案 4. 文献検索 テキスト p. 71～p. 80 研究計画書の個別指導	担当教員 全員

12	12/上旬 (土)	合同	看護研究学会の 実際	1. 看護研究学会における研究発表の実際 2. 自己の研究課題や研究計画書への活用 ★第 43 回日本看護科学学会 オンライン参加	担当教員 全員
13	12/9(月) 2 限目	合同	研究計画書の 作成③	1. 研究計画書作成 テキスト p. 71～p. 80 研究計画書の個別指導	担当教員 全員
14	1/9(木) 3 限目	合同	研究計画書発表	1. 自己の研究課題に対する研究計画 2. 他者の研究課題と研究計画書の共有 □プレゼンテーション, ディスカッション ★「小児セミナーMANABI 足跡」提出, 期限 1/31(水) 仮	担当教員 全員
15	1/27(月) 2 限目	合同	子どもの最善の 利益の保障② 研究論文および セミナーのまと め	1. 研究論文の構成 2. 子どもの最善の利益を保障するとは? 3. セミナーでの学びや今後の課題 4. 全体および個別フィードバック □グループワーク, プレゼンテーション	担当教員 全員
履修者へのコメント： 1. 履修条件 1) 「小児看護概論」「小児看護」「小児看護技術」の単位を修得、もしくは履修中であること。 2. 履修にあたっての心構えと要望（第 1 回目に詳細を追加説明する） 1) 「看護学セミナー」を履修する場合、1 年次までの GPA2.0 以上であることが望ましい。 2) 小児関連施設の見学は 10 月下旬を予定しています。詳細は、決定次第連絡します。 3) 11 月～1 月期間内に各自が子どもの看護に関する研究課題を見つけ、看護研究計画書を作成します。自分の関心のある分野について明確にしておきましょう。 3. 出席確認： 毎回直接、呼名で確認します。 4. その他 1) 講義に関する連絡は、WebClass、メール、1F の掲示等で行います。 2) 実務経験（看護師）のある教員による授業科目です。					
準備学習の内容及び必要時間： 予習 30 分以上：次回授業までに該当部分についてテキスト、インターネット等で記事などを読み資料の下調べをして整理しておく。 復習 30 分以上：毎回、授業後に WebClass の学び・感想を記載すること。 授業で配付する資料、テキストを整理すること。					
課題に対するフィードバック：レポート等、各課題の結果については採点・添削後、フィードバックを行う。					
オフィスアワー：授業時間以外では、月曜日～金曜日の 8:30～17:00 の間に、研究室 17 霜田が対応します。					
教科書：(1) 李節子 著、看護研究ころえ帳 第 3 版、医歯薬出版株式会社、2022 年					
参考書： (1) 日本小児看護学会、子どもを対象とする看護研究に関する倫理指針、一般社団法人日本小児看護学会、2015 年 (2) 南裕子・野嶋佐由美 編集、看護における研究 第 2 版、日本看護協会出版会、2017 年 (3) 坂下玲子ほか著、系統看護学講座別巻・看護研究、医学書院、2017 年 その他、多数の参考図書があります。各自で探して活用して下さい。					

授業科目の区分		看護の総合				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	
看護学セミナー (母性看護)	6104	演 習	後 期	必 修	1/30	
概 要：1,2 年次に学習した知識を統合して、母性看護を研究的視点からとらえ、専門職としての新たな知見と技術の発見するために必要な研究の方法と態度について学ぶ。 学生便覧Ⅲカリキュラム「看護学科の科目構造図と学科進度」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと						担当教員
目的：専門職としての看護における研究の意義と必要性を理解し、母性看護の視点から文献を検索し精読することを通して論理的・科学的思考に基づく研究の方法を学習する。3 年次の「卒業研究」に必要な基礎的知識・態度を修得する。						大角地久美子
到達目標：1.看護における研究の役割を理解できる。 2.研究課題の見つけ方を理解することができる。 3.研究手順の具体的な進め方を理解できる。 4.文献検索の目的と方法を理解できる。 5.基礎的な研究方法を理解できる。 6.研究のまとめ方を理解できる。 7.研究のクリティークを通してその意義と方法を理解できる。 8.母性看護に関するテーマで研究計画書を作成することができる。 9. ICT を活用し情報の収集、分析し、アウトプットできる。						石川 裕貴 山下 智子
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☐ ③専門的な知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる能力 ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						
成績評価方法：1.学習態度（グループワーク、ディスカッション、計画書発表）（40％） 2.研究計画書（30％） 3.課題レポート（研究課題の選択、文献カード、学会参加レポート）（30％） 成績評価基準：レポート、学習態度の評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	9/26 (木) 1 限目	看護研究とは	1. 研究とは 2. 看護研究とは何か 3. 看護における倫理的配慮 教科書(1) p 16-23, 86-108			大角地
2	10/3 (木) 1 限目	研究課題の選択	1. 研究課題の見つけ方 1) 自分の問題から発見する。 2) 文献の中から発見する。 3) リサーチクエストをたてる 教科書(1) p 34-45 ●課題提出(提出期限 10/7(月)8:50)			大角地
3	10/7 (月) 2 限目	研究デザイン①	1. 研究デザインの種類 2. 研究の設計と方法の選択方法 教科書(1) p 110-149			大角地
4	10/17 (木) 2 限目	文献検索 文献レビュー	1. 文献検索の意義と必要性 2. 文献検索の方法 3. 母性看護学において興味ある分野に関する文献を検索 4. 研究課題に関する文献検討(レビュー)の目的 5. 文献カードの作成 [5 階 PC 室] ●課題提出(提出期限 10/24 (木) 8:50) 教科書(1) p 48-83			大角地

5	10/24 (木) 1 限目	研究デザイン②	1. 文献研究について 教科書(1) p 342-348	大角地
6	10/31 (木) 1 限目	データ収集・分析	1. データ収集方法・分析方法 教科書(1) p 154-244	大角地
7	11/7 (木) 1 限目	論文のまとめ方	1. 研究結果の表現方法 1) 研究発表の論文構成 2) 「はじめに」「研究目的」「研究方法」「研究結果」「考察」の内容 2. 論文作成上の注意点 教科書(1) p 266-282	大角地
8	11/14 (木) 1 限目	クリティク学習	1. 論文のクリティクの方法 教科書(1) p 283-298	石 川
9	11/18 (月) 2 限目	クリティクの実践	1. 論文のクリティクの記述 2. グループメンバーとしての役割の実践 教科書(1) p 283-298	石川
10	11/28 (木) 1 限目	クリティクの発表	1. 文献のクリティクをグループ毎に発表 2. 全体討議 教科書(1) p 283-298	石 川 大角地 山 下
11	12/2 (月) 2 限目	研究計画書作成①	1. 研究計画書の意義 2. 研究計画書の作成上の注意点 教科書(1) p 246-264	大角地
12	11~12 月	学会参加	1. 学会発表に参加する 2. 発表された研究について報告する。	大角地 石 川 山 下
13	12/9 (月) 2 限目	研究計画書作成②	1. 研究計画書の記述 教科書(1) p 246-264	大角地
14	1/6 (月) 2 限目	研究計画書作成③	1. 研究計画書の記述 教科書(1) p 246-264 ●課題提出 (提出期限 1/15 (水) 8:50)	大角地
15	1/20 (月) 2 限目	研究計画書発表 まとめ	1. 研究計画書のプレゼンテーションの実施 2. 他者の計画書について質問を実施 3. 今後の研究課題の明確化 課題提出 ●課題提出 (提出期限 1/27 (月) 8:50)	大角地 石 川 山 下
1. 履修者へのコメント 1) 履修条件: 「母性看護概論」「母性看護Ⅰ・Ⅱ」を履修済みまたは履修中であること。 2) 「母性看護Ⅰ」を履修する場合、GPA2.0 以上が望ましい。 2. 履修にあたっての心構えと要望 (第1回授業時に詳細を追加説明する) 1) 「研究力 (問題発見・問題分析・問題探求・調査・倫理的思考などの能力)」を身につけるための講義です。 そのための力を授業からや自らも身につける行動をしてください。 2) 本科目は、学習過程でWebClass および、Google ドキュメントなどの ICT、YouTube を使用することもあります。 授業への参加準備として、個人で利用できるパソコン所有、ネットワーク環境の整備を推奨します。 3) 学会参加は 11~12 月を予定しています。詳細は、決定次第連絡します。 3. 出席確認: 対面授業時に直接確認します。期限や変更がある場合は、お知らせします。 4. その他 1) 講義に関する連絡は、掲示にて行います。 2) 講義に関する質問は、授業時間内に積極的に行ってください。				

準備学習の内容及び必要時間： 1. 予習 30 分以上：授業の内容を踏まえて該当部分のテキスト、参考書を読み整理してください。 2. 復習 30 分以上：授業内容（教科書、配付資料）やグループワークを振り返り、演習のメンバーと意見交換をした上で学習の要点や自己の課題をまとめてください。
課題に対するフィードバック： 1. 提出課題やディスカッション時に直接フィードバックします。 2. 必要時、オフィスアワー内にも実施します。 3. 提出されたレポート・課題については授業内外において返却・解説を行います。
オフィスアワー：授業時間外の質問は、月曜日から金曜日迄の 8:30～17:00 の間に研究室 15 大角地まで来てください。
教科書：(1) 坂下玲子他著 『系統看護学講座別巻 看護研究』（医学書院） 2022.
参考書：足立はるゑ『看護研究サポートブック 改訂5番』（MCメディカ） 2022. 大木秀一 『文献レビューのきほん』 医歯薬出版株式会社 2013. 黒田裕子 『看護研究 Step by Step 第6版』 医学書院 2023.

授業科目の区分		看護の統合				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバ	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	
看護学セミナー (精神看護)	6104	演習	2年後期	必修	1/30	
概要：1・2年次に学んだ知識を統合し、精神看護を研究的視点からとらえ、看護研究に必要な知識と態度を学ぶ。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。						担当教員
目的：専門職としての看護における研究の意義と必要性、看護研究のすすめ方および研究的態度を精神看護の視点より、論理的・科学的思考に基づく研究方法について演習を通して学習する。						勝久 淳
到達目標：1. 看護における研究の意義と役割を説明できる。 2. 研究の方法と経過（プロセス）を説明できる。 3. 精神看護の視点に基づいた研究課題を見つけることができる。 4. 研究課題（テーマ）に沿った文献を検索し、検討ができる。 5. 研究計画書を作成し、発表することができる。 6. 看護研究学会に参加し客観的、論理的に表現できる。 7. ICTを活用し情報の収集、分析し、アウトプットできる						渡邊 あゆみ
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☐ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☐ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる						
成績評価方法：1. 研究計画書作成・発表 50% 2. 課題レポート（研究学会参加レポート＋論文クリティック記録）30% 3. 学習態度（グループワークの発言および積極性）20% 成績評価基準：研究計画書・課題レポート・学習態度は評価基準を学生に明示し、その別紙評価基準に基づいて評価し、総合点をGPA実施規則に則り評価する。						
回	月/日(曜)	クラス	授業項目	内 容	担当者	
1	9/30 (月) 2限	合同	看護研究とは	1. 看護学セミナーの目的・目標・方法 2. 研究がもたらす成果 3. 看護における研究課題 教科書 p 1～30 4. 看護研究における倫理的配慮 教科書 p 83～106 5. 文献の種類、検索方法 1) 文献検討の目的 2) 文献検索の方法 教科書 p 45～65	勝久 渡邊	
2	10/3 (木) 4限	合同	文献検索 (※5階PC室 使用)	1. コンピュータを用いた検索方法 2. 精神看護に関するキーワードを用いた文献の検索方法 教科書 p 45～65	勝久 渡邊	
3	10/21 (月) 2限	合同	リサーチクエス ションと研究デ ザイン	1. 問題を見つける方法 2. 問題意識を発展させ明確化にする方法 3. 個々の課題をもとに課題の絞り込み方法 教科書 p 31～44 2) 研究方法について検討 ①研究対象の選定と研究デザインの種類・特徴を説明 教科書 107～151	勝久 渡邊	

4	10/28 (月) 2 限	合同	研究計画書とは	1. 研究計画書とは 1) 研究計画書を作成する目的 2) 研究計画書の書式と書き方 教科書 p 247～264	勝久 渡邊
5	11/11 (月) 2 限	合同	文献（論文）クリティーク	1. 文献のクリティーク 1) 研究テーマ、目的、目標、意義について検討（クリティーク） 教科書 p 66～69 ・ p 284～301 2) 研究方法について検討 教科書 p 107～151 3) データ収集と分析方法 教科書 p 155～245 4) 結果の解釈(考察) 教科書 p 270～271	勝久 渡邊
6	11/18 (月) 2 限	合同	クリティーク方法①	1. 研究論文のクリティークの発表と検討（グループワークによるディスカッション） 教科書 p 66～69 ・ p 284～301	勝久 渡邊
7	11/25 (月) 2 限	合同	クリティーク方法②	1. 研究論文のクリティークの発表と検討（グループワークによるディスカッション） 教科書 p 66～69 ・ p 284～301	勝久 渡邊
8	12/2 (月) 2 限	合同	クリティーク方法③	1. 研究論文のクリティークの発表と検討（グループワークによるディスカッション） 教科書 p 66～69 ・ p 284～301	勝久 渡邊
9 ・ 10	12/7 (土) 1・2 限	合同	看護研究学会へ参加	1. 校外へ埼玉県看護研究学会への参加 2. 研究課題や発表方法 3. 学会参加レポート提出（提出期限：12 月 11 日、授業時）	勝久 渡邊
11	12/9 (月) 2 限	合同	研究計画書の作成①	1. 文献の検討を通して学んだ知識をもとに研究計画書を作成 1) 研究課題とキーワードを明確化 2) キーワードの定義（用語の定義） 3) 課題追究のための文献を検索 4) 研究の背景・意義を検討し、研究目的の明確化 5) テーマに適した研究方法か、実現可能な方法 6) 倫理的配慮の検討 7) 互いの研究計画書について、共有 教科書 247～264	勝久 渡邊
12	12/23 (月) 2 限	合同	研究計画書の作成②	1. 研究計画書の作成・検討・修正 （グループワークによるディスカッション） 教科書 247～264	勝久 渡邊
13	1/9 (木) 3 限	合同	研究計画書の作成③	1. 研究計画書の作成・検討・修正 （グループワークによるディスカッション） 教科書 247～264	勝久 渡邊
14	1/20 (月) 2 限	合同	プレゼンテーション方法	1. 研究成果を伝える 1) 抄録としてまとめる 2) 口演での発表方法 教科書 265～283	勝久 渡邊
15	1/27 (月) 2 限	合同	研究計画書の発表	1. 研究計画の発表・研究計画書の提出 （プレゼンテーション） 教科書 247～282	勝久 渡邊

1. 履修条件：精神看護概論、精神看護Ⅰ、精神看護Ⅱ履修中または単位を修得していること。
2. 履修にあたっての心構えと要望
 - 1) この科目を履修する場合、GPA2.0以上が望ましい。
 - 2) 精神看護に興味、関心のある学生の受講を希望します。
 - 3) 研究発表会・学会への参加を予定しています。
 - 4) 討議により学習をすすめていくので、積極的に発言してください。
 - 5) 主体的に学び、論理的・科学的思考を身につけましょう。
3. 出席確認：対面授業時に直接確認します。
4. その他
 - 1) 講義に関する連絡は、掲示やWebClass を使用して行いますので各自必ず確認してください。
 - 2) 講義に関する質問は、授業内もしくは、オフィスアワーに直接聞きにきてください。

予習 30 分以上：シラバスの内容を確認し教科書の該当部分を読んで授業に臨んでください。
復習 30 分以上：授業で学んだ要点を整理し課題をまとめてください。

提出されたレポート・課題については採点・添削後、フィードバックを行います。

教科書：坂下玲子他著『系統看護学講座別巻 看護研究』（医学書院）2023.

参考書：(1) 山崎茂明・六本木淑恵著『看護研究のための文献検索ガイド第4版』（日本看護協会出版会）2010.
 (2) 小笠原知枝・松本光子著『これからの看護研究 基礎と応用』（ヌーヴェルヒロカワ）2012.
 (3) 南 祐子著『看護における研究』（日本看護協会出版会）2017. その他、自主的に求める。

2024 年度
3 年 次 履 修 科 目

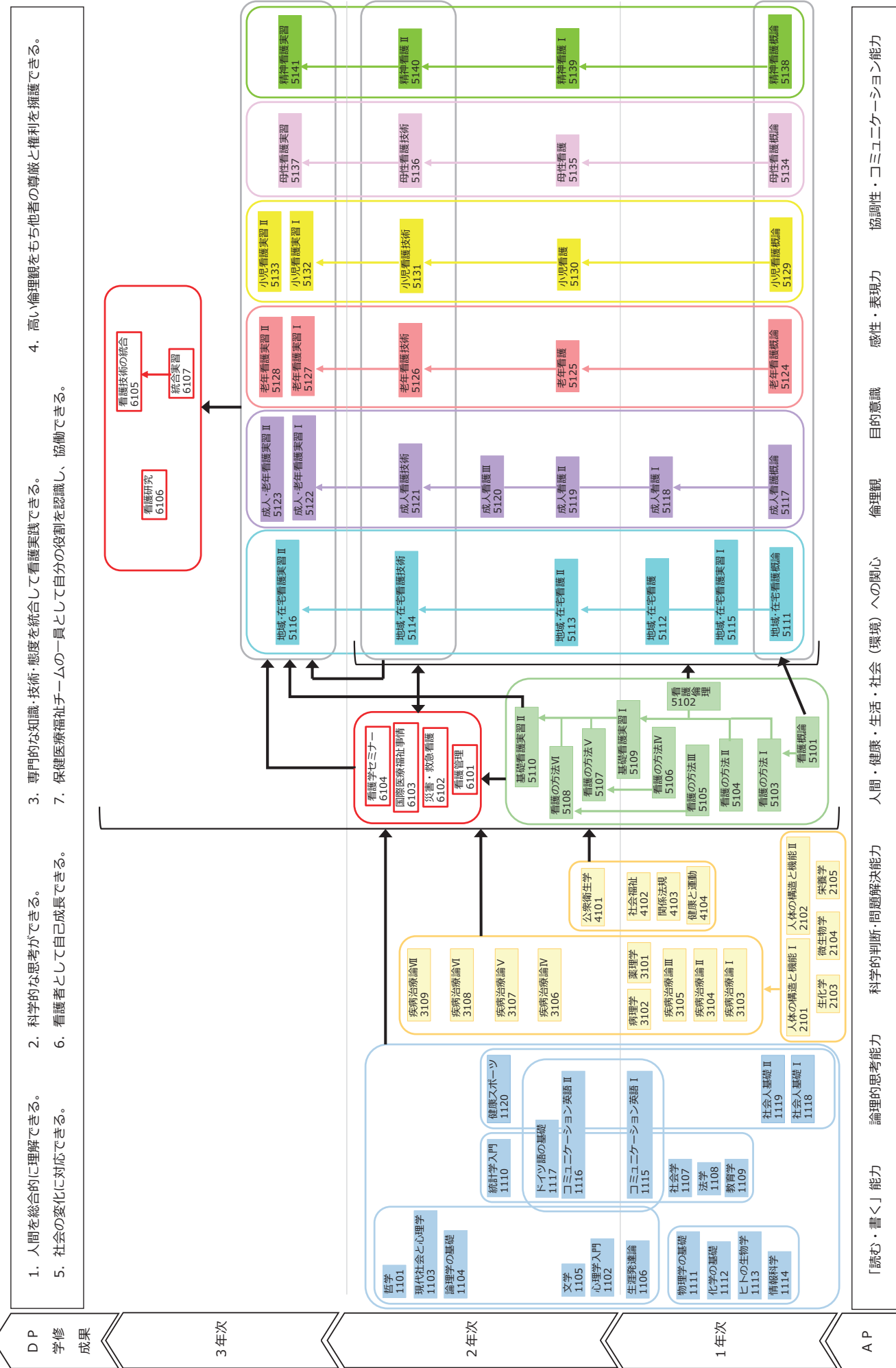
履修にあたっての一般事項

- (1) 本学で履修する科目は、科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解、人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法、看護の統合に大別されます。
また、科目は必修科目および選択科目の二つのカテゴリーがあります。科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解は、人間の理解、生活・社会の理解、自然科学の理解、国際交流の基礎、感性と創造の5分野に分けられます。
- (2) 学生は、科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解、人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法、看護の統合の規定の単位を修得しなければなりません。
- (3) 学生は学期初めに行われるオリエンテーションを確認し、その上で所定の履修科目について履修届（履修登録カード）を提出しなければなりません。
- (4) このカリキュラムは令和4年度入学生より適用します。

表2. 卒業要件及び国家試験受験資格

授 業 科 目 の 区 分		履修単位	
科学的思考の基盤、 人間と生活・社会の理解	人間の理解	3 単位	16単位以上
	生活・社会の理解	2 単位	
	自然科学の理解	2 単位	
	国際交流の基礎	4 単位	
	感性と創造	2 単位	
	人間の理解、生活・社会の理解、自然科学の理解、国際交流の基礎、感性と創造の中から選択	3 単位以上	
小 計		16単位以上	
人体の構造と機能		7単位	
疾病の成り立ちと回復の促進		9単位	
健康支援と社会保障制度		6単位	
小 計		22単位	
ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法	基礎看護学	14単位 (3)	67単位以上
	地域・在宅看護学	9単位 (3)	
	成人看護学	12単位 (6)	
	老年看護学	7単位 (3)	
	小児看護学	6単位 (2)	
	母性看護学	6単位 (2)	
	精神看護学	6単位 (2)	
看護の統合		7 単位以上 (2)	
小 計		67単位以上 (23)	
合 計		105単位以上	

カリキュラムマップ



授業科目の区分	ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
地域・在宅看護実習 Ⅱ	5116	実習	3年次前後期	必修	2／90
概 要：人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進、看護の基本、各領域で学んだ知識を活用する。地域で生活するあらゆる年代、様々な健康レベルの対象に提供されている看護について学ぶ。在宅看護で取り組んだ在宅看護技術演習、各領域での看護技術演習を生活の場で提供できるよう準備する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。 目 的：地域で生活している療養者や家族の現状を理解し、在宅看護を実践するための知識・技術・態度を習得する。 到達目標： 1. 訪問看護利用者の状況にあわせた看護計画の立案ができる 2. 訪問看護利用者の状況にあわせた看護計画に基づいて実践できる 3. 訪問看護利用者が活用している社会資源の必要性を考察できる 4. 地域包括ケアシステムにおいて訪問看護ステーションの役割を考察できる 5. 看護師に必要な態度を身につける 卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる ☑②科学的な思考ができる ☑③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☑④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☑⑤看護者として自己成長できる ☑⑥社会の変化に対応できる ☑⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					担当教員 <u>海野 文子</u> 池田 梨紗
成績評価方法：成績評価方法：知識・技能 44%、思考力・判断力・表現力 36%、主体性・協働性 20% 実習記録、看護実践、学習態度を総合的に評価する。 成績評価基準：実習記録、看護実践、実習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
内 容					
実習施設：訪問看護ステーション、福祉用具総合展示場					
履修者へのコメント： 1. 履修条件：「基礎看護学」に該当する科目、地域・在宅看護論、地域・在宅看護Ⅰ、地域・在宅看護実習Ⅰ、地域・在宅看護技術の単位を修得していること。 成績評価前提条件： 1) ルーブリック評価表においていずれか未達成（評価基準 60 点未満）の場合、不合格となります。 2) 提出期限を過ぎたもの、記録物の不足は評価対象外とし、D 評価となります。 3) 評価表上、D 評価にならずとも、学習成果が不十分とみなされた場合は協議した結果、条件付き合格とします。その際、学習の目標を提示し記録物の成果達成の機会を本人の了承のもと設けます。 2. 履修にあたっての心構えと要望 1) 「地域・在宅看護実習Ⅱ」を履修する場合、GPA2.0 以上が望ましいです。 2) 実習前に実習施設の場所、交通状況を確認しておきましょう。 3) 積極的にニュースや新聞から情報を得て自分の考えを持つようにしましょう。 3. 出席確認：出席確認の方法は、実習オリエンテーション時に説明します。 4. その他 1) 実習に関する連絡事項はメールや 1 階掲示板で連絡します。常に確認に努めてください。 2) 実習中の緊急連絡は、本学携帯電話に連絡してください。電話番号は、実習前にお知らせします。					

繋がらない場合は、短期大学学務課に連絡してください。 3) 実務経験（看護師）のある教員による授業科目です。
準備学習の内容及び必要時間： 1. 以下予習のために、テキスト、インターネット、記事から情報を得ておきましょう。 既修科目の復習に努め、事前学習に 30 分以上の予習が必要です。 1) 訪問看護師の役割、多職種連携について 2) 在宅における日常生活援助や医療処置について 3) 介護保険と医療保険の訪問看護について 4) 実習地域の特徴と訪問看護ステーションの機能と役割について 2. 各実習施設までの交通経路を確認しましょう。 3. 実習で学習が不足していた内容については、復習、追加学習に 30 分以上取り組む必要があります。
課題に対するフィードバック： 1) 実習記録に対するフィードバックは、実習時間内外で行います。 2) 地域・在宅看護実習Ⅰ終了後に期間を設けてフィードバックします。
オフィスアワー：実習に関する質問は、教員の実習施設巡回時に積極的に行ってください。オフィスアワー内の電子メールや訪室での質問も可能です。
教科書： 1) 臺有桂他編 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア 第7版 メディカ出版 2023 2) 臺有桂他編 地域・在宅看護論① 地域療養を支える技術 第7版 メディカ出版 2023
参考書： 1) 生涯発達論、社会学、看護概論、看護の方法Ⅰ・Ⅱ、各領域の概論等のテキスト 2) 厚生統計協会編 『国民衛生の動向』2022/2023

授業科目の区分	ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
成人・老年看護実習Ⅰ (急性期看護)	5122	実習	3年	必修	3/135
概要：人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法で学んだ内容を基盤に、急性期にある患者への看護を学ぶ。 シラバスの巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的：成人期・老年期にある対象を統合的に理解し、様々な健康状態にある患者および家族に対する看護実践の基礎的能力を養う。					久保 かほる 浅見 多紀子 秋山 千恵子 鈴木 夕岐子 杉本 真弓 小野 真央 田中 顕治
到達目標：1. 対象の身体的、心理的、社会的状況を把握する。 2. 手術を受ける患者・家族の看護を実践する。 3. 看護師に必要な態度を身につける。					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護師として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					五十嵐 禎幸 加藤 純一 長谷部 愛覧 長岡 千恵 横山 真由美 渡辺 友子
成績評価方法：1. 知識・技能 40% 2. 思考力・判断力・表現力 35% 3. 主体性・協働性 25% （実習記録・援助場面・発言内容・聴く姿勢を総合的に評価する）					
成績評価基準：実習記録・援助場面・発言内容・聴く姿勢は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、総合点をGPA実施規則に則り評価する。					
内 容					
＜手術を受ける患者の看護＞ 1. 対象の身体的・心理的・社会的状況の把握 1)病態生理 2)手術侵襲と合併症 3)手術による身体的変化 4)患者・家族の心理的・社会的状況 2. 手術を受ける患者・家族の看護実践 1)合併症予防の援助 2)手術や術後の状況を受容できるような援助 3)継続支援の重要性を理解した行動 3. 看護師に必要な態度の習得 1)主体的な行動（学習含む） 2)他者との信頼関係の構築 3)適切な健康管理 4)実習グループの一員として協調性をもった行動 5)保健医療福祉チームの一員としての協働 6)生命の尊厳と人権を尊重した行動 7)自分の責任と能力を認識した行動					

履修者へのコメント： 1.履修条件：次の科目の単位を修得していること 1)「基礎看護学」に該当する科目 2)成人看護概論 3)成人看護Ⅰ 4)成人看護Ⅱ 5)成人看護Ⅲ 6)成人看護技術 2.履修にあたっての心構えと要望（オリエンテーション時に詳細を追加説明します） 1)本科目を履修する場合、2年次までのGPA2.0以上であることが望ましいです。 2)図書室を有効に活用し、主体的に学習を進めて下さい。 3)実習記録は速やかに返却するので、成人・老年看護実習Ⅱ・統合実習・看護技術の統合に活用して下さい。 3.出席確認 出席の確認方法は、実習オリエンテーション時に説明します。 4.その他 1)詳細は看護実習要項 2024年度を参照して下さい。 2)実習に関する質問は、実習時間内に積極的に行って下さい。 3)実習に関する連絡は、掲示またはWeb Classで行います。 4)実務経験（看護師）のある教員による授業科目です。
準備学習の内容及び必要時間： 予習1時間以上：①実習要項の成人・老年看護実習Ⅰを熟読し、履修条件にあげた科目を中心に、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ、受け持ち患者の病態生理・看護・看護技術（手順・留意点、根拠）について学習し、実習記録に整理しておいて下さい。 ②実習内容を確認し、「成人看護Ⅱ」や「成人看護技術」等のテキスト、ノート、配付資料を参考に学習内容を復習し、ノートやファイルに整理して下さい。 復習1時間以上：実習内容を振り返り、当日中に調べて実習記録や自己の課題をまとめて下さい。
課題に対するフィードバック： 1.実習記録や援助場面、評価についてフィードバックは実習時間内外で適時行います。 2.実習目標の到達度について実習時間内に適時、面接を行います。
オフィスアワー： 1.実習時間外の質問は、月曜日から金曜日の実習終了後から17:00の間に担当教員が対応します（会議等で不在の時もあります）。 2.非常勤講師の場合は、月曜日から金曜日の実習終了後から17:00の間に病棟で対応します（会議等で不在の時もあります）。
教科書： 1・2年次に使用した教科書
参考書： (1)成人看護Ⅱおよび成人看護技術の参考書を参照する。 *その他、自主的に求める。

授業科目の区分	ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
成人・老年看護実習Ⅱ (慢性期もしくは終末期看護)	5123	実習	3年	必修	3/135
概要：人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法で学んだ内容を基盤に、慢性の経過をたどる成人期・老年期の患者あるいは終末期を過ごす成人期・老年期の患者の看護を学ぶ。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的：成人期・老年期にある対象を統合的に理解し、様々な健康状態にある患者および家族に対する看護実践の基礎的能力を養う。					久保 かほる
到達目標： 1. 対象の身体的、心理的、社会的状況を把握する。 2. 長期的な経過をたどる患者・家族の看護を実践する。 3. 最期の時を過ごす患者の看護・家族の看護を実践する。 4. 看護師に必要な態度を身につける。					浅見 多紀子
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					秋山 千恵子
成績評価方法：1. 実習記録 2. 発言内容 3. 援助場面 4. 聴く姿勢 ＜長期的な経過をたどる患者の看護＞ 知識・技能（実習記録・発言内容） 35% 思考力・判断力・表現力（実習記録・発言内容・援助場面） 40% 主体性・協働性（実習記録・援助場面・発言内容・聴く姿勢） 25% ＜最期の時を過ごす患者の看護＞ 知識・技能（実習記録・発言内容） 30% 思考力・判断力・表現力（実習記録・発言内容・援助場面） 40% 主体性・協働性（実習記録・援助場面・発言内容・聴く姿勢） 30% 成績評価基準：実習記録・発言内容・援助場面・聴く姿勢は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し総合点をGPA 実施規則に則り評価する。					鈴木 夕岐子
内 容					杉本 真弓
長期的な経過をたどる患者の看護 1. 対象の身体的、精神的、社会的状況の把握 1) 病態生理 2) 疾病・検査・治療からくる日常生活の変化 3) 状態を悪化させる因子および生活上の管理を阻害する因子 4) 患者・家族の心理的・社会的状況					小野 真央
					田中 顕治
					仲野 美里
					小高 貴之
					高橋 由貴
					古田 真美
					伊藤 真理子

2. 長期的な経過をたどる患者・家族の看護実践

- 1) 悪化の予防と回復に向けた援助
- 2) 患者・家族が日常生活の変化や病状を受容できるような援助
- 3) 継続支援の重要性を理解した行動

3. 看護師に必要な態度の習得

- 1) 主体的な行動（学習含む）
- 2) 他者との信頼関係の構築
- 3) 適切な健康管理
- 4) 実習グループの一員として協調性をもった行動
- 5) 保健医療福祉チームの一員としての協働
- 6) 生命の尊厳と人権を尊重した行動
- 7) 自分の責任と能力を認識した行動

〈最期の時を過ごす患者の看護〉

1. 対象の身体的、精神的、社会的状況の把握

- 1) 病態生理、身体的苦痛
- 2) 治療、機能の低下で生じた日常生活の変化
- 3) 起こり得る苦痛、状態を悪化させる因子
- 4) 患者・家族の心理的・社会的・（霊的）苦痛

2. 最期の時を過ごす患者・家族の看護

- 1) 身体的苦痛を緩和する援助、身体的苦痛を予防する援助
- 2) 患者・家族の心理的・社会的・（霊的）苦痛に応じた援助
- 3) 継続支援の重要性を理解した行動

3. 看護師に必要な態度の習得

- 1) 主体的な行動（学習含む）
- 2) 他者との信頼関係の構築
- 3) 適切な健康管理
- 4) 実習グループの一員として協調性をもった行動
- 5) 保健医療福祉チームの一員としての協働
- 6) 生命の尊厳と人権を尊重した行動
- 7) 自分の責任と能力を認識した行動

履修者へのコメント：

1. 履修条件：次の科目の単位を修得していること

- 1) 「基礎看護学」に該当する科目
- 2) 成人看護概論 3) 成人看護Ⅰ 4) 成人看護Ⅱ 5) 成人看護Ⅲ 6) 成人看護技術

2. 履修にあたっての心構えと要望（オリエンテーション時に詳細を追加説明する）

- 1) この科目を履修する場合、2年次までのGPA2.0以上であることが望ましい。

3. 出席確認方法

出席確認の方法は、実習オリエンテーション時に説明します。

4. その他

- 1) 詳細は実習要項を参照して下さい。
- 2) 図書室を有効に活用し、主体的に学習を進めて下さい。

3) 実習記録は速やかに返却するので、成人・老年看護実習Ⅰ・統合実習・看護技術の統合に活用して下さい。 4) 実習に関する質問は、実習時間内に積極的に行って下さい。 5) 実習に関する連絡は、掲示またはWeb Classで行います。 6) 実務経験（看護師）のある教員による授業科目です。	
準備学習の内容及び必要時間： 予習1時間以上： ①実習要項の成人・老年看護実習Ⅱを熟読し、履修条件にあげた科目を中心に、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ、受け持ち患者の病態生理・看護・看護技術（手順・留意点・根拠）について学習し、実習記録に整理しておいて下さい。 ②実習内容を確認し、「成人看護Ⅰ」「成人看護Ⅲ」や「成人看護技術」等のテキスト、ノート、配付資料を参考に学習内容を復習し、ノートやファイルに整理して下さい。	
復習1時間以上： ①実習内容を振り返り、わからなかったことは当日中に調べ実習記録や自己の課題をまとめて下さい。	
課題に対するフィードバック：	
1) 実習記録や援助場面に対するフィードバックは実習時間内外で適時、行います。 2) 実習目標の到達度について実習時間内に適時、面接を行います。	
オフィスアワー：	
1) 実習時間外の質問は、月曜日から金曜日の実習終了後から17:00の間に直接、担当教員が対応します。 （会議等で不在の場合もあります。） 2) 非常勤講師への質問は、月曜日から金曜日の実習終了後から17:00の間に病棟で対応します。 （会議等で不在の場合もあります。）	
教科書：1・2年次に使用した教科書	
参考書：成人看護技術の参考書を参照する。	その他、自主的に求める。

授業科目の区分	ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
老年看護実習Ⅰ (入院を必要とする 高齢者の看護)	5127	実習	3年	必修	2/90
概 要： 人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、看護の基本、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法をもとに、老年期における入院患者の看護実践をし、高齢者の健康を支える看護について学ぶ。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目 的： 老年期にある人々の健康を総合的にアセスメントし、個人およびその家族が健康的な生活を送るための看護実践の基礎的能力を養う。					瀧山 文恵 荒川 みひろ 持田 奈穂美 小野 智貴 小野寺 智洋
到達目標： 1. 加齢による心身機能の変化と疾病・障害をふまえた高齢者の健康状態をアセスメントできる 2. ICF を活用した高齢者の目標志向型思考による看護過程を展開することができる 3. 高齢者の生活機能に基づいた健康アセスメントを実践できる。 4. 老年看護における看護師の役割について理解し、行動できる 5. 保健医療福祉チームの一員として看護師に必要な態度を身につける。					島田 雅之 岩井 恵 小林 聖恵
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：以下1・2・3について総合評価する。 1. 知識・技能（実習記録、発言内容、WebClass 課題、演習中の技術）；35％ 2. 思考力・判断力・表現力（実習記録、発言内容、演習中の技術、援助場面）；35％ 3. 主体性・協働性（自己学習、報告連絡相談、記録提出、実習中の発言・行動、約束・期限、グループワーク）；30％ 成績評価基準：自己学習、実習への取り組み、実習記録、看護実践、発言内容は評価基準を学生に明示する。 上記3つの評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
内 容					
1. 加齢による心身機能の変化と疾病・障害をふまえた高齢者の健康状態をアセスメント 1) 高齢者の加齢による心身機能の変化、病態、障害、健康アセスメント 2. ICF を活用した高齢者の目標志向型思考による看護過程を展開 1) 目標志向型思考の看護を実践する意義を理解し、受け持ち患者の全体像に関する情報を収集 2) 受け持ち患者の健康のニーズ、看護の方向性、看護の焦点 3) 対象者が本来もっている力の分析と現在十分に力が発揮されていない理由、ICF の概念をもとに力が引き出される可能性をアセスメント 4) 目標・援助計画を立案し、日常生活援助を安全・安楽・自立に配慮し、実施 5) 実施した援助に対する評価を行い、援助計画の追加・修正 6) 高齢者の人格を尊重し生活の質を高めるための援助を実施 3. 高齢者の生活機能に基づいた健康アセスメントを実践 1) 対象患者のフィジカルアセスメント（以下PA とする）技術を正確に実践 2) メンタルアセスメント技術を正確に実践					

3) 対象患者のPA・メンタルアセスメント技術のプレゼンテーションを実施 4. アセスメントツールを活用し、受け持ち患者の心身機能、ADL、合併症リスクなどをアセスメント 5. 老年看護における看護師の役割 1) 多職種間における看護師の役割 2) 保健医療福祉チームの一員としての自己の役割 6. 保健医療福祉チームの一員として看護師に必要な態度 1) 事前・自己学習、看護援助への主体的な取り組み 2) 保健医療福祉チームの一員としての協働
履修者へのコメント： 1. 履修条件 1) 次の科目の単位を修得していること ①「基礎看護学」に該当する科目 ②老年看護概論 ③老年看護 ④老年看護技術 2) 2年次の老年看護技術で記録の再指導対象者となった者は、再指導を終了していること。 2. 履修に当たっての心構えと準備(実習前オリエンテーション、実習時オリエンテーションで追加説明します。) 1) 「老年看護実習Ⅰ」を履修する場合、GPA2.0以上が望ましいです。 2) 実習を行うにあたり、実習要項(老年看護実習Ⅰ)を熟読し事前学習を行ってください。 詳細はオリエンテーション時に説明します。 3. 出席確認 出席確認の方法は、実習オリエンテーション時に説明します。 その他： 1) 詳細は実習要項を参照してください。 2) 実習グループのリーダーは、前週の金曜日までに担当教員に実習準備・オリエンテーションについての確認を取って下さい。 3) 実習に関する質問は、実習時間内に積極的にしてください。 4) 実務経験(看護師)のある教員による授業科目です。
準備学習の内容及び必要時間： 1) 実習開始までに指定の事前学習を実施してください。(実習要項の老年看護実習のページを参照) 2) 実習期間中毎日、予習・復習を行ってください。 予習1時間以上：指定の課題のほか、実習目標達成に必要な内容について文献を用いて学習してください。 復習1時間以上：指定の課題のほか、臨地実習中に指導を受けた内容について、文献を用い調べ学習記録用紙に整理してください。
課題に対するフィードバック： 1) 実習開始7日前後に自己評価をもとに面接を行い、中間フィードバック(形成的評価)を行います。 2) 実習時間内外で実習記録や実践に対するフィードバックを適時行います。
オフィスアワー：実習に関する質問は、実習時間内に積極的にしてください。授業時間外の質問はWebClass アンケートまたはメールで行うか平日8:30～17:00に担当教員の研究室に直接いらしてください。
教科書： (1) 2021年度 老年看護学 小冊子-ICFの概念を用いた生活機能からみた老年看護- (2) 北川公子 著者代表『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学』(医学書院) 2022. (1年次に購入済み) (3) 香春知永・齋藤やよい編『看護学テキスト NICE 基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する(改訂第3版)』(南江堂) 2020. (1年次に購入済み)
参考書： (1) 山田律子他編『生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図(第4版)』(医学書院) 2020. (2) 井手隆文著『系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学 [7] 脳・神経系第15版』(医学書院) 2019. (3) 堀内ふき・大淵律子・諏訪さゆり・山本恵子編『ナースンググラフィカ 老年看護学①高齢者の健康と障害 第7版』(メディカ出版) 2023. (4) 堀内ふき・大淵律子・諏訪さゆり・山本恵子編編『ナースンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 第6版』(メディカ出版) 2023. ※その他、自主的に求めること

授業科目の区分	ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
老年看護実習Ⅱ （多様な場で生活する 高齢者の看護）	5128	実習	3 年	必修	1／45
概 要： 多様な場で生活する高齢者の人格を尊重し、潜在能力を引き出すための支援を実習を通して学習する。高齢者がその人らしい生活を送るためのエンドオブライフケアについて学習するとともに、高齢者と家族をサポートする保健医療福祉チームにおける看護師の役割を実習を通して学習する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目 的： 多様な場で生活する高齢者の人格を尊重し潜在能力を引き出すための健康支援とエンドオブライフケアについて多職種と連携するための知識・技術・態度を修得する。					瀧山 文恵 荒川 みひろ 持田 奈穂美
到達目標： 1. 地域で生活している高齢者の活動の場に参加し、高齢者の健康と健康支援について説明できる。 2. 介護保険適用の施設の特徴を説明できる。 3. 高齢者の人格を尊重した安全・安楽・自立の援助を実践できる。 4. 介護保険適用の施設における多職種連携と看護師の役割を説明できる。 5. エンドオブライフ期にある高齢者の意思決定と家族サポートを説明できる。 6. 看護師に必要な態度を身につける。					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる ☑②科学的な思考ができる ☑③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☑④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☑⑤看護者として自己成長できる ☑⑥社会の変化に対応できる ☑⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：以下1・2・3について、自己学習、実習への取り組み、実習記録、看護実践、発言内容等を総合的に評価する。 1.知識・技能(実習記録、発言内容、WebClass 課題、援助技術);42％ 2.思考力・判断力・表現力(実習記録、発言内容、演習中の技術、援助場面);28％ 3.主体性・協働性(自己学習、報告連絡相談、記録提出、実習中の発言・行動、約束・期限、グループワーク);30％ 成績評価基準：到達目標に沿ったルーブリック評価表に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性を評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
内 容					
1. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)、介護老人福祉施設で生活している高齢者のケア場面に参加し、高齢者の人格を尊重した関わり方を体験をとおして学ぶ。 2. 介護保険適用の施設における看護の実践場面、多職種連携場面を見学する。 3. 施設に入所している高齢者の健康と健康支援について学ぶ。 4. 地域で生活している高齢者の活動の場が高齢者の健康に及ぼす影響と健康支援について学ぶ。老人福祉センターを見学する。 5. 指導者または担当教員の指導のもと、高齢者の日常生活行動の援助を見学または実施する。 6. 高齢者のエンドオブライフケアについて、学内演習・カンファレンスを行い、学びを共有する。 7. 学習管理システム(WebClass)の課題を活用し、自ら学習を進めることで老年看護に関する基礎的知識を身に付ける。					

履修者へのコメント： 1. 履修条件 1) 次の科目の単位を修得していること ①「基礎看護学」に該当する科目 ②老年看護概論 ③老年看護 ④老年看護技術 2) 2年次の老年看護技術で記録の再指導対象者となった者は、再指導を終了していること。 2. 履修に当たっての心構えと準備(実習前オリエンテーション、実習時オリエンテーションで追加説明します。) 1) 「老年看護実習Ⅱ」を履修する場合、GPA2.0以上が望ましいです。 2) 実習を行うにあたり、実習要項(老年看護実習Ⅱ)を熟読し事前学習を行ってください。詳細はオリエンテーション時に説明します。 3. 出席確認方法 出席確認の方法は、実習オリエンテーション時に説明します。 4. その他 1) 実習グループのリーダーは、前々週の金曜日までに担当教員に実習準備・オリエンテーションについての確認を取って下さい。 2) 実務経験(看護師)のある教員による授業科目です。
準備学習の内容及び必要時間： 1. 実習開始までに指定の事前学習を実施してください。(実習要項の老年看護実習のページを参照) 2. 実習期間中毎日、予習・復習を行ってください。 予習1時間以上：指定の課題のほか、実習目標達成に必要な内容について文献を用いて学習してください。 復習1時間以上：指定の課題のほか、臨地実習中に指導を受けた内容について、文献を用いて調べ、学習記録用紙に整理してください。
課題に対するフィードバック： 実習時間内外で実習記録や実践に対するフィードバックを適時行います。
オフィスアワー：実習に関する質問は、実習時間内に積極的にしてください。時間外に質問がある場合は、平日 8:30～17:00 までの間に直接担当教員まで来ていただくかWebClass メールで質問してください。
教科書： 1. 北川公子共著 『系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学』第9版(医学書院)2018. (1年次に購入済み) 2. 2021年度老年看護学小冊子-ICFの概念を用いた生活機能からみた老年看護-
参考書： 1. 香春知永・齋藤やよい編『看護学テキストNICE 基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する(改訂第3版)』(南江堂)2018. (1年次に購入済み) 2. 堀内ふき・大淵律子・諏訪さゆり編『ナースングラフィカ 老年看護学①高齢者の健康と障害』第7版(メディカ出版)2023. 3. 堀内ふき・大淵律子・諏訪さゆり編『ナースングラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践』第6版(メディカ出版)2023. 4. 正木治恵・真田弘美編『老年看護学概論―「老いを生きる」をささえることとは― 改訂第4版』(南江堂)2023. 5. 正木治恵・真田弘美編『老年看護技術―最後までその人らしく生きることを支援する― 改訂第4版』(南江堂)2023. 6. 財団法人厚生統計協会編『国民衛生の動向・厚生指針』(厚生統計)2021. 7. 山田律子・荻野悦子・井出訓編『生活機能からみた 老年看護過程+病態・生活機能関連図第4版』(医学書院)2020. *その他、自主的に求めること

5127 授業科目の区分	ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
小児看護実習Ⅰ	5132	実習	3 年	必修	1／45
概 要：人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進・健康支援と社会保障制度で学んだ知識を科学的根拠として、基礎看護学、小児看護学、母性看護学、地域・在宅看護論での学習内容を活用し、入院を必要とする子どもと家族への看護を学ぶ。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目 的：「子どもの権利」擁護を基盤とし、入院を必要とする子どもと家族の健康状態、発達段階に応じた看護を実践するための基礎的な知識・技術・態度を習得する。					霜田 敏子
到達目標： 1. 子どもと家族を尊重した人間関係を築くことができる。 2. 子どもの健康状態、発達段階に応じた安全管理を理解し、実践できる。 3. 子どもと家族に関わる情報収集とアセスメントができる。 4. 子どもの健康レベル、発達段階、自律性を考慮して看護実践ができる。 5. ハイリスク新生児およびNICUの特徴と看護師の役割を理解できる。 6. 小児にかかわる看護専門職者に必要な態度を身につける。					北田 良子
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒①人間を総合的に理解できる ☒②科学的な思考ができる ☒③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒⑤看護者として自己成長できる ☒⑥社会の変化に対応できる ☒⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					布施 好朗
成績評価方法：知識・技能 17%、思考力・判断力 61%、主体性・協働性 21%として、事前学習、看護実践、実習への取り組み、実習記録、カンファレンスを総合的に評価する。					金子 美結
成績評価基準：事前学習、看護実践、実習への取り組み、実習記録、カンファレンスは評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、総合点をGPA実施規則に則り評価する。					渋谷 久美子
内 容					
1. 小児病棟実習、NICU・GCU 病棟では、健康レベルと発達段階に適した子どもと家族の看護を、実践や見学を通して学習する。 ※詳細は看護実習要項（2024 年度）参照					
履修者へのコメント： 1. 履修条件 1) 基礎看護学に該当する科目及び小児看護概論・小児看護・小児看護技術の単位を修得していること。 2. 履修に当たっての心構えと要望 1) 「小児看護実習」を履修する際は、2 年次までの GPA2.0 以上であることが望ましい。 2) 事前学習等の活用 (1) 病棟実習・NICU 実習では、2 年次個人課題「子どものバイタルサイン測定 手順脚本」、事前課題「ハイリスク新生児の看護」を活用する。 (3) 1 年次の「発達マップ」を効果的に活用する。 3. 出席確認方法 出席確認の方法は、実習オリエンテーション時に説明します。					
山田 悠花子					

4. その他 1) 実習に関する連絡は、実習担当者から掲示や口頭で行います。 学内または遠隔実習の場合は、WebClass やメール、Zoom で使用することもあります。 2) 実務経験（看護師）のある教員による授業科目です。
準備学習の内容及び必要時間： 予習 60 分以上：担当患者の年齢・発達の特徴、健康レベルをアセスメントし、実践できるように要点を整理して下さい。 復習 60 分以上：実習内容やカンファレンスを振り返り、実習での学びや自己の課題をまとめて下さい。
課題に対するフィードバック： 1) 実習中の記録内容の指導、実践に対するフィードバックは、実習中の個別面接で行います。学内または遠隔実習の場合は、非接触型の方法をとる場合があります。
オフィスアワー：実習に関する質問は、実習中に積極的に行って下さい。実習時間外に質問がある場合は、月曜日から金曜日の 17:00 までに、直接担当教員まで来ていただくかメールでも可能です。
教科書：1・2 年次に使用した教科書 他
参考書：自主的に求めること。

授業科目の区分	ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間
小児看護実習Ⅱ	5133	実習	3年	必修	1/45
概要：人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進・健康支援と社会保障制度で学んだ知識を科学的根拠として、基礎看護学、小児看護学、母性看護学、地域・在宅看護論での学習内容を活用し、家庭や地域で生活する様々な発達段階にある子どもと家族への看護を学ぶ。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的：「子どもの権利」擁護を基盤とし、家庭や地域等で生活する子どもと家族への成長・発達、健康増進のために必要な看護の基礎的知識・技術・態度を習得する。					霜田 敏子 北田 良子 布施 好朗
到達目標： 1. 地域で生活する子どもと家族のセルフケアの支援と、関係する職種が果たす役割について理解できる。 2. 小児外来の特徴と看護師の役割を理解し、子どもや家族の援助ができる。 3. 健康な子どもの心身の特徴と日常生活の実際を理解できる。 4. 健康な子どもの発達段階に応じた日常生活の援助が実践できる。 5. 子どもを取り巻く人的環境の一部としての自覚と責任をもって実習ができる。 6. 小児にかかわる看護専門職者に必要な態度を身につける。					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：知識・技能 24%、思考力・判断力 44%、主体性・協働性 32%として、事前学習、看護実践、実習への取り組み、実習記録、カンファレンスを総合的に評価する。					
成績評価基準：事前学習、看護実践、実習への取り組み、実習記録、カンファレンスは評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
内 容					
1. 外来実習では、健康レベルと発達段階に適した子どもと家族の看護を、実践や見学を通して学習する。 2. 幼稚園・保育園実習では、健康な子どもの生活の実際と看護を、実践や見学を通して学習する。 ※詳細は看護実習要項（2024 年度）参照					
履修者へのコメント： 1. 履修条件 1) 基礎看護学に該当する科目及び小児看護概論・小児看護・小児看護技術の単位を修得していること。 2. 履修に当たっての心構えと要望 1) 「小児看護実習」を履修する際は、2 年次までの GPA2.0 以上であることが望ましい。 2) 事前学習等の活用 (1) 外来実習では、2 年次個人課題「子どものバイタルサイン測定 手順脚本」、事前課題「小児外来の看護」を活用する。 (2) 幼稚園・保育園実習では、1 年次の「発達マップ」を効果的に活用する。					

3. 出席確認方法 出席確認の方法は、実習オリエンテーション時に説明します。
4. その他 1) 実習に関する連絡は、実習担当者から掲示や口頭で行います。 学内または遠隔実習の場合は、WebClass やメール、Zoom を使用することもあります。 2) 実務経験（看護師）のある教員による授業科目です。
準備学習の内容及び必要時間： 予習 60 分以上：幼稚園・保育園の担当クラスの年齢・発達の特徴、健康レベルをアセスメントし、実践できるように要点を整理して下さい。 復習 60 分以上：実習内容やカンファレンスを振り返り、実習での学びや自己の課題をまとめて下さい。
課題に対するフィードバック： 1) 実習中の記録内容の指導、実践に対するフィードバックは、実習中の個別面接で行います。学内または遠隔実習の場合は、非接触型の方法をとる場合があります。
オフィスアワー：実習に関する質問は、実習中に積極的に行って下さい。実習時間外に質問がある場合は、月曜日から金曜日の 17:00 までに、直接担当教員まで来ていただくかメールでも可能です。
教科書：1・2 年次に使用した教科書 他
参考書：自主的に求めること。

授業科目の区分		ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法			R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
母性看護実習	5137	実習	3 年	必修	2／90
概 要：人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進で学んだ知識を科学的根拠として、基礎看護学および母性看護学、生活習慣と看護で学んだ内容を基盤に、周産期にある母性およびライフステージ各期にある女性の看護を学ぶ。シラバス巻頭を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員 大角地久美子 <u>石川 裕貴</u> 山下 智子
目 的：女性のライフサイクル各期にある対象者を通して母性を理解し、対象者とその家族に応じた看護を実践するための基礎的知識・技術・態度を習得する。					
目 標： 1. 女性のライフサイクル各期の対象者に必要な知識・技術を身につける。 2. 周産期にある対象に適した看護過程を理解する。 3. 病院と地域との連携について理解する。 4. 母性をとりまく保健・医療・福祉チームにおける看護の役割を認識し、他のチームメンバーとの協力の必要性を理解する。 5. 実習の学びから生命の尊厳、母性看護について自己の学びを深める。					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる ☑②科学的思考ができる ☑③専門的な知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☑④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☑⑤看護者として自己成長できる ☑⑥社会の変化に対応できる能力 ☑⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：実習の到達目標に沿ったルーブリック評価表を用いて評価する。 （知識・技能：25%、思考力・表現力・判断力：30%、主体性・協働性：45%） 成績評価基準：事前学習、実習への取り組み、実習記録から到達目標の達成状況を総合的に評価する。					
内 容					
1. 女性（非妊娠者）の看護 目的：女性（非妊娠者）に対する看護を理解する。 〈到達目標〉産婦人科外来を受診する患者の看護を理解することができる。 1) 対象の生理的経過と生活行動から健康状況について関心をもつことができる 2) 母性看護に関わる知識を述べることができる 3) 対象を支える社会システム(外来・病棟・地域等の連携)について関心を持ち探究することができる					
2. 妊婦の看護 目的：妊婦と胎児およびその家族に対する看護を理解する。 〈到達目標〉妊婦と胎児およびその家族に対する看護を理解することができる。 1) 対象の生理的経過と生活行動から健康状況について関心をもつことができる 2) 対象の生理的経過の観察技術(腹囲・子宮底長測定、レオポルド触診法、NSTの判読等)を行うことができる 3) 対象の特徴を理解し、対象の状態が良い方向に経過するためのケアについて述べることができる 4) 対象の健康状況や家族の状況に応じて、母子相互作用を豊かにするケアについて述べることができる 5) 母性看護に関わる知識を述べることができる 6) 対象を支える社会システム(外来・病棟・地域等の連携)について関心を持ち探究することができる 7) 退院後の地域での子育て支援を理解し、切れ目ない母子への支援の重要性を理解することができる					

3. 産婦の看護 目的：産婦と胎児およびその家族に対する看護を理解する。 ＜到達目標＞産婦と胎児およびその家族に対する看護を理解することができる。 1) 新しいいのちの誕生を慈しみ、対象や家族の思いを大切にしておいて対象や家族に寄り添う援助について述べるができる
4. 褥婦・新生児の看護 目的：褥婦と新生児およびその家族の看護を理解する。 ＜到達目標＞褥婦と新生児およびその家族の看護を理解することができる。 1) 対象の生理的経過と生活行動から健康状況について関心をもつことができる 2) 対象の生理的経過（進行性変化・退行性変化等）の観察技術を行うことができる 3) 対象の特徴を理解し、対象の状態が良い方向に経過するためのケアについて述べるができる 4) 対象の健康状況や家族の状況に応じて、母子相互作用を豊かにするケアについて述べるができる 5) 母性看護に関わる知識を述べるができる 6) 対象の生理的経過、生活行動を正常な経過と対比して、健康状況を判断する 7) 対象の健康状況から対象に応じたケアをウェルネスの視点で見出す 8) 対象の健康状況や家族の状況に応じて、母子相互作用を豊かにするケアを見出す 9) 対象を支える社会システム（外来・病棟・地域等の連携）について関心を持ち探究する 10) 退院後の地域での子育て支援を理解し、切れ目ない母子への支援の重要性を理解する
履修者へのコメント： 1. 履修条件：「母性看護概論」「母性看護」「母性看護技術」「基礎看護学に該当する科目」の単位を修了していること。 2. 履修にあたっての心構えと要望 （実習の全体オリエンテーションとグループごとの直前オリエンテーション時に詳細を追加説明する。） 1) 「母性看護実習」を履修する場合、GPA2.0以上が望ましい。 2) 指定された事前学習の内容が適切であり、かつ提出済みであること。 3) 実習では、リーダーシップやメンバーシップを十分発揮して取り組んでください。 3. 出席確認方法 出席確認の方法は、実習オリエンテーション時に説明します。 4. その他 1) 実習に関する連絡は、実習担当教員から掲示またはWebClassで行います。 2) 実習に関する質問は、実習時間内に積極的に行ってください。 3) 実務経験（看護師・助産師）のある教員による授業科目です。
準備学習の内容及び必要時間： 実習期間中毎日、予習・復習を行ってください。また、文献等を用いて学習してください。 1. 予習：実習要綱の母性看護実習を熟読し、事前学習の確認を1時間以上行ない、実際に行動できるようにポイントを整理してください。 2. 復習：実習中を振り返り、学習の要点と自己の課題をまとめて、1時間以上は学習してください。 実習中の指導をふまえ、実習記録の追加・修正を行ってください。
課題に対するフィードバック： 1. 実習時間内外に実習記録や実践に対するフィードバックを適宜行います。 2. 実習開始7日前後に自己評価表をもとに面接を行い、フィードバック（形成的評価）を行います。
オフィスアワー：時間外に質問がある場合は、月曜日から金曜日 8:00～17:00 までの間に直接、実習担当教員が対応します。質問等に関してのメールは17:00 までお願いいたします。
教科書：1,2年生次に使用した教科書、授業配布資料
参考書： (1) 医療情報科学研究所 編『病気がみえる Vol.10 産科 第4版』（メディックメディア）2018年 (2) 佐世正勝・石村由利子 編『ウェルネスからみた母性看護過程＋病態関連図 第4版』（医学書院）2021年 (3) 石村由利子 編『根拠と事故防止からみた 母性看護技術第3版』（医学書院）2020年

授業科目の区分	ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法				R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
精神看護実習	5141	実習	3 年	必修	2／90
概 要：人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法をもとに、精神的健康について援助を必要としている人々に対し、その人らしい生活ができるよう支援する看護学。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目 的：精神に障害を持つ人に、適切な看護活動を展開するための基礎的能力を習得する。					勝久 淳 渡邊 あゆみ
到達目標： 1. 精神状態が日常生活に及ぼす影響をアセスメントし、看護を展開できる。 2. 精神に障害を持つ人の人権と安全を考えた看護を考察し、行動できる。 3. 自己を客観的に洞察し、患者理解に活用できる。 4. 精神看護における看護師の役割を説明できる。 5. 看護師に必要な態度を身につける。					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：知識・技能：14% 思考力・判断力・表現力：63% 主体性・協働性：23% 成績評価基準：実習記録、見学・援助場面、発言内容、実習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
内 容					
1. 実習前に WebClass にアップした動画を視聴し、実習全体のオリエンテーションを受ける。 2. 実習初日は学内にて実習準備、病棟で構造のオリエンテーションと患者紹介、午後は学内に戻り演習を行う。 3. 病棟実習では患者を受け持ち、セルフケア理論を基に看護展開を行う。 4. 病棟実習では指導者及びスタッフの看護実践場面の見学を通して、精神看護の実際を学ぶ。 5. 精神病棟におけるチーム医療や多職種連携、および安全管理について学ぶ。 6. 実習期間のうち2日間は施設実習とする。施設のプログラム等に参加し、地域で暮らす精神障害者の支援について学ぶ。 7. 身体拘束を体験し、精神に障害を持つ人の人権と安全について考える。 8. 対象とのかかわりから相互作用を振り返り、記載したプロセスレコードを使ってカンファレンスを行う。 9. 実習最終日に学内にて2週間の精神看護実習のまとめを行う。					
履修者へのコメント： 1. 履修条件：基礎看護学に該当する科目、地域・在宅看護実習Ⅰ、疾病治療論Ⅶ、精神看護概論、精神看護Ⅰ、精神看護Ⅱの単位を修得していること。 2. 履修にあたっての心構えと要望： 1) この科目を履修する場合、2 年次生までの GPA2.0 以上が望ましい。 2) 実習目標の到達度について、自己評価表を用いて適時面接を行います。 3) 詳細はオリエンテーション時に説明します。 3. 出席確認：出席確認の方法は、実習オリエンテーション時に説明します。 4. その他 1) 実習に関する連絡は WebClass と掲示をもって行うので、各自必ず確認してください。 2) 実習に関する質問は、実習時間内に積極的に行ってください。					

準備学習の内容及び必要時間： 予習 1 時間以上：1・2 年次に学んだ講義内容を整理し、実習目標が達成するよう必要な追加学習をしてください。 復習 1 時間以上：実習内容を振り返り、実習記録に追加・修正を行ってください。
課題に対するフィードバック： 実習記録や実習内容については、実習時間内外において適時指導を行います。
オフィスアワー：授業時間外の質問は、メール対応または月曜日から金曜日 8:30～17:00 に勝久または渡邊の研究室へ来てください。
教科書：1.2 年次に使用した教科書
参考書：山本勝則・藤井博英・守村洋：『看護実践のための根拠がわかる 精神看護技術』（メヂカルフレンド社）2015. 川野雅資：『エビデンスに基づく精神科看護ケア関連図 改訂版』（中央法規）2020. 田中美恵子：『精神看護学 第 2 版 学生-患者のストーリーで綴る実習展開』（医歯薬出版）2015. 焼山和憲：『初めてのヘンダーソンモデルに基づく精神科看護過程 第 2 版』（医歯薬出版）2011. 野中浩幸・心光世津子・乾 富士男：『必携！ 精神看護学実習ポケットブック 第 2 版』（精神看護出版）2019.

授業科目の区分		看護の統合			R6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
看護技術の統合	6105	演習	3年後期	必修	1 / 30
概要： 対象の状態（発達段階、健康障害の種類・レベル）を統合して臨床判断し、看護を実践・評価する方法を、演習を通して学習する。 シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的： 看護の対象の状態（発達段階、健康障害の種類・レベル）を統合し、看護（実践）の方法および成果を評価する方法を検討し、看護者としての実践能力を身につける					霜田 敏子 浅見 多紀子 今野 葉月 蒲生 澄美子 瀧山 文恵 秋山 千恵子 大角地 久美子 鈴木 夕岐子 荒川 みひろ
到達目標： 1. 対象の状態（発達段階、健康障害の種類・レベル）を統合して、生活の場や状態の変化を予測した援助を検討（臨床判断）できる 2. 対象に応じた看護を実践・評価する方法がわかる 3. 看護実践に関わる自己の課題を明確にできる					海野 文子 勝久 淳 北田 良子 清水 百子 宮崎 素子 渡邊 あゆみ
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☒ ①人間を総合的に理解できる ☒ ②科学的な思考ができる ☒ ③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☒ ④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☒ ⑤看護者として自己成長できる ☒ ⑥社会の変化に対応できる ☒ ⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					池田 梨紗 石川 裕貴 榎本 佑美 小野 真央 倉田 暢子 杉本 真弓 田中 顕治 布施 好朗 八幡 真由美 山下 智子
成績評価方法： 1. 知能・技能 40% 2. 思考力・判断力・表現力 40% 3. 主体性・協働性 20% 評価資料：レポート（思考過程の記録）、援助場面、発言内容等を総合的に評価する 成績評価基準： 思考過程の記録、実践場面、グループワークへの参加度（発言内容・聴く姿勢・準備）について評価基準を設定し、学生に明示する。その評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	11/ 5 (火) 11/11 (月)	オリエンテーション	1) 事例紹介 2) スケジュールの確認		担当教員 全員
2 ・ 3 ・ 4	11/ 5 (火) 11/11 (月)	状態変化に合わせた援助の検討	事例Aの状態変化に合わせた援助の検討 ・事例の状態と想定される状態変化 ・対象に必要な援助の検討と教材作成 ・必要な援助技術の練習（準備を含む）	グループワーク 実技練習	担当教員 全員
5 ・ 6	11/ 6 (水) 11/12 (火)	状態変化に合わせた援助の実施	事例Aおよび家族への実践：準備～実践		担当教員 全員

7	11/ 6 (水) 11/12 (火)	実践の評価	評価：準備～実践（A）の評価と振り返り グループワーク	担当教員 全員
8	11/ 6 (水) 11/12 (火)	状況変化に合わせた 援助の検討	事例Bの状況変化に応じた援助の検討 ・必要な教材の作成 ・必要な援助技術の練習（準備を含む） グループワーク 実技練習	担当教員 全員
9 ・ 10	11/ 7 (木) 11/13 (水)	状況変化に合わせた 援助の検討	事例Bの状況変化に応じた援助の検討 ・必要な援助技術の練習（準備を含む） グループワーク 実技練習	担当教員 全員
11 ・ 12	11/ 7 (木) 11/13 (水)	状況変化に応じた援助の実施	事例Bおよび家族への実践：準備～実践 演習	担当教員 全員
13	11/ 8 (金) 11/14 (木)	実践の評価	評価：準備～実践（B）の評価と振り返り グループワーク	担当教員 全員
14 ・ 15	11/ 8 (金) 11/14 (木)	看護技術の統合 まとめ	2 事例に対する援助計画・実践・評価の振り返り ・状態・状況の変化を察知するための思考・援助方法 ・援助の修正と再考した実践との違い グループワーク	担当教員 全員

履修者へのコメント：

- 履修条件： 1)すべての領域別看護実習が履修中であり、かつ、合格見込みであること。
2)統合実習が終了していること。
- 履修にあたっての心構えと要望
 - この科目を履修する場合、2 年次までの GPA が 2.0 以上であることが望ましい。
 - 前期領域別看護実習が終了した頃にオリエンテーション（科目の進め方、予習および事前学習の進め方、演習方法ほか）を行います。
・事例はグループごとに異なります。事例に則したオリエンテーションは初回授業時に行います。
 - この科目におけるグループとは領域別実習のグループ編成に準じたグループです。
 - 図書館を有効活用し、教科書所や授業ノート・参考資料を持参し、グループワークに参加してください。
 - 本科目はグループワークを通して導き出した“援助技術”を実践・評価します。グループメンバー全員で積極的に取り組んでください。
- 出席確認： 演習時にグループごとに出席確認します。
- その他：実務経験（看護師）のある教員による授業科目です。

準備学習の内容及び必要時間：

予習 60 分以上： 事例の基本情報について事前学習をしてから演習に臨んでください。「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復の促進」「ライフサイクルと生活の場に応じた看護の方法」で使用した教科書・参考書・授業時の配布資料等を用いて、事例に則した看護を展開できるように学習してください。

復習 60 分以上： 演習内容やディスカッションを振り返り、看護の対象を理解するための課題に対して追加・修正をしてください。

看護技術の自己評価は「対象にとって有益な援助だったか」を視点として評価してください。

課題に対するフィードバック：

- ・事例ごとに、援助方法の検討、看護技術の練習および実践、評価について授業時間内にフィードバックを行います。
- ・フィードバックはグループ単位で、あるいは個別に適宜面接します。

オフィスアワー：

1. 授業あるいは課題に関する質問は授業時間内に積極的に行ってください。
2. 授業時間外の質問は、月曜日から金曜日の授業終了後から 17:00 までの間に担当教員が対応します。

教科書： 1・2 年次に使用した教科書

参考書： 1・2 年次に使用した参考書。その他、自主的に求める。

授業科目の区分	看護の総合				R 6 (2024) 年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
看護研究	6106	演習	3 年後期	選択	1／45
概 要：看護の統合「看護学セミナー」での学びを基に看護研究を実践し、そのプロセスにおいて研究的態度を培う。シラバス巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
					久保かほる 霜田 敏子 今野 葉月 <u>浅見多紀子</u> 蒲生澄美子 瀧山 文恵 秋山千恵子 鈴木夕岐子 宮崎 素子 勝久 淳 清水 百子 荒川みひろ 渡邊あゆみ 海野 文子 北田 良子 榎本 佑美 石川 裕貴 布施 好朗 持田奈穂美 杉本 真弓 小野 真央 八幡真由美 加藤 暢子 池田 梨紗 山下 智子 田中 顕治
					目 的：看護学セミナーで学んだ研究課題に3 年次臨地実習で新たに動機づけられた課題も含めた研究テーマに対する研究のプロセスを通して、将来の研究活動の基盤を身につける。
					到達目標：1. 研究計画書を作成する。 2. 研究計画に基づいてデータ収集をする。 3. 収集したデータを分析し考察する。 4. 研究成果を論文としてまとめる。 5. 研究的態度(研究倫理、能動的な学習姿勢)で取り組む。
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる ☑②科学的な思考ができる ☑③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☑④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☑⑤看護者として自己成長できる ☑⑥社会の変化に対応できる ☑⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：1. レポート 60%(研究計画書 20%、研究論文 40%) 2. 学習態度(40%) 成績評価基準：レポート、学習態度は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
内 容					
1. 研究計画書の作成 1) 研究課題の明確化 2) ICT を活用した文献レビュー 3) 研究の背景、研究的価値の検討 4) 研究動機、研究目的の明確化 5) 研究方法の検討 (1) 研究デザイン (2) 研究対象 (3) データ収集方法 (4) データ分析方法 6) 倫理的配慮の検討 2. 研究倫理審査の申請と承認 3. 研究の実践 1) データ収集 2) ICT を活用したデータの整理・分析 3) 結果の考察					

4. 研究論文の作成と公表 1) 埼玉医科大学短期大学看護学科「看護研究集録集」への掲載 2) 研究成果の発表
履修者へのコメント： 1. 履修条件：看護学セミナーが履修済であること、看護研究のガイダンスに参加すること 2. 履修にあたっての心構えと要望（詳細は看護研究ガイダンスおよび指導担当教員から説明する。） 1) この科目を履修する場合、2年次までのGPAが2.5以上であることが望ましい。 2) 作成した研究論文は、本学「看護研究 集録集」に投稿し公表する。 3. 出席確認：指導担当教員が個別に確認する。 4. その他：1) 看護研究に関する連絡は掲示またはWebClassで行う。 2) 実務経験(看護師)のある教員による授業科目である。
準備学習の内容及び必要時間： 予習 1 時間以上：研究指導を受けるまでに、研究プロセスに沿った準備を行い、自己の課題を明確にする。 復習 1 時間以上：指導後の整理と追加を行う。
課題に対するフィードバック：研究計画書、研究論文、学習態度は、個別面談時にフィードバックする。最終提出された研究論文は、時間外にフィードバックする。
オフィスアワー：月～金曜日の8:30～17:00に指導担当教員が対応する。
教科書：看護学セミナーで使用した教科書
参考書：自主的に求める

授業科目の区分		看護の統合			R6（2024）年度
授業科目名	ナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間
統合実習	6107	実習	3年	必修	2／90
概要：領域別看護実習で学んだ内容を基盤に、対象および臨床現場に即した看護を学ぶ。シラバスの巻頭の「カリキュラムマップ」を参照し、当該科目の位置づけを確認しておくこと。					担当教員
目的：地域や医療・保健施設における看護師の役割を理解し、多職種と連携・協働しながら対象および場に即した看護を実践する能力を養う。					秋山 千恵子 実習開始時に提示
到達目標：1. 複数課題の優先順位を根拠に基づいて判断し、看護を実践する。 2. 複数の対象の療養環境に即した実践や医療安全、感染管理をふまえた看護を実践する。 3. 継続支援の重要性を理解する。 4. 看護師に必要な態度を身につける。					
卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）／学修成果との関連 ☑①人間を総合的に理解できる ☑②科学的な思考ができる ☑③専門的知識・技術・態度を統合して看護実践できる ☑④高い倫理観をもち、他者の尊厳と権利を擁護できる ☑⑤看護者として自己成長できる ☑⑥社会の変化に対応できる ☑⑦保健医療福祉チームの一員として自分の役割を認識し、協働できる					
成績評価方法：1. 知識・技能 60％ 2. 思考力・判断力・表現力 20％ 3. 主体性・協働性 20％ （実習記録、援助場面、発言内容を総合的に評価する。）					
成績評価基準：実習記録・援助場面・発言内容・聴く姿勢は評価基準を学生に明示し、その評価基準に基づいて評価し、総合点を GPA 実施規則に則り評価する。					
内 容					
＜病棟＞ 1. 複数課題の優先順位の根拠に基づいた判断と看護実践 1)根拠に基づいた優先順位の決定 2)全身状態の観察を行い、必要な援助の実践 3)実施した看護の評価 2. 複数の対象の療養環境に即した実践や医療安全、感染対策管理をふまえた看護実践					
＜継続支援部門＞ 1. 外来を受診する患者の看護と継続支援 1)内科、総診、女性ヘルスケア、包括がんセンター外来を受診する患者の看護と継続支援 2)救急外来を受診する患者と家族の看護と継続支援 3)ストーマ造設患者の看護と継続支援 4)糖尿病患者の看護と継続支援 5)在宅療養患者の看護と継続支援 2. 入退院支援を受ける患者と家族の看護と継続支援 3. 訪問看護を受ける患者の看護と継続支援 4. 人工透析を受けている患者の看護と継続支援 5. 内視鏡検査・治療を受ける患者の看護と継続支援 6. 放射線検査・治療を受ける患者の看護と継続支援 7. 化学療法を受ける患者の看護と継続支援					

8. 集中治療を受ける患者の看護と継続支援 ＜共通＞ 1. 看護師に必要な態度の習得 1)主体的な行動（学習含む） 2)他者との信頼関係の構築 3)適切な健康管理 4)実習グループの一員として協調性をもった行動 5)保健医療福祉チームの一員として協調性をもった行動 6)生命の尊厳と人権を尊重した行動 7)自分の責任と能力を認識した行動
履修者へのコメント： 1.履修条件：すべての領域別看護実習が履修中であり、合格見込みであること 2.履修にあたっての心構えと要望（実習前オリエンテーションで詳細を説明する） 1)本科目を履修する場合、2年次までの GPA2.0 以上であることが望ましいです。 2)図書室を有効に活用し、主体的に学習を進めて下さい。 3.出席確認 出席確認の方法は、実習オリエンテーション時に説明します。 4.その他 1)詳細は看護実習要項 2024 年度を参照して下さい。 2)実習に関する質問は、実習時間内に積極的に行って下さい。 3)実習に関する連絡は、掲示または Web Class で行います。 4)実務経験（看護師）のある教員による授業科目です。
準備学習の内容及び必要時間： 予習 1 時間以上：①実習要項に提示した自己学習を実習記録にまとめて下さい。 ②実習内容を確認し、領域別看護実習の復習をしておいて下さい。 復習 1 時間以上：実習中の指導をふまえ、実習記録の追加・修正、課題を行って下さい。
課題に対するフィードバック： 1.実習記録や援助場面、評価についてフィードバックは実習時間内に適時面接を行います。
オフィスアワー： 1.実習時間外の質問は、月曜日から金曜日の実習終了後から 17:00 の間に担当教員が対応します（会議等で不在の時もあります）。
教科書： 1・2 年次に使用した教科書
参考書： 自主的に求める。

学校法人 埼玉医科大学

埼玉医科大学短期大学

2024年度

2024年4月1日発行

埼玉医科大学短期大学
教務委員会

〒350-0495
埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38
電 話 049-276-1513
F A X 049-294-8604